

法藏館

図書目録

2020

令和2年版

仏教の風  
400年



# 仏教文化を伝える風でありたい

法蔵館は創業以来、「法蔵を開き、功德の宝を施さん」の精神に則り歩いてまいりました。

このたび400年を迎えるにあたり、仏教文化を伝える風でありたいという願いを込め、

「仏教の風400年」というロゴマークをつくりました。

哲学・歴史・芸術、また教育・医療・社会福祉といった幅広い分野に亘る書籍を

通じて仏教文化を普及させるために、

これからも積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

株式会社法蔵館

代表取締役社長 西村明高

## 法蔵館の歩みと理念

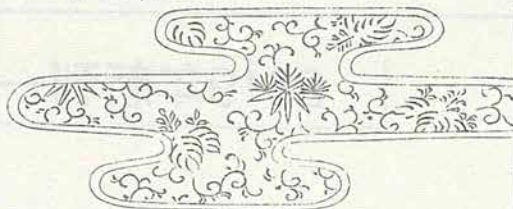
- ◆ 慶長年間(1596-1615)…大坂城落城のころに本家丁子屋初代西村九郎右衛門、大坂より京都へ転居。のち五条橋通扇屋町で一向宗(浄土真宗)の仏書肆を開業と伝える。
- ◆ 明暦2年(1656)…丁子屋、『般舟三昧』(善導)を刊行、現在確認される最古の版本か。
- ◆ 貞享2年(1685)…『京羽二重』の「書物屋」の項に「五条橋通高倉 一向宗 西村九郎右衛門」と記される。
- ◆ 嘉永3年(1850)…初代七兵衛、分家独立して丁子屋七兵衛を名乗り、下京区上珠数屋通東洞院で仏書肆を開業。
- ◆ 明治18年(1885)…法蔵館の名称は、『再刻法要類文』の刊記に「京都書林法蔵館 西村七兵衛藏版」と見えるのが早く、現在に及ぶ。
- ◆ 明治24年(1891)…活版印刷業を兼帯、京都の仏教書出版で初めて出版・印刷の一体化と量産化をはかる。月刊雑誌『法蔵』を創刊(昭和19年通巻622号まで発行)。
- ◆ 昭和12年(1937)…法蔵館東京支店を神田鈴蘭通に開設。
- ◆ 昭和14年(1939)…常盤大定・関野貞共著『支那文化史蹟』全12巻24冊(のち『中国文化史蹟』と改題)。
- ◆ 昭和19年(1944)…『望月仏教大辞典』第1巻・第2巻を刊行、第3巻は空襲で焼失し未完。
- ◆ 昭和20年(1945)…法蔵館東京支店、空襲で全焼。
- ◆ 昭和33年(1958)…『西域文化研究』全6巻刊行。
- ◆ 昭和45年(1970)…株式会社法蔵館を設立。
- ◆ 昭和47年(1972)…『弘法大師真蹟集成』を刊行、以後、親鸞・法然・最澄・日蓮等の真蹟シリーズを刊行。
- ◆ 昭和53年(1978)…新社屋落成(昭和58年第1回京都美観風致賞を受賞)。
- ◆ 昭和62年(1987)…『季刊仏教』を創刊。『総合佛光大辞典』全3巻を刊行。
- ◆ 平成13年(2001)…第16回梓会出版文化賞特別賞を受賞。丁子屋390年、法蔵館150年記念祝賀会。
- ◆ 平成17年(2005)…『総合佛光大辞典』(新装版・全1巻)、『増補 親鸞聖人真蹟集成』を刊行。
- ◆ 平成18年(2006)…『大系真宗史料』特別巻刊行。本巻全25巻は、順次刊行開始。
- ◆ 平成23年(2011)…法蔵館400年を迎える。

## 【本目録の見方】

- ◆ 価格は、すべて税抜きで表示されています。別途、消費税が必要です。
- ◆ 各書籍・雑誌の最後に表示されている数字は、ISBN(国際図書コード)です。  
なお、●一印はISBN978-4-8318の略です。
- ◆ 各書籍・雑誌の最後尾丸括弧内の数字は、その初版発行年月を表してあります。
- ◆ 書名・著者名の検索は、巻末の索引をご利用いただけますとたいへん便利です。  
◆ 本目録は2019年12月末までの刊行物(予定も含む)を掲載しました。  
◆ **電子書籍版**と表示された書籍は主要電子書店で購入可能です。

## ◎目次◎

新刊一覧	002
辞典・年表	004
著作集・全集	008
日本の仏教	018
法蔵選書	020
法蔵館文庫	022
思想・社会	023
生と死・社会福祉	033
宗教・哲学	041
仏教専門書	047
仏教一般・教養	053
西域・中国仏教	062
密教	068
天台	080
禅	083
美術・芸能	086
声明・仏教音楽	091
歴史・史料	093
民俗・民族	125
文学	131
真蹟集成	135



### 【真宗関係】

真宗専門書	138
聖典・聖教	142
親鸞	152
蓮如	157
妙好人	160
清沢満之	162
真宗一般・教養	164
信仰・法話	174
紙芝居	195
記念品	195

### 【真宗大谷派 経典・経本】

浄土三部経・折本	202
声明集	204
御文	208
稽古本	210
表白・手引き	211
CD・カセット・楽譜	213



名著復刊	198
これから出る主な本	200



書名索引	217
著者名索引	228
常備書店一覧	235

辞典・年表  
宗教・哲学  
美術・芸能

著作集・全集  
仏教専門書  
声明・仏教音楽

日本の仏教  
仏教一般・教養  
歴史・史料

法蔵選書  
西域・中国仏教  
民俗・民族

法蔵館文庫  
密教  
文学

思想・社会  
天台  
真蹟集成

生と死・社会福祉  
禅

名著復刊  
これから出る主な本  
書名索引  
著者名索引  
常備書店一覧

# 2019年新刊一覧

1月	児玉暁洋選集 第7巻 あなたは日本国をどんな国にしたいのか	児玉暁洋	15	
	児玉暁洋選集 第8巻 正信偈響流・歎異抄に聞く I	児玉暁洋	15	
	顔真卿伝 時事はただ天のみぞ知る	吉川忠夫	118	
	新装版 歎異抄講話 1	廣瀬 泉	147	
2月	歳俊撰『仏性論文集』の研究	楠 淳澄・船田淳一編著	50	
	中国仏教美術の展開 唐代前期を中心に	八木春生	87	
	仏教婦人雑誌の創刊	岩田真美・中西直樹編著	112	
	狩野君山の阿藤伯海あて尺牘集	狩野直禎監修 杉村邦彦・寺尾敏江編	133	
	新装版 歎異抄講話 2	廣瀬 泉	147	
	“このことひとつ”という歩み 唯信鈔に聞く	宮城 頸	150	
3月	橋本循著作集 第4巻 楚辭・雜纂	橋本 循	16	
	現代日本の仏教と女性 文化の越境とジェンダー	那須英勝・本多 彩・碧海寿広編	29, 59	
	人間とは何か II	日本佛教学会編	52	
	鎌倉新仏教論と淑尊教団	松尾剛次	100	
	戦国期宗教勢力史論	安藤 弥	107	
	清水寺 成就院日記 第4巻	清水寺史編纂委員会編	114	
	相国寺史 第一巻 史料編中世一	相国寺史編纂委員会編 原田正俊・伊藤真昭監修	115	
	モンパ インド・ブータン国境の民	脇田道子	127	
	新装版 歎異抄講話 3・4	廣瀬 泉	147	
	歎異抄に学ぶ 人間そのものからの解放	神戸和磨	147	
	現代思想としての清沢満之	安富信哉	163	
	人はみな仏になる種を持っている	尼子哲也	182	
	4月	完全版 宗教なき時代を生きるために オウム事件と「生きる意味」	森岡正博	23
		天皇制のデザイン	上山春平	26
いのちのゆくえ 医療のゆくえ (新装版)		佐々木恵雲	38	
明恵と龍になった女		谷口義介	60	
5月		天皇制の深層	上山春平	26
	六朝隋唐仏教展開史	船山 徹	64	
	新装版 真言密教の基本 教理と行証	三井英光	70	
	仏像の着衣と僧衣の研究 東洋美術史論考	吉村 怜	87	
覚盛上人御忌記念 唐招提寺の伝統と戒律	一般財団法人律宗戒学院編	103		
6月	児玉暁洋選集 第9・10巻 歎異抄に聞く II・III	児玉暁洋	15	
	かえるのぶらんこ	大谷康雄・文/田中陽一郎・絵	60	

	親鸞改名の研究	籧 弘信	113
	近世仏教の教説と教化	芹口真結子	124
	真宗門徒の生活に自信を持つ	宮城 颯	176
7月	貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究 仏道篇	楠 淳澄	50
	ブッダの小ばなし 超訳百喻経	釈 徹宗監修・多田 修編訳	53
	時空を超えたメッセージ 龍谷の至宝	龍谷大学創立380周年記念書籍編集委員会編	54
	岐路に立つ仏教寺院 曹洞宗宗勢総合調査2015年を中心に	相澤秀生・川又俊則編著	59
	「悪」と統治の日本近代 道徳・宗教・監獄教誨	繁田真爾	111
	牛頭天王信仰の中世	鈴木耕太郎	129
8月	法然と大乘仏教	平岡 聡	55
	新装版 正信偈入門	早島鏡正	145
9月	POD版 黒田俊雄著作集 第3～8巻	黒田俊雄	11
	岡村圭真著作集 第1・2巻	岡村圭真	12
	梵文『維摩経』翻訳語彙典	植木雅俊	49
	唐・南山道宣著作序文訳註	大内文雄編訳	65
	院政期天台教学の研究 宝地房証真の思想	松本知己	81
	改訂版 インドネシアの宗教美術 鋳造像・法具の世界	伊藤奈保子	87
	戦国仏教と京都 法華宗・日蓮宗を中心に	河内将芳	105
	新装版 唯信鈔文意を読む 信は人に就く	細川 巖	150
	僧にあらざ、俗にあらざ 確かな生き方を求めて	宮城 颯	176
	苦の探究 (校訂版)	蜂屋賢喜代	187
10月	雅楽のコスモロジー 日本宗教式楽の精神史	小野真龍	91
	近世京都寺社の文化史	村上紀夫	104, 130
	民間念仏信仰の研究	坂本 要	130
	新装版 晩年の親鸞	細川 巖	154
11月	増補 いざなぎ流 祭文と儀礼 (法蔵館文庫)	斎藤英喜	22
	仏性とは何か (法蔵館文庫)	高崎直道	22
	老年の豊かさについて (法蔵館文庫)	キケロ著 八木誠一・八木綾子訳	22
	「三国志」の知恵	狩野直禎	118
	GBS第17号・論集 明治時代の東大寺 近代化がもたらした光と影	GBS実行委員会編	122
12月	児玉暁洋選集 第11・12巻 歎異抄に聞くⅣ・Ⅴ	児玉暁洋	15
	密教図像38号	密教図像学会編	77
	東大寺要録 二	東大寺史研究所編	95
	新装版 教行信証	星野元豊	143
	A級戦犯者の遺言 教誨師・花山信勝が聞いたお念仏	青木 馨編	173

## 辞典・年表

編集委員 = 横超慧日・多屋頼俊・藤島達朗・舟橋一哉・井ノ口泰淳・鎌田茂雄・櫻部 建・藺田香融

## 総合 佛教大辞典 全1巻

日本図書館協会選定図書

B5判1950頁 上製函入

本体 28000円 + 税

世界宗教としての仏教——そのすべてを網羅した、戦後初の本格的仏教大辞典の(新装版)。全仏教圏各時代にわたる1万2千余項目、読みやすい大きな活字。

●仏教学・仏教史学を中心に、文学・美術・民俗学・考古学など、関連諸学の研究成果を全面的に反映。立項目は、必要かつ十分な1万2千余項目を厳選して仏教を体系的・立体的に把握できるように工夫した。

●インド・東南アジア・チベット・西域・中国・朝鮮・日本と全仏教文化圏をカバー。典籍・寺院・人物・美術・仏具・行事のすべてを網羅。

●4万7千余項目を採録した詳細な和文・欧文索引と、仏教関係主要叢書目録を収録した。

●推薦 = 梅原 猛, 大久保良順, 千葉乗隆, 平川 彰, 松長有慶ほか。 ●—7070-4(2005.1)

編著 = 多屋頼俊・横超慧日・舟橋一哉

## 新版 仏教学辞典

四六判614頁 上製函入 本体 5600円 + 税

好評の『佛教学辞典』を新訂・増補。精選された約2700の項目。解説は近年の仏教史研究の成果をふまえ、広範な地域と時代をカバー。和文・欧文索引は約1万5000語を採録。藤田宏達序。 ●—7009-4(1995.4)

仏教歴史辞典編纂委員会編

## 仏教歴史辞典 全1巻

菊判1290頁 上製函入 近刊

アジア文化圏における仏教の歴史・思想・文化の流れを、寺院・人名・書名・文化財など多岐にわたる項目を通じて平明に解説する。基礎資料の項目が充実した、仏教の歴史を正確に学べる格好の辞典。

赤沼智善編

## 印度仏教固有名詞辞典 (増訂版)

A5判988頁 上製函入 本体 18000円 + 税

大乘仏教に関する固有名詞を除外したインド仏教全般にわたり、釈尊または仏教に関する人物、物語伝説上の人物、地名などの固有名詞を収録。見出し項目は固有名詞の梵語・巴利語とする名著。 ●—7003-2(1967.2)

芳村修基編

## チベット語字典 (草稿本)

A5判1122頁 上製函入 品切

チベット仏典を解説するために便利なようにできる限り対応する漢語仏典の訳語を採録した。……チベット仏典を読むためにチベット語を学習しつつある学生のための手引書である。(後記より) ●—7004-9(1973.5)

監修 = 柏原祐泉・高木 豊・藺田香融ほか

## 日本仏教人名辞典

全国学校図書館協議会選定図書

B5判1006頁 上製函入 品切

日本仏教にかかわる7500余名を収録。簡潔な紹介に加えて、著作・史資料・参考文献などを明示し、研究の便を考慮。索引には、別称・異称なども採用し、多方面からの検索を可能にした。 ●—7007-0(1991.11)

編集＝天納傳中・岩田宗一・播磨照浩ほか

## 仏教音楽辞典〈CD付〉

B5判590頁 上製函入 本体 24272円＋税

仏教音楽(声明)に関する初めての本格辞典。曲名を中心に、法要・流派から人名・文献など3000余項目を立項。図版多数。「現代仏教音楽の部」併録。詳細索引。声明27曲収録のオリジナルCD付。 ●—6210-5(1995.5)

横道万里雄・片岡義道監修

## 声明辞典 声明大系 特別付録

A5判289頁 並製 本体 5000円＋税

日本声明の包括的理解と鑑賞を目指した「声明大系」と並行して、基本的な語彙を解説し声明研究と鑑賞に共通の基盤を設ける試みとして製作された辞典。より広い視野からの声明研究に裨益する一冊。 ●—6522-9(2012.4)

岩田宗一編

## 声明・儀礼資料年表

B5判268頁 上製函入 品切

古代から現代まで、仏教音楽にかかわる法要・法会、声明本とその関係資料を網羅した一大年表。声明資料の宝庫・魚山叢書の貴重なデータを一挙掲載。先例のない膨大な資料数を誇る。詳細索引付。 ●—6212-9(1999.7)

飛鳥寛栗

●第44回仏教伝道功労賞受賞

●第21回龍谷賞受賞

## 日本仏教洋楽資料年表

B5判207頁 並製 本体 4800円＋税

1859年から2000年まで、140年間にわたる仏教音楽に関する資料を丹念に収集した編年表。史学・書誌学的見地に基づき整理された、仏教音楽研究の基礎資料となる一冊。 ●—6215-0(2008.7)

密教辞典編纂会編

## 密教大辞典〈縮刷版〉

A5判2746頁 上製函入 本体 25000円＋税

従来『密教大辞典』全6巻と同一の内容を一冊に収めたコンパクト判。密教の教相事相のすべてを懇切に解説。密教研究者はもとより仏教学・仏教史の研究者にも必備の権威ある辞典。 ●—7020-9(1983.2)

編集＝佐和隆研・高井隆秀・田村隆照ほか

## 密教辞典

日本図書館協会選定図書

菊判906頁 上製函入 本体 9500円＋税

インド・チベットの密教等世界的視野に立つての解説。豊富な挿図。厳選された項目。関連ある内容は総括し項目相互の関係が理解できるよう編集。宗勢一覧、曼陀羅尊名一覧表等の付録。 ●—7050-6(1975.2)

種智院大学密教学会編

## 新・梵字大鑑 全2巻

B5判総1100頁 上製函入 本体 40000円＋税 分売不可

実践編と資料編で梵字のすべてを網羅した決定版。実践編では梵字の書き方、読み方や用法などを解説。資料編では梵字の歴史や古遺物などに記された梵字を写真・図版で紹介。文献一覧も付す。 ●—7021-6(2015.11)

監修＝河野法雲・雲山龍珠

## 真宗辞典〈新装版〉

B6変840頁 上製函入 本体 6000円＋税

三経、七祖列祖の聖語の解釈、宗祖を中心とした諸先徳の伝記、中興に至る列祖の事蹟、由緒並びに名利の紹介、十派の歴代及びその関係者、学匠、妙好人などの略伝などの広い項目にわたって解説。 ●—7012-4(1935.6)

監修＝大原性実・星野元豊・金子大榮

## 真宗新辞典〈机上版〉

B5判720頁 上製函入 本体 18500円＋税

教義及び歴史に関する新しい辞典。15年の歳月をかけて編集。典拠、用例を明らかにし、歴史においては最新の学問的成果をふまえ各派にわたる。項目4500・索引1万2000。読みやすい大字使用。 ●—7011-7(1983.9)

稲城選恵編

## 真宗用語辞典 蓮如篇

A5判326頁 上製函入 本体7500円+税

蓮如の思想を学ぶために必要な用語に解説をつけた研究者必備の一冊。用語の意味を明らかにするために、覚如・存覚、さらに親鸞・法然にまでさかのぼって解説。用語索引が検索に便利。  
●—7017-9(1998.3)

監修=柏原祐泉・藺田香融・平松令三

## 真宗人名辞典

B5判500頁 上製函入 本体20000円+税

親鸞に始まる浄土真宗を支えた僧侶及び公家・武家・文人・篤信者などの周辺人物2300人を網羅した最大規模の辞典。約1万項目の詳細な索引及び初公開の資料を満載した付録を収載する。  
●—7015-5(1999.7)

沼 法量・小塚義國編

## 真宗故事成語辞典〈復刻版〉

四六判1500頁 上製函入 本体13000円+税

真宗に関する故事・行事・成語・寺堂・服装・歴代・宝具・雜事など三千数百語を収録した。失われつつある伝統的な行事・儀礼を知る上で、また法話・布教上便利な辞典。  
●—7013-1(1982.11)

真宗仏事研究会編

## 浄土真宗 法名・院号大鑑

B5判652頁 上製函入 本体20000円+税

浄土真宗のご門徒に最もふさわしい法名と院号の用例を集めた、浄土真宗のための初の大鑑。聖教に基づく2400の用例と、俗名を入れて名付けるための7万2000の用例を収載する。  
●—6505-2(1999.11)

大谷大学編

## 真宗年表

A5判268頁 上製函入 品切

浄土真宗の歴史がわかる待望久しい初めての大年表。各項ごとに出典資料を明記、未刊資料を駆使、親鸞の年齢から東西本願寺、専修寺の宗主の年齢を別欄で示す。〔付録〕系図・系譜・全花押集・索引など。  
●—7014-8(1973.11)

赤松徹真編

## 真宗近現代史年表

A5判予320頁 上製函入 近刊

近現代の浄土真宗の動向について、宗派を問わず重要な出来事を網羅。真宗事項と一般事項に分け当時の社会の動きとの比較も一目瞭然。また各項ごとに出典資料を明記した画期的年表。付索引。

中村 元監修

木村清孝・末木文美士・竹村牧男編訳

## エリアーデ仏教事典

A5判692頁 上製函入 本体12000円+税

エリアーデ主編の『宗教百科事典』より、世界の仏教研究における最高水準のエッセンスが凝縮された原著『仏教とアジアの歴史』の初めての日本語訳。  
●—7030-8(2005.10)

ミルチャ・エリアーデ主編

ローレンス・E・サリヴァン編

鶴岡賀雄・島田裕巳・奥山倫明訳

## エリアーデ・オカルト事典

A5判514頁 上製函入 本体8000円+税

現代宗教学の基本文献である『宗教百科事典』より、エリアーデが生涯にわたって強い関心を抱き続けたオカルティズム、錬金術、呪術・魔術にかかわる36項目を精選。世界の一流執筆陣による決定版。  
●—7031-5(2002.4)

日本仏教社会福祉学会編

## 仏教社会福祉辞典

A5判369頁 上製 本体3500円+税

仏教の教えと実践の視点から社会福祉の諸問題を問い直す、本邦初の辞典。福祉用語や日常語に仏教の原点を見出すほか、主要な仏教社会事業家や施設・団体も立項。厳選368項目。索引4500項目。  
●—7018-6(2006.3)



長谷川匡俊編

●第27回社会事業史文獻賞受賞

●第3回日本仏教社会福祉学会学術賞受賞

## 戦後仏教社会福祉事業史年表

B5判277頁 上製函入 本体 10000円+税

伝統仏教教団による社会福祉関係の事業や活動を、第二次世界大戦終結から2001年12月までの時期を対象に編年的に記載。記載事項はすべて出典を明記した画期的年表。研究者必備。

●—2419-6(2007.5)

## ●仏教小事典シリーズ

四六判/並製

## 真言宗小事典〈新装版〉

日本図書館協会選定図書

福田亮成編|240頁 本体 1800円+税

弘法大師空海が開いた真言宗の思想・歴史・仏事の本来的用語を厳選し、平易に解説したハンディな小事典。

●—7066-7(2000.4)

## 浄土宗小事典

石上善應編|227頁 本体 1800円+税

法然が開いた浄土宗の思想・歴史・仏事の基本用語を厳選し、やさしく解説した便利でハンディな小事典。

●—7062-9(2001.5)

## 真宗小事典〈新装版〉

日本図書館協会選定図書

瓜生津隆真・細川行信編|256頁 本体 1800円+税

親鸞が開いた浄土真宗の教義・思想・歴史・仏事の基本用語をわかりやすく解説したハンディな小事典。

●—7067-4(2000.3)

## 禅宗小事典

石川力山編著|331頁 本体 2400円+税

禅宗(曹洞・臨済・黄檗)の思想・歴史・仏事がわかる基本517項目をやさしく解説したコンパクトな小事典。

●—7064-3(1999.11)

## 日蓮宗小事典〈新装版〉

日本図書館協会選定図書

小松邦彰・冠賢一編|273頁 本体 1800円+税

日蓮が開いた日蓮宗の思想・歴史・仏事の基本用語を一般読者向けにやさしく解説したハンディな小事典。

●—7068-1(2000.4)

## 修験道小事典

日本図書館協会選定図書

宮家 準著|250頁 本体 1800円+税

役行者を始祖とする修験道の歴史・思想・行事・儀式などの用語を簡潔に解説したユースフルな小事典。

●—7069-8(2015.1)

## 著作集・全集

### 上山春平著作集 全10巻

日本図書館協会選定図書

戦後日本を代表する思想家の著作をテーマ別に初めて集大成。全巻にわたり著者自身による綿密な改訂を加える。

- ① 哲学の方法 私の読書遍歴／哲学の旅から／ほか
- ② 歴史の方法 歴史と価値／マルクス史観と生歴史観／ほか
- ③ 革命と戦争 明治維新の分析視点／大戦の経験から／ほか
- ④ 天皇制のデザイン 埋もれた巨像／日本の国家像／ほか

1～3・7・9巻各本体 11650円＋税

4～6・8・10巻各本体 9515円＋税

A5判平均550頁・上製函入

全巻本体 105825円＋税

●—3531～3536, 6541, 3538～3540

(1994.9～96.3)

- ⑤ 神と国家 神々の体系(正・続)／天皇制と大嘗祭／ほか
- ⑥ 日本の深層文化 照葉樹林文化／深層文化論序説／ほか
- ⑦ 仏教と儒教 仏教思想の遍歴／周礼の六官制と方明／ほか
- ⑧ 空海と最澄 空海と最澄の獨創性／ほか
- ⑨ 創造的な思想家たち 日本の思想／西田哲学とは何か／ほか
- ⑩ 日本文明史序説 日本文明史の構想／城と国家／ほか(年譜・主要論文一覽)

〔各巻に著者解題を付す〕

樋口隆康

### シルクロード考古学 全4巻 別巻1

日本図書館協会選定図書

全国学校図書館協議会選定図書

四六判 各巻本体 2400円＋税

別巻 B5判 本体 4800円＋税

全巻本体 14400円＋税

文化伝播の跡をたどる考察から、発掘調査の折々の随想まで、シルクロード研究の第一人者の著述を集大成。

- ① インド・中央アジア
- ② 西域紀行
- ③ 敦煌から日本へ
- ④ 西域発掘誌
- 別 アルバムシルクロード考古学

●—3751～3755(1986.5～86.11)

### 玉城康四郎 仏教の思想 全5巻 別巻1

日本図書館協会選定図書

四六判平均250頁

各巻本体 2500円＋税

1・3・4・5巻品切

仏教思想の根源態をたずねて、インド・中国・日本の仏教、さらには比較思想へと、仏教思想の根本義とその展開を考察する。

- ① 原始仏教
- ② 大乘仏教
- ③ 日本仏教
- ④ 禪仏教
- ⑤ 仏教と西洋思想
- 別 対談集

●—3801～3806(1985.5～85.10)

石田瑞磨

日本仏教思想研究 全5巻

日本図書館協会選定図書

A5判平均460頁

品切

仏教学と思想史の統合から生み出された日本仏教の精華。——石田瑞磨博士は、日本仏教を公平に、客観的に見ようとする、数少ない日本仏教研究者の一人である。(中村 元氏)

- ① 戒律の研究 上
- ② 戒律の研究 下
- ③ 思想と歴史
- ④ 浄土教思想
- ⑤ 仏教と文学

●—3851~3855(1986.5~87.3)

解説 = 楠山春樹・牧田諦亮・三崎良周・永井義憲

福井康順著作集 全6巻

日本図書館協会選定図書

A5判平均460頁

品切

東洋思想史を領導してきた著者の全業績。道教研究の輝かしい成果をはじめ、数々の新学説を全6巻に集大成。

- ① 道教の基礎的研究
- ② 道教思想研究
- ③ 中国の思想と仏教
- ④ 日本上代思想研究
- ⑤ 日本天台の諸研究
- ⑥ 日本中世思想研究

●—3551~3556(1987.3~90.10)

編集 = 池長 澄・川崎幸夫・北山正迪  
倉澤行洋・三村 勉・山口昌哉

増補 久松真一著作集 全9巻  
別巻1

A5判平均580頁 上製函入

1巻本体 10000円 + 税

2・4・6・8巻各本体 13500円 + 税

3巻本体 12000円 + 税

5・7・9・別巻各本体 15000円 + 税

全巻本体 136000円 + 税

旧版『久松真一著作集』全8巻(理想社刊)を全面的に再検討し、小論(第1巻)、「任運集補遺」(第7巻)、新たに補遺(第9巻)を加えた。

- ① 東洋の無
- ② 絶対主体道
- ③ 覚と創造
- ④ 茶道の哲学
- ⑤ 禪と芸術
- ⑥ 経録抄
- ⑦ 任運集
- ⑧ 破草鞋
- ⑨ 起信の課題・対談集
- 別 久松真一の世界

●—3571~3580(1994.7~96.7)

編集 = 石田慶和・藺田 坦・長谷正當  
藤田正勝・氣多雅子

武内義範著作集 全5巻

A5判平均400頁 上製函入

品切

親鸞思想を世界に知らしめ、仏教思想を宗教哲学として究明した、代表作『教行信証の哲学』をはじめとする未踏の領域を拓いた偉大な業績の集大成。

- ① 教行信証の哲学
- ② 親鸞の思想と歴史
- ③ 原始仏教研究
- ④ 宗教哲学・宗教現象学
- ⑤ 日本の哲学と仏教・随想

●—3581-9(1999.11)

三枝充恵編  
川田熊太郎 **比較思想研究** 全3巻

A5判平均350頁  
品切

西洋哲学に関する深い学殖に裏づけられた独自の仏教理解で知られ、日本における比較思想研究の先駆者の一人とされる著者の遺稿から、仏教についての論考を中心として全3巻に集成。仏教思想に新たな照明をあてる著作集。

- ① 空の思想の体系論的研究
- ② 仏教哲学の特質
- ③ 比較形而上学について

●—3901~3903(1985.4)

編集 = 鶴見俊輔・山折哲雄・西村恵信  
市川 浩

**市川白弦著作集** 全4巻

A5判平均450頁  
品切

仏教者はいかに生きるべきか。仏教者の戦争責任を問いつつ反戦運動に挺身し、解放の禅学を提唱して仏教刷新に奮闘、現代の一体禅師たる良心の仏者が全宗教界に問う文業。

- ① 禅の基本思想
- ② 禅と現代思想
- ③ 仏教の戦争責任
- ④ 宗教と国家

●—3521~3524(1993.5~93.8)

**柳田聖山集** 全6巻

A5判各巻平均800頁 上製函入  
既刊1巻本体 25000円+税

- 2巻本体 23000円+税
- 3巻本体 23000円+税
- 4巻本体 18000円+税
- 6巻本体 18000円+税

※5巻未刊 (価格未定)

禅学研究の第一人者である著者が50年にわたって発表した多数の著作のうち、特に学術的専門性の高いものを選んで集大成する。詳細索引付。

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ① 禅仏教の研究    | 初期の論考を集成  |
| ② 禅文献の研究上   | 「語録」研究を集成 |
| ③ 禅文献の研究下   | 「禅の文化」資料等 |
| ④ 臨濟録の研究    | 歴史的語法的研究  |
| ※⑤ 中国仏教の研究  | 中国思想関係論考  |
| ⑥ 初期禅宗史書の研究 | 名著の復刊     |

●—3861~3866(1999.11~)

編集 = 星野元豊・飯島宗享・鈴木 亨・元浜清海

**瀧澤克己著作集** 全10巻

四六判500~550頁 上製函入  
品切

- ① 西田哲学の根本問題
- ② カール・バルト研究
- ③ 夏目漱石1
- ④ 夏目漱石2・芥川龍之介
- ⑤ 現代哲学の課題
- ⑥ 近代主義の超克
- ⑦ 仏教とキリスト教の根本問題
- ⑧ 哲学・倫理学入門
- ⑨ 経済学・哲学論集
- ⑩ 遊戯・芸術・宗教

●—3101~3110(1970.5~75.4)

編集 = 井ヶ田良治・石田善人・井上寛司・大石雅章  
大隅和雄・大山喬平・河音能平・平 雅行  
田中文英・永原慶二・名畑 崇・藤井 学

A5判平均450頁  
1巻本体 5000円+税  
2巻本体 5300円+税  
3～8巻本体 5000円+税  
●—9301, 9302, 9306～9311  
(1994.10～2019.9)

## 黒田俊雄著作集 全8巻 (POD版)

権門体制論、顕密体制論、寺社勢力論など、数々の独創理論で日本中世史を解明した黒田史学の全業績を、8つのテーマに再構成、集大成する。研究者必備の文献として、巻末には収載論文の解説と索引を付す。

- ① 権門体制論 中世の国家と天皇 他
- ② 顕密体制論 中世における顕密体制の展開 他
- ③ 顕密仏教と寺社勢力 鎮魂の系譜 他
- ④ 神国思想と専修念仏 中世国家と神国思想 他

- ⑤ 中世荘園制論 荘園制の基本的性格と領主制 他
- ⑥ 中世共同体論・身分制論 村落共同体の中世的特質 他
- ⑦ 変革期の思想と文化 悪党とその時代 他
- ⑧ 歴史学の思想と方法 転換期の歴史学 他  
推薦 = 自己認識学としての黒田史学(網野善彦)

※取り扱い、Amazon・三省堂書店オンライン・楽天のみ。

## 田村圓澄 日本佛教史 全5巻 別巻1

日本図書館協会選定図書  
A5判各450頁 上製兩入  
品切

三国仏教史観を克服し日本仏教史の課題の発見と解明を目指した研究成果！古代朝鮮仏教から浄土教の展開まで時代・テーマ別に集成。

- ① 飛鳥時代
- ② 奈良・平安時代
- ③ 鎌倉時代
- ④ 百済・新羅
- ⑤ 浄土思想
- 別 法然上人伝

●—3401～3406(1982.11～83.11)

## 角田文衛著作集 全7巻

日本図書館協会選定図書  
A5判平均400頁  
品切

日本文明の曙から王朝の人物群像まで、世界史的展望に立つ歴史学大系のもと(日本の古代)の再構成をめざす。半世紀にわたる研究業績。

- ① 古代学の方法
- ② 国分寺と古代寺院
- ③ 律令国家の展開
- ④ 王朝文化の諸相
- ⑤ 平安人物誌 上
- ⑥ 平安人物誌 下
- ⑦ 紫式部の世界

●—3701～3707(1984.7～86.5)

編集 = 宮坂有勝・松長有慶・頼富本宏

## 密教大系 全12巻

A5判平均500頁 上製兩入  
品切

密教研究の成果を、宗派・宗義にとらわれず体系化。インド・中国から日本まで、密教研究者・密教系寺院に必備の文献資料を収録。

- ① インド・チベット密教
- ② 中国密教
- ③ 密教経典
- ④ 日本密教 I
- ⑤ 日本密教 II
- ⑥ 日本密教 III
- ⑦ 日本密教 IV
- ⑧ 密教の種々相
- ⑨ 密教の実践
- ⑩ 密教の美術 I
- ⑪ 密教の美術 II
- ⑫ 密教と文化

●—5133-8(1994.8)

編集 = 田村隆照・松長有慶・頼富本宏

## 佐和隆研著作集 全4巻

A5判平均300頁 上製函入

全巻本体 40000円 + 税 分売不可

半世紀にわたる密教美術研究を全4巻として集大成。『密教美術論』『日本の密教美術』『仏教芸術』などに掲載された代表的論文を網羅。

- ① 密教美術論
- ② 日本の密教美術
- ③ 仏教美術論
- ④ アジアの仏教美術

●—3498-0(1997.1)

種智院大学密教資料研究所編

## 長谷寶秀全集 全6巻・別帙6冊

A5判平均400頁 上製函入

品切

※別帙のみ復刊→本目録73頁参照

明治・大正・昭和の三代にわたり、古義真言宗の教学を支え、事相の蘊奥を究め、多くの俊才の指導と教育にあられた、碩学の業績を集大成。

- ① 遺墨集／論文集 ② 大日経疏玄談／十卷章玄談／般若理趣経分科・同末釈／釈摩訶衍論玄談 ③ 大疏秘記集 ④・⑤ 大師御請来梵字真言集 ⑥ 四度加行指南者意得要略 ㊦ 三宝院流憲深方四度次第

●—3499-7(1997.1)

解説 = 遠藤祐純・広沢隆之・福田亮成  
真鍋俊照・吉田宏哲

## 宮坂宥勝著作集 全6巻

A5判平均450頁 上製函入

全巻本体 84000円 + 税 分売不可

仏教の起源から空海密教まで、碩学の半世紀にわたる仏教研究の成果を集大成。著者が厳密な校訂を施した決定稿。

- ① 仏教の起源
- ② 釈尊の生涯と思想
- ③ 仏教と社会・経済
- ④ 密教の思想
- ⑤ 空海密教
- ⑥ 密教の種々相

●—3351-8(1998.8)

解説 = 東 智學・立川武蔵・高木紳元  
頼富本宏・松長有慶

## 松長有慶著作集 全5巻

A5判平均400頁 上製函入

品切

インド密教の成立過程からその構造、日本への伝播、さらには密教遺跡の調査報告まで、広範な研究成果を集大成。

- ① 密教經典成立史論
- ② インド密教の構造
- ③ 空海思想の特質
- ④ マンダラと密教美術
- ⑤ 秘密集会タントラの研究

●—3341-9(1998.4)

## 岡村圭真著作集 全2巻

A5判平均332頁 上製

1巻本体 4800円 + 税

2巻本体 4000円 + 税

全巻本体 8800円 + 税

空海思想の深みに思いを馳せ、八宗兼学の律僧としての慈雲尊者を敬慕する著者が、生涯の思索の中で送り出した諸論考を初集成。密教思想を現代に生かす視点で新解釈も交える。

- ① 空海思想とその成りたち
- ② 慈雲尊者 その生涯と思想

●—5690-6.5691-3(2019.9)

仲野良俊著作集刊行会編

## 仲野良俊著作集 全15巻 別巻1

A5判各約300頁 上製函入

品切

※[7]~[9]のみ復刊→本目録145頁参照

親鸞浄土教の現代的意義を、大乘仏教の根本思想から明確に説き明かした仲野教学待望の集大成。

[1]・[2] 『唯識思想入門』2巻

[3]~[6] 『唯識三十頌講義』4巻

[7]~[9] 『正信念仏偈講義』3巻

[10]・[11] 『歎異抄講義』2巻

[12]・[13] 『阿弥陀経講義』2巻

[14]・[15] 『勸衆偈講義』2巻

[別] 『講話集』

●—4460-6(1990.12)

推薦 = 五木寛之・蘭田香融・平松令三

## 千葉乗隆著作集 全5巻

A5判平均500頁 上製函入

各本体 9800円 + 税

全巻本体 49000円 + 税

仏教史研究の第一人者が、半世紀に及ぶ積年の研究成果をふまえ、浄土真宗の歴史と思想を、豊富な史料と写真を駆使し、幅広い視点から時代状況と連関させながら解明。

[1] 親鸞・覚如・蓮如

[2] 地域社会と真宗

[3] 真宗の組織と制度

[4] 真宗文化と本尊

[5] 真宗と女性

●—3361~3365(2001.9~02.3)

## 信楽峻磨著作集 全10巻

A5判 上製函入

1巻本体 15000円 + 税

2・3巻各本体 13000円 + 税

4~10巻各本体 9000円 + 税

全巻本体 104000円 + 税

仏教の中で大きな流れを形成した浄土教、さらに独自の発展をとげた親鸞思想を、仏教全体の中で正しく意義付けようとする著者の壮大な仕事の集大成。浄土教理解の確かな枠組みが明確に示される。

[1] 改訂 浄土教における信の研究 [2] 改訂 親鸞における信の研究 上 [3] 改訂 親鸞における信の研究 下 [4] 歎異抄講義 I [5] 歎異抄講義 II [6] 真宗教義学原論 I [7] 真宗教義学原論 II [8] 尊号真像銘文講義 I [9] 尊号真像銘文講義 II [10] 尊号真像銘文講義 III  
●—3381~3390(2007.9~10.3)

推薦 = 能邨英士・廣瀬 杲・竹中智秀

## 西田眞因著作集 全3巻

菊判平均750頁 上製函入

品切

存在の「意味」を問い続ける著者の全業績。善悪、信心などの概念を問い直し、その意味空間を明らかにした歎異抄論をはじめ、「宿業」の差別的イデオロギーを解明した宿業論、その思想を問う莊嚴論など、多彩な方法で生きる意味を論じた画期的論考を集大成。

[1] 歎異抄論

[2] 真宗宿業論

[3] 真宗莊嚴論

●—4480~4482(2002.5~03.1)

推薦 = 前田恵學・峰島旭雄・藤田宏達

三枝充憲著作集 全8巻

A5判平均470頁 上製函入

1・3～8巻本体 13000円＋税

2巻本体 19000円＋税

4巻品切

鋭利な問題意識のもとに、初期仏教・龍樹(空・縁起)・比較思想の各分野にわたって、常に新しい見解・視点を提示してきた著者。その代表的著書13点に加え、単行本未収録論文10点余を収録する。

- ① 仏教概説 ② 初期仏教の思想 ③ パウツグ ④ 縁起の思想 ⑤ 龍樹 ⑥ 仏教の宗教観・人間観 ⑦ 比較思想論Ⅰ ⑧ 比較思想論Ⅱ

●—3366～3373(2004.2～05.9)

編集 = 赤田光男・伊藤唯真・小松和彦  
鈴木昭英・福田 晃・藤井正雄  
宮家 準・山路興造

五来重著作集 全12巻  
別巻1

A5判平均430頁 上製函入

1・3～12巻各本体 8500円＋税

2巻本体 9500円＋税

別巻本体 6800円＋税

全巻本体 109800円＋税

柳田國男翁も為し得なかった“日本仏教民俗学”の研究方法を確立し、斬新な思索と豊かな発想で、日本庶民信仰史の未踏の領域を切り拓いた。主要書をはじめ、初公刊の論文などを含めた主要論文を集大成し、次代の日本仏教史研究、日本民俗学研究の可能性と指針を提示する。

- ① 日本仏教民俗学の構築 ② 聖の系譜と庶民仏教 ③ 日本人の死生観と葬墓史 ④ 寺社縁起と伝承文化 ⑤ 修験道の修行と宗教民俗 ⑥ 修験道霊山の歴史と信仰 ⑦ 民間芸能史 ⑧ 宗教歳時史 ⑨ 庶民信仰と日本文化 ⑩ 木食遊行聖の宗教活動と系譜 ⑪ 葬と供養 上 ⑫ 葬と供養 下 ㊦ 年譜・著作目録・全巻索引

●—3407～3419(2007.10～09.12)

伊藤唯真著作集 全4巻

A5判平均400頁 上製函入

1・2巻各本体 11650円＋税

3・4巻各本体 13107円＋税

全巻本体 49514円＋税

著者の広範な日本仏教史諸研究から厳選された論文を3つのテーマに再編。基層仏教の体系的研究。

- ① 聖仏教史の研究 上  
② 聖仏教史の研究 下  
③ 仏教民俗の研究  
④ 浄土宗史の研究

●—3311～3314(1995.5～96.2)

解説 = 上横手雅敬・大山喬平・勝山清次・  
蘭田香融・名畑 崇

赤松俊秀著作集 全5巻

A5判平均502頁 上製函入

既刊1巻本体 12000円＋税

3巻本体 20000円＋税

※2・4・5巻未刊

綿密な実証と斬新な発想から論じた仏教史・日本史の集大成。名著『鎌倉仏教の研究 正統』の親鸞関係論文を第1巻、中世の高僧に関する論文を第2巻に分け所収。索引付。

- ① 親鸞伝の研究  
※② 鎌倉仏教の諸相(仮)  
③ 古代中世社会経済史研究  
※④ 京都寺史考  
※⑤ 平家物語の研究

●—3346～3350(2012.4～)



推薦 = 藤田宏達・熊谷宗恵

## 小川一乗仏教思想論集 全4巻

A5判平均350頁 上製函入

1巻品切

2巻本体 8800円 + 税

3・4巻各本体 9500円 + 税

インド大乘仏教としての如来蔵・仏性思想を体系的に捉え、大乘仏教の基本である菩薩思想を特徴づけている般若(空)思想と本願(浄土)思想の大智と大悲の究極的事実を説く。

- 1 仏性思想論 I (「如来蔵・仏性の研究」ほか)
- 2 仏性思想論 II (「仏性思想の研究」ほか)
- 3 中観思想論(論文編・翻訳編)
- 4 浄土思想論(「浄土と往生」ほか)

●—3374～3377(2004.3～10)

宮城顕選集刊行会編

## 宮城顕選集 全17巻

A5判平均450頁 上製函入

各巻本体 7000円 + 税

全巻本体 119000円 + 税

26歳のときの書き下ろし論文「浩々洞」から、病床に伏す直前の講演まで、48年間にわたる講義等から精選された待望の選集。

- 1 論集
- 2～4 講座集 I～III
- 5・6 講演集 I・II
- 7 浄土三部経聞記
- 8・9 嘆仏偈聞記、本願文聞記 I・II
- 10～13 教行信証聞記 I～IV
- 14・15 浄土文類聚鈔聞記 I・II
- 16・17 浄土論註聞記 I・II

●—3420～3436(2010.11～14.12)

## 児玉暁洋選集 全12巻

A5判平均430頁 上製函入

各巻本体 4000円 + 税

全巻本体 48000円 + 税

著者の求道における4つのテーマ「念仏の感覚」「念仏の思想」「念仏者の生活」「親鸞聖人に遇う」をもとに厳選した、70年に及ぶ歩みの集大成。

- 1 いのちを喚ぶ声 親鸞の宗教
- 2 念仏が開く歴史と社会
- 3 新しく生まれるいのち 浄土の人民
- 4 浄土に開かれて生きる
- 5 南無阿弥陀仏と言う信心
- 6 願生浄土の仏道
- 7 あなたは日本国をどんな国にしたいのか
- 8 正信偈響流・歎異抄に聞く I
- 9～12 歎異抄に聞く II～V

●—3441～3452(2017.10～19.12)

住岡夜晃

## 新住岡夜晃選集 全5巻

四六判平均300頁 上製

全巻本体 14000円 + 税 分売不可

明治～昭和を生きた真宗光明団の創始者、住岡夜晃。真宗光明団創立から死去するまでの31年間の珠玉の文章を取録した決定版。

- 1 僧伽の誕生
- 2 不退の歩み
- 3 真実
- 4 一筋の道
- 5 仏法ひろまれ

●—4270-1(2018.10)

編集 = 日下 力・小峯和明・谷山俊英  
今成元昭仏教文学論纂

全5巻

A5判平均400頁 上製函入  
各巻本体 12000円+税  
全巻本体 60000円+税

宗教文学としての真価を初めて問うた『方丈記』論をはじめ、戦後の仏教文学研究の第一人者として、今なお、学会に刺激を与え続ける著者待望の著作集。

- ① 仏教文学総論
- ② 日蓮・信仰と文学
- ③ 説話と仏教
- ④ 平家物語研究
- ⑤ 法華経・宮澤賢治

●—3315~3319(2015.4~9)

橋本 循

橋本循著作集 全4巻

A5判平均538頁 上製函入  
1・2・4巻本体 5000円+税  
※3巻近刊

白川 静の師で中国文学研究者の橋本 循(立命館大学名誉教授、1890~1988)の著作集。

- ① 中国文学思想管見
- ② 詩経國風
- ※③ 王漁洋
- ④ 楚辭・雜纂

●—3731~(2016.9~)

真宗史料刊行会編

大系真宗史料 全25巻 特別巻1

A5判 300~564頁 上製函入  
特別巻B4判 254頁 上製函入  
編纂委員 = 大桑 齊・早鳥有毅・平 雅行・平田厚志・草野顕之  
編集委員 = 青木 馨・安藤 弥・上場顕雄・塩谷菊美・大桑 齊・小山正文・岡村喜史・神田千里・菊藤明道・木越祐馨・木場明志・草野顕之・児玉 識・沙加戸 弘・平 雅行・早鳥有毅・平田厚志  
推 薦 = 上山大峻・大隅和雄・小川一乗・蘭田香融

[特色]

- ◆真宗受容史の視点からの史料を「伝記編」、基本史料を「文書記録編」として編集。
  - ◆真宗史研究の基本史料の新しい定本となり、信仰史・民衆思想史・宗教思想史として真宗史の新しい研究分野を切り開く史料集となる。
  - ◆可能な限り、諸史料の当初形態で収録することに努めた。
  - ◆鎌倉期、戦国期、石山合戦期の諸記録は編年体にして集成。
  - ◆各巻に、担当編集委員による解題・解説を付す。ただし、解題は解説に含まれる場合もある。
- \*印は刊行済み ⑧印は第1期刊行分

新しい真宗史研究のための基礎史料集。

[全巻構成]

- |           |         |             |
|-----------|---------|-------------|
| *伝 記 編 1  | 親鸞伝     | 本体 10000円+税 |
| ⑧伝 記 編 2  | 御伝鈔注釈   | 本体 9000円+税  |
| ⑧伝 記 編 3  | 近世親鸞伝   | 本体 10000円+税 |
| ⑧伝 記 編 4  | 真宗浄瑠璃   | 本体 8500円+税  |
| ⑧伝 記 編 5  | 蓮如伝     | 本体 8500円+税  |
| ⑧伝 記 編 6  | 蓮如絵伝と縁起 | 本体 10000円+税 |
| *伝 記 編 7  | 学匠・宗主伝  | 本体 10000円+税 |
| ⑧伝 記 編 8  | 妙好人伝    | 本体 9000円+税  |
| *伝 記 編 9  | 近世門徒伝   | 本体 9000円+税  |
| *文書記録編 1  | 親鸞と吉水教団 | 本体 8500円+税  |
| 文書記録編 2   | 初期教団    | 2020年刊行予定   |
| *文書記録編 3  | 戦国教団    | 本体 8500円+税  |
| *文書記録編 4  | 宗主消息    | 本体 8500円+税  |
| *文書記録編 5  | 戦国期記録編年 | 本体 9000円+税  |
| ⑧文書記録編 6  | 蓮如御文    | 本体 8500円+税  |
| *文書記録編 7  | 蓮如法語    | 本体 8500円+税  |
| *文書記録編 8  | 天文日記 I  | 本体 12000円+税 |
| *文書記録編 9  | 天文日記 II | 本体 9500円+税  |
| *文書記録編 10 | 私心記     | 本体 10000円+税 |
| ⑧文書記録編 11 | 一向一揆    | 本体 10000円+税 |
| ⑧文書記録編 12 | 石山合戦    | 本体 9500円+税  |
| *文書記録編 13 | 儀式・故実   | 本体 13000円+税 |
| *文書記録編 14 | 東西分派    | 本体 9000円+税  |
| *文書記録編 15 | 近世倫理書   | 本体 10000円+税 |
| *文書記録編 16 | 近世異義争論  | 本体 12000円+税 |
| ⑧特別巻      | 絵巻と絵詞   | 本体 32000円+税 |

●—5050~5075(2006.9~)

浄土宗西山深草派編

記主顯意道教上人七百回大遠忌記念

顯けん意に上人全集 全6巻

A5判各巻平均626頁 上製函入

既刊1巻本体 12000円+税

※2～6巻未刊（価格未定）

- |            |             |
|------------|-------------|
| □1 當麻曼荼羅開書 | ※4 親經疏指定制 本 |
| ※2 問答論義篇   | ※5 親經疏指定制 末 |
| ※3 短篇・資料篇  | ※6 索引・補遺篇   |

本全集は鎌倉期における浄土宗西山流深草義の学匠顯意道教(1238-1304)の全著述と伝記を、最新の写本調査の成果をもとに校訂出版。第1巻として刊行する『當麻曼荼羅開書』は、顯意が嵯峨竹林寺(現清涼寺内)にて、今出川女院嬉子・深草院妾相子姉妹のための逆修法会として四十九日間に及び當麻曼荼羅(浄土变相図)を講讃した従来未刊行の記録である。その中心を成すのは「釈迦教・弥陀教」の「二尊教」に則り展開される「絶対他力」「悪人正機」的思想であり、随所に譬喩因縁(説話)を多用し、口語表現を交える語り口には、極楽浄土図を前にした談義の雰囲気濃厚に窺える。

●—7544—(2003.5—)

# 日本の仏教

日本仏教研究会編

●日本の仏教 第I期全6冊

A5判/並製

## 1 仏教史を見なおす

240頁 本体 2330円+税

研究分野・学問分野ごとに隔絶した学会の弊害を越え、相互に情報交換、討論を行うことによって、日本精神史への展開を目指す新シリーズの第1号。網野善彦、小松和彦、末木文美士ほか。 ●—0281-1(1994.10)

## 2 アジアの中の日本仏教

256頁 本体 2330円+税

初伝以来、土着化し、仏教の骨子たる世界観を捨てつつ生き残ってきた日本仏教。その基盤となった日本文化と、今後の展開を東西の思想の中で考える。上山春平、立川武蔵、林 淳、田中公明ほか。 ●—0282-8(1995.2)

## 3 神と仏のコスモロジー

256頁 本体 2718円+税

日本古来の神々と外来の仏との葛藤が生んだ、日本独特の文化の底流を探る。[インタビュー]山口昌男「神・仏・王権」、鎌田東二、末木文美士、村山修一、川村邦光ほかによる論考、エッセイほか。 ●—0283-5(1995.7)

## 4 近世・近代と仏教

284頁 本体 2913円+税

寺檀制から廃仏毀釈を経て定着した仏教墮落史観。しかし、仏教が個人や家の自立に果たした役割は大きい。仏教変容の本質を問い直す! 山折哲雄、安丸良夫、島岡 進、大村英昭、松尾剛次ほか。 ●—0284-2(1995.12)

## 5 ハンドブック 日本仏教研究

240頁 本体 2718円+税

歴史学・民俗学・考古学・文学・図像学・音楽学など、関連諸分野を統合し、研究の基礎と方法、資史料の扱い方を紹介した、日本の思想・文化を学びたいすべての人のための初めての必携ハンドブック。 ●—0285-9(1996.4)

## 6 論点・日本仏教

244頁 本体 2718円+税

各分野をリードする研究者による5つの討論と、25のキーワードで焦点となるテーマを論じた画期的日本仏教入門。五味文彦、松岡心平、末木文美士、速水 侑、佐々木宏幹、大隅和雄、鎌田茂雄ほか。 ●—0286-6(1996.8)

日本仏教研究会編

●日本の仏教 第Ⅱ期全3冊

A5判/上製

## 1 仏教と出会った日本

280頁 本体 3000円+税

日本は仏教をどう受容し、仏教はどう変容したのか。また日本仏教は儒教やキリスト教とどう出会ったか。末本文美士、養老孟司、上村勝彦、大久保良峻、佐藤弘夫、林 淳、松尾剛次ほか。 ●—0287-3(1998.8)

## 2 日本仏教の研究法

歴史と展望

322頁 本体 3200円+税

多様化するテーマと方法を[史学][諸潮流][関連諸学]の3部構成で解説、近年焦点の問題を[コラム]で論じ、便利な[文献一覧]を付す。日本仏教史・思想史を学ぶ人の必携書。末本文美士、佐藤弘夫ほか。 ●—0288-0(2000.11)

## 3 日本仏教の文献ガイド

249頁 本体 3200円+税

基本文献から歴史、文学、絵巻などの関連資料まで、日本仏教を知るための文献60点余をコンパクトに解説。最新の見方、参考文献、テキストまでを付した極めつきのガイドブック。 ●—0289-7(2001.12)

# 法藏選書

四六判／上製

## 2 大和路遍歴

全国学校図書館協議会選定図書  
入江泰吉 | 220頁 本体 1300円＋税

半世紀におよぶ写真作家としての生涯をふり  
返り、大和路によせる想いを淡々と綴る。

●—1002-1(1981.9)

## 4 藝林談叢

柳田喜一郎 | 279頁 本体 1800円＋税

東洋学の泰斗が綴る随筆・評論集。学殖をかた  
むけ中国・日本の書芸・古美術を語る。

●—1004-5(1981.9)

## 7 親鸞とその弟子

全国学校図書館協議会選定図書  
石田瑞麿 | 262頁 本体 1600円＋税

親鸞の生涯とその信仰を中軸に、初期真宗教  
団の歩みを、確実な史料に基づいてたどる。

●—1007-6(1981.10)

## 8 中世漂泊

日本図書館協会選定図書  
柳田聖山 | 222頁 本体 1600円＋税

禅を通じて「中世」の詩と真実に肉迫する連作  
評論集。禪者の境遇を達意の筆で描く。

●—1008-3(1981.12)

## 11 マンダラの旅 前田常作対話集

日本図書館協会選定図書  
前田常作 | 232頁 本体 1600円＋税

梅原 猛、宮坂有勝、秦 恒平など7氏との対  
話集。異色の現代画家の談論風発のマンダラ  
談義。

●—1011-3(1982.6)

## 12 評伝 清沢満之

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書  
脇本平也 | 243頁 本体 1600円＋税

精神主義を掲げ激動の明治期を仏教の近代化  
のために生きた宗教家の生涯とその信仰。

●—1012-2(1982.4)

## 13 悔過の芸術 仏教美術の思想史

日本図書館協会選定図書  
中野玄三 | 228頁 本体 1800円＋税

仏教美術と時代精神・信仰形態の関連に着目  
し、美術史研究に新たな領野を示唆する試論。

●—1013-7(1982.4)

## 14 面白い話

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書  
秦 恒平 | 250頁 本体 1600円＋税

愛する古典、思い深き人物を語り、文明批評  
に及ぶ、気鋭の作家の、まじめな「面白い話」。

●—1014-4(1982.6)

## 15 書聖空海

中田勇次郎 | 223頁 本体 1800円＋税

中国書道史研究の第一人者が弘法大師空海の  
書芸術をあらゆる側面から詳説。巻末作品論。

●—1015-1(1982.10)

## 16 宗教的人間

全国学校図書館協議会選定図書  
山折哲雄 | 232頁 本体 1600円＋税

親鸞と道元を中軸に宗教史上の天才たちの衝  
迫の断面を照射する、小太刀の切れ味の評論  
集。

●—1016-8(1982.9)

## 20 仏像東漸 朝鮮と日本の古代彫刻

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書  
毛利 久 | 208頁 本体 1800円＋税

東アジア仏教圏における仏像製作という視点  
から、古代彫刻研究に大きな収穫をもたらす。

●—1020-5(1983.3)

## 25 現代仏教文学入門

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書  
見理文周 | 271頁 本体 2000円＋税

近現代の代表作品37篇に仏教と文学との関わり  
を探り、新しい仏教文学への展望をひらく。

●—1025-0(1983.9)

## 26 密教美術を読む

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書  
佐和隆研 | 239頁 本体 1800円 + 税

密教美術の理解に欠くことのできない基本的事項を第一人者がわかりやすく詳説する。

●—1026-7(1984.1)

## 28 飛鳥白鳳天平仏

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書  
久野 健 | 200頁 本体 1600円 + 税

平明な文章と豊富な図版とで、日本古代仏教彫刻史の従来の通説を書き直す意欲的論考。

●—1028-1(1984.1)

## 34 中国の思惟

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書  
蜂屋邦夫 | 239頁 本体 1600円 + 税

儒家・道家などさまざまに開花した中国の諸思想を根底から支える思惟の本質を考察。

●—1034-2(1985.9)

## 37 死と運命

日本図書館協会選定図書  
金谷 治 | 219頁 本体 1800円 + 税

「死して亡びざる者は寿」、「天命を知る」という。中国古代の「死と命」の哲学を追求。

●—1037-3(1987.6)

## 38 迷いの風光

西村 恵信 | 239頁 本体 1800円 + 税

悟りは、迷いの道に咲く花である——禪の系譜に連なる高僧の生涯に、悟りの本質を探る。

●—1038-0(1987.6)

## 39 和讃 仏教のボエジー

日本図書館協会選定図書  
武石彰夫 | 225頁 本体 1800円 + 税

仏教歌謡・和讃の出現で仏教は初めて平等無差別のものとなった。その概要、歴史を詳述。

●—1039-7(1986.11)

## 42 中世禅者の軌跡 中蔵円月

日本図書館協会選定図書  
蔭木英雄 | 287頁 本体 1800円 + 税

党派に依らず、孤峻にして求道の生涯を貫いた傑僧・円月の一徹な禅風をその詩境にたどる。

●—1042-7(1987.7)

## 43 芸道の中の禅

古田 紹欽 | 206頁 本体 1800円 + 税

茶と書を中心に、日本芸道の中に底流する禅精神の躍動をみる。淡雅な味わいの好随筆。

●—1043-4(1987.7)

## 44 続 正法眼蔵を読む

寺田 透 | 288頁 本体 1800円 + 税

前著に続き、「観音」「古鏡」の巻を講読体書き下ろし。透徹した読みが禅の真諦を開く。

●—1044-1(1988.1)

## 45 フロント構造の哲学

八木 誠一 | 297頁 本体 1800円 + 税

「フロント」という視点から仏教とキリスト教の相互理解の可能性を探る宗教哲学論。

●—1045-8(1988.7)

## 46 多武峰ひじり譚

三木 紀人 | 236頁 本体 1800円 + 税

元三大師良源の間近にありながら墮落した平安仏教への痛烈な批判を続けた増賀の一生。

●—1046-5(1988.6)

## 48 宗教学とは何か

柳川 啓一 | 219頁 本体 1800円 + 税

現代を読む鍵として脚光をあびる宗教学を興味深い事例で説く最良のテキスト。

●—1048-9(1989.11)

## 法蔵館文庫

斎藤英喜

### 増補 いざなぎ流 祭文と儀礼

文庫判524頁 並製 本体 1500円+税

高知県旧物部村に伝わる民間信仰「いざなぎ流」。太夫に密着し祭文・法文・神楽・式王子の儀礼現場を解明した名著に、陰陽道、民俗信仰研究の現在を増補。

●—2601-5(2019.11)

高崎直道

### 仏性とは何か

文庫判320頁 並製 本体 1200円+税

一切衆生とは、仏性を有すとはどういうことか。はたして全ての人に「ほとけ」になれる本性が具わっているのか。仏教を本当に知るための最重要論考。文庫判解説＝下田正弘。

●—2602-2(2019.11)

キケロ著 八木誠一・八木綾子訳

### 老年の豊かさについて

文庫判208頁 並製 本体 800円+税

老人にはすることがない、体力がない、楽しみがない、死が近いといった、年を取ることに対する悲観的通念を吹き飛ばし、老年の幸福を実例をあげて論証する、2000年読みつかれてきた老年のための幸福論。

●—2603-9(2019.11)



## 思想・社会

養老孟司

### 日本人の身体観の歴史

日本図書館協会選定図書

四六判328頁 上製 本体 2200円＋税

日本の中世、近世、そして現代哲学の心身論からさらには西欧の身体観までを論じる。固定観念を揺さぶり、常識をくつがえし、人と世界の見方を一変させる、養老「ヒト学」の集大成。 ●—7227-2(1996.8)

養老孟司

### カミとヒトの解剖学

四六判290頁 上製 本体 1942円＋税

『唯脳論』で著名な東大解剖学学科の教授が、臨死体験、霊魂、ニューサイエンス、神など混沌とした宗教世界を鮮やかに解剖する。従来の宗教観を変革させる、過激かつ知的な「脳のお話」。 ●—7190-9(1992.4)

養老孟司

### 脳が読む 本の解剖学1

日本図書館協会選定図書

四六判272頁 上製 本体 1748円＋税

ご存じ博覧強記の解剖学者がメスをベンに持ちかえて『利己的な遺伝子』からデイック・フランシスの競馬小説、キングのホラー、『ファザー・ファッカー』まで100余冊を論じた絶品読書エッセイ。 ●—7141-1(1994.12)

養老孟司

### 本が虫 本の解剖学2

日本図書館協会選定図書

四六判272頁 上製 本体 1748円＋税

『ワイルド・スワン』『妻を帽子とまちがえた男』から『悪童日記』『ドグラ・マグラ』『中年クライシス』『虹の理論』まで、文章のキレイ、内容のコク、隠し味のユーモアの3拍子そろった至芸の書評集。 ●—7142-8(1994.12)

森岡正博

### 完全版 宗教なき時代を生きるために オウム事件と「生きる意味」

四六判248頁 並製 本体 2200円＋税

衝撃の初版から23年。オウム事件や尾崎豊の死は何だったのか。この時代を生きなければならぬ私たちとは何者なのか。生きる意味を問うたロングセラーの名著に、書下しを増補した完全版。 ●—5706-4(2019.4)

森岡正博編

### 「ささえあい」の人間学

私たちすべてが「老人」+「障害者」+「末期患者」となる時代の社会原理の探究

A5判356頁 上製 本体 3500円＋税

生命学・医学・法学・仏教・倫理学の異なる分野の5人の俊英による共同研究の成果。来るべき超高齢化時代の最大かつもっとも切実な問題を順序立てて討議し、その処方箋を提示する。 ●—7215-9(1994.1)

森岡正博・多田富雄ほか

### 現代文明は生命をどう変えるか

森岡正博・6つの対話 日本図書館協会選定図書

A5判240頁 並製 本体 2400円＋税

出生前診断、ホスピス、不登校、免疫、細胞の自死など、科学と文明がもたらす生命の危機と変容を第一線6氏と徹底討議。NHK「未来潮流」のもととなった対話に加筆。柴谷篤弘ほか。 ●—7241-8(1999.2)

佐倉 統

### 生命の見方

日本図書館協会選定図書

四六判208頁 上製 本体 2136円＋税

生命とは何か？ 科学とは何か？ 最先端テクノロジーの地平の彼方に浮かび上がった難問に、サル・進化・人工生命と「科学」のフィールドを疾走する新進気鋭の科学者が挑戦する科学エッセイ。 ●—7212-8(1995.7)

松田英毅・松田正典

## 科学文明を生きる人間

A5判209頁 並製 本体 1500円＋税

河合隼雄 ●第一回新潮学芸賞受賞

## 明恵 夢を生きる

日本図書館協会選定図書

四六判320頁 上製 本体 2000円＋税

滝口俊子

## 子どもと生きる心理学

日本図書館協会選定図書

四六判238頁 上製 本体 1748円＋税

秋山さと子

## 永遠の子どもたち

日本図書館協会選定図書

四六判252頁 上製 本体 2136円＋税

石川光男

## 複雑系思考でよみがえる日本文明

日本図書館協会選定図書

四六判266頁 上製 本体 2400円＋税

岡野守也

## コスモロジーの創造

禪・唯識・トランスパーソナル 日本図書館協会選定図書

四六判241頁 上製 本体 2200円＋税

安藤 治

## 心理療法としての仏教

禪・瞑想・仏教への心理学的アプローチ

四六判314頁 上製 本体 2800円＋税

藤 能成編著

## 仏教と心理学の接点

龍谷叢書37 浄土心理学の提唱

A5判272頁 上製 本体 2800円＋税

大住 誠

## うつは、治す努力をやめれば治る

箱庭療法と森田療法の併用の事例と実践

四六判300頁 上製 本体 2800円＋税

科学文明は人類に大きな恩恵をもたらす一方、精神の崩壊、核戦争、環境破壊という危機を招いた。こうした課題に 대응するために、仏教の視点から真の人間形成のあり方を問いかける。 ●—7110-7(2006.7)

いかに夢を見、いかに生きるか？ 夢に対する態度によって、夢も変われば人間も変わる。夢分析の大家が、その臨床経験のすべてを傾け、高僧明恵の『夢の記』に自己実現の軌跡を追う。 ●—7163-3(1987.4)

心理臨床と幼児教育に長年携わってきた著者による、すべての親・保育者への最良のアドバイス。「本書を読めば子どもの見方だけでなく、親自身の人生の見方も変わる」(河合隼雄・序文)。 ●—7228-9(1996.10)

「人間」に尽きぬ興味を抱き、やさしい目で揺れ動く子どもたちの心の動きを見つめ続けた著者が選した、夢やたましい、ファンタジーや神話にひそむ、「人間の本质」とらえた珠玉のエッセイ集。 ●—7217-3(1994.9)

大反響を呼んだNHKラジオ「複雑系の自然観と縄文人の知恵」をもとにした書き下ろし。自然科学者の目で縄文から現代までを見直し、自信喪失した現代日本人に文明再生の指針を示す。 ●—7247-0(1999.10)

とめどなく進行する現代日本人の心の荒廃を、どうすればくい止められるのか。日本にトランスパーソナル心理学を導入した著者が、世界の価値と人間の倫理を回復する新たな知を提唱。 ●—7259-3(2000.6)

禅や瞑想が精神医療の最前線にいかん活用されているかを欧米の動向を主に集約し、数千年の叡智の体系としての仏教と、西洋心理学との接点を模索する。心理療法の今後の可能性を大胆に探る試み。 ●—8163-2(2003.10)

日本人に最も馴染む心理学、「浄土心理学」の可能性！日本人の生き方や文化に大きな影響を与えてきた浄土教。浄土教を中心とした日本人の心を心理学から解明する、新たな視座を提唱する一冊。 ●—2459-2(2016.7)

自力と他力の統合をめざし、ユング派カウンセリングを経て、箱庭瞑想療法と外来森田療法を併用する独自の療法を開発。うつ(神経症)や境界例(ヒステリー)など7つの事例と理論を紹介。 ●—5695-1(2015.1)

平井孝男

**仏陀の癒しと心理療法**

20の症例にみる治療力開発

四六判438頁 並製 本体 2700円+税

うつ病、摂食障害、統合失調症など、心の病を治療する鍵は仏教にあった。長年の臨床経験をもち、治療過程をわかりやすく解説。薬や脳科学にも触れつつ、仏教思想と精神医療の関係を解明する。 ●—5696-9(2015.3)

上田紀行

**癒しの時代をひらく**

四六判248頁 上製 本体 2000円+税

癒しブームはなぜ起きたのか? 多重人格、人格改造セミナー、マインドコントロールといった「癒し」をめぐる現象の意味と危険性を解明し、より大きな可能性を切りひらく話題のエッセイ集。 ●—7230-2(1997.3)

上田紀行

**日本型システムの終焉**

自分自身を生きるために 日本図書館協会選定図書

四六判244頁 上製 本体 2000円+税

日本を震撼させた金融破綻、少年犯罪、薬害エイズ、沖縄問題、宗教事件に通底するものは何か。閉塞するシステム社会の悪循環の構造を解明し、個人の価値を創出する生き方を提唱する感動の論集。 ●—7234-0(1998.4)

鳥山敏子・上田紀行

**豊かな社会の透明な家族**

日本図書館協会選定図書

四六判256頁 上製 本体 1800円+税

暴力、いじめ、競争、アダルトチルドレン、性、からだとエロス、母性・父性など、子どもと家族の危機の背後にある日本社会全体の根本問題を熱く論じ、新たな社会像・人間像を探る創造的対話。 ●—7237-1(1998.6)

立川武蔵

**ブッダの哲学** 現代思想としての仏教

四六判240頁 上製 本体 2600円+税

この時代の困難をどう乗り越えるか。西欧合理思想が破綻に瀕し、科学への絶対的信頼感が揺らぐ今、自身の宗教体験をもとに、ブッダの教えの真髄を現代によみがえらせる新しい仏教哲学の誕生。 ●—7236-4(1998.6)

永沢 哲

**野生のブッダ**

日本図書館協会選定図書

四六判312頁 上製 本体 2800円+税

人類の蓄積してきた野生の知恵の宝庫には、無尽蔵の富が眠っている。古代の賢者から、アメリカインディアン、アボリジニ、チベットまで、その無限の可能性を拓き、新しい叡智のありかを示す。 ●—7238-8(1998.9)

町田宗鳳

**文明の衝突を生きる**

グローバルイズムへの警鐘

四六判226頁 上製 本体 2000円+税

14歳で突如出家し、35歳で寺を出て無一物でアメリカに渡った著者の体験的米日比較文明エッセイ。苦学してハーバードを卒業、プリンストン大学の教師になるまでの波瀾万丈の物語。 ●—7258-6(2000.4)

町田宗鳳

**エロスの国・熊野**

四六判228頁 上製 本体 2600円+税

日本人の魂の原郷の秘密を多面的に解き、現代人に生きる指針を与える、2度の出家を体験した異色宗教学者による書き下ろし。立花隆氏(週刊文春)ほか多くの書評で絶賛の名著。河合隼雄氏推薦。 ●—7139-8(1996.3)

町田宗鳳

**法然** 世紀末の革命者

日本図書館協会選定図書

四六判242頁 上製 本体 2300円+税

天災と内乱の間の時代。死は万人に平等におとずれる癒しであることを説いて旧仏教のヒエラルキーを打ち破り、日本に宗教革命をもたらした法然の思想の全貌に初めて光を当てる。長編書き下ろし論考。 ●—7140-4(1997.3)

中村生雄

## 日本の神と王権

A5判264頁 上製 本体 3107円+税

〈霊〉と〈性〉をモチーフに天皇制の深層のダイナミズムを解明した日本王権論の傑作。性的存在としての采女、苦しむ神、漂泊する魔王、女装する天皇などを通して歴史を貫く不可視の構造を探究。 ●—7136-7(1994.4)

中村生雄

## 折口信夫の戦後天皇論

A5判266頁 上製 本体 3689円+税

折口信夫が敗戦後の日本人の精神的支柱として求めた神道宗教化の深層の動機を、その古代学と関連して論じた画期的論考。柳田国男との比較を含む、今谷 明氏(朝日新聞)ほか絶賛の労作。 ●—7138-1(1995.11)

中村生雄

## 祭祀と供犠 日本人の自然観・動物観

A5判303頁 上製 本体 3200円+税

動物を神への捧げものとする西洋の供犠との対比から、日本の供犠の文化を論じ、殺生・肉食の禁止と宗教との関わりに新たな光を当てる。稲作文化を超える日本人の多様な民俗と信仰を解明。 ●—5625-8(2001.3)

上山春平

## 天皇制のデザイン

四六判304頁 並製 本体 2700円+税

そもそも天皇という言葉はどこから来たのか？ 天皇制とは何なのか？ 稀代の政治家・藤原不比等の《悪魔的》政治力に着目し、天皇制の原形である律令制を、制作者主体の側から分析。 ●—5707-1(2019.4)

上山春平

## 天皇制の深層

四六判296頁 並製 本体 2700円+税

天皇制成立のカギとされる「神祇革命」とは何か？ 記紀、律令制などの考察から、日本の深層文化を探る『天皇制の深層』ほか、『大嘗祭について』など、改元に係る論文収録。 ●—5708-8(2019.5)

郡島恒昭

## 釈迦に説法

坊さんジャーナリストの平和論

四六判276頁 並製 品切

九州靖国違憲訴訟・七三一部隊展など、平和運動に取り組む元新聞記者・浄土真宗僧侶の半生を綴った情熱あふれるエッセイ。西日本新聞で大好評の名物コラム「釈迦に説法」ほかを収める。 ●—8149-6(1999.11)

末木剛博

## 東洋の合理思想 (増補新版)

A5判265頁 上製 品切

東洋にも独自の合理思想があることを初めて厳密な論理形式を用いて解明。中国語、韓国語などにも訳され世界的にも広く影響を与えた名著に、書き下ろしを加え面目を一新。解説・野矢茂樹。 ●—5621-0(2001.3)

マッソン・ウルセル著 小林忠秀訳 末木剛博監修

## マッソン・ウルセル 比較哲学

A5判240頁 上製 本体 3800円+税

フランスの著名な東洋哲学者の古典的名著の原著からの初の邦訳。実証主義的立場から、西洋・インド・中国の三大文化圏の思想を比較。西洋優越の風潮を自省する。解説・訳註を付した恰好の入門書。 ●—7222-7(1997.6)

八木誠一

## 宗教とは何か 現代思想から宗教へ

日本図書館協会選定図書

四六判270頁 上製 本体 2800円+税

理性と言語による現実把握の限界をどう超えるか。実存主義、構造主義、現象学からフロイト、ウイトゲンシュタイン、京都学派の哲学までを総覧し、それを超える現代人のための宗教を指し示す。 ●—7239-5(1998.9)

八木誠一

## パウロ・親鸞＊イエス・禅 (増補新版)

四六判324頁 上製 品切

キリスト教と仏教の基本構造と、両者における絶対者と人間の関わり方の共通する立場を明らかにし、宗教そのものの根源を解明した不朽の名著。宗教の「実践論」を増補する。

●—1052-6(2000.5)

リチャード・H・ドラモンド著 八木誠一・田中友敏訳

## ブッダとイエス・キリスト

日本図書館協会選定図書

四六判272頁 上製 本体 2600円＋税

広い視野から宗教間対話に取り組む宗教学者が、最新の研究成果をもとにブッダとイエス・キリストの生涯とその思想を解明。仏教とキリスト教の新たな出会いの地平を拓く画期的論考。

●—1057-1(2007.7)

八木誠一

## 場所論としての宗教哲学

仏教とキリスト教の交点に立つて

A5判298頁 上製 本体 3500円＋税

イエスの復活は文字通りの意味での甦りではない。西欧で主流を占めてきた人格主義の神理解から、仏教とキリスト教に共通する神理解を「場所論」として提示し、人類普遍の宗教の立場を考察する。

●—1055-7(2006.12)

箕浦恵了／M・バイ／H・M・バルト編

## 仏教とキリスト教の対話

浄土真宗と福音主義神学

A5判322頁 上製 品切

浄土真宗と福音主義神学とのかかわりをテーマに、ドイツで行われた日独共催のシンポジウムの全記録。「恩寵」と「他力」、「信仰のみ」と「ただ念仏」など、両宗教の驚くべき類似性に迫る白熱の討論。

●—7127-5(2000.11)

箕浦恵了／宮下晴輝／M・バイ編

## 仏教とキリスト教の対話Ⅱ

浄土真宗と福音主義の信仰

A5判298頁 上製 品切

キリスト教と真宗の「異質の信」の核心に迫り、宗教間対話の促進、宗教的実践の課題を探るシンポジウム。前著『仏教とキリスト教の対話』に続く第2弾。大河内了義、寺川俊昭、H・M・バルトほか。

●—7120-6(2003.12)

H・M・バルト／M・バイ／箕浦恵了／門脇 健編

## 仏教とキリスト教の対話Ⅲ

浄土真宗と福音主義の信仰

A5判281頁 上製 本体 4300円＋税

現代における宗教の衰退と変貌にどう対応するのか。「世俗化からの挑戦に直面する仏教とキリスト教」をテーマに、前2巻の討論を発展・深化させた待望の最終巻。安富信哉、宮下晴輝、木越 康ほか。

●—7119-0(2004.3)

マルティン・レップ／井上善幸編

## 問答と論争の仏教

宗教的コミュニケーションの射程

A5判290頁 上製 本体 3500円＋税

仏教の展開に重要な役割を果たした問答や論議、宗論など、教義内容よりもその形式に着目した共同研究の成果。桂 紹隆、ツルティム・ケサン、植 淳證、寺井良宣、安永祖堂、内藤知康ほか。

●—5684-5(2012.1)

南山宗教文化研究所編

## キリスト教は仏教から何を学べるか

四六判318頁 上製 本体 3800円＋税

東西の宗教者10名余による白熱の「宗教対話」と論考。日本において仏教はキリスト教にどのような影響を与え、また与えられたか。J・ハイジック、八木誠一、L・ゴメス、西村恵信ほか。

●—7134-3(1999.3)

磯前順一／山本達也編

## 宗教概念の彼方へ

A5判445頁 並製 本体 5000円＋税

古き常識を破り、露わになった新しい現実のなかで、宗教はどのように語り直されていくべきか。ジャック・デリダ、ジュディス・バトラ、ホミ・バーバなどによる、現代の必読書。

●—8174-8(2011.9)

J・ヴァッハ著 渡辺 学ほか訳

## 宗教の比較研究

シリーズ叢書 現代世界と宗教①

A5判302頁 上製 品切

エリアーデと並ぶシカゴ学派の創始者が、現代宗教学を初めて体系的に説いた記念碑的名著。ほかにJ・M・キタガワによる「ヴァッハの生涯と思想」、R・ガードナーによる書き下ろし解説を付す。 ●—7081-0(1999.10)

林 淳/P・スワンソン編

## 異文化から見た日本宗教の世界

シリーズ叢書 現代世界と宗教②

A5判312頁 上製 品切

欧米の第一線の日本研究者による斬新な論集。近代工場に祭られた神、キリスト教と祖先崇拜、宗教儀礼とジェンダー、日本人は現世主義的かなど、日本人の知らない日本宗教の諸相。 ●—7211-1(2000.9)

大河内了義

## 異文化理解の原点

A5判292頁 上製 本体 3107円+税

文化を異にする人間が、お互いを本当に理解することは可能か。長年ドイツで暮らした著者が、相互理解の可能性を探る中で、包括的な人間理解のパラダイムとして仏教の人間観を提唱する。 ●—7836-6(1995.9)

島田裕巳

## 父殺しの精神史

日本図書館協会選定図書

四六判216頁 上製 品切

フロイト、フレイザー、エリアーデらが犯罪捜査の手法で探究した唯一の謎(父殺し)。「謎解き西欧精神史」のかたちで死と再生の意味を追求し、多くの紙誌で絶賛された、話題の著者の代表作。 ●—7213-5(1993.6)

五十嵐 一

## イスラーム・ラディカリズム

私はなぜ「悪魔の詩」を訳したか

四六判244頁 上製 品切

戦争と暴力の嵐が吹き荒れる湾岸諸国。中東のアラブ国家を覆うイスラーム思想の精髓とは何か。自らも凶刃にたおれた著者が、イスラームの秘める深い知恵を政治・文化・社会に即して論じる。 ●—7178-7(1990.7)

ルース・N・アンシェン著 船木 裕訳

## 悪魔の解剖 人間における悪の研究

四六判242頁 上製 本体 2800円+税

人間が人間である限り、「悪」は絶対に抹殺できない。西欧精神史における悪の思想を論じ、人間の内に潜む悪魔の本質をえぐり出すことによって、現代文明の抱える危機を問い直す哲学エッセイ。 ●—7233-3(1997.12)

H・スコリモフスキー著 間瀬啓允・矢嶋直規訳

## エコフィロソフィ 21世紀文明哲学の創造

四六判362頁 上製 本体 3800円+税

「科学と経済」を価値尺度とする20世紀が終わり、新たな環境哲学の時代が始まった。世界12カ国で翻訳された名著をさらに体系的に発展させ、新しい「文明と自然」観を提唱する21世紀の思想書。 ●—7245-6(1999.3)

布施英利

## 死体を探せ!

バーチャル・リアリティ時代の死体

四六判228頁 上製 品切

死体のない世界の虚構性を撃つ(読売)、死体の側から迫る目(毎日)などマスコミ騒然! 現代の脳化都市から消えた死体は、いったいどこへ行ったのか? 消えた死体の謎を解く、解剖学的現代文明論。 ●—7208-1(1993.7)

布施英利

## 図説・死体論

A5判144頁 上製 本体 1748円+税

『死体を探せ!』図録篇。事故・災害・戦争から解剖室、絵画の中の死体、チベットの鳥葬まで、あなたはこの衝撃を直視できるか。人間の真実の姿を、図版100点余で構成する話題の本。 ●—7209-8(1993.10)

布施英利

## ポスト・ヒューマン

日本図書館協会選定図書

四六判208頁 上製 本体 1942円+税

テクノロジーによってヒトから新しい肉体に進化しつつある人類は、どこへ行くかとしているのか。死体をキーワードに90年代を解剖してきた著者が、新しい知のスタイル=ポスト・ヒューマンを提唱。 ●—7218-0(1995.3)

高橋英之

## 思想のソフトウェア

ソフト宇宙論をモデルとして

四六判256頁 上製 本体 2500円+税

既成の哲学や宗教はもういらない! 『コンピュータのなかの人類』で話題を呼んだ著者が、コンピュータや最新宇宙論を駆使して語る「自分のための思想の作り方」。著者は日大理工学部教授。 ●—7202-9(1993.4)

那須英勝・本多 彩・碧海寿広編

## 現代日本の仏教と女性

文化の越境とジェンダー 龍谷大学アジア仏教文化研究叢書8

四六判256頁 並製 本体 2200円+税

仏教界に今なお根強く残る性差別の実態に、国内外の研究者と現場の僧侶たちが鋭く迫る。多文化共生が求められる現代社会に、ジェンダーの視点から日本仏教の未来を問う革新的な一冊。 ●—6016-3(2019.3)

小倉孝誠

## 〈女らしさ〉はどう作られたのか

四六判280頁 上製 品切

「女の身体の見方」という、社会と文化が作りあげた幻想を、女自身がなぜ受け入れてきたのか。現代市民社会の原型である19世紀フランスを題材に、女の身体の表象をスリリングに読む。図版多数。 ●—7246-3(1999.4)

山下明子編

## 日本的セクシュアリティ

フェミニズムからの性風土批判

四六判204頁 上製 本体 2136円+税

近世の公娼制度、戦時下の従軍慰安婦、現代アジア諸国への性侵略を生み出してきたものは何か。愛と性を欠落させた日本の性風土の歴史的構造をラディカルに究明。山下、源、大越の書き下ろし論考。 ●—7186-2(1991.12)

藤原成一

## 仏教ごっこ日本 もうひとつの精神誌

日本図書館協会選定図書

四六判250頁 上製 品切

日本に本来の仏教はあったか。レプリカ天国日本には仏教もどき、仏教まがいがだけ横行していたのではないか。仏教国日本の仏教の正体を古典の中にさぐり仏教の質を問い直す痛快な日本文化論。 ●—8044-4(1991.2)

藤原成一

## 風流の思想

日本図書館協会選定図書

四六判288頁 上製 本体 2524円+税

美意識と生き方のモデル「風流」でたどる日本精神史。万葉集、西行、ばさら、良寛……自然との付き合い方の変遷から精神構造をさぐる。「仏教ごっこ日本」の著者による異色の日本文化論。 ●—8067-3(1994.7)

藤原成一

## 宗教を考えるヒント

四六判216頁 上製 本体 2330円+税

季刊『仏教』の評判の「後記」に大幅に加筆。こころ・宮澤賢治・マンダラ・自然葬・脳死・夢・エロス・癒しといった50のキーワードで、現代社会を批判し、宗教との付き合い方を考える辛口コラム集。 ●—8074-1(1995.11)

藤原成一

## 癒しの日本文化誌

日本図書館協会選定図書

四六判322頁 上製 本体 3400円+税

大胆な手法で文化史を組み換えた画期的日本文化論。人間の営みは労働と癒しに二分され、衣食も睡眠も性も運動も遊戯も物語も宗教も、すべては癒しであるという視点から、日本文化史を再考する。 ●—7232-6(1997.11)

藤原成一

## 癒しの地形学

四六判256頁 上製 品切

南の熊野からまっすぐ北へ、吉野、長谷、清水、大原へと歩き、場所に秘められた治癒力を読みとる、いのち洗われる聖地巡礼。癒しの風土学。好評を博した『癒しの日本文化誌』に続く第2弾。 ●—7240-1(1999.3)

藤原成一

## 癒しのイエ 日本文化の5つの原理

四六判347頁 上製 本体 3200円+税

日本の住空間の基本原則——締・縁・間・奥・離。それは私たちの住まいや生き方から文化全般までを貫く発想の基礎であった。この5つのキーワードから読み解く挑発的日本文化論。 ●—5637-1(2005.3)

藤原成一

## 京都 癒しのまち

四六判203頁 上製 本体 1800円+税

なぜ、日本人は京都にこころ惹かれるのか。「癒しのまち」京都形成の秘密を解き明かし、その風土とところにふれようと試みた新発見あふれる京都案内。 ●—5614-2(2006.3)

藤原成一

## 天狗はうたう 後白河院の癒しの生涯

四六判244頁 上製 本体 2000円+税

生きてゆく上で人間にはどれほどの癒しが必要か。源平の争乱期、力を揮う者を手玉にとりながら、音曲に神仏に人事にあそんだ異色の帝王後白河院。そのしなやかな生涯の秘訣を探る。 ●—5627-2(2001.3)

藤原成一

## 弁慶 英雄づくりの心性史

四六判200頁 上製 本体 2200円+税

源義経のいるところには必ず登場し、縦横無尽の活躍をする怪僧、武蔵坊弁慶。はたして弁慶は存在したか？ 弁慶はいつ、誰が何のためにつくったのか。時代とともに変身する人気者の実像に迫る。 ●—5634-0(2002.3)

藤原成一

## 太郎冠者、まかりとおる

四六判272頁 上製 本体 2300円+税

狂言舞台で、常に主人に従いつつ自分らしく生き、滑稽に立ちまわる太郎冠者にこそ、本当の日本人らしさを見出すことができる。著者のユニークな視点から問い直す、画期的な日本人論。 ●—5635-7(2003.3)

藤原成一

## かさねの作法

日本文化を読みかえる

四六判320頁 並製 本体 2200円+税

逸脱した発想、行儀悪い作法が日本文化を豊かにし、健全にした。正統を挑発し、石頭をゴケにする「かさね」こそ、日本の想像力の源泉である。古典文化を脱構築する型破りの日本文化史。 ●—5642-5(2008.11)

反靖国宗教者連絡会編

## 宗教的人格権の確立

A5判356頁 並製 本体 4500円+税

宗教者として、信教の自由をいかに守り得るか。現在進行中の3件の裁判資料を収載し、仏教者とキリスト者からの解説を付す。本書中の裁判には宗教の本質が、鋭く問われている。 ●—7166-4(1987.7)

朝倉昌紀

## 悲のまなざしの教育

四六判200頁 並製 本体 1600円+税

「ガンバレ」と叱咤する競争社会と近代教育のさまざまな歪みを具体的に考察し、浄土真宗の視点にたつ仏教の人間観、宗教教育の本来の姿をわかりやすく示す気鋭の著者の熱意あふれるエッセイ。 ●—8156-4(2001.3)



加藤西郷

宗教と教育 子どもの未来をひらく

四六判242頁 上製 本体 2600円+税

龍谷大学で長年教職課程を担当する著者が、宗教不在の日本の教育界の歴史と現状、さらに人権問題を問い直し、宗教批判能力をふくむ正しい宗教理解を育てる方法を明示する。

●—8152-6(1999.9)

真城義磨

## 危機にある子どもたち

宗教教育の本質を問う

四六判93頁 上製 本体 1000円+税

不登校や引きこもり、さらには傷害や殺人までも犯す子どもが増え続けている現代。子どもたちを健全に育てるにはどうすればいいのかを、宗教教育の本質を踏まえた上で思案する。

●—8991-1(2005.9)

真城義磨

## 真の人間教育を求めて

日本図書館協会選定図書

四六判216頁 上製 本体 1800円+税 **電子書籍版**

子どもたちの心を健やかに育てるにはどうすればいいのか。長く宗教教育を実践してきた著者が、仏教の説く5つの智慧を基礎として確立した、真の人間教育の原点を説き明かす。

●—8993-5(2005.12)

鳥山敏子

## 親のしごと 教師のしごと

四六判248頁 上製 本体 1800円+税

教育に必要なのは、親のしつけでも教師の管理でもない。家族・学校・社会の現在を論じ、戦後教育が見落としてきた教育問題の本質を、正面から問い直す、崩壊の時代を生きる親と教師の必読書。

●—7255-5(2000.3)

鳥山敏子

## 生まれかわる家族

日本図書館協会選定図書

四六判240頁 上製 本体 1800円+税

家族が本当に分かりあうにはどうすればいいのか？ いじめ、不登校、閉じこもり、幼児虐待、自殺衝動などに悩むすべての親子における『賢治の学校』の著者による元気が出るメッセージ。

●—7229-6(1997.3)

園田雅春

## 学校はドラマがいっぱい

育てよう自尊感情 日本図書館協会選定図書

四六判202頁 上製 本体 1800円+税

自分を愛する自尊感情を育て、学級崩壊をぶっ飛ばせ！ドラマのある教室づくりをめざす大阪・高槻市の前小学校教師が、子どもたちとの心の触れ合いを描くヒューマンエッセイ。《鹿島和夫氏推薦》

●—8157-1(2002.4)

鹿島和夫

## せんせいひみつやで

日本図書館協会選定図書

四六判214頁 上製 本体 1456円+税

おひるねが大好きなお母さん、金たまのかきかたを教えてくれるお父さん、生まれてくる赤ちゃんのこと…。1年生の詩とエッセイで綴る、楽しい子どものこころの成長記録・家庭篇。

●—8071-0(1995.7)

鹿島和夫

## しあわせのおなら

日本図書館協会選定図書

四六判220頁 上製 本体 1456円+税

『一年一組先生あのおね』で話題になり、長年の教育実践により読売教育賞を受賞した著者のエッセイ集。学校のできごとを中心に、子どもたちとのこころの交流を綴った、鹿島学級のこころの実践記録。

●—8072-7(1995.7)

鹿島和夫

## ぼくの保育園日誌

四六判245頁 上製 本体 1900円+税

安全な給食・自立心を育てる自由保育——神戸「太陽の子保育園」前園長が、幼児教育への熱い思いと真摯な取り組みをユーモラスに綴ったエッセイ集。保育士さん、ご両親へお薦めの一冊。

●—8158-8(2002.3)

川畑愛義

## 子育てのヒント やさしく・賢く・健やかに

四六判240頁 並製 本体 1300円+税

やさしい子になってほしい、賢く育ててほしい、そんな願いをもつすべての親たちへ、医学博士の一口アドバイス。子育てのための的確なヒントをわかりやすく説く。お母さんには必読の一冊。 ●—8031-4(1987.1)

田島征三

## 日の出の森をたすけて

子どもの未来を奪うゴミ処分場 日本図書館協会選定図書

四六判136頁 上製 本体 1600円+税

東京・日の出の森からフユイチゴもサンショウオオも消えた。水源地のゴミ処分場からダイオキシンが漏れだす——いのちを奪うゴミ行政を糾す、画家・絵本作家のエッセイ。カラ一口絵10頁。 ●—8154-0(2000.3)

田端 明

## 石路の花咲く

詩歌に刻むハンセン病回復者の人生

四六判177頁 上製 本体 1600円+税

ハンセン病の発病、強制隔離、失明——絶望の中で慟哭の涙を流した著者が、母と故郷への思慕を詩歌に刻み、仏教の信仰により生きる喜びを見出した人生を綴る自伝エッセイ。中国新聞で絶賛。 ●—8658-3(2002.7)

八木哲郎

## ボランティアが世界を変えた

四六判228頁 上製 品切

大震災の神戸、「たんぼほの家」のわたぼうしコンサート、仙台の「ありのまま舎」からネパール、バングラデシュまで、抜群の行動力で活躍する日本のボランティアを取材した感動のルポ。 ●—7226-5(1996.6)

## 葬送の自由をすすめる会編 山折哲雄ほか シンポジウム タゴールとガンディー再発見

A5判89頁 並製 本体 952円+税

インドを代表する思想家であり、現代文明の危機をいち早く警告したタゴールとガンディーの思想に再び光を当て、テロの恐怖、民族紛争など、21世紀の危機を乗り越える道を探る。 ●—5629-6(2001.10)

櫻井義秀編

## しあわせの宗教学

ウェルビーイング研究の視座から

四六判346頁 上製 本体 2500円+税

近年のウェルビーイング研究の動向を踏まえ、宗教学の立場から、はじめて幸せの問題に切り込み、宗教が人を幸せにするとはどういうことなのかを問う、画期的な論集。 ●—5703-3(2018.1)

# 生と死・社会福祉

日本仏教社会福祉学会編

## 仏教社会福祉入門

A5判210頁 並製 本体 1800円+税

清水恵美子

## いのちの教育

日本図書館協会選定図書

高校生が学んだデス・エデュケーション

A5判189頁 上製 本体 1800円+税

マージィ・ヒーガード作・画 清水恵美子訳

## 「さよなら」を大切な人にいうんだ

A4判32頁 並製 本体 1000円+税

マージィ・ヒーガード作・画 清水恵美子訳

## どんなに恐ろしかったかいいたいんだ

A4判32頁 並製 本体 1000円+税

マージィ・ヒーガード作・画 清水恵美子訳

## 別れたパパとママに会いたいんだ

A4判32頁 並製 本体 1000円+税

伊東波津美

## 70人の子どもの母になって

お寺ではじめて里親生活

四六判110頁 並製 本体 1200円+税

松永信也

## 風になってください

視覚障がい者からのメッセージ

A5判142頁 並製 本体 1400円+税

松永信也

## 風になってくださいII

視覚障がい者からのメッセージ

A5判94頁 並製 本体 1000円+税

貧困、差別、障がい、老い、子育てから高齢者福祉まで。仏教社会福祉は、現代の社会問題にどう応えるのか。仏教社会福祉の原理と歴史、担い手と実践の視点で語る、初めての入門書。 ●—7019-3(2014.3)

未来をひらく子どもたちへ、いのちの尊さを伝えたい!——性と食・結婚と出産から老病死まで、高等学校家庭科での5年間に及ぶ貴重な教育実践記録を、ご両親・教育関係者へ初公開。 ●—5606-7(2003.2)

身近な愛する人を亡くした子供が、色を塗り、書き込むことによって、心を癒し、悲しみを乗り越えられるようになる、米国で話題になった自分で創るワーク絵本を翻訳。いのちの実践教育にも最適。 ●—5604-3(2001.2)

予期しない災害や事故にあった悲嘆を癒すための幼児向け塗り絵式ワーク絵本。全米ベストセラーを翻訳した話題の絵本シリーズ第2作。いのちの教育実践の教材にも最適の、あなただけの絵本。 ●—5607-4(2003.3)

両親が離婚した子どもたちのこころを癒すための幼児向け塗り絵式ワーク絵本。全米ベストセラーを翻訳した話題の絵本シリーズ第3作。いのちの教育実践の教材にも最適の、あなただけの絵本。 ●—5608-1(2003.3)

親と暮らせない子を預かる里親になって20年余。様々な事情を抱えた里子たちや実子との苦労や喜びにあふれた毎日から、「親子」の繋がりがや、共に暮らし支えあう「家族」の存在を見つめる。 ●—8967-6(2009.5)

難病で視覚を失った著者が、見えなくなって初めて見えてきた世界とは。ユーモアたっぷりに綴られる体験。健常者と視覚障がい者がともに歩む社会を願う著者の心あたたまるエッセイ。 ●—5613-5(2004.11)

「読んで号泣した」「忘れられない本に出会えた」と大反響! 全盲の著者が「見えない」世界を豊かで繊細な感性で伝える、ベストセラー・エッセイ集の第2弾。 ●—5618-0(2013.1)

引田めぐみ・引田悦子著 青木 馨編

●第7回私の物語・日本自史大賞優秀賞受賞

今が楽しいんだよ めぐみのガン日記

四六判190頁 上製 本体 1600円＋税

作業療法士の著者は、25歳の時突然脳腫瘍を宣告され、27歳でこの世を去った。最期まで明るく前向きに生きた娘の輝くいのちを、遺書や日記をもとに、母が住職らの支えで一書にまとめた感動の書。 ●—5612-8(2003.8)

森岡正博

増補決定版 脳死の人 生命学の視点から

日本図書館協会選定図書

四六判288頁 上製 本体 2400円＋税

日本の脳死論議の地平を切り拓き、方向を決定づけた名著に、「移植前夜、医師たちを前にしての講演」と「子どもの脳死問題」の2篇を増補。脳死・臓器移植問題を考えるための必読書。 ●—5603-6(2000.7)

広島青年僧侶春秋会編

今だから伝えたい 別れからの出発

四六判174頁 並製 品切

愛する人・ペットとの死別、離婚・夜逃げなど、さまざまな別れを見つめ、人生の再出発を歩む人間ドラマ27編。青年仏教者の呼びかけに応じて全国から寄せられたエッセイ。朝日・中国新聞ほかで絶賛。 ●—5631-9(2001.12)

カール・ベッカー

死の体験 臨死現象の探究

日本図書館協会選定図書

四六判227頁 上製 本体 2330円＋税

「臨死体験について書かれた最高の本の一冊」(遠藤周作氏)。NHK番組「臨死体験」で立花隆氏と共演し話題を呼んだ、世界的権威による日本語書き下ろし。フランク永井氏ほか具体例を満載。 ●—7198-5(1992.6)

カール・ベッカー編著

生と死のケアを考える

日本図書館協会選定図書

A5判336頁 上製 本体 2800円＋税

日本社会の崩壊の根底にある個人の「死生観」のゆらぎをどう建て直すか。ターミナルケア、エイズ、法医学、心理学、宗教などの視点から「人の死」を見つめ、命の本質を問う、第一線12人による力作論考集。 ●—7264-7(2000.9)

坂井祐円

仏教からケアを考える

A5判320頁 上製 本体 6000円＋税

従来ケア論では語られていなかった死後の問題、死者の役割とその意味を、仏教思想に基づいて提言する。タブーに踏み込む、画期的ケア論。 ●—5701-9(2015.5)

坂井祐円

お坊さんでスクールカウンセラー

四六判192頁 並製 本体 1800円＋税

“子どもの心”に向き合う僧侶(NHKおはよう日本)と紹介された著者が小中高の現場で綴る「死者」をめぐる全7話。死をタブー視する学校の空気に風穴をあける、異色のエッセイ。 ●—8767-2(2018.4)

佐々木恵雲

臨床現場の死生学

関係性にみる生と死

A5判276頁 上製 本体 3800円＋税

誰にでも訪れる死を「人称別の死」としてそれぞれに考察し、死を理解するには科学的視点だけではなく、哲学・社会学・宗教学等の学際的・総合的な視点が必要であることを提唱する画期的研究。 ●—8175-5(2012.12)

D・V・ハート著 井桁 碧訳

死の学び方

日本図書館協会選定図書

四六判303頁 上製 本体 2718円＋税

揺れ動く死の定義から臓器移植、癌告知、ターミナル・ケア、葬儀の値段、死への準備教育、死ぬ権利と安楽死、遺言の書き方まで、現代人が知るべき死についてのすべての事柄。 ●—7188-6(1992.11)

信楽峻磨

## 仏教の生命観

A5判266頁 上製 本体 4660円+税

念仏者の社会的役割を模索し続ける著者が、脳死、臓器移植、ホスピス・ケアなどの現代社会の重要な問題を取りあげ、仏教者の立場からの提言と念仏者の役割について具体的に説き明かす。 ●—7831-1(1994.12)

松長有慶

## 生命の探究 密教のライフサイエンス

四六判248頁 上製 本体 1942円+税

脳死・臓器移植問題から遺伝子操作まで、現代人が直面する生命をめぐる課題に、密教の第一人者がわかりやすく応える。空海密教、マンダラのコスモロジーを現代に蘇らせた話題の密教生命論。 ●—7135-0(1994.2)

藤原成一

## 空っぽ 生き方のこころみ

四六判272頁 並製 本体 2000円+税

きれいに生きたい。きれいに死にたい。本書は、かつて流行した「清貧の思想」や「無為のすすめ」からさらに一歩進め、無形・無身・無心のはての「空っぽ」へと誘うものである。 ●—5646-3(2009.12)

武田龍精編

## 仏教生命観からみたいのち

人間・科学・宗教ORC研究叢書1

A5判253頁 上製 本体 3600円+税

『仏教生命観に基づく人間科学の総合研究』をテーマに掲げた龍谷大学の研究プロジェクトの成果をまとめた叢書の第1冊目。創設シンポジウムの模様、講演、研究論文を取録。命の尊さを探究する書。 ●—2427-1(2005.7)

鍋島直樹・長上深雪・嵩 満也編

## 仏教生命観の流れ 縁起と慈悲

人間・科学・宗教ORC研究叢書2

A5判246頁 上製 本体 3600円+税

支え合って生かされていることに気付くとき、人はいのちあるものすべてに慈愛をもつようになる。こうした思想が、釈尊から親鸞に至るまでにどのように展開してきたかを議論する。 ●—2428-3(2006.6)

武田龍精編

## 宗教者と科学者の対話 媒介する「新しい哲学」を求めて

人間・科学・宗教ORC研究叢書3

A5判391頁 上製 本体 3600円+税

宗教と科学は、排他的にならずに対話を通して相互に関心を持ち、それぞれが築いた成果を、真摯に学びあうべきである。仏教思想を基盤として現代社会に一石を投じる、宗教者、科学者、必読の一冊。 ●—2429-5(2007.11)

鍋島直樹編

## 死と愛 いのちへの深い理解を求めて

人間・科学・宗教ORC研究叢書4

A5判318頁 上製 本体 3600円+税

緩和ケアとビハラー・自殺・心理療法と仏教との接点・浄土教における死と救いなどのテーマを究明する中で、愛するものとの別れ、死を通して見えてくる本当の優しさと願いを考察する書。 ●—2430-1(2007.1)

長上深雪編

●第3回日本仏教社会福祉学会奨励賞受賞

## 現代に生きる仏教社会福祉

人間・科学・宗教ORC研究叢書5

A5判231頁 上製 本体 3600円+税

現代社会における人間の命や暮らしをとりまく課題は、予想以上に深く大きい。仏教社会福祉はこれらにどう関わり、どう解くのか。その役割と社会的意義を真っ向から問う意欲的好書。 ●—2431-8(2008.1)

嵩 満也編

## 共生する世界 仏教と環境

人間・科学・宗教ORC研究叢書6

A5判246頁 上製 本体 3600円+税

現在差し迫った状況にある地球環境問題。その解決に向けて仏教はどのような視座を提供できるのか。ディープ・エコロジー、里山、南方熊楠など、さまざまな角度からの論考・議論も収めた注目の書。 ●—2432-5(2007.9)

鍋島直樹／井上善幸／マルコム・D・エッセル編

## 仏教と生命倫理の架け橋

人間・科学・宗教ORC研究叢書7

A5判237頁 上製 本体 3600円＋税

新しい生命操作が可能となった今、かけがえない命を守るために進むべき方向を、仏教の縁起の思想を範として考究する試み。また、親鸞の慈悲理解を通して人間愛の本質をも考察する。 ●—2433-2(2008.7)

鍋島直樹／海野マーク／岡田康伸／倉光 修編

## 心の病と宗教性 深い傾聴

人間・科学・宗教ORC研究叢書8

A5判284頁 上製 本体 3600円＋税

心に病を抱える人が求めるのは分析や解釈ではない。それは人と人のあいだの深い心の絆である。人間の苦悩とその救いへの道筋について、日米の心理療法と仏教の研究者とが力を合わせて探究。 ●—2434-9(2008.10)

武田龍精編

## 核の時代における宗教と平和 科学技術のゆくすゑ

人間・科学・宗教ORC研究叢書9

A5判410頁 上製 本体 3600円＋税

科学技術の進展がもたらした核の時代は、これまでとは根本的に異なる死生観を招いた。そのような死生観に応答できるパラダイムはいかなるものなのか、宗教間対話を通して探求する好著。 ●—2435-6(2011.1)

長上深雪編

## 仏教社会福祉の可能性

人間・科学・宗教ORC研究叢書10

A5判276頁 上製 本体 3600円＋税

人間とは何か、生きるとは何かを親鸞思想から問い起こす重要性を再認識させ、また、現代社会において、老病死をどのように捉えるかの指針となり、今後の仏教社会福祉の可能性を問う書。 ●—2436-3(2012.3)

鍋島直樹・玉木興慈・井上善幸編

## 地球と人間のつながり 仏教の共生観

人間・科学・宗教ORC研究叢書11

A5判389頁 上製 本体 3600円＋税

環境の世紀と呼ばれる21世紀、人間と地球が共生するために何が大切かを、仏教生命観の視座から解明し、命のかけがえのなさを見つめ、地球と人間の未来へのあり方を提言する書。 ●—2437-0(2011.9)

友久久雄編

## 仏教とカウンセリング

龍谷大学仏教文化研究叢書26

A5判288頁 上製 本体 3500円＋税

生老病死という、誰もが抱えている精神的な不安に向けて、宗教者はなにができるのか。仏教とカウンセリングの理論と実践を提示する。 ●—8172-4(2010.3)

佛敎大学四條センター編

## いのちを考える

日本図書館協会選定図書

四六判260頁 上製 本体 2200円＋税

「いのち」を科学したら、佛敎にたどり着いた！ 宇宙論、生命科学、医学、宗敎学など、さまざまな視点で、脳死、バイオテクノロジー、老化などの問題を問い直し、心とモノの調和を提言する。 ●—2405-9(2002.9)

佛敎大学総合研究所編

## シンポジウム 東西の死生観

A5判244頁 上製 本体 2816円＋税

東西の宗敎思想をはじめ、文明論、生命科学などの立場から「生と死」を論じる。佛敎大学総合研究所の藤本浄彦教授を中心とする共同研究班によるシンポジウム、研究発表の成果をまとめる。 ●—2401-1(1995.12)

藤本浄彦・藤堂俊英編

## 仏教と看護

A5判141頁 並製 本体 2400円＋税

『仏教とターミナル・ケア』から、「看護」をテーマに論考を精選し、コンパクトにまとめた一冊。〈内容〉第1章 仏敎史にみる終末看護、第2章 仏敎の死生観、第3章 仏敎のターミナル・ケアへの歩み。 ●—5619-7(2013.4)

よしいけ 道

## いきているってふしぎだね

B5変48頁 並製 本体700円+税

いのちの不思議さ、ありがたさを子どもたちに伝えたい！身近な題材をあたたかなことばで綴る、21編・オールカラーの詩集絵本。対象年齢は小学校低学年から、昔子どもだった大人まで。 ●—5616-6(2010.11)

吉元信行

## ブッダのターミナルケア

四六判147頁 並製 本体1300円+税

自らの死を受け入れつつ、最後まで弟子達へいたわりの心を示し続けたブッダ。その姿を通して老いや死をいかに受け入れるべきか、介護する者とされる者が共に輝く仏教的末期医療のあり方を探る。 ●—2408-0(2005.8)

田代俊孝編

## 「人間」を観る

科学の向こうにあるもの

四六判146頁 上製 本体1400円+税

人間を科学のみで観ることができないということがわかってきた今日、科学を超えたものの見方・考え方は、仏教を根底にした東洋思想にあることを斯界の5人の旗手が熱く語る。 ●—7116-9(2006.1)

田代俊孝

## ビハラー往生のすすめ

悲しみからのメッセージ

四六判256頁 上製 本体1800円+税

著者がビハラー活動を通して出会った人々の手記・手紙等を紹介し、本人や近親の老病死に対する苦悩、希望、死生観を語る。また、生死を吹っ切ったビハラー往生の先達を紹介する。 ●—2409-7(2005.9)

田代俊孝

## 仏教とビハラー運動 死生学入門

A5判188頁 上製 本体2600円+税

末期患者など死の不安に仏教がいかに応えるか。医学部倫理委員も務める著者が、アメリカ事情をもとに新たに「死生学」を提唱した待望の書。推薦—勝又義直(名古屋大学医学部教授)。 ●—8141-0(1999.1)

田代俊孝

## 悲しみからの仏教入門

死に学ぶ生の尊さ

四六判220頁 上製 本体1500円+税

死と正面から向き合っ初めて輝く命に出会える。市民とともに生と死を考える研究会活動に取り組む著者からの「いのちのメッセージ」。後半に、書き下ろし『子どもたちよ、ありがとう』ノートを付す。 ●—8049-9(1992.1)

田代俊孝

## 続・悲しみからの仏教入門

死に学ぶ生の尊さ

四六判216頁 上製 本体1553円+税

いのちの教育、ビハラー活動、医学部倫理委員等市民とともに医学に関わりを持ってさまざまな活動をする著者が、老いと病いを支えるために現場で綴った心安らぐ語りの記。悲しみシリーズ第2弾。 ●—8078-9(1996.10)

田代俊孝

## 親鸞の生と死 〈増補新版〉

デス・エデュケーションの立場から 日本図書館協会選定図書

A5判424頁 上製 本体4300円+税

浄土教における死の受容と超越を釈尊から親鸞に至る思想史の上で検証し、解明。ビハラー運動の理論の確立と実践に広く影響を与えた名著に、大幅な書き下ろしを加えて面目を一新した決定版。 ●—8000-0(2004.6)

田代俊孝

## BUDDHISM AND DEATH COUNSELING

Japanese Buddhist Vihāra Movement 〈英文〉

A5判114頁 並製 本体1000円+税

ビハラー(仏教ホスピス)運動を提唱する著者が、ハワイ大学で講義。西洋近代物質文明のカウンターカルチャーとして龍樹の中道と親鸞の自然法爾を提示。ハワイ地元紙絶賛。(2004.9)

田代俊孝編

## 心を支える・ビハーラ

講座「いのちの教育」①

四六判120頁 並製 本体 1165円＋税

仏教に心を支えられて逝った痛患者の感動的な看病記ほか、仏教ホスピスのさまざまな取り組みを紹介しつつ、いのちの教育の重要性を、医療・宗教の最前線から訴える。好評シリーズ第1弾。 ●—2411-0(1995.12)

田代俊孝編

## いのちの未来・生命倫理

講座「いのちの教育」②

四六判120頁 並製 本体 1165円＋税

アジアにおける臓器売買のショッキングなレポートや、暴走を続ける先端医学の危険な現状をさまざまに検証しつつ、命の尊厳を守る仏教の視点から、科学と人間の望ましい未来像を提言する。 ●—2412-7(1996.8)

田代俊孝編

## いのちを育む・教育

講座「いのちの教育」③

四六判144頁 並製 品切

教育現場での「いのち」を傷つける残忍な事件が後を絶たないなか、子どもたちを救う道はあるのか。子どもを喪った父親の悲痛な体験を軸に病める教育の未来を探る。シリーズ最終巻。 ●—2413-4(1997.12)

バク クワンジュン

朴 光駿 ●佛敎大学術賞受賞

## ブッダの福祉思想

「仏教的」社会福祉の源流を求めて

A5判328頁 上製 本体 4000円＋税

「人間ブッダ」に学ぶ、社会福祉の可能性。社会科学の目で仏教経典を読み取り、仏教的障害者観とは、仏教は自殺をどうみるのかなど、福祉問題に対する仏教の解明に迫る。写真と解説の付録つき。 ●—2457-8(2012.6)

中垣昌美

## 仏教社会福祉論考

A5判186頁 上製 本体 2800円＋税

仏教社会福祉の理論と実践の両面を分かりやすく提示した初めての研究書。仏教と社会福祉の関係を歴史的にたどり、仏教が援助する側・される側の円滑な人間関係にいかに関与するかを実例報告する。 ●—2403-5(1998.3)

吉田久一・長谷川匡俊

## 日本仏教福祉思想史

A5判265頁 上製 本体 2900円＋税

古代から20世紀末までの日本仏教界は、どのような社会福祉を行ってきたのか？そしてこれからの時代、仏教思想に基づいて何ができるのか。仏教福祉の未来を探るための必携の入門書。 ●—2404-2(2001.7)

新保 哲

●第25回日本文芸大賞・学術文芸賞受賞

## 仏教福祉のこころ

仏敎の先達に学ぶ

四六判260頁 並製 本体 2400円＋税

親鸞、道元、良寛、才市、宮沢賢治に学ぶ。仏教は、これまでの歴史のなかで、慈善事業や社会事業、福祉活動に深く関わってきた。その先達に学ぶ仏教福祉の真髄を考察する。 ●—2407-3(2005.6)

中西直樹

## 仏教と医療・福祉の近代史

四六判234頁 上製 本体 2600円＋税

明治期医学界は医療倫理の基本に仏教を考えていた！その後、医療倫理はなぜ封印されてしまったのか。明治～昭和期の仏教が関わった医療や福祉事業の歴史を豊富な史料で概観する注目書。 ●—8164-9(2004.5)

佐々木恵雲

## いのちのゆくえ 医療のゆくえ (新装版)

四六判101頁 並製 本体 1000円＋税

医師で僧侶でもある著者が、脳死・臓器移植、遺伝子治療等の現代医療の諸問題を現場の視点から語る。 ●—6544-1(2019.4)



楠本健司編

## 待ってるよ 赤ちゃん

しんれつ・こうがいつを持つ子どもを安心して迎えるために  
小B6判64頁 並製 品切

500人に1人の確率で生まれる唇裂・口蓋裂を持つ子どもたち。形成外科医・歯科医・言語聴覚士・臨床心理士らが連携し、家族とともにいのちの誕生を喜び、その育ちを見守っていくための小冊子。 ●—5615-9(2006.10)

仁愛大学宗教教育研究センター編

## いのちに関する5つのレクチャー

四六判185頁 上製 本体 1800円+税

子殺し、親殺し、理由なき殺人、増加する自殺。この現代に死と生を見つめ、いのちの輝きを取り戻すために、第一線の5人の仏教者が熱く語る。「いのちはなぜ尊いのか」との問いに答える一書。 ●—2416-5(2007.3)

木村文輝

## 生死の仏教学 「人間の尊厳」とその応用

日本図書館協会選定図書

四六判240頁 上製 本体 2400円+税

「臓器移植」について、法律・社会的過程を述べ、人間の尊厳と生と死との不可分性を念頭に、個人がどのように行動することができるかを仏教者の立場から多角的に考察する。 ●—2418-9(2007.4)

鍋島直樹

## 親鸞の生命観 縁起の生命倫理学

A5判488頁 上製 本体 6300円+税

仏教生命観の視座から、現代がかかえる生命倫理の諸問題にあるべき指標を考察。脳死・臓器移植、ヒトES細胞、中絶、ヒトクローン、緩和ケア等について、一つの方向性を提示する大冊。 ●—2417-2(2007.5)

長谷川匡俊編

●第27回社会事業史文献賞受賞

●第3回日本仏教社会福祉学会学術賞受賞

## 戦後仏教社会福祉事業史年表

B5判277頁 上製函入 本体 10000円+税

伝統仏教教団による社会福祉関係の事業や活動を、第二次世界大戦終結から2001年12月までの時期を対象に編年的に記載。記載事項はすべて出典を明記した画期的年表。研究者必備。 ●—2419-6(2007.5)

長谷川匡俊編

●第27回社会事業史文献賞受賞

●第3回日本仏教社会福祉学会学術賞受賞

## 戦後仏教社会福祉事業の歴史

B5判251頁 上製函入 本体 9000円+税

第一線級の研究者が宗派を超え、戦後の仏教社会福祉研究の停滞状況を打開するために、現代社会福祉を担う民間社会福祉事業の中で仏教社会福祉が果たした役割を歴史的に解明した、注目の研究書。 ●—2420-2(2007.5)

長谷川匡俊

## 念仏者の福祉思想と実践

近世から現代にいたる浄土宗僧の系譜

四六判266頁 上製 本体 2800円+税

念仏者にとって福祉とは何か？ 近世以降の念仏者の福祉思想・実践の格闘の跡をたどり、現代に生きる仏教者にとっての福祉を追究。研究者にして福祉事業の実践者でもある著者の渾身の一作。 ●—2455-4(2011.4)

宮城洋一郎

## 宗教と福祉の歴史研究

古代・中世と近現代

A5判282頁 上製 本体 6000円+税

日本仏教は、差別や貧困等の福祉課題といかに向き合ってきたのか。明治以降、福祉施策に儒教とキリスト教がどう関与したのか。歴史研究の視点で、宗教と福祉の関わりやその諸問題を問う。 ●—2458-5(2013.3)

日本仏教教育学会編

## 仏教的世界の教育論理

A5判500頁 上製函入 本体 4000円+税

「仏教にもとづく教育」の理念と実践を論じ、こころといのちの教育への指針を示す。さらに、3・11以降の日本社会の変化を踏まえ、今日の仏教教育のあるべき姿を提示する。 ●—2443-1(2016.12)

安部智海

ことばの向こうがわ 震災の影 仮設の声

四六判134頁 並製 本体 1100円+税

東日本大震災後、被災地でおこなわれてきた「仮設住宅居室訪問活動」の様子を情感豊かな文章と多彩なエピソードで綴る。苦悩に向き合う、新しい「支援」のかたちを提起する。

●—8180-9(2017.3)

新田光子

原爆と寺院 ある真宗寺院の社会史

四六判220頁 上製 本体 2300円+税

本堂の全壊や全焼、住職や門徒の死から寺はいかに甦り、戦後復興にどんな役割を果たしたのか。著者が、自ら育った広島の一真宗寺院を対象に、寺院被爆の実態を改めて調査した書。

●—1053-3(2004.5)

新田光子編著

広島戦災児育成所と山下義信

山下家文書を読む

A5判256頁 並製 本体 2800円+税

原爆投下後の広島で戦災遺児を育て上げた山下義信(1894-1989)の生涯とその奮闘を、埋もれた資料から紹介して、知られざる戦後広島歴史を浮かび上がらせる。

●—5566-4(2017.3)

# 宗教・哲学

井上忠著作集

## 哲学の刻み 全4巻

四六判各250頁 上製両入

各巻本体 2000円+税 全巻本体 8000円+税

哲学は、現実世界を説明するための道具ではない。自己を成り立たしめている根拠に立ち向かい、一切の虚飾と怠惰を排して自己を生き切ることである。まったく新しい生きる原理としての哲学の集大成。

- ① 性と死を超えるもの
- ② 言葉に射し透されて
- ③ 知の階梯を昇りつつ
- ④ 運命との舞踏

●—7191~7194(1985.11~86.1)

島田裕巳

## フィールドとしての宗教体験

四六判230頁 上製 本体 2136円+税

神に出会うことがなくても、奇蹟を直接体験しなくても、僕らは宗教的世界を生きている。医療宗教学に光を当て、演劇空間を考察し、宗教学者の生を洗い直す。物語としての宗教の刺激的論考。 ●—7174-9(1989.12)

島田裕巳

## 神サマのつごう

終末のフィールドワーク

四六判240頁 並製 品切

「幸福の科学」騒動とは何だったか? “オウム真理教はデイズニーランド”など、ベストセラー「戒名」の著者が、世紀末10年の精神潮流を、その渦中から鮮やかに読み解く。その後の時代を予見した書。 ●—7199-2(1992.7)

ジョン・ヒック著 問瀬啓允・稲田 実訳

## 人はいかにして神と出会うか

宗教多元主義から脳科学への応答

四六判294頁 並製 本体 2800円+税

「宗教体験」は脳が見せる「錯覚」なのか? 脳科学からの挑戦に、宗教多元主義の立場から合理的に考えうるかぎりの答えを提示する。ジョン・ヒック渾身の最新論考!

●—1060-1(2011.3)

ジョン・ヒック著 問瀬啓允訳

## 増補新版 宗教多元主義

宗教理解のパラダイム変換

四六判285頁 上製 本体 3000円+税

なぜ「宗教」は互いにわかりあうことができないのか。——遠藤周作の長編問題作『深い河』の構想にも多大な影響を与えた比較宗教学の古典的名著が、新たに増補・改訂を施して待望の復刊! ●—1058-8(2008.6)

延原時行

## ホワイトヘッドと西田哲学の〈あいだ〉

仏教的キリスト教哲学の構想

A5判273頁 上製 本体 3400円+税

生成する世界全体を捉えようとするホワイトヘッドの哲学と西田の思想の切り結ぶ点を究究し、東西を融合する21世紀にふさわしい仏教的キリスト教哲学を構想。著者は欧米で著名な哲学者。 ●—7128-2(2001.3)

海邊忠治

## 苦悩とけて絶対の信へ

西田哲学を契機として

四六判110頁 上製 本体 1200円+税

絶対の仏と相対の私とは、離れようにも離れられない裏表の関係であり、必然、不離の関係である——。絶対の信を求め続けた著者が、最後に到達した究極の宗教体験を語る書き下ろし論考。 ●—1056-4(2007.6)

A・キートリー著 星川啓慈訳

## ワイトゲンシュタイン・文法・神

A5判210頁 上製 本体 2524円+税

星川啓慈 ●宗教学会賞受賞

## 宗教者ワイトゲンシュタイン

四六判200頁 上製 品切

頼富本宏編

## 聖なるものの形と場

A5判664頁 上製 本体 9500円+税

星川啓慈

## 悟りの現象学

四六判220頁 上製 品切

グラゼナップ著 大河内了義訳

## 東洋の意味 ドイツ思想家のインド観

四六判354頁 上製 本体 2900円+税

阿部正雄

## 根源からの出発

A5判223頁 上製 品切

阿部正雄

## 虚偽と虚無

宗教的自覚におけるニヒリズムの問題

A5判212頁 上製 本体 2800円+税

阿部正雄

## 非仏非魔 ニヒリズムと悪魔の問題

A5判200頁 上製 本体 2800円+税

武内義範著 石田慶和解説

## 教行信証の哲学〈新装版〉

四六判189頁 上製 本体 2400円+税

現代最高の思想家の内の一人、ワイトゲンシュタイン。彼の言語哲学の背後にあるキリスト教思想を読み解き、言語と神学の関係を思索する。著者はイギリスにおける現代キリスト教哲学の代表的学者。●—7172-5(1989.6)

20世紀論理哲学の扉を開いたワイトゲンシュタインは、また神と宗教をめぐる生涯つきつめた思索を続けた。豊富な資料や証言を織り込み現代の謎ともいべき哲学者の生に迫る。俊英の書き下ろし。●—7176-3(1990.3)

あらゆる宗教の根底にある「聖なるもの」の本質を、宗教学、仏教学、美術、考古学、社会学など専門分野の枠を超えた研究者28名によって究明した国際日本文化研究センターの共同研究の成果。●—6360-7(2004.3)

道元や鈴木大拙の「禪」の悟りとはいったい何者であるのか。現象学の最先端の方法を用いて、独創的な解析で鮮やかに「悟り」を分析し、東西の世界認識の対立点を明らかにする、気鋭の書き下ろし。●—7196-1(1992.4)

カント、シェリングから現代の思想家まで、西洋におけるインド理解の変遷を、各思想家の著作に即して克明にたどる。インド学の泰斗による名著を平明な日本語で全訳。

●—7158-9(1985.10)

欧米で大拙の後継者とされ、多くの英文著作をもつ氏の日本初出版。キリスト教神学・西洋哲学と日本仏教(禪)への深い理解を基に、私とは何かを問う半生の思索の結晶。朝日新聞「心の頁」で紹介。●—7224-1(1996.2)

鈴木大拙の後継者と欧米で名高い著者の、念仏や禪を通して自己とは何かを問い続けた半生。ニーチェとの共鳴・自らの魔性との闘いなど、求道体験を赤裸々に告白する。朝日新聞「ひと」欄で紹介。●—7254-8(2000.1)

神を殺し、魔を葬り、虚無の果てに得た自由とは？ パウロ、親鸞、禪の思想を論じ、宗教に潜む悪魔をあぶり出し、信じる意味を問い直す。話題を呼んだ『虚偽と虚無』に続く、待望のシリーズ完結篇。●—5602-9(2000.8)

親鸞の名著『教行信証』を、ヘーゲルの精神現象学を駆使し、遭遇、決断、他力と変容する思索の書として、初めて哲学的に解明した記念碑的論考。親鸞思想を世界に知らしめた宗教哲学不朽の名著。●—3817-9(2002.11)

石田慶和

## 宗教と科学・ニヒリズム

四六判230頁 上製 函入 本体 2200円+税

急速な科学の発達によって、現代社会の各層にかつてない断層が著しく起こりつつある。そこから醸し出される思想について、宗教はどのような解答を提出するか。現代の危機を超える道を示唆する。 ●—7133-6(1981.6)

長谷正當

## 欲望の哲学 浄土教世界の思索

A5判326頁 上製 品切

人を動かすものは欲望しかない。その根源にある「祈り」や「靈性」や「信」を宗教的次元の欲望と捉え、親鸞の「信」を手掛かりに、現代における浄土教思想の可能性を示唆する。碩学の哲学論考。 ●—3818-6(2003.6)

長谷正當

## 心に映る無限 空のイメージ化

A5判320頁 上製 本体 3800円+税

清沢満之の有限・無限、西田幾多郎の「純粹経験」、西谷啓治の「空」、レヴィナスの「他者」など、東西の哲学を読み直し、「無限を呼吸すること」に人間存在の本質を見出す、透徹した宗教哲学論考。 ●—3825-4(2005.9)

長谷正當

## 浄土とは何か 親鸞の思索と土における超越

A5判314頁 上製 品切

浄土の観念は死んだのだろうか。それとも現代日本人が生きる上で必要不可欠な観念なのか。清沢満之、西田幾多郎、曾我量深、西谷啓治の思索を通して「いのちの根源」としての浄土とは何かを追究。 ●—3838-4(2010.10)

長谷正當

本願とは何か 親鸞の捉えた仏教  
日本図書館協会選定図書

A5判334頁 上製 本体 3700円+税

親鸞思想の根幹である本願の思想。それはどこに淵源し、どこにはたらき、われわれ人間とどのように関わるのか。宗教哲学の碩学が瑞々しく鮮鋭な思索によって説き明かす。 ●—3843-8(2015.6)

大峯 顯

哲学の仕事部屋から  
花月のコスモロジー

四六判228頁 上製 本体 2200円+税

花鳥風月の自然に親しみ、生と死を見つめ、宇宙といのちの不思議を探究する、哲学者・俳人(毎日俳壇選者)・伴侶である著者が、鋭い感性と詩魂あふれる繊細な文章で綴った待望の初エッセイ。 ●—8147-2(2002.3)

大峯 顯

## 永遠なるもの 歴史と自然の根底

A5判332頁 上製 本体 3800円+税

思索の出発点となったフィヒテ研究から、現代文明の基層をなす科学技術と死の問題、さらには日本仏教研究批判や哲学の使命まで、著者の宗教哲学研究を精選して集大成した哲学論考。 ●—3819-3(2003.5)

大峯 顯

## 宗教の授業

日本図書館協会選定図書

四六判230頁 上製 本体 2300円+税

宗教哲学と大乘仏教の視点から、宗教の本質とその可能性を思索・探求し、自分の人生の問題として宗教を真剣に考えようとする人びとに対して公開された本格的な〈宗教講義〉! ●—3827-8(2005.9)

武田龍精

## 宗教と科学のあいだ

日本図書館協会選定図書

四六判260頁 上製 本体 2000円+税

生命科学や宇宙論など現代科学の状況を総覧し、西田幾多郎、田辺 元、西谷啓治、ホワイトヘッドの哲学をベースに、仏教の視座から宗教と科学のあるべき関係をダイナミックに思索する注目の書。 ●—2056-3(2003.4)

武田龍精先生退職記念論集刊行会編

## 科学時代における人間と宗教

A5判636頁 上製 函入 品切

宗教、哲学、科学、異なる分野で活躍している気鋭の研究者28人による論文集。親鸞浄土教と哲学等の比較思想研究、および、現代における親鸞浄土教の研究意義を問う大冊。

●—2441-7(2010.4)

海谷則之

## 宗教教育学研究

A5判524頁 上製 本体 3800円+税

仏教教育とキリスト教教育との出会い——。宗教と教育の関わりを、宗教学や宗派教育の立場からではなく、「いのち」の教育という人間形成を重視した教育学研究として論じた画期的論考。

●—2442-4(2011.9)

高田信良

## 宗教の教学

親鸞のまねび

A5判282頁 上製 本体 3800円+税

21世紀の宗教多元状況のなかで、〈仏教とキリスト教〉などの宗教対話を試み、親鸞の〈信〉への関心に生きる立場から、宗教的真理を現代に顕開する方途を思索した宗教哲学論考。

●—3824-7(2004.5)

高田信良

## 宗教の祈り 親鸞の願い

四六判167頁 並製 本体 1500円+税

龍谷大学の教壇に立つ著者が、〈宗教学〉の視座から、現代の〈宗教多元状況〉と〈日本人の宗教観〉の課題を問い直し、〈親鸞思想〉の普遍性を探究した宗教エッセイ集。

●—8996-6(2006.5)

藤 能成

## 現代社会の無明を超える

龍谷叢書XXVII 親鸞浄土教の可能性

A5判193頁 並製 本体 2400円+税

生き方に悩む現代人の救われる道筋が、親鸞思想に明確に示されていることを、宗教哲学の該博な知見をもとにして、分かりやすく解説。今までになかった、新しい視点を提示する。

●—3840-7(2013.7)

久松真一

## 人類の誓い

四六判278頁 上製 本体 2700円+税

人類の将来に即応すべき宗教の真実の在り方を、すでに半世紀前に広く一般の人々に向けて平易な言葉で提唱、「人類」の普遍を復権させる願いも込めた不朽の名著。

●—3820-9(2003.6)

FAS協会編

## 自己・世界・歴史と科学

無相の自覚を築めて

A5判288頁 上製 本体 3800円+税

無相の自己から出発し新しい世界の建設を目指した哲学者久松真一。彼を主に発足したFAS協会が久松死後17年の活動成果をまとめる。宗教から科学、歴史、芸術まで分野を超えた魅力の論考を収載。

●—3815-5(1998.7)

石川博子著 FAS協会編

## 覚と根本実在 久松真一の出发点

FAS論集

A5判242頁 上製 本体 3600円+税

異色の禪者久松真一の学究時代に焦点を当て、宗教的苦悩の極みの中での西田幾多郎との出会い、参禅体験を経て覚の宗教に至る思想の形成過程をたどる。久松思想の根本を捉える稀有の書。

●—3816-2(2000.7)

藤吉慈海

## 禪者 久松真一

四六判250頁 上製 本体 2500円+税

現代の維摩居士と呼ばれ、俗世にあって禪そのものの生涯を生き切った孤高の哲学者・久松真一。その知られざる全体像を、数々の著作とともに高弟・藤吉慈海が描き出す必読の書。

●—7164-0(1987.7)

岩倉政治

## 真人 鈴木大拙

四六判220頁 上製 本体 2500円＋税

稀有の宗教者鈴木大拙に、若きより師事し、身近に人間大拙を見た著者が、具体的なエピソードをまじえて、自由人大拙を生き活きと描く。一切の繋縛を離れて生きる大いなる世界が明らかとなる。 ●—7160-2(1986.5)

佐々木 徹

## 西谷啓治随聞

四六判192頁 上製 本体 1942円＋税

先生はこちらの用意した質問をいったんご自分の胸に収めて、西洋や東洋の泉から汲み上げるようにして話された——日本を代表する哲学者との文学・芸術・哲学をめぐるダイアログ。 ●—7179-4(1990.9)

可藤豊文

## 瞑想の心理学

大乘起信論の理論と実践

四六判256頁 上製 本体 2400円＋税

現実はいわれわれの心が創り出した夢である。『大乘起信論』が説く仏教の瞑想の方法を用いれば、その夢から目覚め、真実の生を生きることが出来る。生と死の本質を問う強靱な思索。 ●—7257-9(2000.5)

可藤豊文

## 自己認識への道 禪とキリスト教

四六判308頁 上製 本体 2600円＋税

「私とは誰か」——この根源的な問いに宗教はどのように応えるか。宗教を自己認識の方法と解釈し、『廓庵の十牛図』と『トマスの福音書』を手掛かりに、「自己を知る」ことの意味を問う。 ●—7268-5(2001.4)

可藤豊文

## 悟りへの道

四六判332頁 上製 本体 2800円＋税

古今東西を問わず、教典・經典・聖賢の著述を網羅し、自らのところを見つめ、人のところを「悟りへの道」に辿りつけるように導く、著者の集大成となる書。 ●—7367-5(2008.4)

柴田 秀

## 哲学の再生

インマヌエル哲学とM・ブーバー

A5判232頁 上製 本体 3200円＋税

滝沢克己のインマヌエル哲学とM・ブーバーを比較考究、崩壊に瀕した近代的「われ」を確立し、現代の危機的状況を克服する途を探る。滝沢の愛弟子である若き哲学者による力作書き下ろし論考。 ●—7167-1(1988.3)

戸田信正

## 何を基盤にどう生きるか

経済社会的・宗教的考察

四六判204頁 上製 本体 2000円＋税

空しくない人生を歩む生き方を求めて——。在りのままの人生を照らし出す真実なる働きを、哲学的・経済的・社会的に考察し、人生の主體的な生き方を探る。 ●—3829-2(2006.3)

ジョン・ラスキン著 内藤史朗訳

## 風景の思想とモラル

近代画家論・風景編

四六判297頁 上製 品切

芸術(絵画)の真の価値はどこにあるのか——ルーベンス、ラファエロ、ターナー、ミケランジェロなど画家や詩人の実例もふんだんに論じ尽くす。ラスキン『近代画家論』第3巻の翻訳。 ●—7269-2(2002.7)

ジョン・ラスキン著 内藤史朗訳

## 芸術の真実と教育

近代画家論・原理編1 日本図書館協会選定図書

四六判265頁 上製 本体 2600円＋税

ラスキンの名を一躍有名にした『近代画家論』第1巻の翻訳。雲や空など自然描写の技法を説き、さらに自然と向き合う中で育まれる芸術教育の重要性に触れた一冊。ターナーの原画版画収録。 ●—8161-8(2003.9)

ジョン・ラスキン著 内藤史朗訳

## 構想力の芸術思想

近代画家論・原理編Ⅱ 日本図書館協会選定図書

四六判291頁 上製 本体 2800円+税

生命軽視・自然破壊を生んだ功利主義の価値観を排し、美の固有価値の復権を初めて唱えた書。「生命こそ最高の価値あるもの」という思想の結実へと至る、『近代画家論』のなかで白眉の一巻。 ●—8162-5(2003.11)

ジョン・ラスキン著 内藤史朗訳

## ヴェネツィアの石

建築・装飾とゴシック精神 日本図書館協会選定図書

四六判500頁 上製 本体 4200円+税

ドゥカーレ宮殿やサン・マルコ大聖堂など、ヴェネツィアの石造建築物の構造や装飾を徹底的に分析。ゴシック建築の本質を捉えてラスキンの芸術観が見事に反映された傑作。ラスキン自筆原画を多数収載。 ●—8167-0(2006.10)

ジョン・ラスキン著 内藤史朗訳

## 続・ヴェネツィアの石

ルネサンスとグロテスク精神

四六判305頁 上製 本体 3200円+税

教会や宮殿、総督の墓に至るまでヴェネツィアの石造建築物を丹念に調査し、ゴシックからルネサンスへの様式の変化と人々の精神の変容を読み解く。『ヴェネツィアの石』待望の続篇。 ●—8179-3(2017.10)



# 仏教専門書

高崎直道

## 増補新版 仏性とは何か

四六判283頁 上製 本体 2800円＋税

大乘仏教の精髓である「仏性」「如来蔵」思想を初心者にも解りやすく説いた名著に、「悉有仏性・内なるホトケを求めて」など4篇を新たに加えた、待望久しい増補新版。仏性論の入門書の決定版。 ●—8131-1(1997.6)

高崎直道

## インド思想論

A5判430頁 上製函入 品切

アートマン思想の形成をめぐるウパニシャッド研究と、バンダルカル東洋研究所滞在を契機に生まれた、中世・近現代のインド社会をテーマとする諸論考を取める。著者のインド研究の集大成。 ●—7300-2(1991.6)

三枝充恵 (名著復刊コレクション)

## 龍樹・親鸞ノート (増補新版)

四六判428頁 上製 本体 5000円＋税

中観思想の第一人者が「中論」「大智度論」を軸に龍樹の思想を考察、大乘仏教の根本である「空」の本質に肉薄する。龍樹—中観研究への最適の手引書。あわせて親鸞研究3篇を収録。 ●—7147-3(1997.3)

三枝充恵

## ブッダとサンガ (初期仏教) の原像

日本図書館協会選定図書

四六判240頁 上製 本体 2800円＋税

一人のブッダから、なぜ多くの仏が生まれたのか。サンガ=教団はどのようにして成立したか。不明とされる初期仏教における根本の疑問を解き明かし、仏教史の新しい見方を提示する。 ●—7130-5(1999.8)

三枝充恵

## 大乘とは何か

日本図書館協会選定図書

四六判319頁 上製 品切

釈尊にはじまった仏教は、いつ、どのようにして「大乘仏教」へと展開していったのか。成立に至る過程を、今なお広く信仰を集める仏たちや、般若経を中心とした経典群を手掛かりに考察する。 ●—5605-0(2001.6)

宇野 惇

## インド論理学

A5判450頁 上製函入 品切

正理学派を基準に、仏教・ジャイナ教など各派の論理学を紹介。用語を明確に概念規定し、わかりやすく解く。さらに、重要課題「新正理学」の成立背景などを初めて詳説した、研究者必携の手引書。 ●—7344-6(1996.6)

山本和彦

## インド新論理学の解脱論

A5判256頁 上製函入 本体 8000円＋税

インド新論理学派ガンゲーシャ・ウバーディヤーヤ著「タットヴァ・チンターマニ」[解脱論]の解説研究書。校訂テキストと世界初の現代語訳を付す。 ●—7080-3(2015.2)

川村悠人

## バッティの美文詩研究

サンスクリット宮廷文学とパーニニ文法学

A5判468頁 上製函入 本体 14000円＋税

6,7世紀西インドの宮廷詩人バッティが著した美文論書「バッティカーヴィヤ」の文法学部門を考察した世界初の書。文法規則の解説等から、同書の文法学史上の位置を問う。 ●—7092-6(2017.1)

武邑尚邦

インド仏教教学 体系と展相

A5判414頁 上製函入 本体 11650円+税

インド仏教の全体像をいかに把握するか。インド仏教を教学史的観点から再構築するという意図を込めた著者長年の講義の集大成。史実としてのみならず、成仏道としての仏教の側面に光を当てる。 ●—7346-0(1995.9)

赤沼智善

佛教經典史論

A5判604頁 上製 本体 15000円+税

小乗經典史論、大乘經典史論、戒律の研究について論じ、原始仏教や仏教教理の研究など、初期仏教研究の基本文献として渴望されていた名著。著作集として編集されたものの復刻。 ●—6511-3(2011.4)

西村実則 ・浄土宗学術賞受賞

増補 アビダルマ教学 俱舍論の煩惱論

A5判524頁 上製函入 本体 12000円+税

アビダルマ教学は、煩惱をどのように位置づけてきたのか。『俱舍論』に至るまでの仏教心理分析史を精緻な研究により構築した前者に、「俱舍論の經典視の一考察」と索引を新たに加えた増補版。 ●—7078-0(2013.8)

山口 益・舟橋一哉

俱舍論の原典解明 世間品

A5判572頁 上製 本体 19000円+税

本邦における俱舍論の原典研究の一大成果を25年ぶりに復刻。チベット訳俱舍論世間品とその称友釈梵文とを和訳、註解を附す。註解ではチベット訳にのこる安慧・満増の釈をも参照した。 ●—6528-1(2012.10)

舟橋一哉

俱舍論の原典解明 業品

A5判610頁 上製 本体 20000円+税

世間品の続篇。俱舍論梵本とその称友釈とを、いずれも梵本より和訳、註釈を附した。世間品篇刊行当時は俱舍論梵本が未刊だったが、本書ではプラダン本を底本として利用した。 ●—6513-7(2011.4)

櫻部 建

俱舍論の研究 界・根品

A5判438頁 上製 本体 12000円+税

研究論文と本文の訳注の2篇からなる。界・根品からアビダルマ思想についての展開過程を追及し、これまで未開拓の分野を解明した名著。 ●—6519-9(2011.6)

櫻部 建・小谷信千代

俱舍論の原典解明 賢聖品

A5判496頁 上製函入 品切

世親が著した『俱舍論』賢聖品について、原典に基づく綿密な考証と詳細な解説による仏教研究の基本的論書の『俱舍論』研究の決定版。大乘仏教を研究する読者には必備の書。付索引。 ●—7356-9(1999.1)

山口 益・野沢静證

世親唯識の原典解明

A5判554頁 上製 品切

仏教学に新生面をひらいた原典研究。(1)唯識二十論の原典解釈。(2)唯識三十頌の原典解釈。(3)親所縁論の原典解釈、親所縁論の梵文・西藏文、索引。 ●—6515-1(2011.4)

小谷信千代

虚妄分別とは何か

唯識論における言葉と世界

A5判366頁 上製函入 本体 6000円+税

虚妄分別とは唯識学派にとってあらゆる存在を現し出す心の働きをいう。その原典『中辺分別論』の第1章相品を考察し、サンスクリットの校訂テキストを付した画期的論考。 ●—7091-9(2017.1)

山口 益

## 世親の成業論

A5判316頁 上製 本体 9500円+税

俱舍論と唯識論を結ぶ媒介的役割をもつといわれる『成業論』。先行研究を踏まえた上で、チベット訳と玄奘訳とを対照解説し、正確な原典究明をなした先駆的研究。

●—6516-8(2011.4)

山口 益

## 世親の浄土論

A5判227頁 上製 本体 9000円+税

『浄土論』を大乘仏教思想史上の一部として考察。難行易行二道の問題や帰敬偈、浄土の莊嚴功德などについて論じ、浄土論が大乘仏教の発展した最終の姿であることを明らかにした名著。

●—6517-5(2011.4)

横山 紘一

## 唯識の真理観

A5判416頁 上製函入 本体 8500円+税

大乘仏教における真理とは何か。「真理」「真如」等の漢訳の変遷と意味。瑜伽行派による心の浄化法とその対象としての「真理」など、唯識研究の第一人者による待望の研究成果。

●—7079-7(2014.10)

横超 慧日

## 法華経序説

A5判130頁 上製 品切

一宗派の所依の經典としての法華経という先入観念を除去して、真に人類救済の書としての本経を、著者は学問的に概説している。戦後の日蓮系新興宗教の誤りを訂正するものとして注目される。

●—7317-0(1962.1)

坪井 俊映

## 浄土三部経概説 〈新訂版〉

A5判680頁 上製函入 本体 14300円+税

40年前に刊行された名著『浄土三部経概説』の改訂新版。浄土教の根本聖典「浄土三部経」を、主として浄土宗義にのっとり詳細に解説。浄土三部経研究の基本資料として初学者・研究者必読の書。

●—7810-6(1996.6)

山中 喜八編

## 定本 注法華経 全2巻

B5判上巻228頁・下巻394頁 上製函入 本体 55000円+税

遺文・真贋研究の泰斗、50年の研究成果、著者にして初めて可能となった原本のままの活字化。法華経研究に資する画期的出版。各種索引付。原本、玉沢妙法華寺蔵。

●—6537-3(2014.9)

藤田 宏達校訂

## 梵文無量寿経・梵文阿弥陀経

B5判258頁 上製函入 本体 8000円+税

浄土教の根本經典の、ローマ字校訂の決定版！ 現存写本・悉曇本のすべてを周到に対校し、精緻な本文脚注・解題を英文で記し、サンスクリット語索引を付した画期的な労作。

●—7075-9(2011.5)

藤田 宏達

## 新訂 梵文和訳 無量寿経・阿弥陀経

A5判296頁 上製函入 本体 6500円+税

浄土三部経の中で、サンスクリット原典のある二経の和訳の決定版！ 1975年刊行の名著を、著者の新校訂本に基づき全面的に修訂。文献解題と訳注・索引を付した、浄土經典の初学者・研究者必読の書。

●—7077-3(2015.5)

植木 雅俊

## 梵文『維摩経』翻訳語彙典

B5判1285頁 上製函入 本体 28000円+税

サンスクリット原典の単語すべてを文法的に分析、現代語訳と訓読、綿密な注釈を施す。名著『梵漢対照・現代語訳 維摩経』の完全版。

●—7023-0(2019.9)

山口 益 (名著復刊コレクション)

## 般若思想史 (ワイド版)

A5判202頁 上製 本体 3400円+税

インド仏教の思想家たちが、種々な思想的環境に処しつつ、常に龍樹に従って、それぞれの角度からその般若を理解解釈し、その般若の理念を展開せしめた全容を解明する画期的論考。  
●—7310-1(1999.11)

立川武蔵 ●中日文化賞受賞

## 中論の思想

A5判534頁 上製函入 品切

龍樹の『中論』を理解する過程において陥りやすい誤解を、聖なるものと俗なるものという二極の水平を見極めることで回避し、論理をこえるものをあえて論理で追求した龍樹の本意と論旨に迫る。  
●—7343-8(1994.6)

立川武蔵編

## 中論 サンスクリット索引

A5判323頁 上製函入 本体 9000円+税

空と縁起の思想を確立した龍樹の代表的著作である『中論』のサンスクリット索引。本書では、そのサンスクリット・テキスト、およびアルファベット順と頻度順を付す。  
●—7358-3(2007.12)

小川一乗

## 大乘仏教の根本思想

A5判490頁 上製 本体 6602円+税

釈尊の悟りの本質を明らかにし、従来の仏教思想の中の非釈尊的教説を検証するとともに、龍樹の無自性空、親鸞の信心こそが釈尊の悟りを正しく受け継いだ即の仏道であることを明らかにする。  
●—7832-8(1995.4)

武邑尚邦

## 因明学 起源と変遷

A5判356頁 上製 本体 12000円+税

因明の起源から始まり、中国・日本の因明研究の変遷と展開をくわしく論述。第二部に敦煌出土因明書の新資料を発表。著者渾身のライフワーク。巻末に日中因明学者の著作一覧を付す。  
●—6512-0(2011.4)

楠 淳證編 龍谷大学アジア仏教文化研究叢書6

## 南都学・北嶺学の世界

法会と仏道

A5判300頁 並製 本体 4500円+税

仏教学・歴史学・建築学などの幅広い視野より、伝統ある『法会と仏道』の意義を明らかにするとともに、東日本大震災における仏教者の活動を通じて、仏道の現代的意義を問う。  
●—6374-4(2018.3)

楠 淳證・船田淳一編著

## 蔵俊撰『仏性論文集』の研究

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書7

A5判423頁 上製 本体 15000円+税

平安末期の唯識学匠・菩提院蔵俊の新発見の著作『仏性論文集』全編に翻刻・訓読・註記および詳細な解説を施し、その全貌を論じる。  
●—6375-1(2019.2)

楠 淳證

## 貞慶撰『唯識論尋思鈔』の研究

仏道篇

A5判750頁 上製 本体 13000円+税

鎌倉初期の著名な唯識学匠・貞慶が著した法相論義に関する総合書(論義抄)『唯識論尋思鈔』を精密に読解し、その仏道論を闡明する。  
●—6377-5(2019.7)

川口高風編

## 諦忍律師全集 全3巻

B5判各450頁 上製函入 近刊

慈雲尊者とならぶ江戸時代を代表する戒律学者諦忍の著作全85編を1戒律、2文字、3語録、4浄土、5真言、6史伝、7雑集、8注釈、9序跋、10印施に編集した決定版。解題、索引も付す。

J・ゴンドラ著 <sup>よみか</sup> 鏡淳改訂・註  
**サンスクリット叙事詩プラーナ読本**  
 テキスト註・文法摘要・韻律考付  
 A5判288頁 並製 本体 3786円＋税

初級者用サンスクリット語副読本の決定版！  
 マハーバーラタおよびプラーナより計17篇  
 の物語をデーヴァナーガリ文字で収録し、  
 テキスト註、文法摘要、さらに韻律とアクセ  
 ントへの考察を附す。 ●—7071-1(1995.4)

東方学院関西地区教室編  
 チャンドラ  
 キールティの **ディグナーガ認識論批判**  
 チベット訳「ブラサンパダー」和訳・索引  
 B5判210頁 並製 本体 3000円＋税

インド中期の中観派の論師であるチャンドラ  
 キールティ(月称)の『ディグナーガ認識論批  
 判』のチベット訳本を翻訳。さらにチベット語  
 本とサンスクリット本の語彙索引を収録す  
 る。 ●—7453-5(2001.9)

浪花宣明  
**在家仏教の研究**

A5判454頁 上製 両入 品切

南方仏教における在家信者の仏道実践法を記  
 すパーリ語文献『ウパーサカジャナ・アランカ  
 ーラ』の研究と日本語訳。南方仏教圏における  
 宗教生活の実態を初めて明らかにした労作で  
 ある。 ●—7328-6(1987.6)

P・N・チョブラ著 三浦愛明訳  
**インド史**

A5判312頁 上製 本体 3398円＋税

インドの著名な歴史学者による名著を初めて  
 翻訳。古代インダス文明から1992年までのイ  
 ンドの歴史の流れの概略を学ぶのに好適の一  
 冊。巻末に主要参考文献一覧、古地図、索引  
 を付す。 ●—8099-4(1994.6)

嵩満也編 龍谷大学国際社会文化研究所叢書21  
**変貌と伝統の現代インド**  
 アンベードカルと再定義されるダルマ  
 A5判286頁 上製 本体 2500円＋税

カースト絶滅を標榜したアンベードカルの思  
 想とインドの伝統概念“ダルマ”。2つの思想  
 から、激しく躍動する現代インドに一定のバ  
 ースペクティブを投げかける。 ●—6371-3(2018.3)

池田正隆  
**ミャンマー上座仏教史伝**  
 『ターナー・リンガーヤ・サーダン』を読む  
 A5判382頁 上製 本体 9500円＋税

ビルマ語で書かれた仏教史に関する貴重な文  
 献資料の本邦初訳。上座仏教がインドからセ  
 イロン(現スリランカ)を経て、ミャンマーに  
 根づいた様子が、当時の風俗を交え生き生  
 きと語られる。 ●—7432-0(2007.11)

<sup>いやなが</sup> 彌永信美  
**大黒天変相** 仏教神話学Ⅰ  
 A5判696頁 上製 本体 14000円＋税

破壊神シヴァが福神大黒に変貌し、大地女神  
 は老翁に姿を変える。インドから日本に至る。  
 大衆を駆り立て国家さえ動かした、豊饒なる  
 「仏教神話」の未踏の領域を、膨大な文献・図像  
 を駆使して考察。 ●—7671-3(2002.4)

彌永信美  
**観音変容譚** 仏教神話学Ⅱ  
 日本図書館協会選定図書  
 A5判832頁 上製 本体 18000円＋税

観音は男か女か。その起源と性の問題から、  
 ガネーシャ、スカンダなど、仏教に吸収され  
 て変貌したシヴァ神をめぐる神々の軌跡ま  
 で、アジア全域に及ぶ仏教神話の謎に迫る画  
 期的研究。 ●—7672-0(2002.7)

義浄撰 宮林昭彦・加藤栄司訳  
 ●鈴木学術財団特別賞受賞  
 現代語訳 **南海寄帰内法伝**  
 7世紀インド仏教僧伽の日常生活  
 A5判526頁 上製 本体 9000円＋税

唐代の僧・義浄が著した、留学先インド・ナ  
 ランダー寺での衣食住にわたる戒律の実態を  
 伝える第一級史料「南海寄帰内法伝」を初めて  
 全訳。仏教学・東洋史学・民俗学・印中比較  
 文化論、必読の書。 ●—7353-8(2004.4)

大塚靈雲

## 選択本願念仏集私講

A5判500頁 上製 本体 9000円+税

日本佛教学会編

## 仏教における実践を問う (二)

日本佛教学会叢書 社会的実践の歴史と展望

A5判528頁 上製 本体 7000円+税

日本佛教学会編

## 人間とは何か I・II

日本佛教学会叢書

A5判 I 巻460頁・II 巻434頁 上製 各本体 6600円+税

法然の主唱した「南無阿弥陀仏」とは何か——。その主著である『選択本願念仏集』を1章ずつ精読し、法然が念仏の行をどのように捉えていたのかを、浄土宗西山派随一の学匠が読み解いていく。 ●—7701-7(2013.7)

これまで仏教が社会といかに関わってきたかを歴史적으로おさえ、その意義の考察を通して仏教と社会の関係について今後の展望を模索。第一線で活躍する研究者たちの最新論考。 ●—7717-8(2017.8)

これまで仏教が示してきた人間観の具体像を多面的に探究し、「人間」の定義が揺らぐ現代社会が直面している諸問題に如何に答えるのか、最新の研究成果をまとめた論考集。 ●—7718-5(2017.12~19.3)

## 仏教一般・教養

宮坂宥勝

### ブッダの教え スッタニパータ

A5判539頁 上製 本体 7600円＋税

釈迦の原初の思想を知るうえで最も重要な経典『スッタニパータ』を仏教研究の第一人者が完全翻訳。釈尊の教えの真義・初期仏教の特性を明確にし、従来の異訳・誤訳を精査した決定版。註解付。 ●—7235-7(2002.10)

中村 元 ●中外日報宗教図書金賞受賞

### ゴータマ・ブッダ 釈尊伝 (新装版)

全国学校図書館協議会選定図書

四六判376頁 上製 本体 3600円＋税

仏伝のうちには神話的要素が多い……後世の附加仮託になるものが非常に多い。こういう後代の要素を排除して、歴史的人物としての釈尊の生涯をできるだけ事実に近いすがたで示そうとつとめた。 ●—7351-4(1958.6)

舟橋一哉

### 釈尊 (新装版)

四六判154頁 並製 本体 1500円＋税

前編は、釈尊の生涯を客観的描写に止まらず主観的な印象・感情・研究等を加えて平易に明らかにする。後編は、釈尊の宗教を我々の人生生活に則して語る。カラー口絵8点。表紙絵は畠中光享。 ●—8132-8(1998.1)

ひろさちや

### 釈尊と十大弟子

全国学校図書館協議会選定図書

四六判245頁 上製 本体 2200円＋税

現代のことはで仏教思想を説いて定評のある著者が、身近なエピソードをまじえて描きだす釈尊とその弟子たちの姿は、生きる知恵を見失った現代人にも大きな示唆を与えるに違いない。 ●—8017-8(1981.10)

菅沼 晃

### ブッダとその弟子89の物語

ブッディスト・ストーリーズ

四六判257頁 上製 本体 2300円＋税

経典にはブッダと弟子たちの物語が数多く伝えられている。それらは史実ではないかもしれない。しかし、物語の中にこそ、個性豊かに躍動するブッダと弟子たちの姿がある。物語「仏教」入門。 ●—2300-7(1990.4)

菅沼 晃

### ブッダの悟り 33の物語

四六判256頁 上製 本体 2200円＋税

人々の個性や能力に応じて、慈しみの心をもって教えを説いた優れた教師ブッダ。苦しみ悩む人々に共感しつつ接し導いたブッダの魅力を、その生涯に即して余すところなく描き出す。 ●—2299-4(1999.12)

シヨバ・ラニ・ダシュ著 福田 琢訳

### マハーパジヤーパティー

最初の比丘尼

四六判190頁 並製 本体 2200円＋税

母と子、お互いの情愛ゆえに煩惱し、やがて最初の比丘尼として、息子ブッダに帰依した仏母マハーパジヤーパティーの真実の物語。世界で唯一の尼僧誕生の研究。 ●—8178-6(2015.9)

釈 徹宗監修 多田 修編訳

### ブッダの小ばなし 超訳百喻経

四六判118頁 並製 本体 1000円＋税

おもしろおかしい物語をもちいて教えを説く仏教経典『百喻経』。落語の元ネタも含めた35話をわかりやすく日本語訳する。仏典の低い入り口。 ●—2501-8(2019.7)

龍谷大学 龍谷ミュージアム編

## 釈尊と親鸞

インドから日本への軌跡

日本図書館協会選定図書

B5変200頁 並製 本体 1500円+税

インドで興り、中国、日本へと伝わった仏教。その歴史と教えを、オールカラーの写真と詳しい解説で紹介する。仏教を初めて学ぶ方、仏教の教えや歴史に触れてみたいと考えている方に最適。  
●—6015-6(2011.4)

大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編

## 近代仏教スタディーズ

仏教からみたもうひとつの近代

A5判304頁 並製 本体 2300円+税

廃仏毀釈などの逆境を乗り越え、常に時代の動向とリンクしながら、社会に影響を与え続けた「近代仏教」。その歴史と魅力を、総勢29名が生き活きと描いた、新しい近代史入門。  
●—5543-5(2016.4)

佛敎史学会編

## 仏敎史研究ハンドブック

A5判414頁 並製 本体 2800円+税

インド、アジア諸国・地域、中国、朝鮮半島、日本(古代・中世・近世・近代)の仏教の歴史文化に関する研究テーマを広く見渡して一冊にまとめたコンパクトな入門書。仏教史を学び始めたい人、幅広く知りたい人に最適!  
●—6005-7(2017.2)

龍谷大学創立380周年記念書籍編集委員会編

## 時空を超えたメッセージ

龍谷の至宝

A5判190頁 並製 本体 1500円+税

龍谷大学所蔵の、重要文化財を含む貴重資料約100点を、オールカラーで紹介! 人文地理から医学まで、多岐にわたる所蔵品をポップなキャッチと豊富なルビで解説。  
●—6255-6(2019.7)

桜井俊彦

## インド仏跡ガイド

日本図書館協会選定図書

A5判180頁 並製 本体 1800円+税

ブッダの生涯を訪ねてインドの仏跡を訪れる際に便利なガイドブック。主要仏跡の解説と地図、ブッダの生涯と逸話、豆知識なども掲載し、ブッダの生涯を学ぶ入門書としても最適。  
●—8199-1(2014.8)

趙 樸初

## 仏教入門

四六判226頁 上製 本体 1553円+税

かつて数多の經典が翻訳され、また偽經が作られた一大仏教大国中国。その伝統を受け継ぐ中国仏教界の最高權威・趙樸初が、一問一答式で平易に説く入門書。中国でも超ベストセラーとなった一冊。  
●—8059-8(1992.8)

鈴木大拙

## 仏教の大意(新版)

日本図書館協会選定図書

四六判126頁 上製 本体 1500円+税

天皇、皇后に進講された講話の原稿で、仏教の深遠な思想を表していて遺憾がない。全編を大智・大悲の2面に分けて感性の世界と靈性の世界の関係について解明し華嚴哲学の中樞にも触れる。  
●—7111-4(1947.4)

宮坂有勝

## 生き方としての仏教

日本図書館協会選定図書

四六判204頁 上製 本体 2300円+税

仏教は学ぶものではなく生きるものである。空海、親鸞、漱石、賢治は仏教をどう生きたか。食ふることと殺すこと、病、老、死という身近で切実な話題から仏教的生き方の可能性を説く最良の仏教入門。  
●—7146-6(1997.6)

敎化研究所編

## 仏教概要

A5判350頁 上製函入 品切

各専門学校の敎科書。一般敎養向け。インド・中国・日本の仏敎敎理、仏敎史を全部収録。(内容の一部)インド仏敎概要、仏敎諸宗概要(律宗・天台宗・法相宗・華嚴宗・真言宗・禪宗・浄土宗・日蓮宗)。  
●—9101-3(1953.5)



梯 信暁

インド・中国・  
朝鮮・日本 浄土教思想史

A5判174頁 並製 本体 2800円＋税

インドに発生し、中国、朝鮮・日本へと広がり、社会の状況に応じて様々に展開した阿弥陀仏信仰。その全体像を「浄土教思想史」という形で捉えた初学者向けテキスト。

●—6057-6(2012.3)

源信著 梯信暁訳註

新訳 往生要集 上・下 付詳註・索引

A5判上290頁 下322頁 並製 各本体 3200円＋税

日本浄土教思想に大きな影響を与えた、恵信僧都源信著『往生要集』3巻を新たに現代語訳。詳細な訳註と引用経典・人名の索引を付した決定版。

●—6064, 6065(2017.2)

島田裕巳

〈増補新版〉戒名

なぜ死後に名前を変えるのか

四六判230頁 上製 本体 2000円＋税

戒名制度を徹底検証した名著に、散骨や自然葬などバブル崩壊以後の変化を見据えて大幅に書き改めた、待望の増補新版！戒名を問うことにより、日本仏教が抱えるさまざまな問題点を照射する。●—7117-6(2005.11)

竹村牧男

親鸞と一遍

四六判308頁 上製 品切

定住型の親鸞と、漂泊型の一遍——まったく対照的な生き方をした日本浄土教の二大宗祖の思想を、すべて現代語訳を付したテキストにそって綿密に読み、具体的に詳述する長編書き下ろし。●—8140-3(1999.8)

平岡 聡

法然と大乘仏教

四六判212頁 並製 本体 1800円＋税

法然の教えを糾弾した『興福寺奏状』には、法然の教えの特質が表れていた。「興福寺奏状」を手がかりに、仏教学の視点から、法然の教えの独自性、普遍性を解き明かす。

●—6067-5(2019.8)

楠 淳澄編

回峰行と修験道 聖地に受け継がれし伝灯の行

龍谷大学アジア仏教文化研究センター文化講演会シリーズ(1)

四六判118頁 並製 本体 1300円＋税

修験大先達の宮城泰年氏と北嶺大行満大阿闍梨の光永覚道氏が語る「伝灯の行」の真実、仏教学者の浅田正博氏が説く比叡山時代の親鸞聖人の姿。

●—6430-7(2016.10)

三谷真澄編

「世界」へのまなざし

最古の世界地図から南方熊楠・大谷光瑞へ

龍谷大学アジア仏教文化研究センター文化講演会シリーズ(2)

四六判115頁 並製 本体 1300円＋税

「世界」の見方に迫った講演録。現存最古の世界地図が語る世界、欧州に学んだ知の巨人・南方熊楠の目に映ったアジア、宗教者にして農業家の大谷光瑞が抱いた世界像とは。

●—6431-4(2017.12)

ひろさちや

わがふるさと 浄土

四六判224頁 並製 本体 1359円＋税

浄土こそ本当のふるさとである——浄土を死後の世界としてきた日本人の常識をくつがえし、人生の本質的な安らぎのトボスとしての浄土観を、仏教思想の正しい読解の上に説く注目すべき著作。●—8041-3(1990.9)

ひろさちや

現代の課題に応える仏教講義

四六判238頁 上製 本体 1800円＋税

教育、家族、社会、科学、医療など揺れ動く現代の問題に仏教が明快に答える。崩壊する現実とがんじがらめの常識の間で立ち往生する日本人に、よりよく生きる人生の座標軸を示す。●—7256-2(2000.3)

蘭田 坦

## 現代の人間と宗教\*15講

仏教への道

四六判186頁 並製 品切

現代人にとって「宗教」とは何か? 日本を代表する宗教哲学者が、宗教の様々な問題や、現代社会における人間と宗教の関係について、15回の講義形式でわかりやすく解説する。  
●—8942-3(2009.3)

石田瑞磨

## 地獄 (オンデマンド版)

日本図書館協会選定図書

四六判224頁 並製 本体 2500円+税

地獄の概念の起源とその展開、そして日本近世にいたる「地獄」の思想史を浄土信仰の視点から詳細に論述した解説書。「往生要集の極楽」「浄土教から見た生と死」ほか9篇。  
●—2010-5(2003.5)

花岡大学

## 新装版 大乘仏典のこころ

四六判215頁 並製 本体 2000円+税

児童文学作家でもある著者が維摩経や般若経、法華経など有名な十六の経典を易しく解説。仏典童話を随所できり入れ、経典の内容理解を深める本書が装いも新たに復刊。  
●—6557-1(2018.8)

小松智光

## わが思うブッダと平和への道 全2巻

A5判総782頁 上製兩入 本体 10000円+税 分売不可

東 谷日陀著 / ツンファン 魯 成煥・井上厚史訳

## 不安を希望に変えた仏教の祈り

日本図書館協会選定図書

四六判340頁 上製 本体 1905円+税

み仏の示した安らぎへの道をすべての人に——このひたすらな念願のもと、経典に説き示された仏陀の教え、平和への道を、現代人の心に甦らせるべく書き綴った、真摯なる求道の書。  
●—8022-2(1984.10)

発展する韓国社会のエネルギーとなっている仏教のこころを示し、20万部のベストセラーとなった著書の待望の日本語訳。現代韓国の高僧による誰でもできる祈りの生活とは。序文=鎌田茂雄。  
●—7231-9(1997.9)

堀口東四郎

## 現代語訳読 大乘起信論

四六判224頁 上製 本体 1456円+税

大乘仏教の中心的な思想を、理論及び実践の両面にわたって要約した『大乘起信論』の原文、逐語訳を収録し、解説も加えて、現代語で全文を意識。初学の方には最適の『起信論』入門書。  
●—8087-1(1990.12)

季刊「仏教」編集部編

## 私にとっての仏教

四六判238頁 上製 本体 1748円+税

松原泰道、水上 勉、瀬戸内寂聴、寿岳文章、千 宗室、森 毅、高田好胤氏など、各界著名人36人が、仏教との出会い、仏教への想いを綴る。季刊「仏教」巻頭随筆を収録した珠玉のエッセイ集。  
●—8048-2(1991.12)

瀬戸内寂聴

## 寂聴 写経のすすめ

日本図書館協会選定図書

B5変120頁 並製 品切

京都・嵯峨野にサガノ・サンガを開いて以来、写経会を主催して、善男善女にその功德を説く著者が、写経愛好者の熱望に応じて特別にまとめ上げた、格好の入門書。美しい写真と文章が誘う世界。  
●—6411-6(1989.5)

久馬栄道

## けさと坐禅

四六判200頁 並製 本体 2300円+税

僧であり、数学者でもある著者が、釈尊自らが制定した「けさ」と、その教えの実践である坐禅に仏法の根本を見出し、いちばん大切な仏教の心をわかりやすく解説した新感覚の入門書。  
●—6416-1(2003.5)

久馬慧忠

## 袈裟のはなし〈普及版〉

四六判86頁 並製 本体 1200円＋税

お釈迦様ご自身が、仏道修行の一助にと考案された袈裟。その特長から種類・着け方、袈裟功德まで、袈裟のすべてを易しく解説。仏の教えが凝縮された袈裟の魅力に迫る最良の手引書。 ●—6410-9(2000.11)

谷口幸聖

## 数珠のはなし

四六判92頁 並製 本体 971円＋税

仏事に欠かせない数珠。その由来と功德のあれこれを楽しくわかりやすくまとめた入門書。さらに、各宗派別の正式の数珠と、正しい作法を多くの写真とともに解説してある便利な一冊。 ●—6413-0(1996.6)

谷口幸聖

## 仏壇のはなし

四六判90頁 並製 本体 952円＋税

お仏壇を買いたいと思っている人のためのよくわかる入門書。仏壇の歴史と種類はもちろん、宗派ごとの正しいおまつりのし方も解説されていて、間違いのないお仏壇が買えます。 ●—6415-4(2002.9)

福原堂礎

## 墓のはなし

四六判90頁 並製 本体 952円＋税

お墓を建てたいけれど、どうすればいいのかわからないという人のために、霊のたたりや占いに惑わされることのない正しいお墓の建て方をやさしく解説する入門書の決定版。 ●—6417-8(2003.4)

菅 純和

## 葬式のはなし

四六判112頁 並製 本体 1000円＋税

通夜の意味、葬儀の相場、仏壇の購入、分骨、法事、お寺とのつきあいなど、葬儀とその後に関する50の疑問に明快に答える。「やってよかったお葬式」にするための必読の一冊。 ●—6418-5(2010.10)

蒲池勢至

## お盆のはなし

四六判114頁 並製 本体 1200円＋税

日本人の夏の行事として欠くことができない「お盆」。そもそも「お盆」とは何なのか。お盆の発生と歴史、祖先をどう迎え送るのかなどお盆について簡潔にまとめた必読の一冊。 ●—6419-2(2012.6)

宇佐美直八監修

## 京表具のすすめ

B5変96頁 上製 本体 3689円＋税

日本文化の時代の証言者である京表具には不思議な魅力がある。京表具が美術へと高められていく過程、京都独自に発展し継承された技術を、表具に触れられる人にわかりやすく解説。 ●—6402-4(1991.9)

小堀 進

## お仏壇ものがたり

四六判46頁 並製 本体 500円＋税

誰が何のためにお仏壇・仏具を買うのか？ お仏壇・仏具をめぐる様々な人の想いや物語を、伝統ある京仏壇・仏具店の10代目社長が語る。読めば、お仏壇に手を合わせたくなくなる一冊。 ●—6425-3(2013.7)

古川泰龍

## 叫びたし寒満月の割れるほど

冤罪死刑囚と歩む半生

四六判282頁 上製 本体 2524円＋税

己れの求道よりも人命に！ 死刑囚再審請求運動に賭し、東西の宗教の交流をめざしてシェヴァイツァー寺を開いた行動する僧のヒューマンドキュメント。ここに真の仏者の生き方、菩薩道がある。 ●—8070-3(1991.1)

丸山照雄

## 危機の時代と宗教

四六判327頁 上製 品切

アメリカの世界制覇の野望、イスラムの動向、日本の伝統文化と家族の崩壊……現代世界の危機を把握し、宗教と文明を機軸に「生命の連帯」を保証する新たな世界像を模索する最新論考。  
●—8159-5(2002.7)

丸山照雄

## 闘う仏教

A5判302頁 上製 品切

アジアにいま熱い火が燃えている！ 解放と平和を願う仏教者との出会いを通して日本仏教再生の途を探る著者が、10年の沈黙を破って世に問う、待望の評論集。仏教の覚醒へ、世界の連帯へ。  
●—8045-1(1991.3)

池口恵観

## しあわせをつかむ心得

空海の開運学

四六判216頁 上製 本体1800円+税

運とは仏さまとのご縁。ご縁はいつでもどこでも身近に転がっているものですが、見ようとしなければ見えない。暗い世相を幸運という安心の船で航海するために好適な指針の書。  
●—6359-1(2003.8)

池口恵観

## 二十一世紀のリーダー像

甦れ！日本人のこころ

四六判314頁 上製 本体2300円+税

政・財界の混迷、教育現場の荒廃、そして倒産、リストラ……と続くニッポン国。この世相に警鐘を鳴らす、「炎の行者」の新しいリーダーの条件とは。上杉鷹山から石原慎太郎までを論ずる。  
●—6358-4(2003.8)

読売新聞大阪本社編

## いま、〈宗教〉を問う！

リレー講座 現代社会と宗教Ⅰ

四六判213頁 並製 本体1600円+税

いま、本当に必要な知恵とは何なのか。津本陽、梅原猛、山内昌之、立松和平、川村邦光、玄侑孝久、山形孝夫の7人が、「現代社会と宗教」をテーマに、やさしく鋭く問いかける、立命館大学講演録。  
●—5638-8(2006.2)

読売新聞大阪本社編

## 宗教者に聞く！ 日本編上

リレー講座 現代社会と宗教Ⅱ

四六判173頁 並製 本体1600円+税

日本宗教界のトップに聞く、立命館大学の講義録。大谷光真、高橋卓志、坂口博翁、河野太通、水谷幸正、安田暎胤、秋田光彦、小林隆彰、森本公誠、森清範、早水日秀、梶田真章、有馬頼底、井上順考。  
●—5639-5(2007.1)

読売新聞大阪本社編

## 宗教者に聞く！ 日本編下

リレー講座 現代社会と宗教Ⅲ

四六判193頁 並製 本体1600円+税

日本宗教界のトップに聞く。野村純一、福島慶道、岡田稔、村上密、畠山友利、高口恭行、多川俊映、菅原信海、田中利典、櫻原禪澄、安永祖堂、松島如戒、大野玄妙、安原見、イアン・リーダー。  
●—5640-1(2007.1)

小林正弥監修 藤丸智雄編

## 本願寺白熱教室

お坊さんは社会で何をするのか？

四六判246頁 並製 本体1400円+税

僧侶が社会とかかわるときに直面するジレンマをめぐるかわされた、小林正弥氏と西本願寺僧侶との激論の記録。諸問に関する7篇の多角的論考。今、最も斬新で平易な「宗教と公共性」入門書。  
●—8177-9(2015.6)

櫻井義秀・川又俊則編

## 人口減少社会と寺院

ソーシャル・キャピタルの視座から 日本図書館協会選定図書

A5判428頁 上製 本体3000円+税

人口減少社会を迎えた現代、全国コンビニ数を凌駕する仏教寺院が地域や檀家・門徒に果たす役割とは？ 主要宗派の宗勢調査、実地調査に基づく多彩な事例報告から展望する。  
●—5702-6(2016.3)

相澤秀生・川又俊則編著

## 岐路に立つ仏教寺院

曹洞宗勢態総合調査2015年を中心に

A5判324頁 並製 本体 3000円＋税

寺院減少時代の今こそ、全寺院対象の悉皆調査で得られた正確かつ客観的なデータの分析が映し出す、仏教寺院の実態を知ることが必須である。

●—5712-5(2019.7)

那須英勝・本多 彩・碧海寿広編

## 現代日本の仏教と女性

文化の越境とジェンダー 龍谷大学アジア仏教文化研究叢書8

四六判256頁 並製 本体 2200円＋税

仏教界に今なお根強く残る性差別の実態に、国内外の研究者と現場の僧侶たちが鋭く迫る。多文化共生が求められる現代社会に、ジェンダーの視点から日本仏教の未来を問う革新的な一冊。

●—6016-3(2019.3)

井上順孝編著 発売＝法蔵館 発行＝中外日報社

## IT時代の宗教を考える

新書判201頁 並製 本体 1000円＋税

IT時代、宗教の世界もいま「静かな革命」が進んでいる。バーチャル空間で宗教はどう変貌しつつあるか、新進気鋭の研究者グループがITという切り口から未来を予見する。

●—8160-1(2003.9)

安藤俊雄

## 仏教入門 仏陀のおしえ〈新装版〉

四六判80頁 並製 本体 600円＋税

真宗の伝統を承けつぐ開法の道場高倉会館の創立40年記念講演として開かれた現代に生きる青年のための「仏教入門講座」。第1講 自覚の宗教 第2講 仏教の真理 第3講 人生と仏教。

●—8639-2(2000.11)

有川旭一

## 仏伝まんが 釈尊 1・2

A5判総304頁 並製 各本体 1000円＋税

経典と資料にもとづいて、わかりやすく感動的に綴る、だれもが読める釈尊入門。著者は昭和30年代に一世を風びした柔道まんが「イガグリくん」の著者。①＝誕生・出家・成道篇。②＝教化篇。

●—8101, 8102(1988.4)

原作監修＝番場一雄 漫画＝吉森みき男

## マンガひとめでできる ヨーガ健康法

A5判148頁 上製 本体 1500円＋税

インド数千年のヨーガの叡智とその実践方法を、漫画の手法を用いてわかりやすく解説した、ヨーガの入門書として最適の画期的入門書。原作者は日本ヨーガ光麗会会長、雄弘ヨーガ主宰者。

●—8110-6(1997.10)

遠藤暁及

## 気の幸福力 気心道とタオ指圧

四六判192頁 並製 本体 1600円＋税

幸福になるための「幸福力」はどうしたら身に付くのか。“気が見える”タオ指圧の創始者・遠藤暁及が、自身の体験とともに、幸福力をつける方法を具体的に語る。

●—6424-6(2012.6)

遠藤暁及

## タオ、気のからだを癒す

A5判270頁 並製 本体 2600円＋税

人間が本来保持する直感性に訴え、原始的な手技を通した新時代の「経絡指圧」の理論と実践を、多数の図版を使って紹介。世界6カ国に翻訳されている、話題の東洋医学書の日本語原簿。

●—6414-7(1999.3)

宝積玄承 発売＝法蔵館 発行＝中外日報社

## 逆転の呼吸法 求道への旅

四六判228頁 並製 品切

生涯雲水を貫き、釈尊が禪定に入ったときの呼吸法「逆転の呼吸法」を追究、実践し続ける著者が、これまでの人生を振り返り、どう生きればよいかを指し示す人生の指針書。

●—8166-3(2004.11)

真溪涙骨著 山折哲雄監修

涙骨抄 るい こっしょう 生きる智慧

四六判159頁 上製 本体 1600円+税

出会いが人の一生を左右する。本書の一言一句は、これまであなたの人生のすべてを生かし、これからの人生を輝かせるであろう。人間にとって最も大切なものは何かを教えてください、万人必携の書。 ●—8931-7(2005.4)

真溪涙骨著 山折哲雄監修

涙骨抄Ⅱ 天来の妙音

四六判257頁 上製 本体 1800円+税

反骨のジャーナリスト真溪涙骨の格言・論文集、第2弾。人間の核心をつく知性と気迫の籠った言葉が甦る！ 人生の指針が失われがちな今だからこそ読みたい一冊。未公開の初期論説を多数収録。 ●—8939-3(2008.3)

五十嵐隆明

自分らしく生きる 他力への道

四六判214頁 上製 本体 1600円+税

総本山禅林寺第88世法主である著者が宗派を超えて語りかける。教育や道徳、社会の根底で人々の心を支える仏の教えを、現実生活にどのように生かすかをやさしいことばで説き明かす仏教入門書。 ●—8169-4(2007.11)

椋本智照

風花雪月(書)(画)

A5判各80頁 並製 本体 1500円+税

四季折々、自然の声に耳を傾けて暮らす著者が、日々咲く花を絵に、先人の残した言葉を書きあらわした滋味あふれる書画集。悩めるときにこそ手にとりたい書。オールカラーの美しい仕上がり。 ●—2363.2364(2011.7)

青木新門

それからの納棺夫日記

日本図書館協会選定図書

四六判171頁 上製 本体 1700円+税

現代人への警告——！ どれだけの人が、本当の死と向き合っているだろうか？ 生死を見つめ、命を繋いでいくことの尊さを伝える。「感動した」[命のバトンタッチってすごい]と、称賛の声が続々！ ●—6426-0(2014.2)

山本幸子

チベットひとり旅

A5判240頁 並製 本体 1800円+税

著者の長年にわたる、インド・ネパール・チベットでの巡礼の旅から得た体験、人々との邂逅を綴る。淡々とした筆致のなかにも、著者の宗教観や人生観が滲み出る珠玉のエッセイ4編。 ●—6235-8(2017.1)

小竹裕一

韓国ふしぎ旅

四六判205頁 並製 本体 1800円+税

「魅惑の都」ソウル、「カオスの都市」釜山、「神々の島」濟州島等々、旅人として異邦人として著者独自の視点で覗いた韓国を紹介。時には笑い、時には涙。抱腹絶倒の韓国の旅。 ●—5648-7(2018.4)

谷口義介

明恵と龍になった女

四六判186頁 並製 本体 1500円+税

京都・高山寺の名僧明恵が描かせた『華嚴宗祖師絵伝』(国宝)には、龍になった美女善妙が登場する。彼女のルーツを求めて韓国から中国を訪ね、善妙化龍説話が形成されてくる背景を探る。 ●—5649-4(2019.4)

大谷康雄・文/田中陽一郎・絵

かえるのぶらんこ

B4変32頁 上製 本体 1200円+税

「おいら ぶらんこにのってみてえなあ」ある月夜の晩、かえるの子どもが、ぶらんこをめざしてびよん、びよん、びよん……？ お子様への読み聞かせにもぴったりの、可愛い絵本。 ●—5813-9(2019.6)

監督=菅尾健太郎  
制作総指揮=パウロ・パストレロ

TRES JOIAS トレス・ジョイアス

多文化社会で輝く仏教

180分

Blu-ray版 本体 5000円+税

DVD版 本体 4000円+税

日本人移民とともに仏教が渡って110年。禅宗、浄土真宗、チベット仏教など、異国の地ブラジルでいま注目されている仏教者の姿を、美しい映像で捉えた感動のドキュメンタリー3部作。

第1部 ブッダ

第2部 ダルマ

第3部 サンガ

●—9817, 9818(2018.11)

菅尾健太郎

TRES JOIAS 〈ブックレット〉

多文化社会で輝く仏教

A5判34頁 並製 本体 1000円+税

ドキュメンタリー映画3部作に登場する魅力的な仏教者や仏教団体を写真とともに解説。釈徹宗氏の寄稿文と、菅尾監督が映画制作の意図や社会背景などを記した制作ノートを付す。

●—9816-6(2018.10)

## 西域・中国仏教

小田義久

### 大谷文書の研究

A5判444頁 上製函入 本体 15000円+税

大谷探検隊が西域より将来した大谷文書に関する著者長年の研究成果の集大成。大谷文書に関する諸問題、高昌国時代の古文書に関する諸問題、西州時代の古文書に関する諸問題について論述する。 ●—7422-1(1996.2)

上山大峻

### 増補 敦煌佛教の研究

A5判740頁 上製函入 本体 20000円+税

敦煌写本の検討から、チベット支配下の同地に展開した特異な仏教教学を解明。未伝の学僧・曇曠と法成の研究、チベット宗論の研究などを収録し、さらに2論文を増補。 ●—7361-8(2012.9)

小田義久編

### 大谷文書集成 壹

龍谷大学善本叢書5

A4判332頁 上製函入 品切

大谷探検隊西域出土文書のうち、漢字文献約380点の写真を収録する。積文篇でその判読内容を掲げた。西域地方の社会経済事情を解明するうえで、欠かすことのできない貴重な資料。 ●—7292-0(1984.3)

小田義久編

### 大谷文書集成 貳

龍谷大学善本叢書10

A4判394頁 上製函入 本体 38000円+税

大谷文書のうち、通番3001号～4500号までの漢字資料の図版と積文を収録し、大谷文書の来源を中心に概観を述べる。最新の国内外の吐魯番・敦煌関係文書の研究成果を公刊。 ●—7293-7(1990.9)

小田義久編

### 大谷文書集成 参

龍谷大学善本叢書23

A4判350頁 上製函入 本体 38000円+税

大谷探検隊西域出土文書のうち、通番4501号以降の漢字資料を収録。多数の小断片がパズルのように、当時の西域の信仰、生活、習俗などを浮かび上がらせる最新の研究の成果。 ●—7290-6(2003.3)

小田義久編

### 大谷文書集成 肆

龍谷大学善本叢書28

A4判292頁 上製函入 本体 35000円+税

龍谷大学図書館所蔵の大谷文書漢語資料のうち、未公開であった「胡漢両語文献」「流沙残闕」「極少断片」「橋資料」の影印の一部と全積文を公開する。 ●—7287-6(2010.3)

上山大峻編

### 敦煌写本 本草集注序録・比丘含注戒本

龍谷大学善本叢書16

A4判303頁 上製函入 品切

大谷文書の一つ「比丘含注戒本」と、その紙背文書である「本草集注」と「大智度論」のすべてを写真版で公開。最新の研究成果と、最古の写本である「本草集注」については詳細な積文を付した、待望の公開。 ●—7297-5(1998.6)

神子上恵生ほか編

### 梵文大乘莊嚴經論写本

龍谷大学善本叢書14

A4判416頁 上製函入 品切

龍谷大学図書館所蔵「大乘莊嚴經」A・B本を完全収録。本論書に関する従来の研究についての詳論、現在入手可能な9本の対照表、および付録として「安慧積本論註積簡所見表」を収録した。 ●—7296-8(1995.3)



百濟康義／W・ズンダーマン／吉田 豊編

## イラン語断片集成 図版編・解説編

龍谷大学善本叢書17 大谷探検隊収集・龍谷大学所蔵中央アジア出土イラン語資料  
A4判400頁 上製函入(2冊組) 本体 38000円+税

大谷探検隊が東トルキスタンより持ち帰った多数の文字資料の中から、「非漢字文献」としてソグド文字とマニ文字で書かれた宗教文書と世俗文書の原寸写真と全資料の読みと翻訳を掲載。 ●—7298-2(1997.10)

龍谷大学仏教文化研究所編

## 漢文大藏經典籍品題名索引(増補版)

龍谷大学仏教文化研究叢書IV  
A4判594頁 並製 品切

『大正大藏經』『続正藏經』および『宋藏遺珍(歴章部を含む)』に収録された印度遺述部の経名・品題・見出し語の詳細な索引。仏典研究、とくに西域出土写本断片の調査に至便。研究者必備。 ●—7893-9(1993.12)

龍谷大学仏教文化研究所西域研究室編

## 注維摩詰經一字索引 付注維摩詰經

龍谷大学仏教文化研究叢書Ⅱ  
A4判600頁 並製×2冊セット 本体 17000円+税

5世紀初頭、中国において鳩摩羅什が翻訳した『維摩経』の注釈書である『注維摩詰經』の中に使用されたすべての漢字一字ずつについて、その使用例を網羅した待望の一字索引。 ●—7894-6(2003.3)

Michael Hahn著 若原雄昭編

## Kapphinābhayudaya or King Kapphinā's Triumph

龍谷大学仏教文化研究叢書Ⅲ  
B4判横239頁 上製函入 本体 38000円+税

9世紀カシュミールの詩人の手になる佛伝を素材としたサンスクリット美文体詩篇Kapphinābhayudaya(『闍賓寧王の偉勲』)。稀少価値も高いその貝葉写本の原寸大カラー影印版と解説を収録した貴重書。 ●—7281-4(2007.3)

藤枝 晃編

## 高昌殘影

出口常順蔵 トルファン出土佛典断片圖録

A3変65枚・A4判解説書284頁、挿入特装 本体 200000円+税

トルファンから出土した世界最古級の仏典写本等130点の文化遺産をコロタイプ印刷の複製で一挙公開。敦煌学の世界的権威・藤枝 晃博士による詳細な解説と録文を掲載した解説篇を併せて刊行。 ●—7289-0(2005.3)

藤枝 晃編著

## トルファン出土仏典の研究

高昌殘影続編

A4判284頁 上製函入 本体 28000円+税

敦煌学の権威・藤枝 晃博士によるトルファン出土仏典写本の時代別総説と録文を掲載した「藤枝写本学」の集大成。『高昌殘影』(圖録)に収録された図版すべてを縮小して掲載。大藏経との校勘も記載。 ●—7279-1(2005.3)

旅順博物館・龍谷大学編

## トルファン出土漢文仏典断片選影

旅順博物館蔵

B4判262頁 上製函入 本体 80000円+税

大谷探検隊が収集し、旅順博物館に所蔵されているトルファン出土漢文仏典断片を約2万6000点のうち、世界最古の奥付を有する『諸仏経要集』離片ほか、精選1429点を掲載する世界初公開の図録。 ●—7280-7(2006.10)

小田壽典

## 仏説天地八陽神呪經一卷 トルコ語訳の研究

B5判807頁 上製2冊セット函入 本体 20000円+税

多くの言語に翻訳された偽経「仏説天地八陽神呪經」の総合的研究の成果。多数の資料を調査検討することにより、トルコ民族の動向、トルコ語仏教および仏教文化史の解明を試みる。 ●—7282-1(2010.5)

小野勝年

## 中国隋唐 長安・寺院史料集成

史料篇・解説篇

B5判史料篇543頁・解説篇210頁 上製函入 本体 30000円+税

隋唐時代の長安で隆盛を極めた寺院の史料から、仏教が当時の政治・社会経済・文化に与えた影響を探る。収載寺院170余カ寺、収集史料およそ150点。2冊セット函入。 ●—6518-2(2011.4)

木村宣彰

## 中国仏教思想研究

A5判505頁 上製函入 本体 9500円+税

インド伝来の仏教は、いかにして中国固有の文化と融合し独自の中国仏教を形成したのか。釈道安や鳩摩羅什の仏典漢訳を機に、南北朝仏教から隋唐新仏教生成に至る思想的展開を解明する。 ●—7435-1(2009.9)

諏訪義純

## 中国南朝仏教史の研究

A5判380頁 上製函入 品切

仏典史料を中心に精緻な史料分析を通じ、南朝仏教の特質を解明した画期的論考13編を収録。付編として、六朝・隋唐時代の仏教説話に言及した論考4編も併せて収める。付索引。 ●—7423-8(1997.5)

船山 徹

## 六朝隋唐仏教展開史

A5判552頁 上製函入 本体 8000円+税

中国仏教の基盤が整備された六朝隋唐期の仏教史をインド仏教との関わりから捉え、中国仏教の新展開とは何であったかを明らかにする。 ●—7724-6(2019.5)

倉本尚徳

## 北朝仏教造像銘研究

B5判730頁 上製 本体 25000円+税

仏像に添えられた造像銘を資料として、中国北朝社会各地で行われた主体的解釈に基づく仏教実践と信仰の具体的様相を解明し、この時代の仏教の特殊性と多様性を浮き彫りにする。 ●—7444-3(2016.3)

大西磨希子

## 唐代仏教美術史論攷

仏教文化の伝播と日唐交流

A5判456頁 上製函入 本体 12000円+税

西方浄土変や當麻曼荼羅、奈良国立博物館蔵刺繍積迦如來說法図等の宗教美術としての本質や変遷の思想的背景を解明し、日中両国の仏教美術・文化の全体的輪郭を描き出す。 ●—6327-0(2017.2)

大内文雄

## 南北朝隋唐期 佛教史研究

A5判516頁 上製函入 本体 11000円+税

南北朝～隋唐期仏教の正当性や重要性はどのように記述されたのか。史書・碑文・塔銘をもとに、同時代人の歴史観や仏教観を明らかにし、中国中世仏教の史的展開を詳論する。貴重拓影多数掲載。 ●—7284-5(2013.3)

藤善真澄

## 中国佛教史研究

隋唐佛教への視角

A5判549頁 上製函入 本体 13000円+税

隋唐仏教史および歴史地理学・日中関係史など幅広い業績を遺した著者による、半世紀にわたる研究軌跡。「隋唐佛教時代区分試論」「唐五代の童行制度」など所収。 ●—7285-2(2013.10)

礪波 護

## 隋唐佛教文物史論考

A5判438頁 上製函入 本体 9000円+税

隋唐の佛教と國家、祀天神と釋覺、隋唐の石刻、遣隋使と遣唐使の四部構成。「嵩岳少林寺碑考」「唐代の過所と公驗」をはじめとする著者の代表作に新稿と関連コラムを収載。 ●—7392-7(2016.4)

礪波 護

## 隋唐都城財政史論考

A5判514頁 上製函入 本体 10000円+税

隋唐の都城と関所、隋唐の財政と倉庫の二部構成。附篇として学会動向と書評・紹介を収める。中国の都城と財政の関連論文とコラムおよび書評類をあますところなく集録。 ●—7393-4(2016.9)

礪波 護

## 敦煌から奈良・京都へ

四六判318頁 並製 本体 2500円+税

高度な研究を平易に語ることで定評のある東洋史の碩学による、シルクロードや中国の歴史・文化・人物、中国学を牽引した内藤湖南・宮崎市定等に関するユーモア溢れる随筆集。

●—7710-9(2016.10)

礪波 護

かがみ

## 鏡鑑としての中国の歴史

四六判342頁 並製 本体 2500円+税

“歴史が過去を映しだす鑑であることは確かだが、ゆがんだ鑑には十分すぎるほど気をつけないと、危険なのである”。平明で深い、多彩な文章で示される中国史の見方、学び方。

●—7716-1(2017.6)

齊藤隆信

●佛教大学学術賞受賞 ●平成26年浄土宗学術賞受賞

## 漢語仏典における偈の研究

A5判724頁 上製 本体 15000円+税

漢訳された経典や中国撰述経典の偈のなかには、中国の詩の絶対条件である押韻を具えているものがある。経典の構成要素でありながら、研究が少なかった偈に関する初の研究書。

●—7399-6(2013.11)

齊藤隆信

## 中国浄土教儀礼の研究

善導と法照の讃偈の律動を中心として

A5判640頁 上製 本体 15000円+税

中国仏教の儀礼において唐時代以降に絶大な影響力をもった善導と法照の讃偈を、中国文学の研究成果も導入しながら分析して、唐代浄土教儀礼が盛況した要因を解明する。

●—7398-9(2015.2)

石川琢道

●浄土宗学術賞受賞

## 曇鸞浄土教形成論

その思想的背景

A5判314頁 上製 本体 6000円+税

曇鸞浄土教誕生の秘密を、「北魏仏教」や「大智度論」「十住毘婆沙論」など般若系論書に求め、「往生論註」研究に新時代を切りひらく書。従来像から脱却し、新たな曇鸞像を模索する最新成果。

●—7359-0(2009.7)

工藤量導

●浄土宗学術賞受賞

## 迦才『浄土論』と中国浄土教

凡夫化土往生説の思想形成

A5判505頁 上製 本体 12000円+税

凡夫化土往生とは何か？ 唐初期の長安で活躍した謎の学僧、迦才。『撰大乘論』『大乘起信論』にもとづき、道綽や善導とは一線を画した“撰論系浄土教者”の思想の核心に迫る。

●—7365-1(2013.2)

大内文雄編訳

## 唐・南山道宣著作序文訳註

龍谷叢書50

A5判420頁 上製 本体 7500円+税

21篇の著作に道宣みずから著わした自序に、釈文・訓読・訳文・語註を施し、律師・仏教史家などの多様な顔をもつ道宣の全体像を俯瞰する。

●—7727-7(2019.9)

成瀬隆純

## 唐代浄土教史の研究

A5判300頁 上製函入 本体 6500円+税

従来の研究において見過ごされてきた唐代浄土教史の問題点を再検証し、通説を見直すことで、教科書的に語られてきた浄土教史にはみられない唐代浄土教の姿を描き出す意欲作。

●—6373-7(2018.5)

松森秀幸

## 唐代天台法華思想の研究

荆溪湛然における天台法華経疏の注釈をめぐる諸問題

A5判531頁 上製 本体 10000円+税

天台宗を復興させた中興の祖と評価される湛然。天台法華経疏に対する湛然の注釈の研究を通じて、湛然の法華経思想を解明することによって唐代天台宗の復興運動の実態を考察。

●—7397-2(2016.3)

吉水岳彦

## 靈芝元照の研究

宋代僧侶の浄土教

A5判434頁 上製 本体 12000円+税

善導との比較のみで論じられてきた従来像を覆し、戒律と浄土教双方にわたる元照独自の思想と信仰の内実を徹底検証。宋代浄土教の思想背景、浄土教諸師との関連も明らかにする。

●—7360-6(2015.11)

織田顕祐

## 華嚴教学成立論

A5判590頁 上製函入 本体 12000円+税

東アジアの思想文化に多大な影響を与えてきた華嚴教学の成立過程を、智儼から法藏に至る思想の分析を通じて解明する。関連する仏教思想の諸概念をもあわせて考察し、新知見を提示する。

●—7394-1(2017.2)

柳 幹康

## 永明延寿と『宗鏡録』の研究

一心による中国仏教の再編

A5判500頁 上製 本体 7000円+税

中国仏教を「一心」という概念によって統合化を図り、その思想を『宗鏡録』100巻に著した永明延寿の全体像を解明。中国仏教史に新たな息吹を伝える迫真の論考！

●—7389-7(2015.2)

ヘンジンシエン  
何 燕生

●日本宗教学会賞受賞

## 道元と中国禅思想

A5判392頁 上製函入 本体 13000円+税

日本中世に突然現れた宗教的天才という従来の道元像をくつがえす画期的研究。中国禪仏教の影響を『正法眼蔵』『永平広録』などのテキストに沿って読み解き、道元思想の真価を問う。

●—7634-8(2000.1)

中村 薫

## 楊仁山の「日本浄土教」批判

小栗栖香頂「真宗教旨」をめぐる日中論争

A5判284頁 上製 本体 7500円+税

明治初期に繰り広げられた日中の代表的僧侶による思想論争。本書では小栗栖香頂の『真宗教旨』を中心に、日中の浄土教に対する論争の全容を紹介。附篇として、翻刻、訳注を付す。

●—7447-7(2016.3)

エリック・シッケタンツ

## 墮落と復興の近代中国仏教

日本仏教との邂逅とその歴史像の構築

A5判396頁 上製 本体 5000円+税

我々が知る「中国仏教」の歴史像は日本人が作った虚像に過ぎなかった！近代における日中仏教交流のなかでなされた宗派概念形成の過程を追究し、アジア仏教史研究の視座とその前提を問い直す。

●—7709-3(2016.7)

ジヤムヤンカイオウ  
嘉木揚凱朝

## モンゴル仏教の研究

A5判502頁 上製函入 本体 13000円+税

モンゴルにおける仏教の歴史や諸形態を文献資料・実地調査から解明。また仏教が与えたモンゴル文化への影響も論考。モンゴル仏教の成立過程とその文化に正面から取り組んだ労作。

●—7429-0(2004.3)

嘉木揚凱朝

## モンゴルにおける浄土思想

A5判197頁 上製 本体 6000円+税

著者はモンゴル仏教研究の第一人者。文献学的アプローチとフィールドワークを踏まえて、著者ならではの独自の視点からモンゴルの浄土思想の多様性を考察する。

●—7707-9(2016.3)

藤原崇人

## 契丹仏教史の研究

A5判250頁 上製 本体 7000円+税

10～12世紀にかけて北アジアに君臨した草原の王国、契丹。わずかに残された文献史料や最新の発掘成果を駆使し、契丹と仏教との関わりを解明。アジア史の間隙を埋める意欲的研究！

●—7388-0(2015.2)

横超慧日

## 中国佛教の研究 第一 〈POD版〉

A5判403頁 並製表紙装 本体 5000円+税

漢魏兩晋から南北朝時代における仏教の初伝から定着の実態に迫った論考を収録。中国仏教研究の不朽的名著。

※取り扱いは、Amazon・三省堂書店オンデマンド・楽天のみ。 ●—9303-1(2018.4)

横超慧日

## 中国佛教の研究 第二 〈POD版〉

A5判315頁 並製表紙装 本体 3900円+税

中国仏教の義学興隆の前提となる鳩摩羅什の業績と彼を中心に展開した学問的活動を対象にした諸論考を収録。

※取り扱いは、Amazon・三省堂書店オンデマンド・楽天のみ。 ●—9304-8(2018.4)

横超慧日

## 中国佛教の研究 第三 〈POD版〉

A5判285頁 並製表紙装 本体 3600円+税

戒壇史を概観した「戒壇について」や明末仏教と基督教の相互批判の問題など、広い関心に基づく論考を収録。

※取り扱いは、Amazon・三省堂書店オンデマンド・楽天のみ。 ●—9305-5(2018.4)

# 密教

解説 = 宮坂有勝・松長有慶・磯田熙文

## チベット・インド学集成 全4巻

羽田野伯猷著作集

A5判 300~400頁 上製函入

2巻本体 11000円+税

3・4巻各本体 8500円+税

1巻品切

龐大なチベット文献を駆使して、仏教の伝播および仏教の変容の過程を刻明にあとづけた。

① チベット篇Ⅰ

② チベット篇Ⅱ

③ インド篇Ⅰ

④ インド篇Ⅱ

●—3251~3254(1986.11~88.2)

編集 = 羽田野伯猷

## 瑜伽師地論菩薩地 戒品

チベット仏典研究叢書Ⅱ

B4変416頁 上製函入 本体 44660円+税

菩薩地戒品には、大乘の菩薩戒が説かれている。本書では、藏梵漢の3文を逐語的に対照させ、内容の異同を明確にしたほか、3語各々のテキストの写本、版本を校合・校正し、その間の異読を明記。 ●—7272-2(1993.9)

編集 = 古坂紘一

## 瑜伽師地論菩薩地 菩薩功德品

チベット仏典研究叢書—第二輯第九分冊—

B5判153頁 並製 本体 3500円+税

菩薩的行為の道標を記した「瑜伽師地論」[菩薩地]の基本篇の終章。序文に論考を付し、合轍篇でチベット語訳、玄奘訳などとサンスクリット原文、および海雲の註に対照している。(2007.3)

編集 = 磯田熙文・古坂紘一

## 瑜伽師地論菩薩地 隨法・究竟・次第瑜伽處

チベット仏典研究叢書Ⅲ

B4変600頁 上製函入 本体 55000円+税

本書は「瑜伽師地論」[菩薩地]の第二、第三、第四瑜伽處を含む。これに初瑜伽處を合わせて「菩薩地」が完結する。サンスクリット、チベット、漢語の3文を逐語的に対照させ、内容の異同を明確にした。 ●—7273-9(1995.2)

編集 = 羽田野伯猷

## 聖入楞伽經註 (箋要)

チベット仏典研究叢書Ⅳ

B4変535頁 上製函入 本体 38835円+税

チベット大藏經中に存するジニャーナシュリー・パドラの『楞伽經註』本文のデルゲ版を底本とし異版を校合、また註所引の經本から対応箇所を取り出し藏梵漢各々の異版、異写本等に校訂を加え取載。 ●—7274-6(1993.12)

堀内寛仁

## 金剛頂經の研究

堀内寛仁論集 上

A5判440頁 上製函入 品切

著者長年の研究成果を集大成する。Ⅰ金剛頂經の原典研究 Ⅱ金剛頂經に関する研究(収録論文)初会金剛頂經所説の諸尊について/四智四仏について/金剛界次第の印・真言についてほか16篇。 ●—3333-4(1996.12)

堀内寛仁

## 金剛頂經形成の研究

堀内寛仁論集 下

A5判512頁 上製函入 品切

Ⅰ文殊儀軌經の研究 Ⅱ出生無辺門陀羅尼經の研究 Ⅲ四度真言の音訳学の研究(収録論文)文殊儀軌經の梗概/西蔵訳「出生無辺門陀羅尼」および「広釈」和訳/四度真言の音字訳(ほか9篇)。 ●—3334-1(1996.12)

高木神元

## マータラ評註の原典解明

高木神元著作集2

A5判320頁 上製函入 本体 9000円+税

著者の学位論文を中核とした基礎的研究。マータラ評註の全文和訳と註記を論拠として、教論学派の体系の成立とヨーガ学派との親縁関係を、鮮やかに浮き彫りにした画期的論考。  
●—3512-3(1991.8)

高木神元

## 空海思想の書誌的研究

高木神元著作集4

A5判415頁 上製函入 本体 12000円+税

インド密教に源流をもつ空海思想形成の背景を、インド学的研究方法に基づき、追求。伝統的解釈にとらわれることなく、文献書誌学的視点に立脚した包括的研究。  
●—3514-7(1990.12)

静 慈圓編

## 弘法大師空海と唐代密教

弘法大師入唐千二百年記念論文集

A5判296頁 上製 本体 6500円+税

2004年、弘法大師入唐千二百年を記念して中国上海復旦大学で開かれた学会での日本人参加者の論文集。空海の十住心思想とその中国的影響、唐代密教思想史上の特質を探り、入唐の意義を問う書。●—7688-1(2005.12)

静 慈圓

## 空海の行動と思想

上表文と願文の解説から

A5判277頁 並製 本体 2800円+税

空海はいかにして嵯峨天皇に接近し、親交を作ったのか。上表文と願文の解説から、人間空海の行動を解明し、「横堅」「機根」「因果」をキーワードに、空海の覚った密教思想の核心に迫る。  
●—7375-0(2009.3)

宮坂宥勝

## インド学密教学論考

A5判592頁 上製函入 本体 20000円+税

密教思想とは何か？ 密教の起源を広くインド思想に求め、初期仏教・大乘仏教、あるいはインド哲学、ヒンドゥー教と比較することによって、密教独自の哲学・宗教観に迫る力作論考集。  
●—7618-8(1995.11)

平岡宏一

## 秘密集会タントラ概論

A5判256頁 上製 本体 3200円+税

グライ・ラマの修行の根幹である秘密集会タントラ。ゲルク派の僧が必ず学ぶ密教入門書を本邦初訳し注釈。チベット密教最奥義、即身成仏の本質に迫る。密教を学ぶための必読書。  
●—6370-6(2018.3)

松長有慶

## 秘密集会タントラ和訳

A5判278頁 並製 本体 2200円+税

仏教タントラの代表聖典である『秘密集会タントラ』を本邦で初めて完全和訳。貪瞋痴に代表される人間の欲望さえも肯定する、インド後期密教の全容把握に最適の一冊。研究者に必備の書。  
●—7073-5(2000.3)

桜井宗信

## インド密教儀礼研究

後期インド密教の灌頂次第

A5判674頁 上製函入 本体 19000円+税

『秘密集会タントラ』二大流派の一つジュニャーナパーダ派が伝えた灌頂次第の構造と変遷の具体像を梵文原典に即して考察。併せてVajrāvāli 灌頂次第関連諸儀軌の訳註・梵文テキストなどを付す。  
●—7347-7(1996.2)

越智淳仁

## 法身思想の展開と密教儀礼

A5判447頁 上製函入 本体 9000円+税

仏教の重要概念である「法身」。膨大な資料をもとに、初期仏教から密教に至るその思想的展開のプロセスを緻密に跡づけた画期的労作。巻末には詳細な仏教用語の索引を収録。  
●—7638-6(2009.5)

真鍋俊照

## 密教図像と儀軌の研究 上・下

B5判平均500頁 上製函入

上巻本体 21000円+税 下巻本体 25000円+税

密教画としての曼荼羅を含めた絵画・法具を個別に考察することにより、その図解・制作上の典拠となる儀軌類との関係や変遷を説明する。著者の長年にわたる研究成果を集大成。

●—7643, 7644(2000. 11. 01. 4)

N・ノルプ著 永沢 哲訳

## 虹と水晶 チベット密教の瞑想修行

四六判270頁 上製 本体 2800円+税

「この本によって、私たちは魂の野を開く鍵を手に入れることができる」(中沢新一)。大いなる完成を意味するゾクチェンの教えを平易に説き、秘法を初めて公開した話題の本。図版多数。

●—7173-2(1992. 2)

N・ノルプ著 永沢 哲訳

## チベット密教の瞑想法

四六判262頁 上製 本体 2800円+税

昼も夜も三昧に入り続けることによって速やかに完全な仏陀の境地に至るゾクチェンの教え。師から弟子へ厳重な秘密とともに継承されたその具体的な瞑想法のテキストを本邦初訳。

●—7242-5(2000. 5)

ソナム・G・ゴンタ著 藤田省吾訳

## チベット密教 心の修行

四六判339頁 上製 本体 2800円+税

釈尊の教えを網羅した代表的なテキストである『「心の修行」七つの要点』をもとに、逆境に打ち勝ち、自他に幸福をもたらす心の修行法を説く。仏教を日常に近づけ実践するための最適なガイド。

●—5622-7(2000. 12)

ソナム・G・ゴンタ解説

## チベット仏教 文殊菩薩の秘訣

四六判208頁 上製 本体 2300円+税

チベット仏教の3人の文殊菩薩といわれていた聖者のうち、ツォンカバ大師の『道の三要訣』と『サバンが著した「四つの捕われから離れる秘訣」』の2書を初めて懇切丁寧に解説する。

●—5636-4(2004. 2)

ソナム・G・ゴンタ

## チベット密教 瞑想入門

四六判338頁 上製 本体 3400円+税

チベット密教に精通し、長年瞑想指導にあたる著者が、苦しみからの解放と究極の善の道を得るための正しい瞑想法を、初心者向けに解説。瞑想の助けとなる貴重図版も多数掲載。

●—6366-9(2011. 8)

松長有慶編

## 密教を知るためのブックガイド

A5判306頁 上製 本体 3786円+税 電子書籍版

初心者から専門家まで、密教を学びたいすべての人に必ず役立つ初めての便利なブックガイド！ テーマ別に入門書から専門書までを紹介。書名索引、著者・編者名索引、図書館ガイド付き。

●—7137-4(1995. 11)

三井英光

## 新装版 真言密教の基本

教理と行証

四六判246頁 並製 本体 2000円+税

「神秘体験の宗教」という真言密教について、教理と行証に分けて具体的に解説した類書のない一冊。約30年ぶりに新装版として復刊！

●—6566-3(2019. 5)

宮坂宥勝

## 新装版 密教の学び方

四六判276頁 並製 本体 1900円+税

宇宙の真理を説く密教をどう学ぶか。成立・発展から神秘思想との関連性、空海までをやさしく説明。基本経典の解説も併せて収録。

●—6558-8(2018. 9)



宮坂宥勝

## 空海曼荼羅

日本図書館協会選定図書

A5判270頁 上製 本体3106円＋税

密教がインドから中国を経て日本へ伝えられた軌跡をたどり、その生涯が曼荼羅世界そのものであった巨星空海の密教世界の全貌を探る研究書。著者自身の護摩修行法の写真と解説を併せて収録。 ●—8058-1(1992.11)

頼富本宏

## わたしの密教 今日を生きる智慧

日本図書館協会選定図書

四六判225頁 上製 品切

政治・経済などますます混迷を深める現代社会。「心の時代」「宗教の時代」などと人間の本質を問いかけられる昨今、マンガラ・弘法大師・四国遍路などを通して、新たな「密教観」を示す。 ●—6355-3(2002.7)

頼富本宏

## あなたの密教 明日を生きる手立て

日本図書館協会選定図書

四六判262頁 上製 品切

混迷を深める21世紀に、密教はどのような生き方を提示できるのだろうか。梅原 猛、河合 肇、立川武蔵、阪田宗彦氏との対談をはじめ、講演録を中心に密教の心を明かす。『わたしの密教』姉妹編。 ●—6356-0(2002.10)

真鍋俊照ほか

## 密教マンガラと文学・絵解き

四六判294頁 並製 本体2800円＋税

立山曼荼羅にみる山岳信仰の実態、徒然草に描かれた美意識の構造、大師信仰の秘密など、日本人の心性にも深く踏み込んだ真鍋俊照対談集第2弾。ドナルド・キーン、宮坂宥勝、杉浦康平ほか。 ●—6361-4(2004.7)

高木神元

## 空海と最澄の手紙

A5判304頁 上製 本体3600円＋税

日本仏教に新時代を築いた2大巨星の手紙をもとに、その交流と決別の軌跡を鮮やかに読み解き、平安仏教形成の謎に迫る。すべての手紙にいい現代語訳と解説を付した決定版。 ●—6540-3(1999.5)

三井英光

## 入定留身 大師の生涯

四六判180頁 上製 本体1600円＋税

前著によって教理の面から「真言密教の基本」を解明したが、本書はそれら底流にある仏教の慈悲を日々の行に実践した空海の生涯について詳説している。 ●—8054-3(1981.5)

松長恵史

## インドネシアの密教

B5判390頁 上製両入 本体16000円＋税

160点余の写真資料を公開し、遺跡・遺品や漢文資料を駆使し、現地へ赴いてインドネシア密教の内容を復元した労作。これまで未開拓であった東南アジア密教研究の待望の名著。 ●—7451-1(1999.2)

佐和隆研

## 密教の寺 その歴史と美術

B5判248頁 上製両入 本体6500円＋税

著者30年にわたる密教美術研究の多大な成果のうち、真言諸大寺関係をまとめた研究論考。高野山・東寺・醍醐寺・仁和寺・大覚寺・石山寺・室生寺・朝護孫子寺・勝尾寺。図版60頁、索引10頁。 ●—7603-4(1974.11)

佐和隆研

## 白描図像の研究

A5判266頁 上製両入 本体6500円＋税

図像研究＝密教図像を、制作の展開などから分類し、その特質を明らかにするとともに、成立事情や転写本の問題などを考証。密教画僧伝＝図像の筆者名をあげ、その来歴、作品について考察。 ●—7608-9(1982.11)

八田幸雄

## 胎蔵図像の研究

B5判228頁 上製函入 本体 13000円+税

円珍請来の胎蔵曼荼羅『胎蔵図像』には何が書かれているのか。鮮明な資料の作成から始め、そこに書かれた図像、文字、真言、注記を解明した真言宗や曼荼羅研究に必備の書。

●—7640-9(2002.2)

田中公明

## 敦煌 密教と美術

B5判304頁 上製函入 本体 18000円+税

東アジア研究に多大な影響を与えた敦煌出土の古文書・絵画類のうち手つかずだったチベット語密教文獻と曼荼羅を比較検討し、敦煌密教の実態を初解明。索引・英文レジュメ付。カラー口絵8頁。

●—7642-3(2000.10)

田中公明

## インド・チベット曼荼羅の研究

B5判320頁 上製函入 本体 18000円+税

多様な展開を示したインド密教の体系を唯一伝承するチベット仏教の曼荼羅の発生と展開を、原典、作品の両面から厳密に解析した密教美術研究の最先端。梵語索引・英文レジュメ付。カラー口絵16頁。

●—7619-5(1996.8)

武田和昭

## 星曼荼羅の研究

B5判250頁 上製函入 本体 14563円+税

星曼荼羅を本尊とする星供は、現在も密教寺院で盛んに修されている。本書はこの星曼荼羅についての図像を中心に考察し、北斗曼荼羅の成立や各種の星曼荼羅について考察する。図版多数掲載。

●—7345-3(1995.10)

森 雅秀

## 密教美術の図像学

A5判514頁 上製 本体 20000円+税

インド・チベット・ネパールを中心に東南アジア・日本をも含めたアジアの密教美術を、図像解剖学に基づき網羅的に考察する。作例研究だけにはとどまらない学際的な研究成果。

●—6369-0(2017.2)

森 雅秀

## 生と死からはじめるマンダラ入門

日本図書館協会選定図書

四六判222頁 上製 本体 2300円+税

古代インドの死生観にマンダラ誕生の秘密を探り、癒しだけでなく道具としての側面からマンダラの構造と機能を解明。図像内容の変化、ユングの偏ったマンダラ理解まで、新たな切り口で説明。

●—7433-7(2007.7)

森 雅秀編

## アジアの灌頂儀礼 その成立と伝播

A5判332頁 上製 本体 4000円+税

アジア各地の灌頂儀礼を取り上げ、その成立、実態、変容過程、灌頂と国家との関係、文化的意味を考察する。アジアの宗教儀礼の中核をなす「灌頂」に、学問領域を超えて取り組んだ成果。

●—7449-8(2014.10)

富島義幸 ●建築史学会賞受賞

## 密教空間史論

A5判466頁 上製 本体 9500円+税

平安時代に新たに受容された密教は、建築、伽藍空間にどのような影響を与えたか。その変容の過程と、背景に広がる思想や理念、信仰世界を、歴史史料・建築・美術作品を駆使し鮮やかに描き出す。

●—7472-6(2007.2)

北尾隆心編

## 報恩院流相承 覚眼記『秘鈔伝授記』

付『諸尊護摩伝授記』

A5判140頁 並製 本体 2900円+税

守覚法親王制作の『秘鈔』は真言宗の秘事が網羅された事相の書として有名。本書は江戸期の学僧覚眼が、醍醐の有雅僧正からこの『秘鈔』の伝授を受けた際の全記録で、智積院秘蔵書の貴重な初公開。

●—7074-2(2009.8)

種智院大学密教資料研究所編

## 三寶院流憲深方四度次第

506頁 和綴帙本 本体 48000円+税

三寶院流憲深方四度次第では、十八道は延命院元果作の如意輪次第を用い、金・胎・護摩はすべて成賢作の次第を用いる。本書は長谷寶秀先生直筆の原本を忠実に複製した和綴本。

●—3490-4(1997.3)

今井幹雄

## 修法と布教 付「仏伝」を読む

四六判141頁 並製 本体 1000円+税

加持祈祷などの修法の真髄は、智恵と慈悲である。修法は智恵と慈悲を得るための修行である。誤解され権威化された昨今の修法の在り方に警鐘を鳴らしつつ、仏道の根本は布教にあると説く。

●—6428-4(2014.7)

高木神元

## 新装版 空海入門 本源への回帰

日本図書館協会選定図書

四六判272頁 並製 本体 1800円+税

日本仏教史上に大きな足跡を残した仏教者・空海。数々の伝説に彩られたがゆえに不鮮明となった「人間空海」の生き様と思想を、遺された著作と書簡から浮き彫りにした、恰好の入門書。

●—6543-4(2015.8)

村上保壽

## 空海教学の真髄 「十巻章」を読む

四六判253頁 並製 本体 2300円+税

空海の膨大な著作のなかから、その教学・教義の根本を学ぶために抜粋された「十巻章」を、現象学的解釈の方法により的確に読み解いた、空海思想の革新を学ぶための必読書。

●—5756-9(2016.6)

越智淳仁

## 密教概論 空海の教えとそのルーツ

A5判306頁 上製 本体 4000円+税

“新たに発見した”顕密思想のルーツとは、毘盧遮那如来はなぜ菩薩の姿なのか、两部曼荼羅の構造と「マンガラ」の意味、などなど、純粹な空海密教とそのルーツを教理と実践を通じて詳しく説き明かす。

●—6367-6(2016.3)

河内昭圓

## 三教指帰と空海 偽撰の文章論

四六判242頁 並製 本体 2300円+税

空海の名著とされる「三教指帰」は空海のものではなかった！ 真筆本「聲響指帰」との比較を通じて通説をくつがえし、空海像を描き直す。「文章論」で迫る画期的な空海研究。

●—7713-0(2017.5)

田戸大智

## 中世東密教学形成論

A5判468頁 上製 本体 8000円+税

東台両密の比較から、東密教学の形成と展開について新知見を提示。更に新出資料から東密と禪・南都教学との思想的関係を読み解き、資料編として2本の翻刻を取録した労作。

●—6372-0(2018.2)

## ● 年刊 密教図像

1~19号各本体 2500円+税

20~38号各本体 2800円+税

1号・5号・20号・25号・37号品切

1号〈昭和57年刊〉……創刊のことば(佐和隆研)／仏教における美術の意義(平川 彰)／密教図像学の問題について(佐和隆研)／醍醐寺所蔵の白描図像(佐和隆研)／金剛薩埵図像覚書(上)(頼富本宏)／当麻曼荼羅下縁部九品來迎図像の形成(河原由雄)／六十四瑜伽女の図像資料(清水 乞)／エレファンタ島の三面のシヴァ胸像について(石黒 淳)

品切 ●—0401(1982.6)

2号〈昭和58年刊〉……タボ寺の尊像美術(氏家覚勝)／アジャンターの菩薩像における図像構成上の特徴(山田耕二)／敦煌莫高窟の弥勒浄土变相(尾崎直人)／四波羅蜜菩薩の成立(田中公明)／金剛界曼荼羅の変形としての理趣経曼荼羅(八田幸雄)／ギルギット所伝の密教図像文献(松村 恒)／図像・彫像と仏師(江口正尊)／Abstract : 11-headed Avalokiteśvara (Tove E. Neville)

●—0402(1983.11)

3号〈昭和59年刊〉……不動明王像の古例とその形式(伊東史朗)／寛信の類秘抄と類聚抄(川村知行)／経典と図像(井上曙生)／『一切仏集会祭吉尼戒網タントラ』とその曼荼羅について(田中公明)／ヘーヴァジュラ曼荼羅の構成(島田茂樹)

●—0403(1984.12)

4号〈昭和61年刊〉……愛染明王曼荼羅図の立体化(真鍋俊照)／十三仏図像と十王図本地仏(田村隆照)／カトマンドゥにおける八母神と八バイラヴァ(立川武蔵)／球磨・高寺院の木造勢至菩薩立像(有木芳隆)／ヴァジュラパーニをめぐる諸問題(入澤 崇)

●—0404(1986.3)

5号〈昭和62年刊〉……絵仏師応源のこと(平田 寛)／『西遊記』形成史に現われた密教文化の諸相(磯部 彰)／経典と図像と仏像(井上曙生)／『大悲胎藏三昧耶曼荼羅』の構造(八田幸雄)／インドの儀礼絵画(河野亮仙)／パンチェン・ラマの胎藏曼荼羅儀軌(田中公明)／“Sampuṭodbhavantra”所説の金剛薩埵マンドラ(野口圭也)

品切 ●—0405(1987.10)

6号〈昭和63年刊〉……明代の護法尊集会図

(梅尾祥瑞)／宮中真言院五大尊・十二天画像(栗本徳子)／我が国における密教彫刻とその仏師たち(江口正尊)／ナーガと仏教(入澤 崇)／降魔成道図の図像学的考察(中川原育子)／マンドラ儀礼と舞踊劇(河野亮仙)／ペンコルチューデ仏塔と『初会金剛頂経』所説の28種曼陀羅(田中公明)

●—0406(1988.12)

7号〈平成2年刊〉……鏡弥勒像の図像(真鍋俊照)／宇佐天福寺奥の院木彫仏群について(渡辺文雄)／南インドの請雨法(河野亮仙)／兵庫 十輪寺の五仏尊像図について(武田和昭)／弥勒菩薩画像の図像的考察(内田啓一)

●—0407(1990.7)

8号〈平成2年刊〉……マチェンドラ・ナート寺の百八親自在について(立川武蔵・服部しのぶ)／百八親自在の図像の撮影について(高岡秀暢)／マチェンドラ・ナートの親自在白描(ガウタマ・ラトナ・ヴァンジュラチャールヤ)／マチェンドラ・ナート寺の百八親自在図像(アモウヴァジュラ)

●—0408(1990.7)

9号〈平成3年刊〉……庶民信仰図像の研究(藤澤隆子)／『仁王経五方諸尊図』の伝来について(下松 徹)／ヘーヴァジュラ系タントラ所説の女尊と曼荼羅(島田茂樹)／李朝時代前期の密教画(武田和昭)／Vairocanaの体験と表現(八田幸雄)／『密教集会』曼荼羅の歴史的展開(田中公明)／ネワール仏教の仏塔建立について(吉崎一美)

●—0409(1991.3)

10号〈平成3年刊〉……絵画彫刻にみる弘法大師像の変遷(辻村泰善)／高野山遍照光院蔵の一字金輪曼荼羅(内田啓一)／多田等親請来伝図タンカについて(奥山直司)／『理趣経』所説「曼荼羅」考(田中悠文)／法隆寺金堂四天王像と邪鬼(中西 聰)／三十三所観音図像について(白木利幸)

●—0410(1991.11)

11号〈平成4年刊〉……絵所澤間長祐と三千仏図(真鍋俊照)／北斗曼荼羅図の成立と展開(武田和昭)／愛知・真珠院所蔵の涅槃变相図について(渡辺里志)／秩父観音巡礼の札所本尊像の変遷(白木利幸)／マハーマー

- ヤーの成就法(森 雅秀)／西チベット・トリ  
ン寺とツァパラン遺跡の金剛界諸尊像壁画  
について(田中公明) ●—0411(1992. 12)
- 12号(平成5年刊)……高野山阿弥陀聖衆來  
迎図の基礎研究と一試論(井筒信隆・吉武  
貢)／千葉・東光院像伝七仏薬師坐像の図像  
表現をめぐる(津田徹英)／挿銭樹仏像考  
(入澤 崇)／四苦図像の系統と展開(鹿巢  
純)／東大寺僧形八幡神像の結縁交名(青木  
淳)／金剛界曼荼羅の三昧耶会について(乾  
仁志) ●—0412(1993. 12)
- 13号(平成6年刊)……醍醐寺蔵八大菩薩図  
像と多宝塔扉絵(川村知行)／キジ第110  
窟の仏伝図について(中川原育子)／寺院の  
ありかたにおける仏教美術の展開とその性  
格(洪 潤植)／敦煌莫高窟第465窟の壁画に  
ついて(1)(奥山直司)／コスモロジーと曼荼  
羅(田中公明)／インドネシアの金剛界曼荼  
羅(松長恵史) ●—0413(1994. 12)
- 14号(平成7年刊)……インドの大日如来蔵  
の現存作例について(宮治 昭)／『五輪九字  
明秘密釈』における阿弥陀曼荼羅について  
(赤塚祐道)／『完成せるヨーガの環』第19  
章「金剛界のマンダラ」訳註(立川武蔵)／七  
獅子蓮華座の図像について(朴 亨國)／ウ  
ァジュラ・アナンガ・マンジュシュリーの成  
就法(佐久間留理子)／チャクラサンヴェラ  
の二三昧(山口しのぶ)／ジュニャーナバーダ  
流のマンダラ構成(佐藤 努)  
●—0414(1995. 12)
- 15号(平成8年刊)……東寺講堂諸像の作風  
的系譜(楠井隆志)／香川・普門院蔵五忿怒  
尊像について(下泉全暁)／インドの四天王  
の図像的特徴(金 香淑)／『完成せるヨーガ  
の環』の成立に関する一考察(森 雅秀)／  
仏を鏡に映す(吉崎一美)／『サマーヨーガ  
タントラ』の金剛薩埵族の曼荼羅(松長恵  
史) ●—0415(1996. 10)
- 16号(平成9年刊)……中世における聖徳太  
子図像の受容とその意義(津田徹英)／Ca-  
krasamvarābhisamaya研究(桜井宗信)／新  
出のSkT写本「普賢成就法」註所説の文殊金  
剛十九尊曼荼羅について(田中公明)／パー  
ラ朝の金剛手・金剛薩埵の図像学的特徴(森  
雅秀)／チャクラサンヴェラの三三昧(山口  
しのぶ)／いわゆる「人中像」という名称に  
ついて(朴 亨國)／マトゥラーのヤクシャ  
像の一考察(永田 郁) ●—0416(1997. 12)
- 17号(平成10年刊)……重源と醍醐寺・村上源  
氏(上)(西川新次)／韓国の毘盧遮那仏の初  
期図像とその展開(朴 亨國)／ネワール民  
家の入口を飾る壁画について(吉崎一美)／  
ベンコルチューデ仏塔不空絹索堂の胎藏曼  
荼羅諸尊壁画について(田中公明)／『サマ  
ーヨーガタントラ』の曼荼羅に関する一考  
察(松長恵史)／クメール美術における密教  
的要素について(安元 剛)／ローマンタ  
ン・チャンバラカンの壁画マンダラについ  
て(川崎一洋) ●—0417(1998. 12)
- 18号(平成11年刊)……瑜祇經所説の三昧耶  
形図について(内田啓一)／研究資料『不動  
雑記』(安嶋紀昭)／僧形八幡神像の成立と  
展開(津田徹英)／新知恩院本六道絵の主  
題について(鹿巢 純)／妙見菩薩の変容(山下  
立)／遊行像の系譜(田中夕子)／カーピシ  
ー出土仏像にみられる焰肩の意味(井上 陽)  
●—0418(1999. 12)
- 19号(平成12年刊)……小山庵寺出土大型  
尊像作風系譜について(近藤 謙)／金  
剛袈裟の展開(松村薫子)／『牟梨曼荼羅呪  
経』所説のマンダラ(高田順仁)／スピテ  
ィ・タバ寺の『大日経』系譜について(安元  
剛)／一遍における二河白道図(加藤善朗)  
／阿修羅の図像について(水野さや)／四川  
地方における南朝期の仏伝彫刻について  
(李 静傑) ●—0419(2000. 12)
- 20号(平成13年刊)……法琳寺大元帥明王  
彫像の成立(佐々木守俊)／胎藏大日八大菩薩  
と八大菩薩曼荼羅の成立と展開(田中公明)  
／中央アジアにおける四天王の図像学的考  
察(金 香淑)／中国における八部衆の図像  
の成立に関する一試論(水野さや)／チベッ  
トにおける「理趣広経」の曼荼羅の伝承(川  
崎一洋)／ジュニャーナバーダ流のジャン  
バラ成就法(菊谷竜太)／ジャワの金剛杵・  
金剛鈴について(伊藤奈保子)  
品切 ●—0420(2001. 12)
- 21号(平成14年刊)……新出の高野大師四社  
明神画像について(内田啓一)／タミルナ  
ドゥ州に現存する石彫仏像(袋井由布子)／  
ジャワの金剛部系尊格の現存作例について  
(伊藤奈保子)／シャル寺の曼荼羅壁画につ  
いて(Ⅲ)(川崎一洋)／「四種護摩本尊並眷  
属図像」における降三世マンダラ諸尊につ  
いて(安元 剛) ●—0421(2002. 12)
- 22号(平成15年刊)……双身毘沙門天小像の  
諸相(村田靖子)／申生教語(黒田 彰)／鎌  
倉末期における涅槃図像の変容(加藤善朗)  
／城陽市極楽寺阿弥陀如来立像について  
(近藤 謙)／密教論師としてのRatnakirti

(桜井宗信)／バリ・ヒンドゥー寺院の神像について(山口しのぶ)／統一新羅—高麗前期の石塔における四仏について(水野さや)／アジャンター第2窟後廊左右祠堂のヤクシャ像について(永田 郁)

●—0422(2003. 12)

23号(平成16年刊)……魏陽贅語(黒田 彰)／「西国三十三所順礼元祖十三人先達御影像」について(白木利幸)／中国における騎獅文殊と騎象普賢の成立と一対化過程に関する一試論(朴 亨國)／Nāgabodhiの *Sṅgubayasamājamaṇḍa lopāyikā-viṃṣati-vidhi* における曼荼羅の度量法(田中公明)／いわゆる *Vajrācāryāṇayottama* について(苦米地等流)／Kriyāsamgraha所説の金剛界マングラについて(松尾 力)／北西インドにおける密教図像の展開(安元 剛)／インドネシアの財宝尊の現存作例について(伊藤奈保子)

●—0423(2004. 12)

24号(平成17年刊)……山本兆揚翁と両界曼荼羅(真鍋俊照)／韓国流燭寺石造菩薩立像の特色に関する二、三の考察(岩崎和子)／日本における不動明王の図像展開に関する一試論—特に頂髻を表す不動明王について(見田隆鑑)／総持寺所蔵銅版線刻藏王権現像の再検討—刻字面の解釈を中心に(太田雅子)／カーンヘーリー第三窟の初期仏陀像造例について(平岡三保子)／古代インドにおける蓮華手ヤクシャと観音菩薩の関係について—「ヤクシャの菩薩化」をめぐる問題(永田 郁)／中央チベットにおける不動の図像的な問題(大羽恵美)

●—0424(2005. 12)

25号(平成18年刊)……薬師寺の聖徳太子像と四天王寺の「秦川勝像」(石川知彦)／金剛界八十一尊曼荼羅諸本に於ける各尊像の若干の相違について(長谷法寿)／但馬・今滝寺所蔵孔雀明王像の図像学的考察(橋村愛子)／北野天満宮所蔵「北野社絵図」に関する一考察(郷司泰仁)／アジャンター石窟における「従三十三天降下」図について(福山泰子)／スワート・カシュミール地域のブロンズ像の様式的源流について(安元剛)／現存する「大清乾隆年敬藏」銘の仏像群と宝相樓仏像群について(那須真裕美)

品切 ●—0425(2006. 12)

26号(平成19年刊)……法隆寺再建をめぐる政治状況と五重塔塔本四面具(山岸公基)／法隆寺五重塔塔本塑像西面の復元的考察(野村昌弘)／法相曼荼羅の諸相とその系譜

について(多川文彦)／胎藏曼荼羅第三重の成立過程(田中公明)／中央チベットにおける八大菩薩と併置される仏と守門神(大羽恵美)／ヤックウラング周辺の仏教遺跡(井上 陽)／大理国時代の密教における八大明王の信仰(川崎一洋)／ガンダーラの「誕生」図にみる文化基盤(上枝いづみ)

●—0426(2007. 12)

27号(平成20年刊)……新出の同形同寸の銅製不動明王立像について(村田靖子)／蓮華三昧院所蔵阿弥陀三尊像について(高間由香里)／「ナーマサンギーティ文殊」の図像と典拠についての一考察(スダン・シャキヤ)／北西インドにおける「大日経」系毘盧遮那と三部の作例について(安元 剛)／ハリブルの四仏について(田中公明)／ジャワの浮き彫りと南インドの図像(松村 恒)／中国陝西省延安市委安塞県樊庄石窟について(水野さや)

●—0427(2008. 12)

28号(平成21年刊)……善光寺式阿弥陀三尊の模像製作について(松岡久美子)／山景をそなえた阿弥陀仏五十菩薩像について(小野英二)／「諸仏菩薩金剛等啓請」所収の「毘盧遮那修習啓請次第」について(川崎一洋)／デーヴァとアスラの戦闘理由(西谷功)／『タクトラ部集成』に収録される秘密集会曼荼羅について(張 雅静)

●—0428(2009. 12)

29号(平成22年刊)……天台大師智顛の肖像(吉村稔子)／平安時代前期・中期における孔雀経法の形成と展開(橋村愛子)／千手観音眷属の功德天と婆藪仙をめぐる(濱田瑞美)／神変と光背に関する一考察(熊谷貴史)／運慶壮年期における造形表現と造像環境について(植村拓哉)／トンワトゥンデンとは何か？(田中公明)／ギルギット地域・タルバンの陀羅尼刻文と、観音「随心呪」について(安元 剛)

●—0429(2010. 12)

30号(平成23年刊)……密教図像学会三十周年記念 中国仏教美術見学会(頼富本宏)／松島五大堂の五大明王像に関する一考察(見田隆鑑)／仁海本仁王経曼荼羅の思想的裏付け(鍵和田聖子)／Kambalapāda (La ba pa)の「チャクラサンヴァラ成就法」(桜井宗信)／韓国国立中央博物館所蔵の金銀製小型仏龕に関する一考察(瀧 朝子)／チベットにおける四天王の図像について(大羽恵美)

●—0430(2011. 12)

31号(平成24年刊)……新出の立川流聖教について(内田啓一)／常行堂宝冠如来像の典

- 摺図像と造像背景(古幡昇子)／禪林寺所蔵のいわゆる「十王図」の制作背景(釋 真弥)／ガンダーラにおける「兜率天上の弥勒」への信仰について(打本和音)／火焰を背にしたオェショー＝シヴァ(安元 剛)／ヴァスターラー(Vasudhārā)女尊の図像とその典拠について(スタン・シャキヤ)／四獣頭(四獣、四聖獣)の形成と伝播について(朴亨國)／胎藏五仏の成立について(田中公明) ●—0431(2012.12)
- 32号〈平成25年刊〉……仏像の誕生(宮治 昭)／三弁宝珠の発見とその働き(頼富本宏)／鎌倉時代における泉涌寺流の道場荘嚴について(西谷 功)／「延暦二十四年官符」の太政官印をめぐる(山田佳雅里)／Grags pa rgyal mtshan の示す死者儀礼(桜井宗信) ●—0432(2014.3)
- 33号〈平成26年刊〉……北京天寧寺塔について(水野さや)／九条兼実の仏舍利奉納願文にみる興福寺南円堂不空罽索観音像再興の意義(神野祐太)／『ヴァジュラーヴァリー』と「ミトラ百種」曼荼羅集の新資料(田中公明)／北西インドにおける金剛手・金剛薩埵と、多臂半跏思惟観音の作例について(安元 剛)／南インドのヒンドゥー教寺院におけるダクシナー・ムールティ像について(袋井由布子)／縁起法頌を伴った泥製奉獻板(votive tablet)における意匠(那須真裕美)／アフガニスタン・カーピシーの弥勒菩薩の図像とその信仰(打本和音) ●—0433(2014.12)
- 34号〈平成27年刊〉……金銅製一光三尊像の一変容—宙に浮く菩薩像—(村田靖子)／現図曼荼羅に関する一考察—虚空蔵院の構成原理について—(中村夏葉)／インド初期仏教美術の仏伝図における出家の場面について(中西麻一子)／ガンダーラにおけるアングリマーラ説話図について(上原永子)／ジャワ島出土の密教尊像の再考察(松長恵史)／『ボーティサットヴァ・アヴァダーナ・カルパター』にみられる龍王の図像—ナンダ・ウパナンダ龍王の図像を中心に—(大羽恵美)／サキヤパンディタの(ルーイーパダ流)理解—「サンヴァラ・ルーイーパダの十万粒」を中心に—(桜井宗信) ●—0434(2015.12)
- 35号〈平成28年刊〉……両頭愛染及び人形杵に関する次第類の比較と台密における受容(鍵和田聖子)／ガンダーラの仏教彫刻に見られる右手の二本の指を立てる仕草の起源と意味(田辺 理)／ガンダーラ彫刻にみられる香炉の図像—香供養との関わりとの視点から—(濱本彩萌)／金剛薩埵成就法としての聖衆來迎寺具葉—インド金剛乘の視点からの再検討—(安元 剛)／パドマシュリーミトラの「曼荼羅儀軌」のヴァーストゥナーガについて(大観慈聖)／ネパール現存の「釈尊帰郷の図像」とその典拠について(スタン・シャキヤ)／胎藏曼荼羅の度量法と諸尊の配置について(田中公明) ●—0435(2016.12)
- 36号〈平成29年刊〉……観心寺仏眼仏母如來像・弥勒如來像と宗叡(森井友之)／迎接阿弥陀三尊像の図像について—跪く脇侍の姿勢を中心に—(關 信子)／法然本地身としての勢至菩薩像について(植村拓哉)／カナガナハリ大塔に描かれる雪山地方への伝道伝説について(中西麻一子)／「悲出現と称する修習念誦次第儀軌」(Karuṇodaya-nāma-bhāvanā-japa-vidhi)の理想マンガラについて(木村美保) ●—0436(2017.12)
- 37号〈平成30年刊〉……醍醐寺木造如意輪観音半跏像と十世紀前半の彫刻(杉田美沙紀)／受け継がれる意思—焼山寺本尊木造虚空蔵菩薩坐像の造形—(川野憲一)／ガンダーラの「双神變」図の再検討(上原永子)／「燃燈仏授記」と「アショーカ王施土」の説話をセットとする図像について(小山一太)／蓮華座の表現からみた大品系般若経と文殊菩薩(杉本瑞帆)／『ヴァーストゥナーガ』の吟味考察という儀軌と題する文献に関する一考察—「クリヤーサンクラハ」の梵文新資料—(大観慈聖)／チベットにおける舎衛城の神變の図像学的考察—賢愚経を所依とする絵画の中心にして—(大羽恵美)／胎藏曼荼羅の虚空蔵院における眷属尊について(川崎一洋) 品切 ●—0437(2018.12)
- 38号〈令和元年刊〉……浄嚴院蔵阿弥陀聖衆來迎図の図像表現をめぐる—諸尊の構成を中心に—(部 政人)／東密系焰摩天曼荼羅の成立に関する一考察(樋口美咲)／The Buddhist Art in the Southernmost Part of India: on the Buddha Images in Vijayanagar Style (Yuko FUKUROI)／ガンダーラの仏伝浮彫にみられる競試武芸説話について(上枝いづみ)／二十八部衆の成立について(田中公明) ●—0438(2019.12)

## 醍醐寺文化財研究所編

## ● 年刊 醍醐寺研究紀要

B5判／並製

1～19号各本体 2500円＋税

20～22号各本体 2800円＋税

1号品切

- 1号(昭和53年刊)……発刊のことは(岡田宥秀)／醍醐寺古文書、聖教調査の足跡(佐和隆研)／調査の沿革補説(宝月圭吾)／伝法灌頂師資相承血脈(築島裕)／連歌資料について付建武連歌翻刻(奥田 勲)  
品切 ●—0301(1978.11)
- 2号(昭和54年刊)……論語卷第七文永五年點(小林芳規)／覺禪と嚴雄筆覺禪抄について(佐和隆研)／覺禪抄について(井上曙生)／応永二十四年三月十六日梵灯等山何連歌懷紙(奥田 勲) ●—0302(1979.3)
- 3号(昭和56年刊)……般若菩薩曼荼羅圖(佐和隆研)／醍醐寺樹院澄恵實券とその背景(宝月圭吾)／開山理源大師号記(大隅和雄)／『薄草子口決』紙背文書(田中 稔)／『阿波国河輪田本庄年貢未進犯用文注文案』(須磨千願)／『探要法花驗記』解題(馬淵和夫)／『出世者・世問者』考—醍醐寺僧の場合(鈴木智恵子) ●—0303(1981.3)
- 4号(昭和57年刊)……五八代記(佐和隆研)／『探要法花驗記』訳文(馬淵和夫) ●—0304(1982.3)
- 5号(昭和58年刊)……醍醐寺聖教のなかの浄土教(菊地勇次郎)／醍醐寺領尾張国安食庄について(弥永貞三・須磨千願)／醍醐寺所蔵の御遺告(佐和隆研)／『探要法花驗記下』訳文(馬淵和夫) ●—0305(1983.3)
- 6号(昭和59年刊)……醍醐寺蔵本表白集について(築島裕)／醍醐寺蔵「藥師」二本について(小林芳規)／醍醐寺所蔵「諸尊道場觀集」紙背文書(上)(田中 稔)／天文二十年九月二十八日連歌懷紙(奥田 勲) ●—0306(1984)
- 7号(昭和60年刊)……『遍智院御勤仕御修法等目錄』紙背文書(義江彰夫)／醍醐寺所蔵「局通対略文集」紙背文書(永村 真)／『諸尊道場觀集』紙背文書(下)(田中 稔)／醍醐寺領尾張国安食庄絵図補考(須磨千願) ●—0307(1985.3)
- 8号(昭和61年刊)……醍醐寺宝蔵の古調点本について(築島裕)／醍醐寺不見書二種(馬淵和夫)／義演准后と醍醐寺聖教(奥田 勲)／醍醐寺所蔵「僧某年譜」(田中 稔)／弥谷寺所蔵の三寶院流聖教(甲)(田中博美) ●—0308(1986.3)
- 9号(昭和62年刊)……觀智院金剛藏本『醍醐寺年中行事』(田中 稔)／醍醐寺所蔵『下醍醐年中行事』(永村 真)／弥谷寺所蔵の三寶院流聖教(乙)(田中博美)／醍醐寺三十五年(三成重敬) ●—0309(1987.3)
- 10号(平成1年刊)……本朝文粹卷第六延慶元年書写本(乾行)(小林芳規)／醍醐寺所蔵『山下寺家年中行事』(義江彰夫)／報恩院本「東寺長者補任」について(奥田 勲)／醍醐寺文書記録聖教類データベースの構築について(永村 真) ●—0310(1991.3)
- 11号(平成3年刊)……醍醐寺宝蔵大唐西域記卷第十一建保点(築島裕)／本朝文粹卷第六延慶元年書写本(坤)(小林芳規)／醍醐寺所蔵「日域諸寺私記并諸者」(田中 稔)／醍醐寺所蔵大導師年中行事(永村 真) ●—0311(1991.3)
- 12号(平成4年刊)……醍醐寺宝蔵大唐西域記卷第十二建保点(築島裕)／本朝文粹卷第六延慶元年書写本解題(小林芳規)／治承記口決(永村 真)／賢俊僧正日記(一)(橋本初子)／古版本・古活字本紹介(奥田 勲) ●—0312(1992.3)
- 13号(平成5年刊)……神變大菩薩勸進紀念大法要記録(大隅和雄)／醍醐寺所蔵「醍醐山縁起草案」(永村 真)／義演寺沢本及び版本類について(奥田 勲)／三寶院賢俊僧正日記(橋本初子) ●—0313(1993.12)
- 14号(平成7年刊)……醍醐寺寶蔵大唐西域記卷第十一・十二建保二年點索引(築島裕)／『心雲雜秘記』を読む(馬淵和夫)／醍醐寺所蔵「祖師印信」(永村 真)／高演御方御入峯一件記(安達直哉)／報物集(林 文子) ●—0314(1994.12)
- 15号(平成8年刊)……「禪祇行軌第七」紙背文書(義江彰夫)／『松橋無量寿院経蔵事相聖教目錄』(小原 仁)／醍醐寺蔵「顯注密勘」(奥田 勲・杉田まゆ子)／「寛永日々記」(一)(神田千里)／「高演御方御入峯一件記」(二)(安達直哉)／総目錄 ●—0315(1996.6)
- 16号(平成9年刊)……「悉曇字母勝覺」寸考(馬淵和夫)／「聖教」の相承(永村 真)／「高演御方入峯一件記」(三)(安達直哉)／「寛永



- 日々記』(二)(神田千里) ●—0316(1997.9)
- 17号<平成11年刊>……醍醐寺の角筆文獻(小林芳規)／上醍醐寺總圖と上醍醐の院家の遺跡(山岸常人)／醍醐寺所藏仏教絵画総合目録Ⅰ(有賀祥隆・川村知行)／『寛永日々記』(三)(神田千里)／『高演御方入峯一件記』(四)(安達直哉) ●—0317(1999.6)
- 18号<平成12年刊>……翻刻・醍醐寺藏『転法輪秘伝』(馬淵和夫・田口和夫)／後七日御修法翌年期(田中博美)／『寛永日々記』(四)(神田千里)／『高演御方入峯一件記』(五)(安達直哉)／醍醐寺所藏仏教絵画総合目録Ⅱ(有賀祥隆・川村知行) ●—0318(2000.10)
- 19号<平成15年刊>……醍醐寺藏本大毘盧遮那經疏大治點について(築島 裕)／醍醐寺本『無名抄』(俊頼髓腦)(その一)(奥田 勲)／『堯雅僧正関東下向印可授与記』(藤井雅子)／『寛永日々記』(五)(神田千里)／『高演御方御入峯一件記』(六)(安達直哉)／醍醐寺所藏仏教絵画総合目録Ⅲ一明王・天部・その他一(有賀祥隆・川村知行) ●—0319(2002.12)
- 20号<平成17年刊>……醍醐寺所藏『寺家雜筆至要抄・雜々記』(永村 眞)／『三宝院経蔵目録』(一)(小原 仁)／『枝葉抄』翻刻並解題(一)(馬淵和夫)／『高演御方御入峯一件記』(七)(安達直哉)／『寛永日々記』(六)(神田千里) ●—0320(2005.6)
- 21号<平成18年刊>……『三宝院経蔵目録』(二)(小原 仁)／『枝葉抄』翻刻並解題(二)(馬淵和夫)／醍醐寺所藏仏教絵画総合目録Ⅳ一白描圖像一(有賀祥隆・川村知行)／『寛永日々記』(七)(神田千里)／推定中川寺成身院指図について(富島義幸) ●—0321(2006.10)
- 22号<平成21年刊>……日本に伝來した宋版一切經の角筆加點一醍醐寺藏宋版一切經の角筆點と韓国の角筆點吐との関連一(小林芳規)／『枝葉抄』翻刻並解題(三)(四)(馬淵和夫)／『寛永日々記』(八)(神田千里) ●—0322(2009.8)

# 天台

洪谷亮泰編

## 昭和天台書籍綜合目録(増補版)全3巻 現存

B5判総1600頁 上製函入 全巻本体 60000円+税 分売不可

収載書目3万余点——南嶽・天台大師より現代に至る、中国・日本における天台宗人師の著作、並びに天台関係の現存書籍、天台宗諸寺院現蔵の古写・古刊本の全部を収録した一大目録。 ●—7220-3(1977.4)

小野勝年

## 入唐求法巡礼行記の研究 全4巻

A5判総2234頁 上製函入 全巻本体 52000円+税 分売不可

慈覚大師円仁の10年に及んだ在唐の記録『入唐求法巡礼行記』は、唐代史、日中交流史の研究に一級の史料価値をもつ。著者の入唐僧研究の労作として好評を得ている本書の待望の復刊！ ●—6538-0(2014.12)

小野勝年

## 入唐求法行歴の研究 全2巻

智證大師円珍篇

A5判 上製函入 上巻261頁 本体 12000円+税  
下巻315頁 本体 10000円+税

円仁に遅れること7年。廃仏の狂乱的な嵐も過ぎ、決意に燃えて西暦853年に入唐した智證大師円珍の、入唐以前から唐土、さらには叡山帰還後をも含めた足跡をたどる。 ●—6535, 6536(2014.8)

大久保良峻編

## 天台学探尋

日本の文化・思想の核心を探る

A5判329頁 並装 本体 3600円+税

日本仏教の母胎をなす天台学諸分野の基本を総合的に論じた決定書。中国天台から日本天台の密教、叡山浄土教、山王神道から美術、文学まで、周辺領域もすべてカバーする。 ●—7386-6(2014.3)

福井康順

## 日本天台の諸研究

A5判510頁 上製函入 本体 12000円+税

「伝教大師伝の諸問題」「慈覚大師研究」など、日本仏教の中核をなす日本天台の諸問題を多面的・実証的に考察し、著者の代表論考を収録する。「日光山輪王寺の諸問題」を付録に収める。 ●—1902-4(1990.10)

大久保良峻

## 天台教学と本覚思想

A5判366頁 上製函入 品切

日本の思想の核心として論争的となっている本覚思想を、天台教学との関わりにおいて初めてその起源から究明。付録として証真撰『天台真言二宗同異章』の註解を収録。日本思想史の必読書。 ●—7371-2(1998.1)

大久保良峻

## 台密教学の研究

A5判394頁 上製函入 本体 8000円+税

台密を論じることなくして、日本密教は知り得ないという視点に立ち、台密の教義から特徴、展開までを解明する。Ⅰ台密教学の基盤と展開、Ⅱ台密教学の特色、Ⅲ台密教学に関わる諸問題。 ●—7369-9(2004.1)

大久保良峻

## 最澄の思想と天台密教

A5判390頁 上製函入 本体 8000円+税

日本天台宗を確立した最澄の思想はどのように継承されてきたのか。最澄の撰著からその深義を読み込み、後継者の学問の底流と展開を探る。天台教学と真言密教の一致を新たな視点から解明する書。 ●—7390-3(2015.6)

柳澤正志

## 日本天台浄土教思想の研究

A5判500頁 上製 本体7500円+税

天台と浄土教思想の双方の教学に通じた気鋭の研究者が、資料を博搜し、日本天台浄土教の祖・源信の思想と、法華・浄土が一体となった日本天台浄土教の諸様相を解明する。

●—7384-2(2018.5)

松本知己

## 院政期天台教学の研究

宝地房証真の思想

A5判455頁 上製 本体9000円+税

天台の伝統教学の復興につとめた証真の、多岐にわたる業績を文献に基づいて精緻に考察し、証真教学の全体像の解明を図る。巻末に『法華文句第五巻抄』翻刻文を掲載。

●—7382-8(2019.9)

寺井良宣

## 天台円頓戒思想の成立と展開

A5判711頁 上製函入 本体12000円+税

中世に比叡山を拠点に戒律復興を志した学僧たちの事蹟と、そこに成立した円頓戒思想の特色を解明。また後代の戒学振興運動に念仏思想を伴った持戒念仏の展開を跡づけた力作。

●—7387-3(2016.5)

武覚超

## 比叡山諸堂史の研究

A5判377頁 上製函入 本体9000円+税

信長の焼き討ち以前の比叡山とは。室町期の比叡山絵図や古文書を解読する一方で、忘れられた古道や霊蹟を歩いて発見。1200年に亘る比叡山の堂舎・古道・霊蹟の変遷を初解明。

●—7373-6(2008.3)

武覚超

## 比叡山仏教の研究

A5判342頁 上製函入 本体8000円+税

千日回峯行、十二年籠山行、延暦寺御修法、法華大会広学堅義、灌頂三摩耶戒儀など、比叡山の儀式儀礼の歴史と意義を解説し、浄土教や本門思想の展開など山修山学の歴史を詳述する。

●—7374-3(2008.3)

渡辺守順ほか

## 比叡山

全国学校図書館協議会選定図書

四六判344頁 上製 本体2400円+税

開創以来1200年、学と行の根本道場として大乘仏教の法灯を伝え続けてきた比叡山。歴史、教義、伽藍など、そのすべてを最適の筆者が最新知見をもとに説く、恰好の天台宗入門。

●—8032-1(1987.6)

山田恵諦

## 一隅を照らす

山田恵諦の人生法話 上

A5判255頁 上製 品切

「御願文」などの宗祖のみ教えをわかりやすく解説し、さらに伝教大師最澄の生涯とその事績を史料から丹念に読みとき、これまでの研究成果をふまえながら一般読者のために明らかにする。

●—3557-4(1996.2)

山田恵諦

## 法華経のこころ

山田恵諦の人生法話 中

A5判265頁 上製 品切

大聖釈迦牟尼世尊の出世本懐の經典である『妙法蓮華経』にはどんなことが説かれているのか。日本仏教の根本經典ともいふべき『法華経』の内容とそのこころを平易な文章で明晰に説く。

●—3558-1(1996.2)

山田恵諦

## 生かして生かされる

山田恵諦の人生法話 下

A5判236頁 上製 品切

「仕事と人生」「家庭・子ども・教育」「信仰」について「花の向こうの仏さま」「拈華微笑」など、深い人生体験を通して仏教の人生観をやさしく語りかける、こころにしみ入る珠玉の法話・エッセイ。

●—3559-8(1996.2)

山田恵諦

## 山田恵諦一〇〇歳を生きる

第二三世天台座主 自選著作集

A5判206頁 上製 本体 1942円+税

平成6年98歳で没した前天台座主山田恵諦師の自選著作集第一弾。自ら生涯をふり返る「私の履歴書」、平和への深い想いを語る「平和の創造」、生命の尊さを訴える「仏教といのち」を収録。  
●—8068-0(1995.2)

小林隆彰

## 法華経に聴く

A5判100頁 上製 本体 1600円+税

釈迦の最晩年に8年にわたって説かれたと伝えられる法華経は、諸経の王ともよばれる。比叡山延暦寺の中心思想でもある法華経の真髓を、大僧正である著者がやさしく説き明かす。  
●—7368-2(2006.8)

# 禪

監修=大本山大徳寺

## 大徳寺禪語録集成 全7巻

菊倍判各巻420頁 上製函入  
品切

大應国師・開山大燈国師以下第一世より83人の先徳の禪語録を世代順に完全覆刻。大徳寺派、日本臨濟禪の遺産にとどまらず、日本中世・近世禪宗史、仏教史の遺産として、新たな研究展開をうながす基本資料の初公開。

- 各世主の略伝と各語録、日録の解題を付す。
- 最も古い語録と善本とを底本として厳選する。
- 検索に便なるよう各語録の詳細目次を付す。
- 原本の雰囲気や忠実に再現し、古籍と書跡の香気を伝える。 ●—7620-8(1990.1)

石川力山

## 禪宗相伝資料の研究 全2巻

A5判 上巻521頁・下巻561頁 上製函入 各本体18000円+税

禪宗が日本の中世社会にいかにか定着していったか。禪僧の修行や教化活動の実際を、抄物資料、特に葬送や祈禱など日常儀礼をつぶさに伝える切紙資料を用い解明。著者渾身のライフワーク。 ●—7636~7637(2001.5)

川口高風

## 明治前期曹洞宗の研究

A5判785頁 上製函入 本体16000円+税

近代日本の幕開けは、仏教界にも近代化を要求した。近代における曹洞宗の最大の事件・両山分離事件を中心に、公文書・私文書を含めた多数の資料を駆使して近代曹洞宗史を解明した労作。 ●—5633-3(2002.11)

伊吹敦

## 禪の歴史

日本図書館協会選定図書

A5判394頁 上製 本体3800円+税

中国から日本へと伝えられ、独自に発展した禪の歴史を、難解な原典を引かず、宗派や教義にかたよることなく叙述する。禪の現状や修行・しきたりまで、初めてその全体像を描き出す。 ●—5632-6(2001.11)

柳幹康

## 永明延寿と『宗鏡録』の研究

一心による中国仏教の再編

A5判500頁 上製 本体7000円+税

中国仏教を「一心」という概念によって統合化を図り、その思想を『宗鏡録』100巻に著した永明延寿の全体像を解明。中国仏教史に新たな息吹を伝える迫真の論考！ ●—7389-7(2015.2)

田中実マルコス

## 黄檗禪と浄土教 高福寺第四祖獨湛の思想と行動

佛教大学研究叢書20

A5判345頁 上製 本体7000円+税

江戸時代に隠元が開いた黄檗宗。その第四祖、獨湛性益の事跡を体系的に考究。禪僧でありつつ浄土思想や念仏を重視した彼の思想を、語録・絵画などから明らかにする。 ●—7455-9(2014.2)

西村恵信

## 己事究明の思想と方法

A5判672頁 上製函入 本体18447円+税

禪宗の根本思想たる「己事究明」をキェルケゴールの実存主義的思弁を方法として考察するとともに、実践の場「叢林」の形態と意味に論及し、禪仏教の核心に迫る。巻末に「宗門無尽灯論」訓読と註を付す。 ●—3833-9(1993.9)

寺田 透

正法眼蔵を読む (新装版)

四六判256頁 上製 品切

フランス文学者であり、透徹した批評家として名高い著者によるユニークな入門書。「画餅」「竜吟」「都機」の3巻を取り上げ、道元の言葉のみをテキストとして随い、その思想の核に参究する。 ●—8130-4(1997.7)

田中 晃

正法眼蔵の哲学

四六判386頁 上製 品切

正法眼蔵から現実の根拠を論じた6篇をえらび、詳細な釈義を加えつつその哲理を探る。深遠な思索のあとを精密にたどる。道元を理解するための必読の書。 ●—7155-8(1982.4)

田島毓堂・近藤洋子編

正法眼蔵随聞記 語彙総索引

B5判600頁 上製 函入 本体 32000円+税

あらゆる語がその用例とともに検索でき、付載の綴字逆配列による語彙は一字漢字索引として便利。原文と長門寺本もあわせて収録する。鎌倉期の国語資料としても大変貴重である重要なもの。 ●—7261-6(1981.9)

有福孝岳

道元禅師のことは『修証義』入門

日本図書館協会選定図書

四六判273頁 上製 本体 2000円+税

曹洞宗の聖典の一つである「修証義」全5章31節をひとつずつ取り上げ、語句と内容の説明を行う。さらに道元の主著「正法眼蔵」との関係性を明らかにし、その文脈で解釈する。 ●—7109-1(2010.4)

山田無文・高橋新吉 (名著復刊コレクション)

無門関 (新装版)

四六判270頁 上製 本体 4200円+税

仏教詩人高橋氏の四十八則についての自由奔放な解説に、山田老師が現実生活に即した無門関の意義をNHKから放送されたものに補正を加え収めた。新味ある無門関を味わう書である。 ●—8129-8(1999.11)

西片擔雪

無門関提唱

A5判298頁 上製 本体 2900円+税

禅の基本書である『無門関』を、臨済宗妙心寺派第31代管長がわかりやすく解説する。著者ならではの豊富な経験から語られる言葉の数々。禅の教えに触れ日々の生活を豊かにするという願いがこめられた書。 ●—5250-2(2006.3)

西村 恵信

新装版 白隠入門 地獄を悟る

日本図書館協会選定図書

四六判240頁 並製 本体 1800円+税

「日本臨済禅中興の祖」と称えられる傑僧・白隠。その生涯と思想を、遺された法語から解き明かし、独自の白隠像を平易に描いた画期的な入門書。 ●—6542-7(2015.6)

西村 恵信

私の十牛図

四六判196頁 上製 本体 1800円+税

五濁悪世の現代に息つく暇を求めて——、自利自利と燃ゆる煩惱の業火を受けつつも“平常心”を願って——、シンドイ人生の修行を続ける諸氏に捧ぐ。禅一献、こころに沁みる随想集。 ●—8036-9(1988.10)

西村 恵信

人生は旅、そして別れ

三余居恋話

四六判166頁 上製 品切

禅僧として「已事究明」を最大の課題とする著者が、自らの半生を振り返り、命の尊さ、ささやかな日常を生きることの重みを語りかけた心の書。「まぎれもなく禅の、滋味あふれる随想」と各紙誌絶賛。 ●—8133-5(1998.4)

西村恵信

## キリスト者と歩いた禪の道

四六判247頁 上製 本体 2800円+税

自らは禪を生きつつ、キリスト教世界にも深く分け入り、独自の道を模索し続けた禪僧の半生を綴る。恩恵を受けた師友への思慕と、グローバル化時代の新しき宗教への展望を語るエッセイ。 ●—8143-3(2001.5)

西村恵信

## 仏教徒であること条件

近代ヒューマニズム批判

四六判242頁 上製 本体 2400円+税

宗教の衰退に危機感を募らせる禪僧による、仏教再生への熱いメッセージ。人間の傲慢に基づく近代ヒューマニズムの弊害を説き、他者との共生・命の本質を見つめる仏教ヒューマニズムを提唱。 ●—8165-6(2004.12)

西村恵信

## お釈迦さまより長生きしました

禪の道八十年

四六判185頁 並製 本体 1800円+税

80歳を超えた禪僧が、我が身の「老・病・死」と向き合い、迷いつつ辿り着いた人生の境地。(目次)生命といのち、健康至上主義への反省、死に臨む態度、老いて学ばば、など。 ●—8198-4(2018.6)

久馬慧忠

## 良寛の涙

四六判128頁 並製 本体 1200円+税

今もなお多くの人から親しまれている良寛。しかし、その穏やかな姿の裏には様々な涙が隠されていた——。長年「良寛さん」を慕ってきた著者による、人間味あふれる評伝。 ●—5647-0(2010.10)

重松宗育

## 禪の贈りもの

四六判208頁 上製 本体 1553円+税

ミヒヤエル・エンデも、サン＝テグジュベリも、ポール・サイモンも、ヘミングウェイも、みんな禪を語っている。時も国も超えて禪のエッセンスを伝える珠玉の言葉の数々。装幀＝南伸坊。 ●—8047-5(1991.12)

中山正和

## 管理職のためのなまけ禪

四六判206頁 上製 品切

禪を学べば集中力が高まり、判断力がよくなり、直観が冴えて創造的思考が飛躍する。創造工学研究所長が、管理職の人々との研鑽の成果に立って誰でもできる自己啓発の方法を易しく公開する。 ●—8046-8(1991.3)

川口義照

## 暮らしのなかの仏法

四六判164頁 上製 本体 1500円+税

日常の生活のなかで起こる出来事、怒り、苦しみ、愚痴や悲しみも、仏さまの知恵の光を通してみるとまったく違う側面が見えてくる。毎日を豊かに生きるための心あたまる禪の法話。 ●—8142-7(2000.12)

## 美術・芸能

監修 = 総本山仁和寺・京都国立博物館

### 仁和寺大観

B4判308頁 上製函入 本体 63000円+税

宇多天皇開創1100年記念に、仁和寺に伝わる国宝、重文などの名宝のすべてを一挙公開。彫刻・絵画・書跡・伽藍の建築をはじめ、金工・茶道具・染織等の工芸など、あらゆるジャンルの名品を収載。本文では、真言宗御室派総本山としての仁和寺の歴史を詳しく解説する。各作品について美術工芸の専門家により、詳細な解説を付す。巻末には、年表、法流系譜などの資料を付す。カラー図版88頁/単色図版120頁/本文84頁。●—7615-7(1990.2)

井上 靖 平山郁夫画

### 日本古寺巡礼

B5判424頁・カラー口絵16頁 上製函入  
本体 6505円+税

巨匠の古寺巡礼の全文業を集大成した豪華愛蔵版。歴史興亡の地に歴史を掘り起こし、古寺古仏に日本人の心を読む。文豪とともに古寺を旅しつつ日本文化の精髓にふれる一卷。

I 日本の美をたずねて(美しきものとの出会い/日本の塔異国の塔他)

II 奈良の古寺(法隆寺/東大寺/唐招提寺/浄瑠璃寺他)

III 飛鳥・大和路(長谷寺/室生寺/高野山他)

IV 京都・近江路(東寺/龍安寺他) V 奥州路

●—8181-6(1992.1)

井上 靖 平山郁夫画

### 西域仏跡紀行

B5判624頁・カラー口絵16頁 上製函入  
本体 7573円+税

名作「敦煌」「楼蘭」などの舞台シルクロードは文豪の憧憬の地であった。日本文化、日本仏教のルーツを求めて。

I シルクロードへの夢(草原の旅沙漠の旅/法顕の旅他)

II 韓国・中国の旅(扶余の旅慶州の旅/揚州紀行/西安の旅他)

III 敦煌から西域へ(私の西域紀行/謎の国楼蘭他)

IV 文明の十字路(パーミアン/ガンダーラ他)

●—8182-3(1992.1)

バク ヒョウダク

朴亨園 ●國華奨励賞受賞

### ヴァイローチャナ仏の図像学的研究

B5判628頁 上製函入 本体 35000円+税

ヴァイローチャナ(廬舎那・毘盧遮那・大日)仏はいつ、どこで生まれ、どのように変遷してきたか。図像学と文献学、さらに広範な現地調査に基づく最新の研究成果。貴重図版500点余も収載。●—7452-8(2001.2)

八木春生

### 雲岡石窟文様論

B5判448頁 上製函入 本体 23000円+税

中国初期仏教美術の代表である雲岡石窟。そこに彫り出された摩尼宝珠などのさまざまな文様の細部を比較検討することにより文化の流れや当時の中国人の考え方を解明する力作。図版350点余を収録。●—7425-2(2000.2)



八木春生

## 中国仏教美術と漢民族化

北魏時代後期を中心として

B5判390頁 上製函入 本体 16000円+税

北魏後期(洛陽遷都から北魏滅亡までの時期、494-534年)、中でも多くの変化が起きた520年代前後における仏教美術の様相を、「漢民族化」と「地域性」をキーワードとし、最新の多数の資料から解明。 ●—7428-3(2004.2)

八木春生

## 中国仏教造像の変容

南北朝後期および隋時代

B5判492頁 上製函入 本体 20000円+税

南北朝～隋代の仏教造像様式、形式の変遷を追うことにより、隋前期のそれらほどのようなものであったのか、前時代といかなる点で異なっていたのかを解明。図版550点余掲載。 ●—7437-5(2013.2)

八木春生

## 中国仏教美術の展開

唐代前期を中心に

B5判518頁 上製 本体 20000円+税

敦煌莫高窟、龍門石窟、さらに中国各地の仏教美術の整理・編年を行い、初唐期と盛唐期の仏教美術の性格の違いを解明。ひいては則天武后期の評価を可能にする。貴重図版500点余掲載。 ●—7719-2(2019.2)

大西磨希子

## 唐代仏教美術史論攷

仏教文化の伝播と日唐交流

A5判456頁 上製函入 本体 12000円+税

西方浄土変や當麻曼荼羅、奈良国立博物館蔵刺繍釈迦如来説法図等の宗教美術としての本質や変遷の思想的背景を解明し、日中両国の仏教美術・文化の全体的輪郭を描き出す。 ●—6327-0(2017.2)

吉村 怜

## 仏像の着衣と僧衣の研究

東洋美術史論考

B5判387頁 上製函入 本体 18000円+税

徹底した作品観察と律蔵文献をはじめとする膨大な史料を駆使し、古代の仏像彫刻が纏っている衣の呼称や実態、さらには現代の僧侶が着用している衣との関係を解明する。 ●—6328-7(2019.5)

楠元香代子

## スリランカ 巨大仏の不思議

誰が、いつ、何のために 日本図書館協会選定図書

A5判215頁 上製 本体 2300円+税

謎の顔との衝撃の出会いから始まった、スリランカの仏像を訪ねる旅。彫刻家の視点で仏像の歴史、造像の秘密を探り、東洋の真珠といわれた島の魅力をふんだんに紹介。カラー口絵・写真多数。 ●—7118-3(2004.9)

伊藤奈保子

## 改訂版 インドネシアの宗教美術

鋳造像・法具の世界

B5判330頁 上製函入 本体 14000円+税

イスラム化以前のインドネシアに存在した仏教とヒンドゥー教の実態を、遺存する鋳造像と法具類を収集・分析することにより解明。貴重図版140点余掲載。 ●—6378-2(2019.9)

京都市立芸術大学芸術資料館編

## 仏教図像聚成 全2巻

六角堂能満院仏画粉本

B4判総680頁 上製鞆入 本体 120000円+税 分売不可

推薦 = 梅原 猛・平山郁夫・江里佐代子

幕末期の画僧・大願の工房の模写粉本・制作のための粉本約1000点を初めて公開する貴重な絵画資料集。儀軌に従った図像から民俗神まで幅広く収録。近世の宗教文化史を見直す契機となる大冊。

上巻 曼荼羅・如来部／菩薩・明王・天部  
(監修:田村隆照, 定金計次)

下巻 高僧部／垂迹・雑部  
(監修:梅原吉郎, 松尾芳樹)

●—7645-4(2004.3)

井上 正

## 新装版 古佛

彫像のイコノロジー

B5判230頁 上製 本体 9500円+税

8・9世紀の一木彫の仏像の表現のなかにある、通常の尊像にみることのできない不可思議なかたちを、単なる造型としてではなく、精神と密着した表現として考察した名著を新装版として復刊。 ●—6408-6(2013.5)

井上 正

## 続 古佛

古密教彫像巡歴

B5判272頁 上製 本体 9500円+税

「霊木化現仏」や「感得仏」などのキーワードによって、図像や儀軌にしばられることのない自在な世界をもつ日本各地に根づいた一木彫の仏像を解き明かす。

●—7649-2(2012.12)

光森正士

## 仏教美術論考

A4判337頁 上製函入 本体 22000円+税

阿弥陀仏像の造像の歴史の変遷、および阿弥陀仏像の異形像の研究。また磚仏や押出仏などの研究の嚆矢となった論文など、著者の代表的論文を取める論文集。図版200点を併載する。 ●—7641-6(1998.7)

真鍋俊照編著

## 仏教美術と歴史文化

A5判647頁 上製 本体 9700円+税

インドから中国、韓国、日本に至る仏教美術の変遷と展開をテーマに、歴史学、仏教学、図像学などの専門家20数名が集まった最新論集。貴重図版も多数収録。頼富本宏、宮治 昭、森 雅秀、福江 充ほか。 ●—6362-1(2005.10)

真鍋俊照編著

## 密教美術と歴史文化

A5判649頁 上製 本体 9700円+税

密教学、仏教学、図像学、日本史学の諸分野を取り巻く、最新学術論考27篇。内田啓一、津田徹英、森 雅秀、頼富本宏、立川武蔵、今堀太逸、福江 充、高橋秀榮、武内孝善、ドナルド・キーンほか。 ●—6365-2(2011.5)

内田啓一

## 文観房弘真と美術

A5判370頁 上製函入 本体 8000円+税

邪僧とも評された後年の評価は正しかったのか——。本書では弘真の足跡を編年式にたどることで従来像の誤りを正し、弘真関わった多くの美術作例との関連から画僧としての新たな一面を解明する。 ●—7639-3(2006.2)

内田啓一

## 日本仏教版画史論考

A5判352頁 上製 本体 10000円+税

仏・菩薩を板木に摺ったものを印仏という。本書では、主に中世寺社での開板事情、勧進や供養に供された版画の形態・分布について、120点の多彩な図版と共に、仏教版画の歴史上での位置づけを試みる。 ●—7648-5(2011.3)

原口志津子

## 富山・本法寺蔵 法華経曼荼羅図の研究

A5判442頁 上製 本体 15000円+税

『一遍聖絵』に匹敵する豊富な画像情報を含みながらも、その研究が十分になされていなかった重要文化財の図像を注釈書や唱導、歴史資料からあざやかに読み解いた意欲的論考。

●—6381-2(2016.2)

安嶋紀昭

## 石山寺の美術 常楽会本尊画像の研究

B4判152頁 上製函入 本体 32000円+税

石山寺所蔵の重要文化財「仏涅槃図」を画像(カラー・赤外線・X線)と研究論文で紹介。多くの国宝・重文絵画との比較から石山寺涅槃図の特性を考察、日本の絵画・仏教史上における存在意義を明かす。 ●—7283-8(2012.4)

下村奈穂子

## 備前焼茶道具の研究

A5判355頁 上製 本体 9500円+税

侘び茶の道具として高く評価される備前焼茶道具。伝世資料・文書資料・出土資料を駆使して編年作業を行い、その展開と茶の湯における位置づけなどを解明する。

●—7446-7(2016.2)

西村公朝

## やさしい仏像の造り方

A4判63頁 並製 本体 1600円+税

土仏を造る——これから、初めて仏像を作ろうとする人は、まず「土」から始めていくのがよいと思います。素材の土は木や石に進むにも造形力の訓練になります。自分の仏を生み出す本。

●—6421-5(2003.1)

西村公朝

## やさしい仏画の描き方

A4判63頁 並製 本体 1600円+税

描きたい仏を一生懸命に自分で考えて、その姿を自分の指先を通じて描いていくとき、そこに自分の体をろ過した仏の姿が出ているものです。自分の持っている仏を描く写仏の入門書。

●—6422-2(2003.1)

真鍋俊照

## 仏画 十三仏を描く

A4変83頁 並製 本体 3500円+税

豊富な作画の知識と経験をもとに、初心者にもわかり易く十三仏の歴史と功德、描き方を紹介した決定版。美しく由緒正しい13の仏様の彩色図と白描下絵、巻末に実物大白描全図付。

●—6420-8(2009.3)

加藤智見

## 仏像の美と聖なるもの

日本図書館協会選定図書

四六判188頁 並製 本体 1900円+税

多くの顔や無数の手を持ち、火焰に背に怒る仏・泣く仏。それでも仏は限りなく美しい。仏の姿の変容と日本人の信仰の関係を解きほぐし、仏教の〈聖なるもの〉を捉える「仏教芸術の見方」入門。

●—7260-9(2000.10)

能登川青年会議所編

## 近江の隠れ佛 へち三十三佛巡禮

B5判113頁 上製 品切

近江愛智を中心に、地元の青年会議所が調査発掘した、白鳳、天平から室町に至る33体の古仏を、伝承をまじえて紹介。巻末に専門家の手になる詳細な仏像解説、ひとめでわかる鑑賞ガイドを付す。

●—8081-9(1989.4)

関山和夫

## 庶民仏教文化論 民衆教化の諸相

A5判190頁 上製函入 品切

近世近代の仏教の民衆教化は、多く芸能の形を通して行われた。唱導、説教本、落語、仏教芸能などの幅広い研究を通して、庶民の中に浸透した仏教文化の種々相を解明する。

●—7659-1(1989.9)

関山和夫

## 説教の歴史的研究

A5判428頁 上製函入 本体 8200円+税

古代の説話の源流から中世の曼荼羅講説による浄土教展開や真宗の説教、近世・近代の民衆演芸と説教の関係など、教団発展の原動力となった説教のもつ意義と功績につき未開の分野に跡をきざむ。

●—7654-6(1973.3)

関山和夫

## 安楽庵策伝和尚の生涯

四六判200頁 上製 本体 2400円+税

落とし嘶・落語の元祖として知られる策伝和尚は、実は唱導の大家であり、説教をより豊かなものとするために落とし嘶を数多く考え出したのである。策伝の実像をさぐりその意義を明らかにする。

●—7660-7(1990.6)

加加戸 弘

## 真宗関係浄瑠璃展開史序説

A5判400頁 上製 本体 12000円+税

室町末期の蓮如の時代、初期浄瑠璃は真宗の素材を数多く演じ、江戸期にかけてますます隆盛を誇った。江戸中期までのその変遷を概観し、また関係演目の全台本を翻刻掲載する。  
●—7666-9(2008.3)

三木麻里写真

## 三井寺祈想

A4判93頁 上製 本体 3800円+税

智証大師創建より1300余年の歴史を持つ、天台宗寺門派の古刹、総本山・園城寺の、貴重なみほとけ。堂宇を約10年にわたり祈りを込めて、モノクロームで撮影した『浄土の世界』。  
●—7646-1(2004.10)

中村晋也

## 甦った平成の阿僧伽・伐蘇畔度

奈良薬師寺の大講堂

B4変74頁 上製 品切

祈り具象化し続ける彫刻界の巨匠・中村晋也(日本芸術院会員・文化功労者)が奈良薬師寺に納めた阿僧伽(アサンガ=無着)・伐蘇畔度(ヴァスバンドウ=世親)両像の作品集。  
●—7647-8(2007.5)

中村佳睦

## 焔 中村佳睦の世界 仏画・工芸

A4ワイド版160頁 並製 品切

日本で唯一、立体と平面の両方を修得した手による緻密な截金文様を施した曼荼羅等仏画と、巧緻を極めた截金の工芸作品を初公開する作品集。金剛輪寺の「平成大曼荼羅」収録。  
●—6368-3(2015.10)

刀田山鶴林寺編

## 鶴林寺叢書 全4巻

B6変 並製

1巻 65頁 本体 1500円+税

2巻 59頁 品切

3巻 64頁 本体 1500円+税

4巻 72頁 本体 1500円+税 日本図書館協会選定図書

聖徳太子創建と伝える播磨の名刹・鶴林寺。国宝の太子堂や本堂をはじめ、太子信仰が色濃く反映された絵画・彫刻など多数の文化財を豊富なカラー写真図版を使用して解説。

- ① 鶴林寺太子堂とその美
- ② 鶴林寺と聖徳太子
- ③ 鶴林寺とその全盛時代
- ④ 鶴林寺 信仰の諸相

●—2212~2215(2007.8~2012.10)

# 声明・仏教音楽

岩田宗一

## 声明は音楽のふるさと

四六判154頁 上製 本体 1760円+税

仏教には、西洋の音楽に負けない素晴らしい音楽(声明)がある！ 声明の再評価へ向けて、歴史や理論、著名な声明家からキリスト教音楽との比較まで、声明研究の第一人者が綴る、類書のない一冊。●—6214-3(2003.9)

岩田宗一

## 声明の研究

A5判508頁 上製函入 品切

綿密な資料の調査・分析をもとに、歴史と楽理の両面から日本声明(仏教音楽)の特性に迫った画期的論考。中国、チベットの声明の調査報告も収録。巻末の声明関係論著・解説・目録一覧は研究者必備。●—6211-2(1999.3)

岩田宗一編

## 声明・儀礼資料年表

B5判268頁 上製函入 品切

古代から現代まで、仏教音楽にかかわる法要・法会、声明本とその関係資料を網羅した一大年表。声明資料の宝庫である魚山叢書の貴重なデータを一挙掲載。先例のない膨大な資料数を誇る。●—6212-9(1999.7)

天納傳中

## 天台声明 全1巻

天納傳中著作集

A5判520頁 上製函入 品切

平安時代より脈々と伝わる天台声明(仏教音楽)。実唱者としても高名な著者が楽理と歴史を彩やかに解明し、儀礼における音楽の役割を照射する、音楽史・儀礼史・芸能史研究必備の書。●—6213-6(2000.6)

潮 弘憲

## 南山進流 声明大系 全2巻

A5判1200頁 上製 本体 28000円+税 分売不可

高野山を本拠とし、真言宗において現在主流となっている南山進流。当代きつての進流伝承者である著者が、学理と歴史、各種法会での声明を具体的かつ体系的に解説した書。声明譜・索引付。●—6229-7(2017.2)

飛鳥寛栗

●第44回仏教伝道功労賞受賞

●第21回龍谷賞受賞

## 日本仏教洋楽資料年表

B5判207頁 並製 本体 4800円+税

1859年から2000年まで、140年間にわたる仏教音楽に関する資料を丹念に収集した編年表。史学・書誌学的見地に基づき整理された、仏教音楽研究の基礎資料となる一冊。●—6215-0(2008.7)

小野功龍

## 仏教と雅楽

A5判374頁 上製 本体 3500円+税

法会における舞楽の歴史の変遷、雅楽の音楽的考察、地方舞楽への伝播等々。四天王寺聖霊会舞楽大法要を主に、西本願寺の声明や春日大社の神楽まで、仏教と雅楽の秘められた関係を明らかにした書。●—5693-7(2013.12)

小野真龍

## 雅楽のコスモロジー

日本宗教式楽の精神史

四六判256頁 並製 本体 2200円+税

1400年、王権を支える儀式式楽として続いてきた日本の雅楽。天王寺舞楽の伝承者である著者が、日本宗教のコスモロジーを探る。●—6256-3(2019.10)

大内 典

●第34回田邊尚雄賞受賞

仏教の声の技 悟りの身体性

A5判310頁 上製 本体 3500円+税

声明、真言念誦、念仏など、さまざまな仏教の声の技は、どのような教理に基づきいかなる救いのシステムを構築したのか。身体がもつ実践的力を考究した前例のない画期的試み。  
●—6232-7(2016.3)

羽塚堅子

声明考

四六判389頁 和綴 本体 13000円+税

真宗大谷派の声明作法審議委員会として戦後の儀式法要の制定に尽力した著者による、大谷派の声明の歴史と理論の書。初版は昭和4年刊行。知る人ぞ知る幻の書。待望の復刊となる。  
●—9226-3(2016.4)

川島眞量著 川嶋 正編

改訂新版 大谷派本願寺 伝統行事

裏話と風物詩

四六判194頁 並製 本体 2200円+税

真宗大谷派の本山(東本願寺)伝承の年中行事や勤行、風物詩について、本山堂衆を50余年に亘り勤めた著者が詳しく紹介した貴重な資料を復刊。  
●—7922-6(2018.12)

## 歴史・史料

企画 = 塚本善隆・中村 元  
編集 = 柳田聖山・竺沙雅章・井ノ口泰淳

### 図説日本仏教の原像 全1巻

インド・中国・朝鮮

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書

A4判カラー 16頁・モノクロ272頁

上製函入 品切

収集図版3000枚。インド・中国・朝鮮と日本仏教の源流をたどる。日本人の精神史・文化史がひとめでわかる。目でみる仏教2500年のあゆみ。戦後の30余年の研究成果を集大成した歴史・民俗・美術・文学の専門家による執筆。

(1) 仏陀のふるさと (井ノ口泰淳ほか)

(2) 中国仏教の開花 (柳田聖山ほか)

(3) 仏教文化の交流 (竺沙雅章ほか)

●—6004-0(1982.3)

企画 = 柴田 實・林屋辰三郎  
編集 = 高取正男・赤井達郎・藤井 学

### 図説日本仏教史 全3巻

日本図書館協会選定図書

A4判カラー 16頁・モノクロ272頁

上製函入 品切

① 古代 《仏教伝来から末法到来まで》仏教との出会い (高取正男、堀池春峰、梅原 猛)

② 中世 《法然から蓮如まで》日本仏教の成立 (柴田 實、柳田聖山、野口武彦)

③ 近世 《法華一揆から近代仏教の模索まで》国民仏教への道 (藤井 学、大隅和雄、橋本峰雄)

●—6001~6003(1980.11~81.7)

家永三郎・赤松俊秀・圭室謙成監修

### 日本仏教史 古代篇

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書

A5判380頁 上製函入 品切

仏教伝来から奈良・平安時代にいたる日本仏教の全容を鮮やかに描き出す。

執筆者は、家永三郎、塚本善隆、堅田 修、高取正男、岡田香濃、村山修一、菊地勇次郎。

●—6011-8(1967.1)

山田文昭

### 日本仏教史の研究

A5判390頁 上製函入 本体 8000円 + 税

第1編「日本仏教史稿」、第2編「日本仏教史論」、第3編「日本浄土教史」、第4編「仏教史の研究」、第5編「解題並史料」からなる。日本仏教史に関する既発表並びに未発表の論考を収載する。

●—7876-2(1979.10)

上田正昭編

### 探訪 古代の道 全3巻

全国学校図書館協議会選定図書

A5判各250頁 上製

各巻本体 2800円 + 税

全巻本体 8400円 + 税

畿内およびその周辺の古道を、史学、考古学、地理学、国文学など多彩な角度から調査・研究。歴史を運んだ、“みち”を再現。

① 南都をめぐるみち(古代の都京—藤原京と平城京をつなぐ道)

② 都からのみち(陸路を補完するみちとしての海路水行)

③ 河内みち 行基みち(宗教をも伝播してきた古道を探る)

●—6451-2, 6452-9, 6453-6(1988.1)

伊藤唯真編

## 日本仏教の形成と展開

A5判683頁 上製函入 本体 13000円+税

古代から近代まで、日本仏教の諸相を解明する。日本仏教史研究の精鋭32名による書き下ろし論集。(執筆者)中尾 堯、中井真孝、今堀太逸、平 雅行、早島有毅、原田正俊、圭室文雄、大桑 齊ほか。 ●—6218-1(2002.10)

佛教史学会編

## 仏教の歴史的・地域的展開

佛教史学会五十周年記念論集

A5判282頁 上製 品切

インドで成立した仏教が中央アジア・東南アジアから中国・朝鮮半島を経て日本へと伝播する過程で、それぞれの地域・社会に与えた影響を比較分析し、その歴史的・地域的特性を解明する。 ●—7459-7(2003.12)

門田誠一

## 東アジア古代金石文研究

A5判461頁 上製 本体 13000円+税

金石に刻まれた文字。そこに込められた思いとは？ 5～8世紀の東アジア世界の宗教と信仰の具体相を、考古学と文献学の双方の手法を用い、多角的に考究する。

●—7445-0(2016.1)

堅田 修

## 日本古代寺院史の研究

A5判224頁 上製函入 品切

その時代の政治経済、社会と深く関わり、文化形成の一拠点ともなってきた寺院の草創年代、存立状況、宗教的機能などについて各時代ごとに論考し、また中心伽藍外の小仏堂などにも言及。学位論文。 ●—7340-8(1991.3)

窪田大介

## 古代東北仏教史研究

佛教大学研究叢書11

A5判419頁 上製 本体 8000円+税

7～9世紀を対象に、東北地方における仏教受容のあり方と特色、仏教の果たした役割について、最新の発掘成果や史料を用いて考察した労作。

●—7377-4(2011.3)

本郷真紹監修 上:山本 崇編集 中:駒井 匠編集

## 考証日本霊異記 上・中

A5判上424頁 中528頁 上製函入

上本体 8000円+税 中本体 10000円+税

日本最古の説話集『日本霊異記』を、歴史学的手法で初めて読み解く。善本を底本に、校異、注釈を行い、地図や新刻の説話等の関連史料を網羅。「日本霊異記」史料の決定版。

●—5697～5698(2015.3～18.3)

三舟隆之

## 『日本霊異記』説話の地域史的研究

A5判353頁 上製函入 本体 9000円+税

『日本霊異記』の各地域を舞台とした説話について、その地域の歴史的な背景と交通路の関係を考証し、説話の形成者が寺院を拠点として地域を往来する官僧であることを実証する。

●—7391-0(2016.6)

山本幸男

## 奈良朝仏教史攷

A5判496頁 上製函入 本体 11000円+税

正倉院文書、とくに写経関係文書の緻密な整理・検討から、経論疏類の奉請や貸借、学僧の動向を探るなど、奈良時代の仏教における未知の諸相を明らかにする意欲作。

●—6228-0(2015.11)

山本幸男

## 正倉院文書と造寺司官人

A5判494頁 上製函入 本体 11000円+税

正倉院文書の大半を占める写経関係の帳簿類から、安都雄足・佐伯里足・下道主・上馬養といった、当時の実務官人たちの活動内容を明らかにする。古代史研究者必読の書。

●—6243-3(2018.6)



三橋 正

## 日本古代神祇制度の形成と展開

A5判581頁 上製函入 本体 9500円+税

緻密な文献考証を軸に、古代から平安時代前期に至る祭祀の変遷を探り、また大祓、穢、神主等の重要語句の解明を通じて、「神道」をその形成過程から捉えた初めての書。

●—7376-7(2010.2)

梯 信暁

## 奈良・平安期浄土教展開論

A5判436頁 上製函入 本体 6600円+税

奈良・平安時代における浄土教思想展開の様相を、「往生要集」、「安養集」などの文献を取り上げて具体的に検証し、時代の思潮に照らすことによって、見落とされた意図を再発見する。

●—7566-2(2008.2)

堀池春峰

## 南都仏教史の研究

A5判 上製函入

上巻 東大寺篇 655頁 品切

下巻 諸寺篇 732頁 本体 15000円+税

遺芳篇 800頁 品切

広く各種の古文書を渉猟し、豊富な史料を駆使して、学界に常に新たな問題を提起し続けてきた著者の主要論文を集成。索引付。口絵図版多数。

●—7531, 7532, 7540(1980.9~04.3)

柴原永遠男・佐藤 信・吉川真司編

## 東大寺の新研究 1~3

A5判 上製函入

各巻本体 17000円+税

1巻637頁

2巻742頁

3巻640頁

2012年より開催されてきた「東大寺要録研究会」において報告された、古代・中世の奈良東大寺に関する最新研究をまとめた学術論集。

- ① 東大寺の美術と考古
- ② 歴史のなかの東大寺
- ③ 東大寺の思想と文化

●—6021~6023(2016.3~2018.3)

東大寺史研究所編

## 東大寺要録 一

東大寺叢書 1

A4判380頁 上製函入 本体 30000円+税

東大寺史研究に必備の史料である『東大寺要録』をフルカラー影印版で掲載。本巻には東大寺本巻第一・第二に加え、醍醐寺本巻第一・第二を、紙背文書を含め特別掲載する。

●—5201-4(2018.12)

東大寺史研究所編

## 東大寺要録 二

東大寺叢書 2

A4判392頁 上製函入 本体 30000円+税

前巻に続き、東大寺本『東大寺要録』の巻第三から巻第六までをフルカラー影印版で掲載する。

●—5202-1(2019.12)

本郷真紹

## 白山信仰の源流

泰澄の生涯と古代仏教 日本図書館協会選定図書

四六判229頁 上製 本体 2300円+税

古代より神の山として崇められた白山は、同時に仏教の行場としてもその名を馳せた。白山信仰の開創者といわれる泰澄の伝記を手掛かりに、奈良時代の社会と宗教を鮮やかに描き出す。

●—8148-9(2001.12)

大和を歩く会編

## 古代中世史の探究

シリーズ歩く大和I 日本図書館協会選定図書

四六判421頁 上製 本体 3800円+税

古代・中世の大和を、歴史・考古・地理など、さまざまな観点から考察し、あたらしい地域史を描き出す。16名による共同研究の最新成果。執筆＝吉川真司、佐藤泰弘、鈴木景二、平松良雄ほか。 ●—7567-9(2007.11)

泉森 暁

## 行基と歩く歴史の道

四六判297頁 並製 本体 2000円+税

奈良時代、近畿圏を中心に造寺・架橋・築堤などの数々の事業を行った高僧行基。近畿人も知らない関連の社寺・遺跡・古道を、考古学者が探訪紹介する恰好の行基足跡ガイド本。 ●—7720-8(2018.11)

西口順子

## 平安時代の寺院と民衆

A5判406頁 上製函入 品切

古代寺院から中世寺院への転換はいかにして行われたのか。当時の社会・民衆にとって中世寺院とはどのような存在であったのか。往生伝の分析を通じ、平安時代浄土教について明らかにする。 ●—7461-0(2004.9)

西口順子

## 中世の女性と仏教

四六判231頁 上製 本体 2300円+税

巫女や尼などの女性宗教者は、その祭祀組織においてどのような役割を果たしたのか。女人救済思想や巫女の活動の実態を明らかにしていき、「女性と仏教」をテーマに多彩な議論を展開する。 ●—7469-6(2006.3)

多賀宗隼

## 論集 中世文化史 全2巻

A5判 上製函入

上巻600頁 品切

下巻400頁 品切

慈円を中心とする日本中世の人物研究で知られる著者の研究業績を集大成。政治・宗教・文学など、さまざまな角度から日本中世文化の特質をさぐり、中世社会の全体像を描く。

上巻 藤原兼実／源為義／平家一門／中世仏教と武士／鎌倉時代の思潮／中世文学の成立／ほか全29篇。

下巻 慈円と密教思想／慈円と経済生活／東西の戒律思想／東西の密教／貴族と僧侶／ほか全32篇。 ●—7581-5, 7582-2(1985.10)

稲葉伸道編

## 中世寺社と国家・地域・史料

A5判524頁 上製函入 本体 12000円+税

仏教が広くかつ深く浸透した中世における、国家と寺社、地域と寺社、寺社の組織と経営、史料と思想について、22名が実証的に論じた論文集。 ●—6245-7(2017.5)

村山修一

## 古代仏教の中世的展開

A5判372頁 上製 本体 10000円+税

門跡寺院に蔵される古文書を駆使し、天台・真言といった古代仏教や、それらと習合していった陰陽道が、中世文化に与えた多大な影響力を解明した名著、待望の復刊。 ●—6514-4(2011.4)

蓑輪顕量 ●中村 元賞受賞

## 中世初期 南都戒律復興の研究

A5判760頁 上製函入 本体 16000円+税

受戒を蘇らせた覚盛の思想を中心に、戒律復興運動の実態と鎌倉新仏教への展開を解明する。覚盛の主著『菩薩戒通別二受鈔』『菩薩戒通受遺疑鈔』の翻刻、訳註と、戒律関係用語解説、索引を付す。 ●—6524-3(1999.6)

吉田一彦・勝浦令子・西口順子

## 日本史の中の女性と仏教

光華選書1 日本図書館協会選定図書

四六判230頁 上製 本体 2600円+税

仏教は女性を差別し続けてきたのか。女性の立場からみた日本仏教の歴史の実像を、古代中世の尼と尼寺、女性の出家と家族関係などの問題に焦点をあて、新進気鋭の学者が鮮やかに説く。

●—7525-9(1999.11)

石井義長

空也上人の研究 その行業と思想

A5判801頁 上製函入 本体 16000円+税

新史料の発掘と検証により、これまで謎に満ちていた空也の生涯と思想を解明。従来空也像を一変させた画期的研究論考。「日本浄土教研究にも大きな足跡を残す書」と絶賛された一冊。

●—6054-5(2002.1)

菊地勇次郎

## 源空とその門下

A5判432頁 上製 本体 10000円+税

源空をめぐる諸問題、教団の形成と発展、諸派の分立など、いまなお不明な部分の多い浄土教団草創期の歴史を、広範囲の文献に即しつつ解明。

●—6520-5(2011.6)

中野正明

## 増補改訂 法然遺文の基礎的研究

A5判608頁 上製函入 本体 15000円+税

伝記形成の基礎資料となった各種遺文の史料の信憑性を文献学的考察によって究明すると共に、科学的方法の導入により多くの新知見を提示した旧著に、最新成果を増補した法然遺文研究の決定版。

●—6055-2(2010.5)

今堀太逸

## 浄土宗の展開と総本山知恩院

A5判480頁 上製 本体 7500円+税

死が身近にあった前近代、僧侶の言葉には力があった。浄土宗と知恩院の歴史の考察を通して明らかにする日本人の仏教史。

●—6248-8(2018.3)

中井真孝

## 絵伝にみる 法然上人の生涯

A5判206頁 並製 本体 2300円+税

浄土宗の宗祖・法然上人の波乱の生涯と思想を、国宝『法然上人行状絵図』を手がかりに、第一人者による丁寧な解説とともに読み解く。カラー図版を多数掲載した、初学者に最適の一冊。

●—6056-9(2011.4)

佛敎大学総合研究所編

## 法然仏教とその可能性

A5判1294頁 上製函入 品切

法然上人八百年大遠忌を記念して、法然上人に関わる教義・歴史・文化などの最新研究を総勢54名が執筆。執筆者は藤本浄彦、今堀太逸、齊藤隆信、デニス・ヒロタほか。

●—5689-0(2012.3)

藤本浄彦先生古稀記念論文集刊行会編

## 法然仏教の諸相

A5判1360頁 上製 本体 25000円+税

宗門の枠を超え、世界的視野で法然浄土教を捉えてきた佛敎大学名誉教授藤本浄彦先生の古稀を祝し、仏敎学から福祉・経済学に至るまで、総勢66名による論考を一挙収載。関連研究者必備!

●—7703-1(2014.11)

上横手雅敬

権力と仏教の中世史 文化と政治的状況

A5判436頁 上製 本体 9500円+税

東大寺復興に果たした朝廷と鎌倉幕府の役割、鎌倉大仏造立に多大な影響を与えた幕府の宗教政策とは。政治史を専門とする著者が、思想や文学、芸術など文化史の分野に挑んだ注目の書。

●—7589-1(2009.5)

佐伯徳哉

## 中世出雲と国家的支配

権門体制国家の地域支配構造

A5判384頁 上製 本体 9500円+税

出雲における中世的支配体制と地域の形成を素材に、権門体制国家が諸地域との緊張・軋轢を伴いながら、その国家的機能をいかに浸透させ、支配しようとしたかを文化論的視覚から考察する。 ●—6026-2(2014.9)

黒田俊雄

## 王法と仏法 中世史の構図 〈増補新版〉

日本図書館協会選定図書

四六判278頁 上製 本体 2600円+税

社会構成史と思想史の両面から、中世社会の構造を解き明かした黒田史学の真骨頂。日本中世史研究における不朽の名著に「顕密体制論の立場」および解題を増補する。解題=平 雅行。 ●—7483-2(2001.12)

平 雅行

## 鎌倉仏教と専修念仏

A5判533頁 上製 本体 9000円+税

顕密体制論は何を提起し、どのような達成があり、何が課題として残されているのか。顕密体制論の立場から鎌倉仏教と専修念仏の歴史を読み解き、あらためてその本質を問う。 ●—6246-4(2017.6)

平 雅行

## 親鸞とその時代

四六判220頁 上製 本体 1800円+税

すべての人間を悪人と断じた親鸞。殺生罪業観の浸透していた中世において、現世の宗教的平等を説き、旧仏教の呪縛から民衆意識を解放しようとした親鸞の思想史的意義を、鮮やかに解き明かす。 ●—7484-9(2001.5)

平 雅行

## 歴史のなかに見る親鸞

日本図書館協会選定図書

四六判217頁 上製 本体 1900円+税

「親鸞」はいかにして誕生したのか。慈円への入室、六角堂参籠、玉日姫との婚姻説、善鸞義絶事件など様々な伝承と膨大な研究が存在する親鸞の生涯と思想について史料の検証からその虚実を解明する。 ●—6061-3(2011.4)

今井雅晴

## 親鸞の家族と門弟

四六判210頁 上製 本体 1800円+税

『歎異抄』の著者・唯円、妻・恵信尼、長男・善鸞、関東の弟子たち、三代目覚如——豊富な史料を縦横に解析し、親鸞の生涯とその家族、および弟子たちのリアルな姿を描く。 ●—7482-5(2002.7)

今井雅晴

## 親鸞の伝承と史実

関東に伝わる聖人像

四六判210頁 上製 本体 2000円+税

伝承の中には、正しい親鸞理解からは荒唐無稽としか思えないものもある。伝承の内容と特色、それを生み伝えた環境と歴史的背景の両方から、伝承に込められた当時の人々の願いと救いを明かす。 ●—6063-7(2014.2)

同朋大学仏教文化研究所編

## 誰も書かなかった親鸞

伝絵の真実

四六判300頁 上製 本体 2800円+税

「親鸞の出自」「六角夢告の意味」「善光寺信仰と太子信仰」「葬送と墓」など、親鸞に関する定説を見直し、『親鸞伝絵』を読み直すことによって、新たな親鸞像の構築を目指す意欲的論考集。 ●—7458-0(2010.11)

塩谷菊美

## 語られた親鸞

日本図書館協会選定図書

四六判315頁 上製 本体 3000円+税

数多くの「親鸞伝」はどのように作られ、読まれてきたのか。国文学の立場から、史実を伝えるものではなく、信者の思いや真宗の教えを伝える物語としての親鸞伝を読み解く力作。 ●—6062-0(2011.5)

幡鎌一弘編

語られた教祖 近世・近現代の信仰史

A5判288頁 上製 本体 5000円＋税

宗教研究各分野の精鋭たちが、「教祖を物語る」という営みと向きあい、その創造力と問題点を描き出す、物語り論の新しき地平！  
宮本要太郎，大谷栄一ほか。

●—6222-8(2012.3)

松尾剛次

## 山をおりた親鸞 都をすてた道元

中世の都市と遁世

四六判201頁 上製 本体 2200円＋税

鎌倉新仏教の宗祖たちが山をおり、都市をめざした理由とは。彼らを受け入れた鎌倉はモデル都市となり、各地に「小鎌倉」が形成されていった。逆説的遁世観を軸に描き出す新しい中世史。

●—6060-6(2009.4)

佐々木 馨

## 日蓮と神祇

四六判160頁 上製 本体 1600円＋税

“日蓮の神祇観”の変容を「日蓮聖人遺文」にもとづく実証研究から見事に解明し、中世仏教の新たな分析概念を提唱する日蓮研究第一人者による注目の試論。

●—7471-9(2006.12)

末木文美士

## 鎌倉仏教形成論

思想史の立場から

A5判440頁 上製 本体 5800円＋税

鎌倉新仏教と平安旧仏教はまったく異質なのか。法然、明恵、顕密体制論、本覚思想、仏教の民衆化などを題材に、まったく新しい視点から形成期の鎌倉仏教を読み解き、通説を覆す力作論集。

●—7372-9(1998.5)

佐藤弘夫

## 神・仏・王権の中世

A5判488頁 上製 本体 6800円＋税

王法と仏法・正統と異端・神仏のコスモロジー・天皇観をキーワードに、仏教のダイナミックな展開、その時代を生きた人々の宗教観など、躍動する中世の実像を鮮やかに描き出す気鋭の論集。

●—7143-5(1998.2)

佐藤弘夫

## アマテラスの変貌

中世神仏交渉史の視座 日本図書館協会選定図書

四六判242頁 上製 本体 2400円＋税

異国の仏が姿を変え、神として日本に現れたのではない！童子、男神、女神と変貌するアマテラスを手掛かりに、神仏習合、本地垂迹、神国思想に関する従来の見方に変更を迫る画期的論考。

●—7129-9(2000.8)

伊藤 聡 ●角川源義賞受賞

## 中世天照大神信仰の研究

A5判688頁 上製 本体 12000円＋税

根本の変貌を遂げた中世神道——。その思想運動の中核をなす伊勢や天照大神信仰の言説に焦点を絞り、従来不可解とされてきた両部神道説の形成と展開を初解明する、画期的大著。

●—6028-6(2011.2)

原 克昭

中世日本紀論考 註釈の思想史

A5判484頁 上製 本体 12000円＋税

中世に簇出した神典「日本紀」「麗気記」註釈群——。そこで展開された思想運動の本質を文献・言説・思想にわたり多角的に検証し、思想史における註釈の本質的意義に迫る画期的論考。

●—6030-9(2012.5)

船田淳一 ●日本思想史学会奨励賞受賞

## 神仏と儀礼の中世

A5判533頁 上製 本体 7500円＋税

神仏習合は自然発生的に展開したのではなく、常に仏教儀礼を画期として発展し定着していった。「聖教」と呼ばれる儀礼資料を手がかりに、中世的な神仏の宗教世界を明らかにする。

●—6029-3(2011.2)

大谷由香

## 中世後期 泉涌寺の研究

A5判412頁 上製 本体 6000円+税

新出資料『視覃雑記』に基づく、室町後期から戦国時代にかけての泉涌寺および関係寺院の慣習・事績についての最新の研究成果。『視覃雑記』全文翻刻と人名・寺社名・地名索引を付す。 ●—6244-0(2017.2)

村田真一

## 宇佐八幡神話言説の研究

『八幡宇佐宮御託宣集』を読む

A5判575頁 上製 本体 9800円+税

八幡神話言説の歴史を、中世宇佐宮の神典『八幡宇佐宮御託宣集』から読み解き、中世に見出された“新たな八幡信仰”の姿を問うことで、宗教思想史研究の新地平を切り拓いた気鋭の論集。 ●—5731-6(2016.2)

前川健一

## 明恵の思想史的研究

思想構造と諸実践の展開

A5判334頁 上製 本体 9000円+税

生涯にわたり夢を記録しつづけた鎌倉時代の学僧、明恵。その特異な個性には、どのような思想的背景があったのか？ 思想家としての明恵を詳細に見つめた画期的研究！ ●—7362-0(2012.2)

鍛代敏雄

## 神国論の系譜

日本図書館協会選定図書

四六判201頁 上製 本体 1800円+税

信長は生きて神体を宣言し、秀吉は豊国大明神、家康は日光東照大権現として「神」になった。古代から近世初頭にいたる史料を通して、神国論の政治思想的な意義とその展開を明らかにする。 ●—7470-2(2006.5)

鍛代敏雄

## 戦国期の石清水と本願寺

都市と交通の視座

A5判284頁 上製 本体 4300円+税

京都と大坂を結ぶ交通の要衝・淀川流域に位置した、権門寺社の石清水八幡宮寺と真宗教団の本願寺。その「宗教領主」としての実態を、都市自治や物流、交通などの視点から考察する。 ●—7560-0(2008.5)

松尾剛次

## 中世の都市と非人

A5判256頁 上製 本体 3600円+税

非人はなぜ都市に集まったのか。独自の論理で彼らを救済し、都市の浄化機能を担った仏教教団の実態とは。武家の都・鎌倉と寺社の都・奈良を題材に新しい視点から史料を読み解く。 ●—7243-2(1998.12)

松尾剛次

## 中世叡尊教団の全国的展開

A5判558頁 上製 本体 12000円+税

綿密な史料分析と現地調査、さらに新出の史料を用いて、叡尊教団が全国的に展開した社会救済活動、およびその背景にある思想を明らかにし、中世仏教とはなにかを見なおす。 ●—6059-0(2017.2)

松尾剛次

## 鎌倉新仏教論と叡尊教団

A5判549頁 上製 本体 12000円+税

叡尊教団を鎌倉新仏教教団と位置づけた上で、畿内・北陸・関東・中国・四国地方への展開を解明。併せて関東祈禱所、鎌倉極楽寺流に関する論考、光明真言過去帳の翻刻を取録。 ●—6066-8(2019.3)

市川浩史

## 日本中世の歴史意識

三国・末法・日本

A5判230頁 上製 本体 3600円+税

覚憲、明恵、日蓮、凝然、虎関師錬、成尋など、中世の思想家達は日本をいかに認識していたのか。三国世界視を歴史意識として捉え直し、中世思想史の新たな側面をあぶり出す、注目の書。 ●—7464-1(2005.1)

市川浩史

## 安穩の思想史

親鸞・救済への希求

A5判202頁 上製 本体 3800円+税

世の「安穩」を祈り、仏法のひろまることを願った念仏者・親鸞。その思惟の独自性を、日蓮や無住らの挙動、武家政権の政策・動静をも視野に入れ、思想上に位置づける意欲的論考。  
●—3835-3(2009.11)

池見澄隆編著

## 冥顕論

日本人の精神史

A5判484頁 上製 本体 7000円+税

顕界から冥界はみえないが、冥界から顕界はみられているという、中世・近世の人々に通じる一方的被透視感覚を、「まなざし」という概念から読み解く。17名の精鋭による、新たな日本文化史論。  
●—5685-2(2012.3)

大喜直彦

## 中世びとの信仰社会史

A5判440頁 上製 本体 10000円+税

中世に生きた人びとはどのような宗教観を持っていたのか。とくに身体との関係に注目し、文献史料だけでなく絵画などの周辺資料も駆使して明らかにする最新研究の成果。序文＝峰岸純夫。  
●—7674-4(2011.10)

山川 均

## 石塔造立

日本図書館協会選定図書

A5判320頁 上製 本体 9000円+税

神社・仏閣で目にする、五輪塔・宝篋印塔などの石造物は、いつ・どのどのような歴史的背景のもとに造られたのか？ 新知見に溢れた学界注目の論考！  
●—6409-3(2015.5)

馬場久幸 ●第38回日本出版学会賞奨励賞受賞

## 日韓交流と高麗版大藏経

日本図書館協会選定図書

A5判426頁 上製 本体 8500円+税

東アジア世界で膨大に制作された「大藏経」。中でも、高麗で制作された高麗版大藏経は質量ともに最高水準を誇る。日韓両国の研究成果を踏まえ、日本でいかに受容・活用されたかを解明した力作。  
●—7396-5(2016.2)

大久保良峻編著

## 新・八宗綱要

日本仏教諸宗の思想と歴史

A5判346頁 上製 本体 3400円+税

律宗、法相宗、天台宗、華嚴宗、真言宗、禪宗、浄土宗、浄土真宗、日蓮宗の概説、主要典籍と人物、教養についてコンパクトに解説。付録に俱舍論、地論宗、三論宗、成実宗を付す。  
●—7370-5(2001.6)

下坂 守

## 描かれた日本の中世

絵図分析論

A5判504頁 上製 本体 9600円+税

日本歴史の解明に補助史料として取り扱われることの多かった絵画・絵図。その歴史史料としての価値を認め、新たな日本中世史像を構築する。100点余の図版を駆使した意欲的論考。  
●—7478-8(2003.11)

小林真由美・北條勝貴・増尾伸一郎編

## 寺院縁起の古層

注釈と研究

A5判352頁 上製 本体 7000円+税

醍醐寺本「諸寺縁起集」等の寺院縁起に丹念な注釈的作業を行い、それに裏打ちされた精緻な分析によって新たな解釈を提示。執筆者は藤巻和宏、富樫 進、藤井由紀子、磯部祥子、榎原史子、水口幹記、加藤謙吉。●—5730-9(2015.3)

河音能平・福田榮次郎編

## 延暦寺と中世社会

A5判499頁 上製 本体 9500円+税

中世最大の権門寺院・延暦寺。その内部構造をはじめとして、政治・社会・文化の諸側面から中世延暦寺を多面的に考察。研究者16名による全編書き下ろし。延暦寺研究の到達点を示す画期的論集。  
●—7462-7(2004.6)

成菩提院史料研究会編

## 天台談義所 成菩提院の歴史

A5判450頁 上製 本体 7000円+税

東西交通の要衝にあり、顕密両面で特色ある発展を遂げた滋賀県米原市にある成菩提院。談義所や灌頂道場の活動から生まれた聖教や中世から近代初頭の通史を概観する。

●—6239-6(2018.2)

佐藤道子編

## 中世寺院と法会

A5判516頁 上製函入 本体 13500円+税

中世の寺院と法会を軸に仏教史・寺院史研究の新世界を切り拓く。日本史・芸能史・建築史・美術史の気鋭の研究者が20年来の共同研究によって分野の枠組みを超える柔軟な思考を展開。

●—7553-2(1994.5)

奈良女子大学古代学術研究センター設立準備室編

## 儀礼にみる日本の仏教

東大寺・興福寺・薬師寺

四六判266頁 並製 本体 2600円+税

仏への信仰や經典礼讃・理解のあり方を、可視的に表す「装置」としての仏教儀礼＝法会。南都の法会を中心に、各分野の第一人者7名がその歴史と概要を平易に説明する法会学入門の決定版。

●—7550-1(2001.3)

佐藤道子

## 悔過会と芸能

A5判640頁 上製函入 本体 14000円+税

古代より国家行事として、あるいは民俗行事として芸能性を伴いつつ、多様に展開してきた悔過会。その伝承事例や諸資料の収集・分析によって、古代的儀礼の系譜や史的展開を明らかにする。

●—6216-7(2002.5)

東京文化財研究所芸能部編 佐藤道子担当

## 東大寺修二会の構成と所作 全4冊

A5判 上製函入 上中下巻各本体 14000円+税  
別巻本体 16000円+税

日本最古の仏教行事の一つ、東大寺修二会(お水取り)。連日繰り返される諸作法およびそれに準ずる付帯作法を時間的に区切り、上・中・下に収録、別巻に特定の日のみに行われる別作法を収録する。

●—7554~7557(2005.11)

ルチア・ドルチェ／松本郁代編

## 儀礼の力 中世宗教の実践世界

A5判346頁 上製 本体 5000円+税

天台声明・立川流の儀礼・醍醐寺の雨乞祈禱・山王神社の神輿など、欧米の「儀礼学」理論を日本で初めて導入し、思想史、文化史、日本文学、宗教学など学際的視座から日本中世の歴史と文化を解明。

●—7670-6(2010.4)

村山修一

## 京都大仏御殿盛衰記

日本図書館協会選定図書

四六判276頁 上製 本体 2800円+税

秀吉が創建した方広寺の大仏にまつわる事件の真相とは？ 三十三間堂通矢に見る世相、幕末動乱期の京都の様子など、皇室と類縁を持つ門跡寺院妙法院からみた日本史の知られざる側面に迫る。

●—7481-8(2003.1)

村山修一

## 修験・陰陽道と社寺史料

A5判576頁 上製 本体 15000円+税

日本人の宗教観の基底にある修験道と陰陽道について、その特質と歴史的展開を豊富な社寺史料を駆使し論じた。同時にゆかりの史跡と伝承の謎に迫る画期的論考25編を収録。付著作目録・索引。

●—7490-0(1997.1)

村山修一

## 神仏習合の聖地

A5判264頁 上製 本体 3400円+税

日本における神仏習合は、地域や歴史的伝統的風土の相違により多様化していた。そこで熊野や比叡山など全国的に著名な12の霊場・聖地を選び、その発祥と発展を第一人者が見直す。

●—7559-4(2006.11)



中山一磨編

## 神と仏に祈る山

美作の古刹 木山寺社史料のひらく世界

A5変304頁 並製 本体 2800円+税

岡山の古刹、神仏混淆の木山寺・木山神社の開創1200年記念。高野山と地方寺院を繋ぐ結節点でもある木山寺を、新出神像、戦国期文書、善覚稱荷信仰等、図版と論文・資料で解説する。 ●—7576-1(2016.11)

宮家 準

## 修験道 その伝播と定着

A5判352頁 並製 本体 3300円+税

吉野・熊野・伊勢・羽黒・彦山・白山・本山派・児島五流の山伏や比丘尼の唱導、勧進活動を通して、各地の霊山、地方への修験の伝播と定着を解明した初めての書。 ●—7439-9(2012.10)

福原隆善監修 開宗九百年記念・大通上人三百回御遠忌奉修局編

## 融通念佛宗における信仰と教義の邂逅

開宗九百年・大通上人三百回御遠忌奉修記念論文集

A5判768頁 上製函入 本体 15000円+税

融通念佛宗の教義や歴史、生命倫理に関わる現代への提言等を36名が論究する。執筆者は浅田正博、阿部泰郎、坂本 要、戸田孝重、幡鎌一弘、浜田全真、開 祐司、蓑輪顕量、横田兼章ほか。 ●—7704-8(2015.5)

開宗九百年記念・大通上人三百回御遠忌奉修局編

## 読本 融通円門章・融通念佛信解章

B5判273頁 上製函入 本体 5000円+税

江戸時代中期、融通念佛の教えを明らかにした大通融観の著作『融通円門章』と『融通念佛信解章』。融通念佛宗の基本聖教である『融通円門章』の訓読と影印、『融通念佛信解章』の影印を収録。 ●—7705-5(2015.5)

一般財団法人 律宗戒学院編

## 覚盛上人御忌記念 唐招提寺の伝統と戒律

B5判480頁 上製函入 品切

唐招提寺中興の祖・覚盛上人の770年御忌を記念して、唐招提寺の教義・歴史や覚盛上人の事績を、仏教学・歴史学・考古学・美術史学などの分野から多角的に検証する。 ●—6241-9(2019.5)

長澤昌幸

## 一遍仏教と時宗教団

A5判340頁 上製 本体 5000円+税

「捨ててこそ」を標榜し、遊行の果てに生涯を終えた一遍智真。門弟たちはいかにして、「一期ばかり」だったはずの思想を伝統化していたか。類書稀少な時宗教学書。 ●—7509-9(2017.11)

橋 俊道

## 時宗史論考

A5判366頁 上製函入 品切

一遍を祖とする遊行念仏時宗が、わが国の宗教・文化の上に果たした役割はきわめて大きい。本書は念仏に終始した一遍・他阿の宗教の消長を当時の文献に即して考察した未開拓分野の労作である。 ●—7593-8(1975.3)

根井 浄 ●日本山岳修験学会賞受賞

## 改訂 補陀落渡海史

A5判788頁 上製函入 本体 16000円+税

平安～明治時代に、生きながら南方の観音淨土をめざして渡海した特異な習俗の歴史と実態を、多数の新出史料と絵画史料により解明し、初めてその全貌を明らかにした大著。図版180点。 ●—7569-3(2008.8)

根井 浄・山本殖生編著

## 熊野比丘尼を絵解く

A5判523頁 上製 本体 6000円+税

「熊野観心十界図」を絵解くことで、熊野信仰を全国に広めた熊野比丘尼。250点以上の絵画史料と、数多くの文献史料を博搜し、熊野比丘尼の宗教者としての実像にも迫る画期的労作。 ●—7562-4(2007.11)

中ノ堂一信

中世勸進の研究 その形成と展開

四六判229頁 並製 本体 1600円+税

寺院の維持・復興のための募金活動、「勸進」という行為。その活動の実態を初めて明らかにした。40年前の先駆的論文をはじめ、中世勸進研究の軌跡を一書に集成!

●—7363-7(2012.2)

村上紀夫 ●林屋辰三郎藝能史研究奨励賞受賞

近世勸進の研究 京都の民間宗教者

A5判416頁 上製 本体 8000円+税

本願・木食聖・十穀聖・仏餉取から、桂女・万歳まで。地域社会と寺社との橋渡しとなった民間宗教者の勸進行為を通して、彩り豊かな近世社会像を描き出す、新視点による勸進の文化史。

●—6220-4(2011.10)

村上紀夫

## 京都地蔵盆の歴史

四六判232頁 並製 本体 2000円+税

現在も京都の約8割の町で実施されている伝統行事・地蔵盆。その歴史について、文献史学の立場から初めて本格的に考察し、京都都市史における地蔵盆の位置を問うた意欲作。

●—6237-2(2017.7)

村上紀夫

## 近世京都寺社の文化史

A5判356頁 上製 本体 8000円+税

経済基盤の脆弱な京都の中小規模の寺社が、みずからの存続をかけてとった多様な戦略を明らかにし、近世都市固有の宗教的需要を読み解くことで、近世都市が抱えた諸問題をあぶり出す。

●—6253-2(2019.10)

福江 充

立山曼荼羅 絵解きと信仰の世界

四六判212頁 上製 本体 2000円+税

地獄と浄土の仏教世界が一度に体験できる、人間救済空間・立山。先人が長い時間をかけて形成してきたさまざまな思想・宗教が凝集された立山曼荼羅を読み解き、その信仰世界を探る。

●—7440-5(2005.7)

福江 充

## 江戸城大奥と立山信仰

A5判501頁 上製 品切

いにしえより人びとの信仰を集めた霊峰立山。新出史料を基に、民衆から大名家、江戸城大奥にまでいたるネットワークを築いた、近世立山の宗教者たちの行動を解明した画期的名著。

●—7436-8(2011.8)

幡鎌一弘編

## 近世民衆宗教と旅

A5判318頁 上製 本体 5000円+税

修験者や大神楽等の旅する宗教者を受け入れた都市や、旅で信仰を深めた民衆を考察。執筆者は幡鎌一弘、山形隆司、荻野裕子、望月真澄、青柳周一、神田秀雄、児山真生、北川央。

●—6219-8(2010.3)

幡鎌一弘

## 寺社史料と近世社会

A5判450頁 上製 本体 8000円+税

中世宗教世界は、近世に至ってどのような変容を遂げたのか。従来の幕藩体制論・地域史・身分論からのみの視点ではなく、宗教教団総体の近世の変質・喪失・発生について、大和国を中心に論究。

●—6227-3(2014.12)

菅原信海

## 日本人の神と仏

日光山の信仰と歴史 日本図書館協会選定図書

四六判259頁 上製 本体 2400円+税

神と仏が習合する日本人の信仰はどのように形成されたのか。天台の神道の教義と歴史を探り、世界遺産となった日光山の民俗文化を例に日本宗教の多様性と重層性を解き明かす。

●—5676-0(2001.8)

牛山佳幸

## 善光寺の歴史と信仰

四六判310頁 並製 本体 2500円+税

全国屈指の著名寺院、信州信濃の善光寺が「庶民信仰の寺」と呼ばれるのは何故か。最新の研究成果も踏まえ、数々の伝承に彩られた同寺の姿を描く。善光寺を知る際には欠かせない一冊。 ●—6024-8(2016.9)

天橋立世界遺産登録可能性検討委員会編

## 「天橋立学」への招待

“海の京都”の歴史と文化

A5判332頁 上製 本体 1500円+税

日本三景・京都天橋立。その文化的価値を、日本史学、地理学、風景学などの幅広い分野の研究者が新視点から改めて考察した天橋立の歴史を知るための格好のガイドブック。 ●—6236-5(2017.3)

五十嵐隆明

## 京都・永観堂禅林寺史

A5判通史編500頁・史料編100頁

上製函入 本体 8000円+税

紅葉や「見返り阿弥陀」で有名な永観堂禅林寺の創建から現在まで、その全体像を平易に語る。通史編と関連資料を網羅した史料編の2分冊構成。著者は、浄土宗西山禅林寺派第八十八世法主を歴任。 ●—7711-6(2018.1)

西山 克

## 聖地の想像力 参詣曼荼羅を読む

A5判256頁 上製 本体 3200円+税

須磨寺・善光寺・伊勢・那智・北野の五大曼荼羅をテキストとして、緻密な史料分析と卓抜した構想力により読み解く。中近世の人々にとって聖地とは何だったのかを解明。90点余の写真掲載。 ●—7489-4(1998.5)

藤井 学 ●望月学術賞受賞

## 法華衆と町衆

A5判470頁 上製函入 本体 8800円+税

著者の代表的な研究テーマである法華仏教史・仏教文化史論を中心に集成。中世から近世へと大きく転換を遂げた仏教の特質を解明する。躍動感に満ちた日本の中・近世を鮮やかに描き出す。 ●—7493-1(2003.3)

藤井 学 ●望月学術賞受賞

## 法華文化の展開

A5判440頁 上製函入 本体 8000円+税

日蓮により東国で開かれ、次第に教線を西へと広げた法華宗。全国的規模の教団へと発展した原動力ともいえる諸門流の活動、それを支えた社会的基盤である京都町衆・地方信徒の活躍を解明。 ●—7494-8(2002.10)

河内将芳

## 戦国仏教と京都 法華宗・日蓮宗を中心に

A5判372頁 上製 本体 7500円+税

公武の世俗権力、顕密寺社との関係に注目し、戦国期京都で法華宗(日蓮宗)がたどった変化の軌跡を読み解き、「戦国仏教」としての日蓮宗(法華宗)の特質に迫る待望の書。 ●—6252-5(2019.9)

河内将芳

## 秀吉の大仏造立

シリーズ 権力者と仏教① 日本図書館協会選定図書

四六判230頁 上製 本体 2000円+税

かつて京都には、豊臣秀吉が建立した東大寺をしのぐ巨大な大仏と大仏殿があった。秀吉にとって大仏とは、豊臣政権による宗教政策を追い、「大仏」造立の真意を探る。 ●—7583-9(2008.11)

内田啓一

## 後醍醐天皇と密教

シリーズ 権力者と仏教② 日本図書館協会選定図書

四六判243頁 上製 本体 2000円+税

なぜ醍醐天皇は自ら護摩を焚いたのか。密教の力を用いて王権の強化をはかり、南北朝の動乱の時代を駆けぬけた天皇の生涯を、密教美術作品を交えてわかりやすく論じる。 ●—7584-6(2010.7)

上田純一

## 足利義満と禅宗

シリーズ 権力者と仏教③

四六判220頁 上製 本体2000円+税

室町幕府三代将軍足利義満は、日明貿易(勘合貿易)の推進者として知られる。だが、その実務はおもに禅僧が担っていた……。幕府の裏で外交を取り仕切った禅僧たちの素顔に迫る。 ●—7585-3(2011.9)

今堀太逸

## 本地垂迹信仰と念仏

日本庶民仏教史の研究

A5判496頁 上製 品切

インドに発する仏・菩薩が人々を救済するために、さまざまな日本の神の姿となって現れたとする本地垂迹説。仏教と在来の神の思想とが融合した、この日本独特の信仰形態とその変遷を考察する。 ●—7488-7(1999.2)

祢津宗伸

## 中世地域社会と仏教文化

A5判385頁 上製 本体8500円+税

中世前期日本列島では、東アジア仏教文化をどのように受容し展開したのか。喫茶文化の普及、唐僧清拙正澄と開善寺、初期真宗と三国史観、諏訪信仰と専修念仏の交流などを信濃の事例から探る。 ●—6027-9(2009.2)

原口志津子

## 富山・本法寺蔵 法華経曼荼羅図の研究

A5判442頁 上製 本体15000円+税

『一遍聖絵』に匹敵する豊富な画像情報を含みながらも、その研究が十分になされていなかった重要文化財の図像を注釈書や唱導、歴史資料からあざやかに読み解いた意欲的論考。 ●—6381-2(2016.2)

仁木 宏・大澤研一編

## 寺内町の研究 全3巻

①戦国社会と寺内町 ②寺内町の系譜

③地域の中の寺内町

A5判460頁 上製 本体8800円+税

戦国時代、地域住民により真宗寺院を中核として形成された寺内町について、その構造と特質、社会との関係といった主題ごとに、仏教史・都市史など各分野の論文を精選し収録。研究者必備の書。 ●—7518~7520(1998.10)

山科本願寺・寺内町研究会編

## 戦国の寺・城・まち

山科本願寺と寺内町

A5判293頁 並製 品切

浄土真宗中興の祖・蓮如と民衆の宗教的連帯感により建築された京都山科本願寺と寺内町を、最新の発掘成果を踏まえ、その構造と特質を解明。第一線の研究者による書き下ろし論文を集成。 ●—7524-2(1998.8)

山科本願寺・寺内町研究会編

## 掘る・読む・あるく 本願寺と山科二千年

A5判256頁 並製 本体2800円+税

戦国時代屈指の都市、山科本願寺・寺内町。その遺跡の保存と活用を求め、先史から現代・未来の山科を、考古・歴史・地理学的視点から探る。『戦国の寺・城・まち』に引き続くシリーズ第2弾。 ●—7536-5(2003.4)

草野顕之

## 戦国期本願寺教団史の研究

A5判484頁 上製函入 本体9800円+税

文明～明応年間の蓮如期に爆発的な拡大をみせた本願寺教団。その組織と制度が儀式的形成と連動しながらいかに確立され、地域に波及していったかを、当時の思潮・慣習の影響を連関させつつ考究。 ●—7460-3(2004.3)

青木忠夫

## 本願寺教団の展開

戦国期から近世へ

A5判488頁 上製函入 本体10000円+税

証如・顕如真筆史料により、報恩講などの年中行事の実態と特質を分析。三十六人家集・教団財政など、多数の新史料を紹介。また、戦国期本曾川中流域における真宗教団の展開を詳述する。 ●—7479-5(2003.8)

青木 馨

## 本願寺教団展開の基礎的研究

戦国期から近世へ

A5判458頁 上製 本体 9800円+税

戦国期に成立した在地道場が、近世的寺院へと成長し、教団内身分を獲得する過程を、装束・法宝物・由緒・伝承などから読み解く、長年に亘る研究の成果。

●—7714-7(2018.3)

安藤 弥

## 戦国期宗教勢力史論

A5判616頁 上製函入 本体 12000円+税

日本社会が中世から近世へと歴史的に展開していく15世紀後半から16世紀、戦国期宗教勢力の代表的存在である本願寺教団をとりあげ、その歴史的事態を解明する。

●—6251-8(2019.3)

小泉義博

## 本願寺教如の研究 上

A5判438頁 上製函入 本体 9000円+税

石山合戦終結をめぐって生じた顕如と教如の方針の相違が最終的に本願寺の東西分裂に帰結する。その間の教如と門徒衆の動向を追跡。宗門の立場から叙述された注目の織豊時代史。

●—7476-4(2004.12)

小泉義博

## 本願寺教如の研究 下

A5判563頁 上製函入 本体 12000円+税

石山合戦当初からの文書を発給者の花押の変化から発給年を確定するとともに、顕如、教如、准如の動向、本願寺の寺基移転の推移、東西分派に至る経緯を解明する。

●—7473-3(2007.11)

小泉義博

## 本願寺蓮如の研究 上

A5判472頁 上製函入 本体 11000円+税

御文に含まれる宗教的脚色を取り除き、側近衆の言行録に見られる崇拜視を濾過した上で、文書分析から得られた知見を組み合わせ、等身大の蓮如像を新たに提示する書。

●—7507-5(2016.10)

小泉義博

## 本願寺蓮如の研究 下

A5判544頁 上製函入 本体 13000円+税

蓮如の後半生を追跡し、四男運営の行動や、山城常楽寺蓮覚、加賀本光寺蓮塵、越後浄興寺巧親、越前本覚寺蓮光、等について検討。蓮如の生涯は9区分、花押形状は18区分で分析すべきと提案。

●—7508-2(2018.2)

大桑 斉

## 教如 東本願寺への道

四六判207頁 並製 本体 2400円+税

信長を敵にまわし、秀吉に本願寺宗主の座を追われた教如上人が、東本願寺を別立するに至る反逆の生涯と、秘められた宗教理念に迫る。教如上人400回忌記念出版。

●—6224-2(2013.3)

同朋大学仏教文化研究所編

## 教如と東西本願寺

A5判300頁 上製 本体 6000円+税

本願寺の東西分派の中心となった教如を誤解している人は多い。教如の信念と分派の真相、それをとりまく信長、秀吉、家康ら権力者や教団問題について、最新の研究成果を提示。

●—7456-6(2013.12)

武内善信

## 雑賀一向一揆と紀伊真宗

A5判408頁 上製 本体 9000円+税

雑賀一揆は一向一揆ではない。紀伊真宗の歴史を探究し、戦国・織豊期の雑賀一向衆の実態を解明して、雑賀一揆における真宗勢力の位置付けや「石山合戦」における動向を考察。

●—6250-1(2018.10)

上場顕雄

## 増補改訂 近世真宗教団と都市寺院

A5判392頁 上製函入 本体 9000円+税

近世真宗教団の構造と大坂を中心とする都市真宗寺院の実態について、綿密な史料考証に基づき解明した前著に、「本願寺東西分派史論」など論文3編と索引を新たに加えた増補改訂版。 ●—5686-9(2013.9)

森岡清美

## 新版 真宗教団と「家」制度

A5判742頁 上製函入 本体 17000円+税

真宗教団の構造に家制度の視点から迫り、家制度を構成原理とする近世的構造と、次第にその原理から離れていく近代以降の様相を解明。宗教社会学の記念碑的名著が待望の復刊！ ●—5705-7(2018.12)

大桑 斉

## 戦国期宗教思想史と蓮如

A5判320頁 上製 本体 7500円+税

蓮如をはじめ、諸宗に中興と呼ばれる宗教者が出現し、民衆救済論を展開した戦国期。一向一揆との関わりから御元の救済論を考察し、その後の蓮如像形成や真宗信仰の様相を解明する。 ●—7467-2(2006.6)

大桑 斉編

## 論集 仏教土着

A5判408頁 上製 本体 7400円+税

日本の近世社会は仏教が人々の心に〈住み着いた〉世界であった。仏教〈住み着き〉・仏教〈土着〉論を提起する、壮大な構想に基づき、気鋭の研究者が21の課題に果敢に挑戦した意欲的論集。 ●—7534-1(2003.3)

大桑 斉

## 日本仏教の近世

日本図書館協会選定図書

四六判232頁 上製 本体 1800円+税

近世の一般民衆はものを考えるときはどういう言葉で考えたか？ 即ちどういうパラダイムで考えたか？ 結局それは仏教語であった。近世仏教史研究の第一人者がやさしく説き明かす待望の書。 ●—7480-1(2003.3)

朝鮮日々記研究会編

## 朝鮮日々記を読む

真宗僧が見た秀吉の朝鮮侵略

A5判400頁 上製 本体 7500円+税

戦国末期を代表する戦場日記『朝鮮日々記』。その全文翻刻と詳細な頭註・補註、および気鋭の研究者による書き下ろし論考9編を取録。新視点から慶長の役の全体像を問い直す注目の書が待望の復刊。 ●—6551-9(2017.11)

末本文美士編

妙貞問答を読む ハビアンの仏教批判

A5判487頁 上製 本体 9000円+税

江戸時代初期、不干斎ハビアンによって著されたキリスト教の教理書『妙貞問答』。その上巻の影印と翻刻・註、現代語訳、および『妙貞問答』に関連する書き下ろし研究論文9本を取録。 ●—7579-2(2014.3)

西村 玲

## 近世仏教論

A5判420頁 上製 本体 4800円+税

時代や国境といった枠組みを超越した広い視野から、新たな近世仏教の姿を描いた論考16篇を取録。類書の少ない近世仏教思想を扱った、今後の近世思想史研究に必備の一冊。 ●—6247-1(2018.1)

塩谷菊美

## 真宗寺院由緒書と親鸞伝

A5判284頁 上製函入 本体 7600円+税

今もってなお根強い実証史学の偏見により、荒唐無稽として切り捨ててきた真宗寺院の由緒書や親鸞伝から、中世・近世の信心の実態を読み取ろうとし、果敢にアプローチした力作。 ●—7477-1(2004.1)

和田幸司

## 浄土真宗と部落寺院の展開

A5判310頁 上製 両入 本体 8400円+税

為政者の歴史に埋没しがちな民衆の史料を丹念に収集・精査・考察し、門徒の組織・習俗・思想・行動を探った。近世の播磨国・丹波国における真宗部落寺院史の基礎的研究の成果。

●—7475-7(2007.2)

和田幸司

## 近世国家における宗教と身分

A5判574頁 上製 本体 13000円+税

有力寺院や本山本願寺に接触して宗派内の身分上昇を目指す被差別寺院。朝廷に接近し国家的認知を得ようとする本山本願寺の動きを通して、宗教から身分制度を見直す試み。

●—6231-0(2016.3)

児玉 識

## 近世真宗と地域社会

A5判362頁 上製 両入 本体 7500円+税

真宗の独自の習俗を文献・伝承の両面から探り、その民衆生活における意味を考察することで、宗派・地域の特異性に歴史学的焦点を当てる。近世民衆思想史研究に新たな展望を拓く。

●—7466-5(2005.6)

金子貴昭 ●日本出版学会奨励賞受賞

●第9回野上紘子記念アート・ドキュメンテーション学会賞受賞

## 近世出版の板木研究

A5判318頁 上製 本体 7500円+税

印刷の道具だけではなく、板株(版權)そのものでもあった板木。その基本構造を解明し、板木の新たな観察手法を提示するなど、今後の出版研究の基礎となりうる板木書誌学を初めて提唱する画期的書。

●—6223-5(2013.2)

万波寿子

## 近世仏書の文化史

西本願寺教団の出版メディア

A5判448頁 上製 本体 7500円+税

近世期の出版物のうち圧倒的多数を占める仏書。とくに西本願寺関連の書籍を主な資料とし、近世仏教の実像や当時の出版制度、さらには当時の社会そのものに迫る意欲的論考。

●—6238-9(2018.2)

小島 勝・木場明志編

## アジアの開教と教育

龍谷大学仏教文化研究叢書III

A5判326頁 上製 本体 6699円+税

第二次世界大戦前、アジアを主とする海外において行われた開教と、その基礎たる教育活動についての共同研究。政治的側面だけでなく、事実にも忠実に開教に関わった人々の労苦にも光をあてた労作。

●—7892-2(1992.5)

中西直樹

## 日本近代の仏教女子教育

四六判211頁 上製 本体 2600円+税

仏教は女子教育にいかに取り組んだのか。キリスト教への対抗に始まる、明治以降の仏教女学校の歴史を初めて解明し、仏教史・女性史・教育史の空白を埋める気鋭の著者の画期的研究。

●—8155-7(2000.12)

藤田和敏

## 近代化する金閣

日本仏教教団史講義

四六判300頁 並製 本体 2000円+税

金閣・銀閣を擁する相国寺。その貴重な史料から蘇る、時代の変化に立ち向かった僧侶たちの苦悩と努力の歩み。教団の成立と変遷に焦点を合わせ、新視点で捉え直す日本仏教史。

●—6376-8(2018.6)

江島尚俊・三浦 周・松野智章編

## 近代日本の大学と宗教

シリーズ大学と宗教 大正大学総合佛教学研究所叢書26

A5判346頁 上製 本体 3500円+税

近代学問と宗教が矛盾しながらも併存を模索した明治期の大学。極めて近代的な空間・大学において、宗教が教育され、研究される意義とは？ 新進気鋭の9人の研究者たちによる意欲的論文集。

●—5545-9(2014.2)

江島尚俊・三浦周・松野智章編

## 戦時日本の大学と宗教

シリーズ大学と宗教Ⅱ 大正大学総合佛教研究所叢書31

A5判480頁 上製 本体 3500円+税

アジア太平洋戦争期における宗教の研究及び宗教者の教育はどのようなものだったのか。総力戦体制下における教育、宗教、治安などの国家行政とのかかわりから実態を解明する。

●—5546-6(2017.3)

藺田香勲編

## 藺田宗恵 米国開教日誌

B6判206頁 上製 本体 1600円+税

日本人移民の急増した明治32年、西本願寺の命により初代開教使として北米に教線をはられて苦心された記録と、その後社会問題調査のためヨーロッパ・インドに駐在された日誌とを収む。

●—8520-7(1975.1)

川村覚昭

## 島地黙雷の教育思想研究

明治維新と異文化理解

A5判238頁 上製函入 本体 6500円+税

開明的仏僧として明治維新期の神道の政治指導理念と対決した島地黙雷。彼の異文化理解と教育思想を明らかにし、歴史的・宗教的な観点から描かれてきた従来の黙雷像を見直す新たな研究書。

●—7895-3(2004.12)

太田心海

## 自叙で綴る 梅原眞隆の生涯

A5判328頁 並製 本体 3000円+税

顕真学苑の創立メンバーであり、浄土真宗の教えを求め続けながら、時代社会の課題に深く関与した僧侶・梅原眞隆(1885~1966)の生涯を、梅原の著作を随所に引用しながら丁寧に綴る。

●—5540-4(2013.7)

藤島達朗

## 日本仏教をささえた33人

四六判234頁 上製 本体 2427円+税

仏教を思想的に深化したのは各宗の開祖であるが、それを広め、生活の中に根づかせた人々は、また別であった。真に日本仏教を作り上げ、我々になじみ深いものとした人々を集めたユニークな評伝。

●—8030-7(1991.3)

児玉 識

## 加藤辨三郎と仏教

科学と経営のバックボーン

四六判226頁 並製 本体 1800円+税

現代社会における仏教の有効性を、戦後を代表する科学者・経営者であると同時に現代の妙好人とも呼ばれる加藤辨三郎の仏教観とその仏教的生活を通して紹介する。

●—5541-1(2014.8)

中西直樹

## 近代西本願寺を支えた在家信者

評伝 松田基左衛門

四六判176頁 並製 本体 1900円+税

近代化を進める西本願寺を根底から支えた在家信者の動向に迫ることで、近代仏教の開明的なイメージを覆し、新しい近代仏教像を描く。近代仏教研究に新視点を提供する一冊。

●—5551-0(2017.9)

中西直樹編著

## 明治前期の大谷派教団

龍谷叢書44

A5判252頁 上製 本体 2800円+税

明治中期とくに清沢満之以降に注目が集まる中、未だその全体像が明らかでない石川舜台宗政期の状況など、明治初期における大谷派教団の動向を見るための史料とその解説を収録。

●—5554-1(2018.6)

中西直樹

## 新仏教とは何であったか

近代仏教改革のゆくえ

A5判300頁 並製 本体 2300円+税

明治から大正初期、仏教界の改革を訴えた青年らによって展開された「新仏教運動」。その興亡の軌跡を社会情勢にも注目しつつ一望する。

●—5556-5(2018.12)



岩田真美・桐原健真編

## カミとホトケの幕末維新

交錯する宗教世界 龍谷叢書46

A5判390頁 並製 本体 2000円+税

近世と近代を分断する転換期と捉えられてきた幕末維新时期を文化史的側面から検証し、「近代のなかの近世」を探ることで、近世・近代の結節点として幕末維新时期を描く画期的試み。

●—5555-8(2018.11)

法蔵館編集部編

## 新装版 講座 近代仏教 上・下

A5判上巻794頁・下巻712頁 並製 本体 16000円+税

1961年に刊行された先駆的名著、待望の復刊！ 仏教に期待する当時の革新思想家78氏の論考集。上巻／①：概説編 ②：歴史編 ③：思想編 下巻／④：文化編 ⑤：生活編 ⑥：今日の問題

●—6531-1(2013.8)

大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編

## 近代仏教スタディーズ

仏教からみたもうひとつの近代

A5判304頁 並製 本体 2300円+税

廃仏毀釈などの逆境を乗り越え、常に時代の動向とリンクしながら、社会に影響を与え続けた「近代仏教」。その歴史と魅力を、総勢29名が活き活きと描いた、新しい近代史入門。

●—5543-5(2016.4)

山本伸裕<sup>おのみ</sup>・碧海寿広編

## 清沢満之と近代日本

A5判288頁 並製 本体 2800円+税

近代仏教の確立者と称される清沢満之の思想を解明し、その思想が同時代と後世に与えた影響にも着目することで、今後の清沢研究に新たな視座を提供する刺激的な入門書！

●—5550-3(2016.11)

築田真爾

## 「悪」と統治の日本近代

道徳・宗教・監獄教誨

A5判375頁 上製 本体 5000円+税

近代日本において一様に捉えきれない多様な「悪」の姿と、それがどのように扱われたのかを、イデオロギーと実践の双方の面から描く新しい思想史の試み。

●—5558-9(2019.7)

大谷栄一 ●日本宗教学会賞受賞●中村 元賞受賞

## 近代日本の日蓮主義運動

A5判448頁 上製 本体 6500円+税

日本近代史の流れを決定づけた「日蓮主義運動」とは何か。政教一致をかかげ、石原莞爾、宮沢賢治が心酔した巨大な運動の全貌を資料を博搜し、初めて明らかにする気鋭の画期的研究。

●—5626-5(2001.3)

ジェジュムスフ  
諸 点淑

## 植民地近代という経験

植民地朝鮮と日本近代仏教

A5判356頁 上製 本体 7500円+税

植民地朝鮮において展開された日本仏教の社会事業を、帝国史的視角から分析し、植民地という特殊空間においてより鮮明に具現化する日本仏教の近代的特質を炙り出した野心作。

●—5552-7(2018.6)

青野正明

## 植民地朝鮮の民族宗教

国家神道体制下の「類似宗教」論

A5判320頁 上製 本体 3800円+税

植民地朝鮮の民族宗教を、独立を目指す民族主義的ナショナリズムの受け皿として分析し、国家神道体制下でどのような位置に置かれたかを著者による「帝国神道」論に即して考察。

●—5557-2(2018.11)

大澤広嗣

## 戦時下の日本仏教と南方地域

日本図書館協会選定図書

A5判404頁 上製 本体 4800円+税

戦時下における日本の南方進攻を主題に、戦争を進めた政府と仏教界の協働関係の実態を当時の資料から解明する。近代日本仏教研究の間隙を埋めた意欲的論集！

●—5542-8(2015.12)

エリック・シッケタンツ

## 墮落と復興の近代中国仏教

日本仏教との邂逅とその歴史像の構築

A5判396頁 上製 本体5000円+税

我々が知る「中国仏教」の歴史像は日本人が作った虚像に過ぎなかった！ 近代における日中仏教交流のなかでなされた宗派概念形成の過程を追究し、アジア仏教史研究の視座とその前提を問い直す。 ●—7709-3(2016.7)

オリオン・クラウタウ ●印度学宗教学会賞受賞

## 近代日本思想としての仏教史学

A5判340頁 上製 本体5800円+税

明治期から戦前まで、「仏教史学」の形成過程と、原 坦山、村上专精、辻善之助、家永三郎といったその担い手たちに焦点を当て、「日本仏教」がどのようにして誕生したのかを明かす意欲的論考。 ●—7364-4(2012.9)

オリオン・クラウタウ編

## 戦後歴史学と日本仏教

A5判384頁 並製 本体3800円+税

敗戦により「日本仏教」像はいかに再構築されたのか。戦後の歴史研究をリードした、家永三郎、服部之総、井上光貞ら15人の研究者の営みを、末木文美士、平 雅行、近藤俊太郎ら気鋭の研究者が考察する。 ●—5544-2(2016.11)

末木文美士・林 淳・吉永進一・大谷栄一編

## ブッダの変貌 交錯する近代仏教

日文研叢書

A5判434頁 上製 本体8000円+税

世界の歴史を動かしたのは、仏教だった！ 条約改正や植民地政策の背後には、仏教者たちの戦略と活動があった。より豊かに、したたかに変貌を遂げた近代仏教の実像を解明する。世界最前線の近代史論集。 ●—6226-6(2014.3)

中西直樹・那須英勝・嵩 満也編著

## 仏教英書伝道のあけぼの

龍谷大学アジア仏教文化研究叢書Ⅲ

A5判418頁 上製 本体6500円+税

明治期に刊行された仏教英書の内、先駆的な位置にある4点の復刻と解説を取録。近代仏教が有した国際的なネットワークの全容解明への手がかりを与える貴重資料を提供する。 ●—5553-4(2018.1)

赤松徹眞編著

## 『反省会雑誌』とその周辺

龍谷大学仏教文化研究叢書35 シリーズ近代日本の仏教ジャーナリズム1

A5判384頁 上製 本体6000円+税

近代仏教史を語る上での重要資料である仏教雑誌を、各巻のテーマ毎に選別し、総目次と解説を取録するシリーズの第1巻。資料探索を行う際の導き手ともなり得る貴重な一冊。 ●—5571-8(2018.2)

岩田真美・中西直樹編著

## 仏教婦人雑誌の創刊

龍谷大学仏教文化研究叢書36 シリーズ近代日本の仏教ジャーナリズム2

A5判342頁 上製 本体6000円+税

19世紀後半に刊行された仏教婦人雑誌の解説論文および総目次と入手困難な資料の復刻3点を取録。近代仏教の最重要資料である雑誌メディアを一望するシリーズの第2弾。 ●—5572-5(2019.2)

京都仏教会監修 洗 建・田中 滋編

## 国家と宗教 上巻

A5判483頁 上製 本体3500円+税

明治期から戦中にかけて、宗教が果たした役割を再検証。第一部 「国家神道」形成期の葛藤／第二部 国家総動員体制下の宗教／洗建、島崗 進、末木文美士、大谷栄一ほか。 ●—8170-0(2008.7)

京都仏教会監修 洗 建・田中 滋編

## 国家と宗教 下巻

A5判627頁 上製 本体3500円+税

戦後から現代まで、宗教が果たした役割を再検証。第三部 戦後新憲法と宗教／第四部 宗教の存在理由への問い／芦田徹郎、橋口玲、野田正彰、藤田尚則、田中 滋ほか。 ●—8171-7(2008.7)

小泉義博

## 越前一向衆の研究

A5判518頁 上製兩入 品切

越前の真宗教団が、守護朝倉氏との抗争、織田信長との石山戦争、本願寺の東西分派を通じて果たした歴史的役割を綿密な実証に基づき初めて明らかにした画期的論考。真宗史必備の書。 ●—7486-3(1999.1)

網田義雄著・真宗大谷派福井教区教学研究補訂

## 補訂 越前真宗誌

A5判318頁 並製 本体 3500円+税

真宗王国と呼ばれる越前に、浄土真宗はどのように伝わり広まったのか。その歴史や、越前の真宗を形成した寺院や人物たちを紹介。本文中の名称や事象を詳しく説明する註付き。 ●—8701-6(2011.5)

中川正法・緒方知美・遠藤 一編

## 九州真宗の源流と水脈

筑紫女学園大学人間文化研究所叢書 I

A5判328頁 上製 本体 3000円+税

九州における真宗教団開展史を、日本史・仏教学・美術史など様々な分野から明らかにする意欲的論集。主な執筆者は神田千里、金龍 静、奥本武裕など10名。 ●—7454-2(2014.3)

小山正文

## 親鸞と真宗絵伝

日本図書館協会選定図書

A5判566頁 上製 品切

単なる真宗史学にとどまらない幅広い研究を続ける著者が、その多角的な視点で真宗史を読み解く力作論考。新出の文献資料や絵伝類の比較などから新たな真宗史が浮かびあがる。序文=平松令三。 ●—7485-6(2000.3)

小山正文

## 続・親鸞と真宗絵伝

A5判574頁 上製 本体 12000円+税

新たに発見された親鸞真筆4点に関する論考。親鸞の出自やその周辺、親鸞と和歌との関係、和讃や名号本尊など、親鸞と真宗をめぐる最新論考24編を収める。カラー口絵8ページ付。 ●—7457-3(2013.8)

平松令三

## 親鸞真蹟の研究

A5判262頁 上製 本体 10000円+税

親鸞の諸著作の自筆原本を詳細に研究することによって知りえた諸問題を提起するとともに、新発見の真蹟も紹介。また従来親鸞の真蹟と伝えられたものの中に真仏の筆蹟が多いことをも論証する。 ●—6532-8(2014.1)

瀧 弘信

## 親鸞改名の研究

A5判537頁 上製兩入 本体 13000円+税

従来「善信」とされてきた『教行信証』[後序]に記される親鸞33歳の時に韓空から改名した名について、膨大な史料を再検討し、それが「親鸞」であることを解明する。 ●—8769-6(2019.6)

同朋大学仏教文化研究所編

## 蓮如名号の研究

同朋大学仏教文化研究所研究叢書 I

A4判194頁 上製兩入 本体 12500円+税

各地に伝わる中世に書かれた多数の名号。それらの真の筆者は誰か? 本書は300点余の名号の写真掲載し、比較検討することによって客観的なデータに基づく筆者特定を目指した画期的名号論。 ●—7842-7(1998.4)

同朋大学仏教文化研究所編

## 実如判 五帖御文の研究 影印篇

同朋大学仏教文化研究所研究叢書 II

A5判550頁 上製兩入 品切

『五帖御文』は誰がいつ編纂したのか? その長年の研究に一石を投じる実如自筆の奥書をもつ完全な善本が発見された。本書は詳細な解題を付してその『本證寺本五帖御文』を完全公開。 ●—7843-4(1999.3)

同朋大学仏教文化研究所編

実如判 五帖御文の研究 資料篇

同朋大学仏教文化研究所研究叢書V

A5判568頁 上製函入 本体 20000円+税

蓮如から実如へ、転換期の本願寺教団の実態をつかむための資料集。本證寺本五帖御文索引、実如証判御文の分布、実如裏書集、実如消息集、鷲森別院蔵五帖御文の影印との比較など。  
●—7846-5(2003.3)

同朋大学仏教文化研究所編

蓮如方便法身尊像の研究

同朋大学仏教文化研究所研究叢書VII

A4判360頁 上製函入 本体 20000円+税

各地に伝わる阿弥陀仏の絵像本尊70点余の表、裏書、花押をカラーで掲載し、その裏書を翻刻。実地調査に基づいた客観的な視点から変動期の本願寺教団の実態をとらえ直す刺激的な研究の成果。  
●—7848-9(2003.3)

同朋大学仏教文化研究所編

史料 大浜騒動

同朋大学仏教文化研究所研究叢書VI

A4判316頁 上製函入 本体 18000円+税

明治4年に三河で起こった護法運動、大浜騒動。本書は獄中よりの書簡など当事者による一級史料の大半を全文翻刻し、当時の人々の想いに触れることで、現代の我々の生き方が問い直される。  
●—7847-2(2003.2)

織田顕信

真宗教団史の基礎的研究

A5判640頁 上製函入 本体 13000円+税

史学の歴史的検証を重視する著者の、多年にわたる真宗史・仏教史学の研究成果を、「初期真宗」「親鸞絵伝・絵像」「三河真宗」「近世・近代東本願寺」の4つのテーマに分けて集大成。  
●—7474-0(2008.9)

平田厚志編 龍谷大学仏教文化研究叢書XX

彦根藩井伊家文書 浄土真宗異義相論

「承応の関越」を発端とする本願寺・興正寺一件史料

A5判826頁 上製函入 本体 18000円+税

江戸時代初期、当時本末関係にあった西本願寺と興正寺とのあいだで起こった「本願寺・興正寺出入り一件」。その顛末を伝える「彦根藩井伊家文書」を初翻刻し、当事件の持つ意義を考察する。  
●—7288-3(2008.3)

横山正幸

ガイドブック 清水寺

A5変160頁 並製 本体 1553円+税

観音霊場・清水寺。その歴史や信仰をわかりやすく紹介した参詣者必携のガイドブック。数多くの国宝・重文をふくむ仏像・建築の写真を満載し、その魅力や謎などをユニークに解説する。  
●—2211-6(1996.11)

清水寺史編纂委員会編

清水寺史 全4巻

1～3巻 A5判500～700頁

4巻 B4判200頁

上製函入

1巻本体 7573円+税

2巻本体 9714円+税

3巻本体 8500円+税

4巻本体 12000円+税

京都を代表する古刹の歴史と信仰の全容を初めて解明する。

- ① 通史(上)古代・中世篇
- ② 通史(下)近世・近現代篇
- ③ 史料篇
- ④ 図録

●—7513～7516(1995.8～2011.6)

清水寺史編纂委員会編

清水寺 成就院日記 全20巻

A5判平均400頁 上製函入

既刊1・2・3・4巻 各本体 9000円+税

京都・清水寺の門前町の行政を記録した江戸時代の公用日記170年分の刊行開始。

- ① 元禄7年～宝永2年
- ② 宝永3年～享保5年
- ③ 享保8年～元文5年
- ④ 元文6年～延享4年

●—5151～(2015.4～)

相国寺史編纂委員会編 原田正俊・伊藤真昭監修  
相国寺史 第一巻 史料編中世一

A5判922頁 上製函入 本体 9000円＋税

創建以来の地に、今なお伽藍を有する京都の名刹・相国寺。第一巻は相国寺開山夢窓疎石(むそうそせき)誕生の建治元年(1275)から文正元年(1466)までにおける史料を収録する。 ●—5251-9(2019.3)

村山修一編

普通唱導集 翻刻・解説

A5判224頁 上製 本体 5500円＋税

鎌倉時代の僧・良季が著した、あらゆる身分・職業を想定した仏事・法会を網羅する。他に類を見ない唱導史料。初の単行本化。唱導文芸、社会文化史、庶民信仰史研究必備書。巻末に索引を付す。 ●—7558-7(2006.5)

大谷大学文学史研究会編

明義進行集 影印・翻刻

A5判241頁 上製函入 本体 13000円＋税

法然の教えに帰依した諸宗の高僧(静遍・明遍・隆寛・空阿・信空・覚瑜・聖覚・明禪)の言行集。鎌倉時代に成立した貴重資料を初めて影印紹介する。底本は金剛寺所蔵本。翻刻・補註・解説・詳細な索引を付す。 ●—7527-3(2001.3)

大正大学総合仏教研究所神仏習合研究会編著

校註解説・現代語訳 麗気記 I

A5判557頁 上製函入 本体 16000円＋税

鎌倉期に成立した最も重要な神祇書。両部神道の代表的著述を徹底解説する。諸種の写本を校合し、書き下ろし文・現代語訳・注釈・校本・校異に6篇の研究解説を付す。中世研究の必備書。 ●—5675-3(2001.8)

納富常天

金沢文庫資料の研究

A5判700頁 上製函入 本体 16000円＋税

中世資料の宝庫の全容を解明する待望の研究書。①東国仏教と金沢文庫②金沢文庫と稀観資料③中世の学山金沢文庫称名寺④湛睿の研究⑤文庫資料をめぐる諸問題など 詳細索引付。 ●—6523-6(2012.6)

納富常天

金沢文庫資料の研究

稀観資料篇

A5判736頁 上製函入 本体 31068円＋税

東国の正倉院といわれる金沢文庫の資料は中世武家文化の宝庫である。本書はそのおびただしい量の重要資料の中から、鎌倉を中心とする旧仏教についての研究と稀観資料の解説と翻刻を収録した。 ●—7600-3(1995.7)

藤井 学・山崎浩之編

改訂増補 備中吉備津神社文書 中世篇

A5判224頁 上製函入 本体 13000円＋税

岡山の備中一宮吉備津神社に伝わる中世文書を集めた史料集。全面的に改訂を施し、初公開史料「備中国板倉村検地帳」を新たに収録するなど、改訂増補版として復刊。書き下ろし解説付き。 ●—7578-5(2012.12)

村井康彦・大山喬平編

長楽寺蔵七条道場金光寺文書の研究

A5判550頁 上製函入 本体 16000円＋税

七条道場金光寺は火葬場として長く洛中の葬送に携わってきたが、その実態は長らく不明であった…。本書では、長楽寺所蔵文書を中心に関連する文書を一挙翻刻。金光寺の消長を徹底解明する！ ●—7675-1(2012.10)

醍醐寺文化財研究所編

醍醐寺新要録 上・下

A5判総1412頁 上製函入 本体 28000円＋税 分売不可

醍醐寺第80代座主義演によって編纂された、醍醐寺関係の基本史料。平安時代初期の創立期から、慶長13(1608)年までの史料を、内容別、各寺院別に整理し、見出しをつけて時代順に編纂。 ●—7573-0(2014.2)

鰐淵寺文書研究会編

## 出雲鰐淵寺文書

A5判378頁 上製函入 本体 13000円+税

中世屈指の有力地方寺院・出雲国鰐淵寺所蔵の、鎌倉初期から戦国末期に至る古文書約400点を新たな校訂により翻刻。中世日本の寺院と権力・社会との関係を考察するための研究者必備の史料集。 ●—5041-6(2015.8)

井上寛司編

## 出雲鰐淵寺旧蔵・関係文書

A5判423頁 上製函入 本体 14000円+税

棟札・金石文等を含む中世の出雲鰐淵寺旧蔵文書と、全国的な視野に立って収集した寛文6年以前の関係文書を編年順に収録。『出雲鰐淵寺文書』と併せて鰐淵寺文書の全体像を明らかにする。 ●—5042-3(2018.1)

奈良国立文化財研究所監修

## 西大寺叡尊傳記集成

A5判492頁 上製函入 本体 16000円+税

南都西大寺中興の祖 興正菩薩叡尊は鎌倉時代における律学復興の中心人物であり、文化史上著しい業績を伝える。伝記や事蹟の資料、同研究所の総合調査の新資料も収録。付解題・図版44頁。 ●—6527-4(2012.10)

奈良文化財研究所編

## 薬師寺所蔵 黒草紙・新黒双紙

南都史料叢書第一冊

A5判269頁 上製 本体 10000円+税

中世薬師寺の組織や行事の全貌を知る唯一の史料である「黒草紙」と、その続編にあたる近世の薬師寺史料「新黒双紙」。初の影印刊行。奈良の寺社史料を公刊する待望の叢書創刊。 ●—7574-7(2008.5)

御遠忌記念出版教学編纂委員会編

## 興教大師覺鏝寫本集成 全4巻

B5横判460頁 上製函入

全巻本体 110000円+税 分売不可

日本密教中興の祖・覺鏝の全業を偲ぶべく、現存古写本を網羅集大成。重要な著述に関しては、複数の写本を比較対照。史料解説、総論、年譜、関係著作・論文総覧などを付す。

- ① 菩提心論題釈／釈摩訶衍論指事／釈摩訶衍論愚案鈔ほか
- ② 障子書／十九執金剛秘釈／鉄塔事ほか
- ③ 八千枚秘釈／伝法灌頂三昧耶戒作法ほか
- ④ 五輪九字明秘密釈／密厳浄土略観／大日遍照釈ほか ●—5141-3(1997.6)

奈良文化財研究所編

## 興福寺典籍文書目録 全4巻

A5判平均348頁 上製函入

1・2巻品切

3・4巻本体 11000円+税

法相教学研究に欠くことのできない、尋尊関係の資料などを含む興福寺伝存の文書、典籍類の調査目録。総数80函余、未指定の文書まで網羅した6000点余の文書を収録する。

- ① ●—7263-0
- ② ●—7266-1
- ③ ●—7278-4
- ④ ●—7575-4

(1986.10~2009.5)

奈良文化財研究所・奈良市教育委員会共編

## 春日大社 常住神殿守 大宮家文書目録

A4判288頁 上製函入 本体 10000円+税

中世から近世にかけて春日社の常住神殿守を世襲した大宮家が所蔵する文書の調査報告書。春日社領の荘園関係記録や春日社社殿の遷宮に関する記録、祈禱の取次や摂末社の祝詞などの目録を収録。 ●—5191-8(2015.12)

石山寺文化財総合調査団編

## 石山寺資料叢書 第Ⅰ期7冊

A5判 平均430頁 上製函入

- 文学篇第一 本体 16505円+税  
 文学篇第二 本体 17143円+税  
 聖教篇第一 本体 14286円+税  
 聖教篇第二 本体 18000円+税  
 史料篇第一 本体 17476円+税  
 史料篇第二 本体 18000円+税  
 近世文書集成 本体 15000円+税

石山寺所蔵資料の影印と翻刻、解説を付す。  
**文学篇第一** 虚空蔵念誦次第紙背文書/大威徳念誦次第/源氏物語表白/石山雪見記/他  
**文学篇第二** 源氏物語ゆかりの近世資料を集成。源氏物語絵詞/源氏物語巻々和歌/他  
**聖教篇第一** 胎蔵私記(淳祐内供自筆)/妙法蓮華経玄賛巻第三(淳祐内供自筆調點)  
**聖教篇第二** 蘇悉地羯羅経略疏巻第四・五・六(淳祐内供の弟子による調點。初の翻刻)  
**史料篇第一** 延暦交替式/越中國官倉納穀交替記/周防國玖珂郡玖珂郷延喜八年戸籍/他  
**史料篇第二** 叡山大師伝/智証大師伝/行歴抄/八家祖師入唐求法記/南岳贈大僧正伝  
**近世文書集成** 近世文書6000点余の総説。一部影印。石山寺領伽藍会計/慶長算用帳/他  
 ●—7495~7500・7506(1996.9~2001.11)

石山寺文化財総合調査団編

## 石山寺資料叢書 第Ⅱ期11冊

A5判 平均350頁 上製函入

- 聖教篇第三 本体 16000円+税  
 聖教篇第四・第五 未刊  
 寺誌篇第一 本体 26000円+税  
 文学篇第三 本体 10000円+税  
 文学篇第四 未刊  
 史料篇第三 本体 16000円+税  
 史料篇第四・第五 未刊  
 近世史料第一・第二 未刊

石山寺所蔵資料の影印と翻刻、解説を付す。  
**聖教篇第三** 大悉曇章一卷[重文](薫聖教)/悉曇字母一卷[重文](薫聖教)/人々梵字一卷[重文](薫聖教)/悉曇アラソト一卷[重文](薫聖教)/大悉曇章一卷(知足庵本) ※新出本薫聖教を含む貴重な悉曇資料の影印・翻刻・解説。  
 ●—7676-3(2004.12)

**寺誌篇第一** 石山要記/石山寺年代記録/石山寺僧宝伝 ※石山寺尊賢僧正(一七四九~一八二九)の編になる石山寺の基本資料の集成翻刻・解説。  
 ●—7679-8(2006.5)

**文学篇第三** 大師文章一卷[国宝](薫聖教)/本朝文粹一卷[重文] ※新出薫聖教の一本である大師文章、および独自本文を持つ本朝文粹、古写善本の影印・翻刻・解説。●—7680-5(2008.6)

**史料篇第三** 石山寺一切経(八十函)の第一函から四十一函までの奥書・識語について、その影印・釈文・論考を取載。●—7681-2(2010.6)

**史料篇第四** 石山寺一切経(第四十二~八十函)・同附属分・淳祐内供筆聖教・重書類等の奥書・識語の影印・釈文・論考。

**史料篇第五** 古文書・紙背文書集成。主として「石山寺の研究 校倉聖教・古文書篇」掲載分について。

**聖教篇第四・第五** 成唯識論十帖[重文](一切経) ※かねて注目されてきた1020年の白点本の影印・翻刻・訳文・解説。

**近世史料第一・第二** 知足院僧正日記八冊 ※知足院僧正尊賢の日記の翻刻・解説。

石山寺文化財総合調査団編

## 原寸カラー版 石山寺圖像抄

石山寺所蔵十巻抄

A3判80葉 上製函入 本体 48000円+税

淡彩本の十巻抄、圖像139点すべてを原寸(一部拡大)、カラー写真にて完全復元。江戸時代の写本ながら、極めて流麗な線で描かれている。序文・鶯尾隆輝座主、解説・田村隆照。

●—7614-0(1988.12)

石山寺文化財総合調査団編

## 石山寺の研究

深密蔵聖教篇 上

A5判798頁 上製函入 本体 27500円+税

深密蔵聖教はもと石山寺の塔頭に伝来した聖教を一括集成したもので、大屋徳城氏の命名による。聖教全体についての目録と簡単な書誌的記述、それに関連する研究3篇を収載。

●—7503-7(1991.2)

石山寺文化財総合調査団編

## 石山寺の研究

深密蔵聖教篇 下

A5判約520頁 上製函入 本体 29000円+税

深密蔵聖教中の善本を選んで、詳細な書誌的記述を含む善本目録と寺誌函・文学函についての目録を収録。文部省の助成により多年にわたる各氏の研究をまとめて公刊。上・下巻の索引を収載。

●—7504-4(1992.2)

安嶋紀昭

## 石山寺の美術 常楽会本尊画像の研究

B4判152頁 上製函入 本体 32000円+税

石山寺所蔵の重要文化財「仏涅槃図」を画像(カラー・赤外線・X線)と研究論文で紹介。多くの国宝・重文絵画との比較から石山寺涅槃図の特性を考察、日本の絵画・仏教史上における存在意義を明かす。

●—7283-8(2012.4)

納富常天編

## 本朝高僧伝総索引

A5判550頁 上製函入 本体 25000円+税

日本でもっとも多くの高僧伝を取める『本朝高僧伝』の総索引。総項目数15000余りの詳細な項目を立項。検字索引付。日本史のみならず文学史、仏教史・思想史など幅広い分野の研究者必需の書。

●—6981-4(2014.2)

吉川忠夫

## 顔真卿伝 時事はただ天のみぞ知る

四六判203頁 上製 本体 2300円+税

書聖・王羲之と並んで書道史上に名を留める顔真卿。従来あまり知られていない顔真卿の波瀾万丈の生涯を、中国の歴史・文学・思想に精通した著者が描き出した、本格的人物伝。

●—7723-9(2019.1)

狩野直禎

## 「三国志」の知恵

四六判219頁 並製 本体 1800円+税

「三国志」世界の重要なポイントを知り、乱世を生き抜いたヒーローたちの知恵に学ぶ。井波律子解説。

●—7732-1(2019.11)



## 戒律文化研究会編

## ● 年刊 戒律文化

B5判／並製

各本体 2500円＋税

第1号〈平成14年刊〉……仏教における律蔵の役割(佐々木 閑)／仏教学から見た中世律宗の革新性(袁輪顕量)／中世律宗における聖教の伝授(稲城信子)／叡尊の救済事業と現代化の課題(宮城洋一郎)／中世西大寺流研究の回顧と課題(追塩千尋)／「戒律」以前の戒律(佐伯快勝)／叡尊上人と道元禪師(東 隆眞) ●—0601(2002.3)

第2号〈平成15年刊〉……中世顕密寺社と律衆(大石雅章)／叡尊と八幡大乘院(吉井敏幸)／文観房殊音と河内国(井野上真弓)／律宗系文物からみた東国の律宗弘布の痕跡(桃崎祐輔)／大蔵派宝篋印塔の研究(岡本智子)／相部律宗定賓の行状・思想とその日本への影響(師 茂樹)／阪本龍門文庫所蔵『東大寺御受戒記』(石田実洋)／覚盛和尚の苦惱(西山明彦)／忍性菩薩七百年御遺忌を迎えて(田中密敬) ●—0602(2003.3)

第3号〈平成17年刊〉……鑑真和上と東大寺戒壇院(東野治之)／正法律について(木南卓一)／慈雲尊者の正法律と密教(高木神元)／慈雲尊者の袈裟(辻村泰善)／大分・金剛宝戒寺大日如来像の造像銘記(奥 健夫・吉良国光)／金剛宝戒寺大日如来像と仏師康俊(奥 健夫)／金剛宝戒寺の再興と大日如来像について(吉良国光) ●—0603(2005.3)

第4号〈平成18年刊〉……「中世の造形と律宗」によせて(山川 均)／初期宝篋印塔と律宗(岡本智子)／西大寺様式五輪塔の成立(佐藤亜聖)／中世建築と律衆 覚書(山岸常人)／文殊菩薩像と律宗(藤澤隆子)／稲城信子著『日本中世の經典と勸進』(藤田励夫)／上田さち子著『修験と念仏—中世信仰世界の実際』(追塩千尋)／唐招提寺金堂の構造の問題点と補強案について(山下秀樹) ●—0604(2006.3)

第5号〈平成19年刊〉……泉涌寺出身の律僧たち—金沢文庫の聖教を手がかりに—(高橋秀栄)／中世社会における持齋の受容(大塚紀弘)／中世鎌倉名越の律宗寺院—東榮寺を中心として—(落合義明)／奈良国立博物館蔵神泉苑請雨経法道場図について(内田啓一)／湛睿筆『破僧違謙戒勸文』に關す

る—考察(道津綾乃)／京都東山太子堂考(松尾剛次)／山川均著『石造物が語る中世職能集団』(藤沢典彦)／西大寺編『金田元成和尚著作集』(佐伯俊源)／戒律の現代化と菩薩道(川原英照)／齋別受八戒の授戒会実施について(真言律宗授戒実行委員会)

●—0605(2007.3)

第6号〈平成20年刊〉……叡尊教団と中世都市平安京—中世平安京の境界に立つ律寺—(松尾剛次)／金戒光明寺の文殊菩薩騎獅像および眷属像について(淺湊 毅)／貞慶の唱導と関東—東大寺図書館蔵『如意鈔』をめぐる—(近本謙介)／西大寺流律宗とその受容層について—「西大寺塔僧房通別三寶田畠目録」から—(大江綾子)／叡尊上人華道松月道古流(佐伯龍幸)

●—0606(2008.3)

第7号〈平成21年刊〉……開山俊苾律師の理念(釋 龍雄)／泉涌寺創建と仏牙舍利(西谷功)／泉涌寺と開山無縫塔について(山川均)／北京律と南都律の相違と宋代仏教(袁輪顕量)／泉涌寺の法式(渡邊恭章)／叡尊の鎌倉下向と鎌倉幕府の女性(細川涼一)／後水尾院が帰依した寺院と僧侶(玉田奈都美) ●—0607(2009.3)

第8号〈平成23年刊〉……鑑真と唐招提寺(東野治之)／南山大師道宣の唯識受容について(西山明彦)／鄧鼎阿育王塔考—その形態の来源と本生図の意味—(稲本泰生)／金堂建立後の唐招提寺(真田尊光)／河内西琳寺五輪塔と大和唐招提寺西方院五輪塔をめぐる—考古学と文献史学をつなぐ試み—(松尾剛次)／唐招提寺境内の変遷(吉川聡)／金堂修理の建築史上の成果と知見(田中 泉)／金堂修理の考古学上の成果と知見(米川裕次) ●—0608(2011.3)

## GBS実行委員会編

## ●ザ・グレートブッダ・シンポジウム論集

A4判/並製  
各本体 2000円+税  
1号・2号品切

華嚴思想、歴史学、美術史学などの各分野にわたり、「ザ・グレートブッダ・シンポジウム」(GBS)で発表された研究をまとめた論集。

## 第1号・論集 東大寺の歴史と教学(平成15年刊)

…華嚴経から華嚴宗へ(木村清孝)／善友・善知識思想の展開とその日本的受容(小林圓照)／華嚴の浄土(中村 薫)／法藏教学の形成と展開(吉津宜英)／日本における華嚴思想の受容(袁輪顯量)／朝鮮華嚴の質(石井公成)／紫香楽から大養徳へ(柴原永遠男)／大養徳国金光明寺(吉川真司)／大仏と王権(ジョウーン ビジョウウー)／頭塔の系譜と造立事情(岩永省三)／東大寺と頭塔(古尾谷知浩)／東大寺式軒瓦について(山崎信二)／東大寺境内の発掘調査成果(平松良雄)／アジア的視点から見た大仏の造立(宮治 昭)／東大寺大仏造立の意義(紺野敏文)／廬舎那仏と毘盧遮那仏の図像(朴亨國)／創建東大寺伽藍の基本計画について(櫻井敏雄)／北アフガニスタン発見のバクトリア語仏教祈禱文書について(森本公誠) 品切 ●—0701(2003.12)

## 第2号・論集 東大寺創建前後(平成16年刊)

…紫香楽大仏の造詣と聖武天皇の行幸(柴原永遠男)／紫香楽宮関連遺跡の調査(鈴木良章)／甲賀寺小考(畑中英二)／東大寺七重塔考(箱崎和久)／奈良時代の角筆調点から見た華嚴経の講説(小林芳規)／韓国梵唄の歌唱と角筆楽譜の実演(金 應起)／東大寺創建時における華嚴思想と新羅仏教(金天鶴)／仏心の有無(ハマル・イムレ)／タイの仏像彫刻(クックデート・カンタマラ) 品切 ●—0702(2004.12)

## 第3号・論集 カミとほとけ—宗教文化とその

歴史的基盤(平成17年刊)…神像成立に関わる一考察—古代日本の八幡神(長岡龍作)／仙人と「現人之神」—吉備塚古墳出土三累環頭大刀刀身象嵌文様の紹介を兼ねて(山岸公基)／聖徳太子の忿怒相と八幡神(藤岡 稔)／大仏造立と日本の神観念—神仏習合の多重性を探る(三橋 正)／神身離脱と悔過儀礼(上川通夫)／神と仏の邂逅の場—山林での仏道修行(和田 萃)／上川通夫報告へのコメント(堀 裕)／ほとけたちの誕生

—異宗教(カミ)の受容と展開(宮治 昭)／初唐造形の思想的背景にある「カミとほとけ」についての試論(久野美樹)／古代日本人の靈魂観(河野 訓)／河野訓「古代日本人の靈魂観」へのコメント(吉津宜英)／ポロブドゥール寺院と仏教曼荼羅(ティンブル・ハリヨノ) ●—0703(2005.12)

## 第4号・論集 近世の奈良・東大寺(平成18年刊)

…近世仏教の思想(末木文美士)／僧潑風潭に於ける中国華嚴思想史理解と華嚴教学上の諸見解—東大寺伝統華嚴教学と「東アジア仏教学」の立場から論ず(小島岱山)／東大寺の近世仏教彫刻—大仏開眼以後(長谷洋一)／大仏殿建地割図の分類—東大寺大仏殿内板図の評価をめぐって(黒田龍二)／近世東大寺復興活動の一側面—西国沙汰所を中心に(坂東俊彦)／戦国期における興福寺六方と奈良—子院・方・小郷の関係を中心に(幡鎌一弘)／江戸期の東大寺について(森本公誠)／公慶上人の生涯(西山 厚) ●—0704(2006.12)

## 第5号・論集 鎌倉期の東大寺復興—重源上人とその周辺(平成19年刊)

…鎌倉期における東大寺華嚴(藤丸 要)／凝然大徳の「聲明源流記」—南都仏教と念仏との接点(ジラル・フレデリック)／柴西門流の入宋と東大寺(中尾良信)／大仏様建築—宋様の受容と変質(田中 淡)／重源の舍利信仰と三角五輪塔の起源(内藤 榮)／鎌倉中期の東大寺と仏師(奥 健夫)／鎌倉中期の東大寺(遠藤基郎)／重源と宋人石工(山川 均)／「南都仏教」再考(永村 眞) ●—0705(2007.12)

## 第6号・論集 日本仏教史における東大寺戒壇院(平成20年刊)

…鑑真の将来した受戒会—法進撰「東大寺授戒方軌」を中心に(袁輪顯量)／東大寺戒壇院と正倉院宝物(三宅久雄)／戒律文化と仏像—奈良時代を中心に(井上一 稔)／鎌倉後期の東大寺戒壇院とその周辺(稲葉伸道)／東大寺戒壇院の成立(東野治之)／現代に於ける東大寺の受戒について(狭川宗玄)／東大寺戒壇院創建から唐招提寺へ(平松良雄) ●—0706(2008.12)

## 第7号・論集 東大寺法華堂の創建と教学(平成21年刊)

…金光明最勝王経に見る大乗の

実践論の諸相(古坂敏一)／華嚴一乗と法華一乗(吉田淑禮)／正倉院文書と東大寺法華堂(石上英一)／考古学から見た法華堂の創建と東大寺前身寺院(高橋照彦)／東大寺法華堂に関する建築史上上の諸説(後藤 治)／華嚴の道場、ポロドゥル(ヤン・フォン・ティン)／東大寺法華堂—歴史と美術(大橋一章) ●—0707(2009.12)

第8号・論集 東大寺二月堂—修二会の伝統とその思想(平成22年刊)…中国の懺悔法・悔過法について(多田孝正)／修二会と二月堂—その相互関係をめぐって(山岸常人)／二月堂本尊光背圖像と観音の神姿(稲本泰生)／二月堂小観音の圖像(川村知行)／「お水取り」の文学(千本英史)／二月堂の炎上と再建—東大寺江戸復興の一段階として(坂東俊彦)／東大寺二月堂修二会の神名帳奉読について(佐藤道子) ●—0708(2010.12)

第9号・論集 光明皇后—奈良時代の福祉と文化(平成23年刊)…奈良時代における社会的弱者の保護—光明皇后施業・悲田両院設置の背景を探る(森本公誠)／光明皇后—藤三娘に課せられたもの(米田雄介)／光明皇后と正倉院宝物—「除物」に関する断章(杉本一樹)／光明皇后と山階寺西堂経(榮原永遠男)／よみがえる新薬師寺旧境内(金原正明)／光明皇后の福祉事業について(宮城洋一郎)他 ●—0709(2011.12)

第10号・論集 華嚴文化の潮流(平成24年刊)…アジアを駆け巡る善財童子—『華嚴経入法界品』の思想と文化(小林圓照)／新羅華嚴宗における造形概念—浮石寺から仏国寺・石窟庵まで(朴 亨國)／蓮華蔵世界と観音—草創期東大寺の観音像(長岡龍作)／鮮演の断惑説について(吉川太郎)／インド華嚴から日本華嚴へ(木村清孝)／『大方広仏華嚴経』—題名とその原語(堀伸一郎) ●—0710(2012.12)

第11号・論集 平安時代の東大寺—密教興隆と末法到来のなかで(平成26年刊)…俱舎曼荼羅と俱舎三十講(谷口耕生)／平安期東大寺の僧侶と学問—特に院政期の宗と院家をめぐって(横内裕人)／平安時代の東大寺における修験と浄土教—聖宝と永観を中心に(近本謙介)／平安時代の華嚴宗における新羅仏教思想の役割(金 天鶴)／平安時代の東大寺—寺家組織と教学活動の特質(永村眞) ●—0711(2014.11)

第12号・論集 中世東大寺の華嚴世界—戒律・

禪・浄土(平成26年刊)…凝然の二種生死論—東大寺図書館所蔵『華嚴二種生死義』の読解(岡本一平)／唐招提寺金亀舍利塔と戒律(内藤 榮)／栄西を中心とした中世初期禅密僧の思想と動向(水上文義)／鎌倉初期の東大寺再建と栄西(小原嘉記)／寺僧と遁世門の活躍—戒律・禪・浄土の視点から(養輪顕量) ●—0712(2014.11)

第13号・論集 仏教文化遺産の継承—自然・文化・東大寺(平成27年刊)…東大寺願莊園と糸里プラン(金田章裕)／修二会の研究者と練行衆の接点(橋本聖圓)／東大寺山堺四至図の製作背景—絵図が語る世界観(奥村茂輝)／お水取りとお潮井採り—山と海のネットワーク(岡田真美子)／草創期の蒔絵と南都漆器(小池富雄)／遺産空間の継承と変容(井原 緑) ●—0713(2015.12)

第14号・論集 古代東大寺の世界—『東大寺要録』を読み直す(平成29年刊)…『東大寺要録』の原構造(榮原永遠男)／草創期の東大寺僧に思いをはせて(森本公誠)／古代東大寺の楽舞と楽人(吉川真司)／ブックロードにおける岡本・草本・真本・好本—『東大寺六宗未決義』その他を史料として(王 勇)／ネットワークとしての東大寺(ブライアン・ロウ) ●—0714(2017.11)

第15号・論集 日宋交流期の東大寺—齋然上人—千年大遠忌にちなんで(平成29年刊)…日中相互認識のなかの齋然(村井章介)／齋然日宋と「釈迦信仰」の美術—南京大報恩寺址出土品を参照して(稲本泰生)／齋然が見た唐宋絵画—平安後期絵画史の前提として(増記隆介)／『宗鏡録』に説かれる根本の鏡—齋然請来釈迦立像に納められた線刻鏡に對する一考察(柳 幹康)／天皇と日宋の仏教文化(堀 裕)／東大寺僧齋然と宋僧齋然(上川通夫) ●—0715(2017.11)

第16号・論集 新羅仏教の思想と文化—奈良仏教への射程(平成30年刊)…新羅仏教文化の多様性—恋愛説話を歌入りで伝えた仏教系芸能者たち(石井公成)／八—九世紀における新羅華嚴の動向(崔 鋤植)／四天王寺護塔神出現の背景と道宣の「戒壇図経」(李鎮榮)／新羅の華嚴教学の概要、および日本華嚴教学との関連(佐藤 厚)／奈良朝貴族と新羅仏教(山本幸男)／新羅の金属工芸品—佐波理製品と真鍮製品を手がかりに(加島 勝)／考古学からみた新羅と古代日本の仏教文化(清水昭博) ●—0716(2018.11)

第17号・論集 明治時代の東大寺—近代化がもたらした光と影(令和元年刊)…近代仏教史観の見直しと東大寺—正法理念と『金光明最勝王経』に着目して(島薮 進)／明治期における神仏分離と修験道(田中利典)／東大寺に残る神仏習合(狹川宗玄)／東大寺を管轄した時代の浄土宗—『教導職要用記』を手がかりとした予備的考察(谷川 穰)／文化財写真の資料的意義—明治時代の奈良の調査を中心に(田良島哲)／近代南都と奈良博覧会(黒岩康博)／近世近代移行期の東大寺—組織の変遷を中心に(坂東俊彦)

●—0717-5(2019.11)

## ●日本仏教史研究叢書

四六判／上製

伊藤真昭

## 京都の寺社と豊臣政権

248頁 本体 2800円＋税

織豊期の武力弾圧をまぬがれた寺社は、太閤検地などの政策に対してどう対応したか。統一政権の寺社対応機関・所司代の展開を基軸にしつつ、斬新な視点で寺社と豊臣政権の関係を探る。 ●—6031-6(2003.8)

福島栄寿

## 思想史としての「精神主義」

234頁 本体 2800円＋税

親鸞と清沢満之の「信仰」の同質性を語る言説はいかにして成立したか。「十九世紀」の画期性と福沢諭吉、清沢満之、晚島敏などに着目し、新視点で近代仏教思想史論・「精神主義」論を展開。 ●—6032-3(2003.8)

松村薫子

糞掃衣の研究 その歴史と聖性

175頁 本体 2800円＋税

僧侶が着ける最上の袈裟(糞掃衣)とは何か。インド～日本の歴史的展開を明らかにするとともに、袈裟の製作団体を現地調査し、製作活動や理念、そこに発生する特別性を考察する初の本格的な研究。 ●—6033-0(2006.6)

愛宕邦康

## 『遊心安楽道』と日本仏教

209頁 本体 2800円＋税

日本仏教に大きな影響を与え、新羅の僧・元暁の撰述とされてきた、浄土教の概説書『遊心安楽道』。その偽撰論を受けて、具体的な撰述者を提示するとともに、新羅仏教のわが国への影響について再検証する。 ●—6034-7(2006.6)

江上琢成

## 日本中世の宗教的世界観

249頁 本体 2800円＋税

浄土や地獄の観念は、中世の人々の心意にいかん影響したのか。法然や親鸞に見られた浄土思想が、慈悲の実践や社会規範につながったことを、丹念に史料を読み解き明らかにする意欲的論考。 ●—6035-4(2007.5)

堅田 理

## 日本の古代社会と僧尼

196頁 本体 2800円＋税

古代の地域社会が公民制から荘園制へ変化する中で、僧尼と俗人は密接な関連をもって社会的に編成されていった。僧尼の交通特権という新しい分析視座を提示し、新たな古代社会像を描き出す論考。 ●—6036-1(2007.4)

引野亨輔

## 近世宗教世界における普遍と特殊

真宗信仰を素材として

185頁 本体 2800円＋税

「弥陀一向」にして「合理主義」——これまでの近世真宗僧俗に対する特殊なイメージは、果たして妥当なものなのか。近世における真宗信仰の実態を明らかにし、近世宗教世界の全体像に迫る。 ●—6037-8(2007.10)

川端泰幸

## 日本中世の地域社会と一揆

公と宗教の中世共同体

231頁 本体 2800円＋税

中世を特徴づける動態としての一揆——。惣国一揆や一向一揆などさまざまな形態の一揆が生まれた要因とその本質を、公と宗教という2つの視座から解析する意欲的論考。 ●—6038-5(2008.2)

牧 伸行

## 日本古代の僧侶と寺院

199頁 本体 2800円+税

古代の日本では宗教と政治は密接な関係にあり、寺院と僧侶は国家の統制下にあった。高野山の空海や東大寺の実忠など、僧侶の伝記から僧と寺院の関係を明らかにして、古代の仏教史を新たに問い直す。●—6039-2(2011.4)

山本伸裕

## 「精神主義」は誰の思想か

205頁 本体 2800円+税

従来、清沢満之のものとされてきた晩年のテキストを、弟子たちの回想文や清沢の書簡などの二次資料をもとに分析し、清沢晩年の思想的精華といわれてきた「精神主義」の本質に迫る。●—6040-8(2011.6)

近藤俊太郎

## 天皇制国家と「精神主義」

清沢満之とその門下 日本図書館協会選定図書

249頁 本体 2800円+税

「精神主義」運動は、天皇制国家とどのような関係性を構築しえたのか？ 清沢満之とその門下の信仰と歴史的立場を総体として把握することで「精神主義」運動の全体像を解明する。●—6041-5(2013.6)

おのみとしひろ  
碧海寿広

## 近代仏教のなかの真宗

近角常観と求道者たち 日本図書館協会選定図書

230頁 本体 3000円+税

明治時代後期に存在した、近角常観というカリスマ的な真宗僧侶と彼に魅入られた信徒たちによる熱烈な求道と救済の共同体が、近代の日本仏教にいかなる変革をもたらしたかを明らかにする。●—6043-9(2014.8)

おおくさ ひろし  
大艸 啓

## 奈良時代の官人社会と仏教

250頁 本体 3000円+税

国家的な写経事業にかかわった写経所官人。彼らは仏教が国家から在地社会へ伝わる上での媒介者でもあった。正倉院文書から仏教受容の過程を鮮やかに蘇らせた一冊。●—6042-2(2014.10)

芹口真結子

## 近世仏教の教説と教化

296頁 本体 3500円+税

近世東本願寺教団の資料をもとに、江戸時代の教学論争の展開と、教説の流通の様相を検討して、近世宗教が持つ特質を解明する。●—6044-6(2019.6)

【以下 続刊】※書名は、変更される場合があります。予価本体 3000円+税

松金直美

## 近世地域社会における真宗道場の性格

酒井彰子

## 中世園城寺とその門跡

平野寿則

## 近世民衆仏教論

亀山光明

## 釈雲照と戒律の近代

# 民俗・民族

萩原秀三郎・須藤 功

## 日本宗教民俗図典 全3巻 別巻1

日本図書館協会選定図書  
全国学校図書館協議会選定図書

B5判総600頁 上製兩入 品切

貴重な民俗写真1500点余が語りかける日本人の原像。20年余にわたるフィールドワークによって初めて成し得た、日本全国、四季それぞれの行事の網羅的写真集。さらに行事、土地、寺社、所作、祭具など5分類3000項目の索引付。

- 1 祈りと救い
  - 2 葬送と供養
  - 3 四季の行事
- 別 索引

●—6300-3(1985.12)

須藤 功

## 大絵馬集成 全2巻

日本生活民俗図誌

A4判各巻224頁 カラー図版各128頁 上製兩入  
全巻本体75728円+税 分売不可

大絵馬は日本人の生活、風俗を読み解く歴史・民俗の第一級資料である。オールカラーの大型図版で、そこに描かれた生活の実像を綿密な考証で解説した、まさに日本人の生活民俗アルバムともいうべき記念碑的な労作。多彩な大絵馬の世界を、稲作、漁撈、舟運、生産、商業、生活、芸能、祭礼、信仰などに分け、日本人のなりわいと精神生活を地方色豊かに再現する。

●—6301-0(1992.12)

長野泰彦・井狩弥介編

## インド・複合文化の構造

A5判460頁 上製兩入 本体13010円+税

文化人類学からのアプローチでインド社会の多様性と複合文化形成過程を探り、宗教学からはヒンドゥー教の儀礼、ヴェーダの祭礼、神々の構造などを解明する。国立民族学博物館の共同研究成果。 ●—3250-4(1993.1)

池田正隆

## ビルマ仏教 その歴史と儀礼・信仰

四六判240頁 並製 本体2427円+税

若き日にビルマで僧院生活を送った著者が、その体験を軸に、ビルマ仏教の歴史・教義から仏教徒の生活習慣までを論述した長年の調査研究の成果。ビルマ仏教を体系的に知るための恰好の入門書。 ●—7420-7(1995.8)

高谷紀夫

## ビルマの民族表象

文化人類学の視座から

A5判364頁 上製 本体8200円+税

70%のビルマ人とその他の少数民族から成るミャンマー。その民族間関係に着目し、少数派と多数派の相克の歴史と実像を、また国家としての他民族共生の構造を明らかにする。 ●—7434-4(2008.2)

藏本龍介 ●第11回(公財)国際宗教研究所賞

## 世俗を生きる出家者たち

上座仏教徒社会ミャンマーにおける出家生活の民族誌

A5判368頁 上製 本体5000円+税

上座仏教の出家者は、世俗からの離脱をめざす教義と現実の矛盾をどのように克服しようとしているのか。現代のミャンマーをフィールドに、出家者の経済生活を支える「財」に注目して検討する。 ●—7443-6(2014.11)

高山龍三

## 展望 河口慧海論

A5判348頁 上製 本体 3800円+税

日本人として最初にチベットを探検し、日本チベット学の祖といわれる河口慧海。その評価を巡る当時の新聞記事や慧海関連の著作、外国文献などを網羅し、慧海の人と仕事の再評価を図る一冊。 ●—7270-8(2002.12)

田中雅一

## 供犠世界の変貌

南アジアの歴史人類学

A5判418頁 上製 本体 15000円+税

少数民族タミルを巡る民族紛争、カースト制による社会差別、まだ残る暴力儀礼など、現地調査をもとにインド、スリランカの生々しい現況を報告。人類学的方法論を駆使し解決への糸口を探る。 ●—5678-4(2002.2)

R・ゴンブリッチ/G・オバーセーカラ著

島岩訳

## スリランカの仏教

A5判800頁 上製 本体 18000円+税

なぜスリランカでは今なお仏教が生きた宗教として機能しているか。現地の宗教事情から、急激な近代化・都市化の影響まで具体例をもとに探究する。世界的権威による大著の待望の日本語訳。 ●—7427-6(2002.8)

鈴木晋介 ●第5回日本南アジア学会賞受賞

## つながりのジャーティヤ

スリランカの民族とカースト

A5判398頁 上製 本体 6500円+税

スリランカ中央高地に暮らすタミル族の調査記録。インドからの移民の子孫である彼らが抱える困難な社会的状況を分析し、民族やカーストの括りを超え、「つながり」を求めて生きる姿を追う。 ●—7438-2(2013.2)

山本達也 ●第3回地域研究コンソーシアム賞受賞

## 舞台の上の難民

チベット難民芸能集団の民族誌

A5判414頁 上製 本体 6000円+税

若き人類学者が、インド在住「チベット難民芸能集団」のメンバーになり演奏活動に参加。その希有な体験からチベット難民社会の現状と問題点を探り、難民問題へのこれまでとは異なる視座を提供する。 ●—7441-2(2013.3)

前島訓子 第12回地域社会学会奨励賞受賞

## 遺跡から「聖地」へ

グローバル化を生きる仏教聖地

A5判328頁 上製 本体 4800円+税

生活者の大半が非仏教徒であるブッガガヤを舞台に、グローバル化の波に飲み込まれながら、遺跡およびその周辺が「仏教聖地」として再建されていく過程を、現地のフィールド調査をもとに解明。 ●—7385-9(2018.5)

根本達

## ポスト・アンベードカルの民族誌

現代インドの仏教徒と不可触民解放運動

A5判364頁 上製 本体 5000円+税

1956年アンベードカルに導かれ数十万の不可触民が仏教へ集団改宗をした。それから半世紀後の現代インドを生きる仏教徒と不可触民解放を目指す反差別運動の民族誌。 ●—5704-0(2018.2)

村上大輔 ●第2回斎藤茂太賞・審査員特別賞受賞

## チベット 聖地の路地裏

八年のラサ滞日記

A5判232頁 並製 本体 2400円+税

天空の大地、チベット。聖と俗、慈悲と欲望、仏教と政治的抑圧のあいまで、聖地ラサに住む人々はどう生きているのか。気鋭の人類学者が彼らの心の路地裏を歩きその精神風景を描く。 ●—6234-1(2016.8)

煎本孝

## ラダック仏教僧院と祭礼

B5判695頁 上製 本体 30000円+税

著者の30年余にわたるフィールドワークに基づく研究の集大成。僧と村人の祭礼活動を中心に、現代化と伝統の葛藤をいかに解決するか、人々にとっての信仰・信条と祭礼の意味を明らかにする。 ●—7442-9(2014.2)



脇田道子

モンパ インド・ブータン国境の民

A5判619頁 上製 本体 6000円+税

約15年にわたってモンパの人々の集団形成の様相や文化の変化を見つめてきた筆者が、インド北東部の国境地帯に住む少数民族の世界を初めてヴィヴィッドに、かつ学術的に伝える。 ●—6240-2(2019.3)

本林靖久

ブータンと幸福論

宗教文化と儀礼 日本図書館協会選定図書  
四六判188頁 上製 本体 1800円+税

世界一幸福な国と言われるブータン王国。近代化を受け入れつつも、物質的豊かさではなく伝統文化に幸福を求める国家と国民。死を忌避しない宗教文化に着目し、幸福論を問い直す、注目の書。 ●—5680-7(2006.12)

木村文輝編

挑戦する仏教 アジア各国の歴史といま  
日本図書館協会選定図書

四六判324頁 並製 本体 2300円+税

アジア18の国と地域における仏教の最新情報。イスラム教国家で生きる仏教徒、宗教が途絶していた国での仏教復興など、各国の宗教政策とも関連づけアジア仏教のいまを追う。 ●—7108-4(2010.10)

立川武蔵編

アジアの仏教と神々

日本図書館協会選定図書  
A5判352頁 並製 本体 3000円+税

土着の神を吸収し、死者儀礼に関わり、豊饒な世界を築いたアジアの仏教。仏教学、人類学、歴史学の研究者21名が仏と神の関わりから「生きた仏教」を浮き彫りにする。 ●—7450-4(2012.6)

小松和彦選暦記念論集刊行会編

日本文化の人類学／異文化の民俗学

A5判784頁 上製 本体 10000円+税

日本文化研究における人類学的実践、および民俗学的な知識と感性に裏打ちされた異文化研究のさらなる可能性を探究する知的冒険者たち。精鋭37名による意欲的研究成果を取載。 ●—5682-1(2008.7)

河西瑛里子

グラストンベリーの女神たち

イギリスのオルタナティブ・スピリチュアリティの民族誌  
A5判432頁 上製 本体 3500円+税

グラストンベリーで始まった女神運動を事例として、現代イギリス社会に見られる新しい宗教現象の意義を考察。ヨーロッパを人類学の調査対象としたユニークな視点・新感覚のレポート。 ●—7448-1(2015.3)

R・アッカーマン著 小松和彦監修 玉井 暲訳

評伝 J・G・フレイザー

その生涯と業績  
A5判631頁 上製 本体 6000円+税

20世紀の人文科学に大きな足跡を残したフレイザーの唯一の信頼できる伝記。『金枝篇』誕生の舞台裏から隠された私生活までを日記や未公開書簡を含めて考察。日経新聞他紹介。本邦初訳。 ●—7216-6(2009.2)

星野英紀

四国遍路の宗教学的的研究

A5判417頁 上製函入 本体 9500円+税

古代末から近・現代にまで続く四国八十八カ所遍路を、実際に巡った人々へのインタビュー、明治時代の宿帳などから構造的に分析。日本人の民俗と信仰の典型を総合的に論じる。 ●—5630-2(2001.11)

柴谷宗叔

江戸初期の四国遍路

澄禅『四国辺路日記』の道再現  
B5判345頁 上製 本体 8500円+税

江戸初期の僧・澄禅による、現存最古とも言える遍路記録『四国辺路日記』を解き明かした書。現在の遍路道と江戸初期の道とを比較できる地図付き。四国霊場開創1200年記念出版。 ●—5694-4(2014.4)

四国遍路と世界の巡礼研究会編

## 四国遍路と世界の巡礼

日本図書館協会選定図書

四六判232頁 上製 本体2200円+税

遍路はどのように始まり、八十八カ所はいつ成立したのか。世界的巡礼ブームの今、古代中国・ギリシア、イスラームやキリスト教の巡礼との比較を通して、中国遍路の歴史と諸相に迫る。 ●—5681-4(2007.5)

内藤正敏

## 日本のミイラ信仰

四六判286頁 上製 本体3200円+税

人は死ねば自然に帰るはずの日本に、なぜミイラ信仰が起こったのか。近世の出羽湯殿山を中心に特異な信仰の系譜をたどり、その深層を鮮やかに解明した即身仏研究の集大成。カラー口絵ほか、図版多数。 ●—7244-9(1999.5)

武邑尚彦編

## 写真と語り 近江湖東・豊郷の暮らし

昭和10年代に生きた人々 日本図書館協会選定図書

A5変252頁 上製 本体2800円+税

豊郷小学校で発見された多数の古写真には、激動の昭和10年代を貧しくとも豊かに生きた人びとの日々の暮らしが写されていた。貴重な写真と当時を知る古老の語りか心にしみる珠玉の写真集。 ●—5679-1(2005.12)

柴田 實

## 日本庶民信仰史 全3巻

柴田實著作集

A5判平均300頁 上製函入

全巻本体22330円+税 分売不可

西欧における民俗学発展の成果をいち早く導入し、神道史や仏教史を背後から支える庶民信仰の本質を探求しつづけた不朽の名著『中世庶民信仰の研究』も含む全業績を集大成。

① 民俗篇＝民間信仰／文化史と民俗学／葬制の問題に寄せて／ほか22篇。② 仏教篇＝日本仏教の成立／神と仏／東大寺のお水取り／六波羅蜜寺の歴史／ほか21篇。③ 神道篇＝神道原始／神道の基本的性格／祖先崇拜の源流／ほか25篇 ●—3600-7(1984.1)

桜井徳太郎

## 民俗探訪 全4巻

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書

四六判 平均310頁 写真各20頁

各本体3495円+税

日本列島の恐山から沖縄まで、民俗信仰とシャーマニズムの原像を探る膨大なフィールドワークをもとに、民俗学の可能性を提唱する。神々との交流に日本人のこころの源流を鮮やかに解きあかした紀行エッセイ集。

- ① 日本列島・北への旅
- ② 日本列島・南への旅
- ③ 神々のフィールドワーク
- ④ 現代民俗学の冒険

●—6441～6444(1992.11～93.8)

鈴木昭英 ●日本山岳修験学会賞受賞

## 修験教団の形成と展開

修験道歴史民俗論集1

A5判383頁 上製函入 本体9500円+税

修験二大教団の本山派と当山派の組織形成を、多数の新出史料で解明した画期的研究。構成＝Ⅰ古代修験道と神仏習合／Ⅱ修験道教団の形成と展開／Ⅲ修験道霊山と山麓集落の生活。 ●—7537-2(2003.10)

鈴木昭英

## 霊山曼荼羅と修験巫俗

修験道歴史民俗論集2

A5判374頁 上製函入 本体9500円+税

Ⅰ金峯・熊野信仰と霊山曼荼羅 Ⅱ山岳信仰・修験道と巫俗。(収録論文)金峯山信仰と吉野曼荼羅・熊野曼荼羅と修験信仰／修験道と神がかり／八海山行者の憑祈禱・引座／マンチの巫俗と伝承／ほか ●—7538-9(2004.4)

鈴木昭英

## 越後・佐渡の山岳修験

修験道歴史民俗論集3

A5判429頁 上製函入 本体 12000円+税

I 八海山の歴史と信仰と諸相 II 越後・佐渡の山岳信仰 III 長岡蔵王権現の信仰と祭祀。  
〈収録論文〉八海山行者の木食・断食／越後における峰の薬師信仰／南北朝時代の六十六部納経と越後国蔵王堂／他 ●—7539-6(2004.9)

永松 敦

## 狩猟民俗研究

近世猟師の実像と伝承

A5判364頁 上製函入 本体 8500円+税

鉄砲所持許可と藩の要望、本百姓としてのマタギ。非稲作民・特殊專業民という従来の猟師像を覆し、近世猟師の実像に初めて迫る、画期的研究。山の神信仰や由緒書の形式にも言及する。 ●—7463-4(2005.2)

権 東祐

## スサノヲの変貌

古代から中世へ

A5判306頁 上製 本体 6800円+税

記紀神話の悪神、大神、そして日本紀講を経て祇園社の異国神・疫神へとめくるめく変貌を遂げたスサノヲ像。時代に応じて読み替えられ再編され続けるという神話の思想運動を明らかにした意欲作。 ●—5688-3(2013.2)

鈴木耕太郎

## 牛頭天王信仰の中世

四六判331頁 上製 本体 3500円+税

神でもなく、仏でもなく、中世に突如顕れた牛頭天王。行疫神としての祇園社祭神であり、スサノヲと習合した謎多きその信仰世界を、「中世神話」の視座から読み解く。 ●—6254-9(2019.7)

佛教大学文学部編

## 見えない世界の覗き方

文化としての怪異

四六判164頁 並製 本体 1600円+税

京極夏彦、小松和彦を水先案内人に招き、闇・妖怪・怪異をキーワードとして、人類学・民俗学・宗教学・文学の視座から、多様な日本文化の深層にせまる、ユニークな文化学入門の書。 ●—5643-2(2006.10)

志水宏行

## 近江の無墓制と「ぼんなり」考

A5判240頁 上製 本体 3200円+税

近江(滋賀県)の村落調査と宗教意識調査をライフワークとした社会学者が、浄土真宗地帯に多い墓のない村々と、余生を仏道一筋に生きる「ぼんなり」の儀式の宗教意識を究明する。 ●—7535-8(2003.3)

林 英一

## 近代火葬の民俗学

佛教大学研究叢書9

A5判396頁 上製 本体 7500円+税

近代になり土葬地区がどのように火葬を受容したのか。資料やフィールドワークから火葬の受容背景を探り、日本における死生観の様相を考察する。 ●—6233-4(2010.3)

村上紀夫 ●林屋辰三郎藝術史研究奨励賞受賞

## 近世勧進の研究 京都の民間宗教者

A5判416頁 上製 本体 8000円+税

本願・木食聖・十穀聖・仏餽取から、桂女・万歳まで。地域社会と寺社との橋渡しとなった民間宗教者の勧進行為を通して、彩り豊かな近世社会像を描き出す、新視点による勧進の文化史。 ●—6220-4(2011.10)

村上紀夫

## 京都地藏盆の歴史

四六判232頁 並製 本体 2000円+税

現在も京都の約8割の町で実施されている伝統行事・地藏盆。その歴史について、文献史学の立場から初めて本格的に考察し、京都都市史における地藏盆の位置を問うた意欲作。 ●—6237-2(2017.7)

村上紀夫

## 近世京都寺社の文化史

A5判356頁 上製 本体 8000円+税

経済基盤の脆弱な京都の中小規模の寺社が、みずからの存続をかけてとった多様な戦略を明らかにし、近世都市固有の宗教的需要を読み解くことで、近世都市が抱えた諸問題をあぶり出す。 ●—6253-2(2019.10)

伊藤唯真編

## 宗教民俗論の展開と課題

A5判501頁 上製 両入 本体 12000円+税

宗教民俗研究者24名による全編書き下ろし。  
Ⅰ社寺祭祀の諸相／Ⅱ民俗信仰の地域的展開／Ⅲ祖先祭祀と葬墓制／Ⅳ宗教民俗学の課題（執筆者）赤田光男、田中久夫、藤井正雄、山路興造ほか。 ●—6217-4(2002.10)

伊藤唯真

## 日本人と民俗信仰

四六判205頁 上製 本体 2500円+税

在来の神々と習合し祖先信仰と融合するなかで、民衆に受容されていった日本仏教。歴史学・仏教民俗学の視点で、古代から現代の葬祭仏教に至るまでの、日本仏教のさまざまな側面を鋭く論じる。 ●—7529-7(2000.3)

坂本 要

## 民間念仏信仰の研究

A5判880頁 上製 本体 17000円+税

約50年に及ぶ民俗調査の集積をもとに、融通念仏・大念仏・六斎念仏・及盤念仏・念仏踊りなどの種々相を掘り起こし、民間念仏信仰の歴史を再構築した記念碑的労作。 ●—6299-0(2019.10)

蒲池勢至 ●柳田賞受賞

## 真宗民俗史論

A5判457頁 上製 本体 8000円+税

真宗の民俗とは何か。真宗門徒の葬送儀礼の実態、民俗学の視点からみた名号と御文、寺檀関係、蓮如伝承など、真宗門徒の信仰生活を解き明かす長年にわたる調査・研究の成果。 ●—6225-9(2013.10)

蒲池勢至

## 真宗門徒はどこへ行くのか

崩壊する伝承と葬儀

四六判208頁 並製 本体 1800円+税

真宗門徒はどのように生き死んでいったのか。時代の変化によって門徒の信仰生活が崩壊しつつある現実と、激変する葬儀のあり方を問い直すことにより、人間にとって信仰とは何かを探る。 ●—6230-3(2015.4)

蒲池勢至著・川村越夫写真

## 真宗民俗の再発見

生活に生きる信仰と行事

四六判239頁 上製 品切

浄土真宗はどのように伝承されてきたのか。過疎化や都市化の波に押されて風化しつつある真宗門徒の信仰の「こころ」と「かたち」を迫力ある写真と精緻な文章で綴る画期的な探訪の記録。 ●—8144-1(2001.10)

安井真奈美編

## 出産・育児の近代

「奈良県風俗誌」を読む

A5判534頁 上製 本体 9000円+税

大規模な民俗調査をもとに編纂された「奈良県風俗誌」(大正4年)から、出産・育児の項目を抜粋して読み解き、当時の出産・育児の実態と近代の庶民意識の変容の過程を追う。貴重刻資料一挙掲載。 ●—6221-1(2011.12)

# 文学

白洲正子

## 新版 私の古寺巡礼

日本図書館協会選定図書

四六判200頁 上製 品切

若狭・熊野・近江・葛城など光と影が交錯し神と仏の混在する魅惑の地への誘い。永年にわたり古寺を訪ね続けた著者が、ときすまされた感覚と思惟で日本人の信仰や美意識の深層においてゆく。 ●—8080-2(1997.5)

斎藤史子

## 清滝川 明恵・慈愛の生涯

四六判286頁 上製 本体 1800円+税

明恵が亡くなってから1年後、ひとりの尼僧があとを追って入水した。この史実をもとに、明恵をひたむきに愛した尼僧と、その尼僧の目を通して浮かび上がる明恵の生涯を格調高く描いた傑作長編。 ●—5644-9(2006.12)

森敦対談集

## 一即一切、一切即一

『われ逝くものごとく』をめぐって

四六判198頁 上製 本体 1500円+税

森文学の比類なき宗教的世界観を独創的な手法で語り、生死一如の瞬間を捉える信仰究極の賭けに挑む、森文学の深層構造。対談者／瀬戸内晴美、新井 満、小島信夫、山折哲雄、石毛春人。 ●—8035-2(1988.8)

毛丹青

## にっぽん虫の眼紀行

日本図書館協会選定図書

四六判222頁 上製 本体 2000円+税

繊細な文章で忘れられた日本の文化と自然の奥深さを再発見した名随筆。週刊朝日(池内 紀氏)、週刊文春ほか各紙誌で絶賛！ 1999年月刊「神戸っ子」文学賞受賞。NHKラジオ「私の本棚」で朗読。 ●—8151-9(1998.12)

プラット・アブラハム・ジョージ・小松和彦編

## 宮澤賢治の深層 宗教からの照射

A5判492頁 上製 本体 7000円+税

宮澤賢治の作品群には、民間伝承・キリスト教・浄土真宗・法華経など、多様な宗教世界が広がっていた……。最新研究成果によってあらわになる、宮澤賢治の「ほんたう」の姿。 ●—7100-8(2012.3)

荒木 浩編

## 夢見る日本文化のパラダイム

A5判567頁 上製 本体 8000円+税

文学・歴史・心理学から見た「夢」の姿とは。各界第一線の研究者が読みとく夢の表象世界。各論者独自の視点が、読者を夢幻の旅へと誘う。 ●—7099-5(2015.5)

町田宗鳳

## 光りの海 死者のゆくえ

A5判182頁 並製 本体 1500円+税

東日本大震災を懸念に生き延びた人々の実体験をもとに生まれた命のドラマ。男女の恋愛を軸に、生きることの意味、人と人のつながりの尊さ、生者と死者をつなぐ魂の再生を描く。 ●—8176-2(2014.1)

張 偉

## 野間宏文学と親鸞

悪と救済の論理

A5判254頁 上製 本体 7000円+税

中国文化大革命で人の心の闇を体験した著者が、晩年の野間 宏との書簡のやりとりを通じ、人間・野間 宏、その文学世界と親鸞との関わりを深く追究し、東洋人の視点で野間文学を再解説した傑作論考。 ●—7267-8(2002.1)

野島直子

## 孤児への意志 寺山修司論

四六判246頁 上製 品切

迫り来る死を見つめつつ、短歌から演劇、映画へと驚くべき多才ぶりを示した天才、寺山修司。記憶とテキストを手掛かりに、そのドラマの生成を見事に解説した、初めての本格批評作品。 ●—7219-7(1995.7)

佐々木久子

## わたしの放浪記

日本図書館協会選定図書

四六判216頁 上製 本体 1456円+税

安芸門徒、雑誌『酒』編集長としてマスコミで活躍する著者の感動の自伝エッセイ。ヒロシマの原爆地獄、「文壇酒徒番付」を企画、ボケた母を殺そうと……女ひとり生きた半生を率直に綴る。 ●—8064-2(1995.3)

笠原芳光

## 言葉と出会う本

日本図書館協会選定図書

四六判256頁 上製 本体 1900円+税

たったひとつの言葉との出会いが、私たちの人生を劇的に変えることがある。賢治、良寛からリルケ、カフカ、ヴェーユまで114の人生といのちの言葉とそれをめぐるエッセイ。装画・山本容子。 ●—8075-8(1996.12)

蘭田香穂

## 酔蟹夜話 ある住職の焼跡日記

四六判160頁 並製 本体 1800円+税

著者・酔蟹散人は、僧侶にして高名なドイツ文学者。空襲により自坊を焼かれ、寺の再建に立ち向かうが、さてその成果は。ゲーテとの出会いや焼け跡の庵居生活など、自らの半生を綴る。 ●—8145-8(2001.6)

目崎徳衛編

## 思想読本 西行

A5判200頁 並製 本体 1500円+税

武人・遁世者・勸進聖・歌人・密教行者——いくつもの顔を持つ西行の実像に肉薄する評論集。強靱な肉体と柔らかな精神を墨染めの衣に包んだ漂泊の歌人の魅力を描き出す。 ●—2005-1(1984.2)

多屋頼俊

## 和讃の研究

多屋頼俊著作集第2巻

A5判428頁 上製函入 本体 11650円+税

和讃全般に言及し、その文学的価値を評価して、仏教と文学を結びつけた高度な研究方法を示す。本書には、『和讃史概説』以後に発表された主要な論文を掲載した。 ●—3722-6(1992.1)

多屋頼俊

## 源氏物語の研究

多屋頼俊著作集第5巻

A5判466頁 上製函入 品切

成立論・宿世観・罪障意識など、『源氏物語』の仏教思想研究に独自の学風を樹立した卓論。仏教と文学とを結びつける、空前の研究方法論の確立した画期的な研究論考。 ●—3725-7(1992.4)

角田文衛

## 紫式部伝 その生涯と『源氏物語』

源氏物語千年記念 日本図書館協会選定図書

A5判624頁 上製 本体 8800円+税

今まであまり定かでなかった紫式部の生涯を精細に考察。その本名、若き日の動静、宮廷生活、晩年の様相、歿年、墓所などを明らかにするとともに、哲学者としての紫式部の思弁にも触れる注目の書。 ●—7664-5(2007.1)

入部正純

## 日本靈異記の思想

A5判224頁 上製函入 品切

中国思想との比較という作業を介して靈異記にみる冥界観と作者・景戒の発想法等を論じ、古代日本の仏教文化を照射する。〈目次〉靈異記における他界観／冥界説話／悪報説話の方法／ほか ●—7599-0(1988.12)

多田伊織

## 日本靈異記と仏教東漸

A5判275頁 表137頁 上製函入 本体 12000円+税

『日本靈異記』が成立した時代の背景とは。中国文献を駆使し、仏教類書や唱導の実態を明らかにするなど、民間信仰と説話の関係を日中比較を通して解明。東アジアの視点から挑む注目のテキスト論。 ●—7661-4(2001.2)

原田信之

## 隠徳のひじり玄賓僧都の伝説

A5判288頁 上製 本体 2600円+税

鴨長明や良寛から「隠遁聖の祖」として憧憬された平安時代の興福寺の高僧・玄賓僧都。大和・備中・伯耆など、全国に伝わる多数の魅力的な伝説を網羅し一冊にまとめた初の研究書。 ●—6249-5(2018.6)

沼波政保

## 中世仏教文学の思想

A5判628頁 上製函入 本体 12000円+税

仏教の影響が著しい中世に成った文学のうち、仏教説話集、『平家物語』、隠者文学を柱として、人間の精神の表出としての文学に、仏教の無常観がどのような影響を与えたのかを考察。 ●—7715-4(2017.7)

藤 秀環

## 阿闍世王・大蓮如 戯曲集

四六判456頁 上製 本体 6000円+税

蓮如上人の波瀾の生涯を、四幕五場にまとめあげ、真宗再興を目指して邁進する上人の姿を生きいきと描く好評の戯曲。王舎城の悲劇を描いて、阿闍世ブームを巻き起こした阿闍世王も収録。 ●—8624-8(1997.3)

狩野直禎監修 杉村邦彦・寺尾敏江編

## 狩野君山の阿藤伯海あて尺牘集

A5判382頁 上製 本体 7500円+税

中国学を牽引した狩野君山(直喜)が漢詩人阿藤伯海にあてた175通の未公開の書簡を、狩野直禎氏の注を付して翻刻紹介。図版多数。 ●—7721-5(2019.2)

## 花岡大学著

## ● 仏典童話全集 全8巻続巻2

日本図書館協会選定図書 全国学校図書館協議会選定図書

A5判/平均約250頁

電子書籍版のみ

正巻各本体 2500円+税

続巻各本体 2800円+税

## ① 挿画/清水公照 讃文/中村 元

解説/花岡大学

草の命 がまほとけ ヘンエツ王の首 王さまの血 燃えあがるたいまつ 高い石の塔 どくの蛇 ほとけのひがさなど25篇

## ② 挿画/清水公照 讃文/葉上照澄

解説/野々村智剣

スナナ太子(中編) 大きな心 かごいっばいの花 王さまとナツメ売りのむすめ カランバの鬼 ルリよりもきれいな目など20篇

## ③ 挿画/長谷川富三郎 讃文/高田好胤

解説/野呂 昶

美しい眼の王子 笑われたケマン師 アギニサイナの殺人 すいれんの花 命がけのうそ 王さまになった象使い男など25篇

## ④ 挿画/北島新平 讃文/岩堀至道

解説/中川 晟

かいばの妻 白い血 マンダラ王ときたないぼうさん 金剛のきぬ 七人の娘 家出息子とその父 かえらぬ船 クックの変身など30篇

## ⑤ 挿画/大古尅己 讃文/二葉憲香

解説/中川正文

少年とマンゴーの実 大臣シナ こども理髮師 餓鬼の目 あわれな男とおろかなめしつかい 毒のくだものなど31篇

## ⑥ 挿画/斎藤博之 讃文/石森延男

解説/西沢正太郎

ごくらくいけのかも やしのみどすん きんいろのしか 子うさぎのちえ 目がさめたライオンの王さま ひなどりのいのちなど45篇

## ⑦ 挿画/斎藤博之 讃文/紀野一義

解説/西本鶏介

よくばりまほう ひげをはやした男 くさいぶた さんごの海の底で どくの矢 あほうからす あたまのすぐれたほうさんなど31篇

## ⑧ 挿画/小西恒光 経典解説/井ノ口泰淳

ねずみと魔法使いのおじい こんな王さま こんないしゃ 金のかま からすとくじゃく 心の満月 すずめとライオンなど27篇

## 〔続1〕挿画/京田信太良 解説/川村たかし

泣く鯉「世界一」がすきな王さま 金などなんの役もたたない すずめの巢 おばあさんと馬 セナという鬼のしくじりなど29篇

## 〔続2〕挿画/小西恒光 解説/小西正保

あばれ馬 おろかな王様 ブルーナの心 くじけなかった若い男 怒れる海 どこまで欲がふかいのかなど29篇

●—6901~6908, 6911, 6912(1979.2~81.11)



# 真蹟集成

監修 = 総本山仁和寺

## 国宝 三十帖策子

原寸大完全複製

全32帖・総3080頁・墨付2335

本体 1450000円 + 税

空海が書写し、中国より持ち帰った密教関係の經典儀軌を、コロタイプ印刷で復元。密教弘通の上で、また日本文化史上、かけがえのない役割をはたした聖教。伝橘逸勢や唐人の筆なども含まれ、書道史上からも貴重。

解説 = 小田慈舟、佐和隆研、中田勇次郎(別冊和綴仕立)

●—5600-5(1977.11)

佐和隆研・中田勇次郎編  
弘法大師生誕1200年記念出版  
弘法大師真蹟集成 〈縮刷版〉  
全2巻

B5判・全5帖・折本

全巻本体 38000円 + 税 分売不可

内容 = 聾聾指帰 / 三十帖策子 / 風信帖 / 灌頂記 / 真言七祖像并行状文 / 大日経開題 / 金剛般若経開題 / 崔子玉座右銘 / 十喻詩末尾 / 狸毛筆奉納表 / 孫過庭書譜断簡 / 請來目録 / 与国使請帰啓 / 二荒山碑文 / 益田池碑名 / 即身成仏品 / 綜芸種智院式

解説・執筆 = 赤松俊秀、井ノ口泰淳、大沢 忍、木下政雄、勝又俊教、佐和隆研、藪田香融、高井隆秀、高木神元、中田勇次郎、中野義照、松長有慶、宮坂宥勝、山本智教 ●—5110-9(1979.9)

監修 = 伝教大師真蹟集成刊行会  
伝教大師真蹟集成 全2帖

全巻 品切

現存の遺墨のすべてを精良なコロタイプ印刷で影印、大型折帖豪華造本。

乾帖 = 久隔帖 / 八唐牒 / 天台法華宗年分縁起 / 六祖惠能伝

坤帖 = 羯磨金剛目録 / 伝教大師将来目録 / 弘法大師請來目録

解説 = 福井康順、中田勇次郎、大久保良順、池山一切円、木下政雄

●—5200-7(1979.6)

監修 = 塚本善隆  
法然上人真蹟集成 全2巻

原寸複製・軸装・箱入

全巻本体 160000円 + 税 分売不可

数少なく貴重な法然上人の真蹟を、すべて原寸大にコロタイプ印刷で復元。おおらかで温かな上人の人格がしのばれる。

乾巻 = 書状(三通・興善寺蔵・重文)

坤巻 = 熊谷宛書状(一卷・清涼寺蔵・重文) / 選択集(巻首・廬山寺蔵・重文) / 一枚起請文(一卷・金戒光明寺蔵) / 七ヶ条制誡(部分・二尊院蔵・重文)

解説 = 赤松俊秀、森田実道、木下政雄

●—5300-4(1974.4)

## 真蹟集成

編集 = 赤松俊秀・藤島達朗・宮崎圓道・  
平松令三・名畑 崇

親鸞聖人七百五十回御遠忌記念出版

### 増補 親鸞聖人真蹟集成 全10巻

A5判上製函入 平均400頁

全巻本体 250000円 + 税 分売不可

残部僅少

増補による親鸞聖人真蹟集成の決定版。

各界で高い評価を受けた初刊本全9巻を、装いを新たにして刊行。各巻に丁寧な解説付。

内容 = ①・②教行信証(坂東本) ③三帖和讃／浄土三経往生文類 ④尊号真像銘文／一念多念文意／書簡 ⑤・⑥西方指南抄  
⑦親無量寿経註／阿弥陀経註／浄土論註  
⑧唯信抄／唯信抄文意 ⑨本尊影像讃銘／見聞集／大般涅槃経要文／皇太子聖徳奉讃／ほか ⑩唯信抄／唯信抄文意／安城御影讃銘／ほか ●—4980-9(2005.7)

日蓮聖人真蹟集成 法藏館編集部編  
立正安国会蔵版  
大石寺蔵版

### 日蓮聖人真蹟集成 全10巻

B5判平均各350頁

品切

未公開本から新出断簡までを網羅した決定版。収録点数600、総紙数2500、解説付。特製貼函入。各紙ごとに遺文全集の頁数を記し検索の便を配慮した。

内容 = ①～④御書 I～IV ⑤御書・花押集・目録・索引 ⑥写本・抄本 ⑦・⑧注法華経(表・裏) ⑨大石寺蔵本 ⑩御本尊集  
解説 = 兜木正亨、高木 豊、田村芳朗、宮崎英修、山中喜八 ●—5400-1(1976.5)

重要文化財・廬山寺蔵 序 = 岸 信宏

### 選擇本願念佛集 全1巻

原寸複製・和綴本・箱入  
本体 195000円 + 税

法然上人真筆の題号を有し、草稿本としてあまりにも名高い廬山寺本のコロタイプ完全複製。

解題 = 藤堂恭俊、木下政雄

●—5500-8(1979.6)

解説 = 水谷眞成

往生院本 選擇本願念佛集 全2巻  
延應本

草稿の廬山寺本に引き続き稀観書2本を影印。往生院本は鎌倉初期の古写本で全面に時代の異なる数人の訓点があり、奥付削取部分の赤外線写真を付す。

●—5510-7(1980.11)

B5判・原寸版 品切

監修・解説 = 宮崎圓道

### 恵信尼文書 重要文化財・西本願寺蔵

原寸複製・軸装・箱入  
品切

夫親鸞への限りない敬慕と不動の信仰に綴られた珠玉の消息集の完全覆刻。大正12年鸞尾教導氏が公表して以来親鸞とその室恵信尼に関する唯一の根本資料である。

●—5700-2(1977.5)

解説 = 平松令三・堤 玄立

### 専修寺本 善導大師五部九巻 全4巻

親鸞聖人真蹟集成 別巻2

A5判 品切

真宗高田派本山専修寺に所蔵される「善導大師五部九巻」は親鸞自筆の外題を持ち、現存する最古の版本に加点をほどこしたものである。

●—5020-1(1986.9)